SONY

4-294-068-**04**(1)

地上･BS･110度CSデジタルハイビジョン

液晶テレビ

取扱説明書

使い始めの操作については、別冊の
「らくらくスタートガイド」をお読みください。

BRAVIA

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書と別冊の「らくらくスタートガイド」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

KDL-46HX65R / KDL-40HX65R / KDL-32HX65R

⚠警告 安全のために

テレビは正しく使用すれば、事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、内部には電圧の高い部分があるので、間違った使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあり、危険です。事故を防ぐために次の事を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

本書の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

お買い上げ時とその後1年に1度は「長年ご使用のテレビの点検を！」に従って点検してください。1年に1度は内部の掃除を、5年に1度は点検をお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。（有料）
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に掃除を行うと、より効果的です。
また、本機の通風孔付近にほこりが付着するときがありますが、付着がひどい場合、故障の原因となることがあります。掃除機などで1か月に1度、ほこりを吸い取ることをおすすめします。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店、またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たり、こげくさいにおいがしたら
- テレビを見ているときや、スタンバイ状態（画面が消えていて、⏻ ランプが赤色に点灯中）のときに、テレビ内部から異常な音がしたら
- 内部に水などが入ったら
- 内部に異物が入ったら
- テレビを落としたり、キャビネットを破損したりしたときは

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する

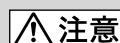
警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

注意

指のケガに注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

風呂・シャワー室での使用禁止

接触禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

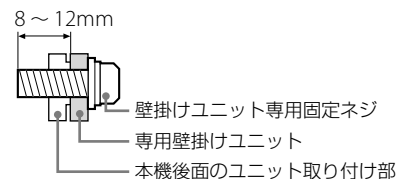
下記の注意を守らないと**火災・感電・破裂**により
死亡や**大けが**などの人身事故が生じます。

壁に取り付ける場合は、必ず専用の壁掛けユニットを使用し、専門の業者に取り付けてもらう。また、設置の時は設置関係者以外近づかない

専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

次のことを守って、壁掛けユニットに本機を設置する

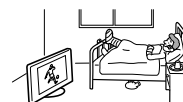
誤った取り付け方法で設置すると、本機が落下し、大けがをすることがあります。

- 壁掛けユニットの取扱説明書の取り付け方法を必ず守る。
- 壁掛けユニットの取り付けに際しては、壁掛けユニットに同梱されている専用固定ネジを使う。専用固定ネジは、取付金具の取り付け面からの長さが図のように設定されています（壁掛けユニットによってネジの長さは異なります）。専用固定ネジ以外のネジを使用すると、落下や本機内部の破損の原因になります。

次のことを守って、スタンドに本機を設置する

誤った方法で組み立てると、本機が転倒し、大けがをすることがあります。

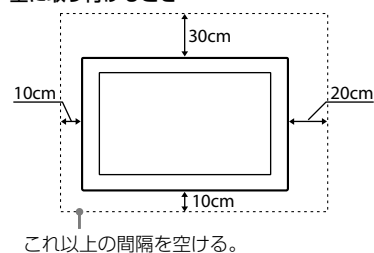
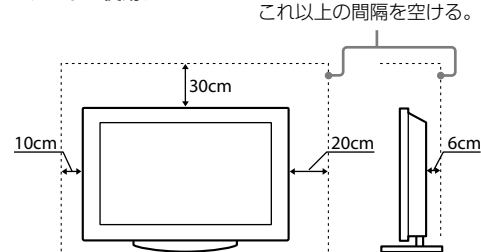
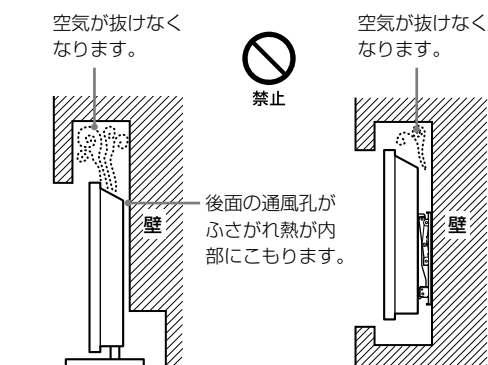
- スタンド取付手順書（付属スタンド）または取扱説明書（別売りのフロアスタンドまたはテレビスタンド）の組み立て方法を必ず守る。
- スタンドは、同梱されている専用固定ネジを使ってしっかり固定する。
- 転倒防止の処置を必ず行う。スタンドや床、壁などとの間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。転倒防止の処置をしないと、本機が倒れてけがの原因となることがあります。

本機を医療機関に設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や
大けがの原因となります。

周囲に間隔を空ける

周囲に間隔を空けないで設置すると、通風孔がふさがり熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。
本機を壁に近づけすぎると、壁などにほこりが付着し、黒くなることがあります。
風通しをよくするために、壁から距離を離して置いてください。

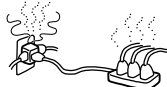
壁に取り付けるとき

スタンドを使用するとき

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 棚や押入の中に置かない。
- ホットカーペットの上に置かない。
- 布をかけない。

電源(コード、プラグ)

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V(50/60Hz)以外では使用しない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により、火災の原因となります。
海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換をご依頼ください。

電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続したりすると、感電の原因になることがあります。
他機器との接続が終わった後に、電源プラグを壁のコンセントに差してください。

電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

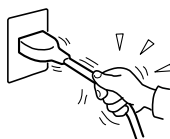
電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

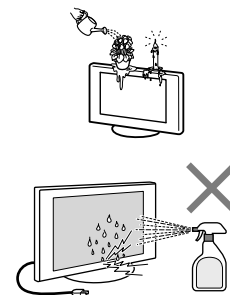
使用

本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。
万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

移動、設置

正しい方法で運搬/移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。
本機を持ち運ぶ際には、取扱説明書をご参照の上、正しい方法で行ってください。

使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

不安定な場所に置かない

本機の底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。
平らで充分に強度があり、落下しない所に置いてください。

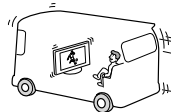
水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用には特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

湿気、ほこりの多いところ、油煙や湿気が当たるようなところ（調理台や加湿器のそば）におかないでください。火災・感電・変形などの原因となることがあります。

乗物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。
塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。

屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。

本機の表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまで本機に触れない

電源プラグをコンセントから抜かずに本機に触れると、感電の原因となることがあります。

目や口に液晶を入れない/ガラスの破片に触れない

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶（液状）が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手で触れたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるとけがをするおそれがあります。
また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。においを嗅ぐこともやめてください。誤って、目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。
蛍光管の種類によっては、水銀が含まれる場合があります。

テレビがはみ出すような取り付けはしない

壁掛けユニットを、柱などのテレビがはみ出してしまうような場所には取り付けないでください。身体や物などがぶつかってけがや破損の原因となります。

⚠注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。
本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。
完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。
コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。

本体の周囲に物を置かない

ディスク取り出しの際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。

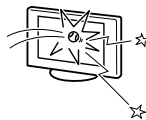
幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

人が通行するような場所に置かない
コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続･配置してください。

液晶画面の表面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。

液晶画面の外周に衝撃を与えない

ガラスの縁にヒビが入ったり、飛び散ったガラスにより、ケガの原因となります。

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを使用しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

音量について

周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。
ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。
また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと危険です。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店にご依頼ください。

使用上のご注意

液晶画面について

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。屋外や窓際には置かないでください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(滅点)が表れたりしますが、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

リモコンの取り扱いについて

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房機具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

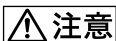
廃棄するときのご注意

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの液晶テレビを廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 指定された種類の電池を使用する。
- **廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。**

もし電池の液が漏れたときは、リモコンの電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

LAN端子に接続する機器について

電気通信事業法に基づく認定品に接続してください。

長年ご使用のテレビの点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源コードやプラグが異常な熱を持っていませんか
- 異常な熱や煙が発生したり変な臭いや音(パチパチ)がしませんか
- 電源を入れても画像や音が出ないことがありませんか
- 故障状態のまま使用していませんか

すぐに電源プラグを抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のために、お買い上げ店、またはソニーの相談窓口にご相談ください。

目次

テレビ番組を見る／つないだ機器の映像を見る

画質・音質を設定する

録画する

再生する

削除／編集する

コピー／ダビングする

PSP®や“ウォークマン”•携帯電話などに持ち出す

デジタルカメラや他機器などから取り込む

ネットワーク

接続する

設定を変更する

困ったときは

その他

はじめにお読みください

本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれる「ソフトウェア等に関する重要なお知らせ」(159ページ)をお読みください。お客様による本製品の使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。

内蔵ハードディスクについての重要なお願い

ハードディスクは記録密度が高いため、長時間録画やすばやい頭出し再生を楽しむことができます。その一方、ほこりや衝撃、振動に弱く磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 本機に振動、衝撃を与えない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- ビデオやアンプなどの熱源となる機器の上に置かない。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しない。結露(露つき)の原因となります(12ページ)。
- 電源プラグをコンセントにさしたまま本機を動かさない。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源を切ってハードディスクが動作していないこと(録画状態、ダビング状態、データ取得状態でないこと)を確認してから、電源プラグをコンセントから抜く。ただし、本機の[設定]の[本体設定]にて、[高速起動]の設定が「入」になっている場合は電源を切ってもハードディスクが動作しているので、設定を「切」に変更してから電源を切ってください。
- 本機を移動する場合、コンセントから電源プラグを抜いて1分以上待ってから、振動、衝撃を与えずに行う。
- 故障の原因となるため、お客様ご自身でハードディスクの交換や増設をしない。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。ハードディスクは性質上長期的な記録場所として適しておりませんので、一時的な記録場所としてご利用ください。

内蔵ハードディスクの修理について

- 修理・点検の際、不具合症状の発生・改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータを確認することがあります。ただし、タイトルなどのファイルを弊社で複製・保存することはありません。
- ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきます。ハードディスクの記録内容はすべて消去されますのでご了承ください(著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます)。
- 弊社にて交換したハードディスクの保管や処分につきましては、弊社の責任のもとで、事業協力会社に作業を委託する場合を含め、第三者がハードディスク内の情報に不当に触れることがないように、合理的な範囲内での厳重な管理体制のもとで作業を行います。

本機は、コンセントの近くでお使いください。本機を使用中、異常な音やにおい、煙がでたときはすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。通常、本体の電源ボタンで電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機で受信できる放送について

本機では地上デジタル放送およびBS/110度CSデジタル放送が受信できます。

本機の起動と終了について

本機はシステム全体の最適化を図るため、電源入切時に電源ボタンを押してから、実際に起動するまでと実際に電源が切れるまでしばらく時間がかかります。
電源が切れる前やハードディスクが動作しているときにコンセントから電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

操作を受け付けないときは

明らかに本機が操作を受け付けない状態になった場合は、本機右側面のリセットボタンを押してください。

電源を「切」にしているときのご注意

本機は番組表データなどを取得したり、電源が「切」の状態でも、一時的に本機の内部のシステムが起動することがあります。これにより、本機のハードディスクが動作することがありますが、故障ではありません。

- 次のようなときは、電源が「切」の状態でも本機が動作し続けることがあります。
  – 番組表などのデータ取得中
  – 録画中のとき(録画予約やx-おまかせ・まる録など)
  – ダビング中のとき
  – 本機のホームサーバー機能やLAN経由でCATV録画／「スカパー！ HD録画」、リモート録画予約機能を利用しているとき
  – [高速起動]が[入]に設定されているとき
  – ソフトウェアのアップデートを行っているとき
  – スカパー！ e 2の無料視聴期間サービスを利用しているとき

個人情報などのお取り扱いについて

- 本製品を廃棄、譲渡等するときは、本製品内のハードディスク、メモリーに記録されている個人情報などのデータを[設定初期化](125ページ)で削除することを強くおすすめします。
  削除をしないまま廃棄、譲渡等を行うと、記録されている個人情報が第三者に知られてしまう可能性があります。
- 本機に記録されている個人情報などのデータは次の内容です。
  - 各種機能の設定時のIPアドレスなど
  - ご使用中に受信したお知らせ(メール)、番組購入履歴など
  - 放送事業者の要求によりお客様が入力された個人情報や、データ放送のポイントなど
  - インターネットサービスに機器を登録した際に発行される機器登録(識別)情報
  - リモート録画予約の使用のためにお客様が設定された携帯電話の「ニックネーム」および「機器名」
- アクトビラやTSUTAYA TVのホームページで登録した情報は、サービス提供元のサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、アクトビラやTSUTAYA TVの規約などに従って必ず登録情報の削除を行ってください。
- MACアドレスは、リモート録画予約の初回登録時にサービス事業者のサーバーに送信されます。
- 本製品内に記録された録画予約およびタイトルなどに関わる情報は、リモート録画予約の利用時にサービス事業者のサーバーへ送信されます。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア·記録機器などに記録ができなかった場合、不具合·修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア·記録機器などの記録内容が破損·消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

著作権に関するご注意

- あなたが本機で録画·録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本機は、無許諾のBD/DVD(海賊版等)の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。
- 本機は、設定項目によってはオリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、本機の設定をお選びください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面モード設定等を利用してオリジナルと異なる見えかたで再生などを行いますと、著作権法で保護されている著作者などの権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。
- 著作権者等によって複製を制限する旨の信号が含まれている映像·音声は、本機で録画·録音できない場合があります。また、同様の信号が、本機の出力端子からの映像·音声に含まれる場合、他機で録画·録音できなかったり、録画したものを正常な映像で再生できない場合があります。
- ブルーレイディスク™やDVDでは、著作権保護技術が採用されています。AACS(Advanced Access Content System)やCSS(Content Scramble System)と呼ばれる著作権保護技術により、再生やアナログ出力に制限がかけられます。AACSの団体が本製品の購入日以降に制限に関する規定を制定または改訂することがあるため、本製品の操作および制限の内容は購入日により異なる場合があります。
- Cinaviaの通告
  この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。
  Cinavia技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.comのCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center、P.O.Box 86851、San Diego、CA、92138、USAまではがきを郵送してください。

  この製品はVerance Corporation (ベランス·コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7、369、677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。Copyright 2004-2010 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。リバース·エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

3D映像の視聴について

3D映像の視聴中や3D立体視ゲームのプレイ中に目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。
3D映像を視聴したり、3D立体視ゲームをプレイするときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D映像の視聴や3D立体視ゲームのプレイをやめ、必要に応じて医師にご相談ください。
本機に接続する機器やソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。最新情報については、ホームページ（http://www.sony.jp/support/tv/）をご覧ください。
なお、お子さま（特に6歳未満の子）の視覚は発達段階にあります。お子さまが3D映像を視聴したり、3D立体視ゲームをプレイする前に、小児科や眼科などの医師にご相談いただくことをおすすめします。
大人のかたは、お子さまが上記注意点を守るよう監督してください。

シミュレーテッド3D機能について

- 当機能を使うと、本機側での映像変換により、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、当機能をお使いください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで、当機能を利用して2D映像を3D変換して表示すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。

設置場所について

次のような場所には置かないでください。
- 振動の多い所
- 直射日光が当る所、湿度や温度が高い所
- 極端に寒い所

また、本機の上に水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

設置場所を変えるときは

BDやDVD、CDを入れたまま本機を動かさないでください。ディスクを傷めることがあります。
配線／接続作業を行うときは本機の電源を切り、本機の電源が切れていることを確認してから電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

結露（露つき）について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。
結露が起きた場合、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。
- 電源プラグをコンセントに差し込んでいない場合
  電源プラグをコンセントに差し込まないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れていない場合
  電源を入れないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れている場合
  電源を入れたまま放置してください。

結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

再生を開始するときは

音量を必ず下げておきましょう。初めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損させたり、ヘッドホンで聞いている場合には耳を傷めるおそれがあります。

映画や音楽を楽しむときは

映画や音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

クリーニングディスクについて

レンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

BDやDVD、CDの取り扱い上のご注意

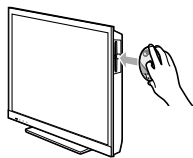
- 再生、録画面に手を触れないように持ちます。

- 直射日光が当る所など温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れ、音質低下、録画やダビングに失敗する原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- 次のようなディスクを使用すると本機の故障の原因となることがあります。
  – 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型、星型など）をしたディスク
  – 紙やシールの貼られたディスク
  – セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク

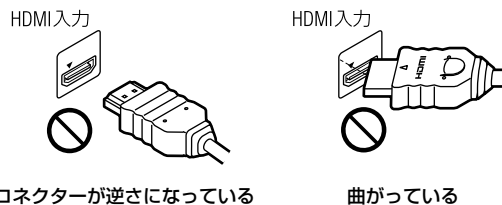
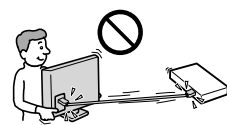
- ディスクにラベル印刷した場合は、印刷が乾いてから再生してください。
- ディスク読み取り面の傷を取るために磨いたり削ったりしないでください。

ディスクの入れかた・取り出しかたについて

- ラベル面を本機前面へ、両面ディスクの場合は再生／コピーしたい側を本機後面へ向け、ディスクを入れてください。

- ディスクを取り出す際、ディスクスロットからディスクが出ているときに、本機画面の向きを調整しないでください。ディスクが落下して破損し、けがの原因となることがあります。
- 本機からディスクがはみ出た状態のままの場合、機能によっては動作しなかったり、ディスクスロットにゴミなどが入りディスクドライブの寿命が短くなる可能性があります。必ず、本機から抜き取ってください。
- **ディスクスロットにディスク以外の異物を挿入しないようご注意ください。故障の原因となることがあります。**
- ディスクを無理に手で押し込んだり、無理に手で引っぱり出したりしないでください。故障の原因になります。
- 8cm CD/DVDはディスク挿入口の真ん中からまっすぐ挿入してください。
- ディスクをディスクスロットに一度に2枚以上挿入すると、故障の原因となります。ディスクを入れるときは、ディスクスロットの中に他のディスクが入っていないか確認してから挿入してください。
- 8cm ディスクはアダプターを付けずに、入れてください。

HDMI入力端子につなぐときのご注意

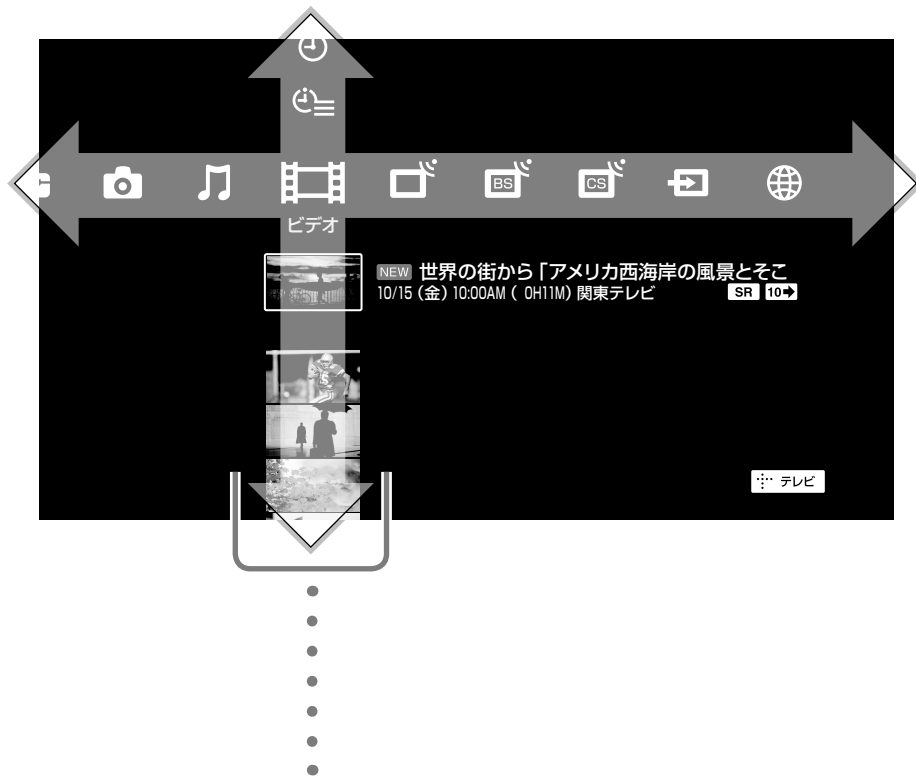
次のような場合、HDMI入力端子やコネクターを破損させるおそれがありますのでご注意ください。

- ケーブルを差し込むときは、本体後面のHDMI入力端子とコネクターの形や向きに注意してください。

- 本機を移動させるときは、必ずHDMIケーブルを抜いてください。

- HDMIケーブルを抜き差しするときは、コネクターをまっすぐ持ってください。コネクターをねじ曲げたり、HDMI入力端子に強く押しこんだりしないでください。

本書の記載について

- 本書では、KDL-46HX65R/40HX65R/32HX65Rの3機種について説明しています。
- 本書では、「ハードディスク」のことを「ハードディスク」または「HDD」、「ブルーレイディスク」のことを「BD」と記載しています。
- 本書中の《　》内の項目はボタン名、[　]内の項目は画面上に表示される項目です。
- 本書記載のサービスや問い合わせ先、別売アクセサリー、接続機器については、2012年1月現在のものです。
- 全機種共通の機能を説明する場合、本書では、KDL-40HX65Rのイラストを使っています。本書で使われている画面イラストと、実際に表示される画面は異なることがあります。
- 本書で使われている画面イラスト内の番組名は一例であり、実際の放送局での放送内容や実際の人物、地名などと関係ありません。
- 放送やネットワークのサービス事業者が提供するサービス内容は、変更・中止される場合がありますが、ソニーは一切の責任を負わないものとします。

ホームメニューを使ってみよう

リモコン（146ページ）の《ホーム》ボタンを押すと表示されるホームメニューでは、できることが盛りだくさん。特に、［ビデオ］カテゴリーの列には、本機を使う上で便利なことがいっぱい。

たったの3ステップ！

1 《ホーム》ボタンを押す。

2 ←→でカテゴリーを選ぶ。

3 ↑↓で操作したい機能や見たい映像を選び、《決定》ボタンを押す。

よく使うボタン

《戻る》ボタン
前の画面に戻ります。

《オプション》ボタン
そのときできることをメニュー表示します。

ビデオカテゴリーでできること

ビデオ

番組を録画予約する

［録画予約］のアイコンを選び、《決定》ボタンを押すと録画予約できます（30ページ）。

録画予約の確認や修正をする

［予約確認］のアイコンを選び、《決定》ボタンを押すと確認・修正できます（37ページ）。

録画した番組を見る

画像付きのタイトルを選び、《決定》ボタンを押すだけで再生できます（49ページ）。

- ディスクの映像を見る（50ページ）。
- 録画した映像を持ち出して楽しむ（80ページ）。
- 映像を取り込んで楽しむ（88ページ）。
- ビデオテープの映像を取り込んで楽しむ（94ページ）。
- 本機と外付けUSBハードディスク間で映像をコピーする（78ページ）。
- 映像をディスクに残す（71ページ）。
- おまかせ録画するための設定をする（42ページ）。

ちょっと一言

- 接続機器の設定画面が表示されるときは、リモコンの《リンクメニュー》ボタン＞［テレビの操作］＞［ホーム（メニュー）］を選ぶか、［リモコン操作ボタン設定］（122ページ）で設定を変更してください。

番組表を使ってみよう

リモコン(146ページ)の《番組表》ボタンを押すと表示される番組表では、新聞の代わりに1週間先の番組をらくらく探せます。

全体情報エリア
(放送サービス、放送局、放送日、現在時刻など)

操作情報エリア
(カラーボタンやオプションなど、便利なショートカットボタン)

番組表でできること

録画予約する

録画したい番組を選び、《決定》ボタンを押します(34ページ)。

探す

《緑》ボタンでチャンネル別の週間番組表にしたり、《10秒戻し／ 15秒送り》ボタンでページを送ったりして探せます。

もっと探す

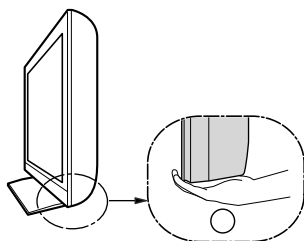
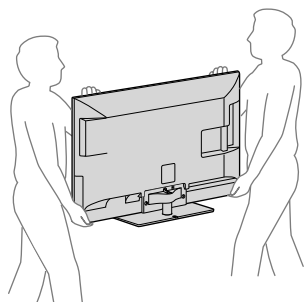
《オプション》ボタンを押すと、[番組検索]もできます。
好きなタレントが出ている番組もキーワードで絞り込んで探せるので便利です。

見る

放送中の見たい番組を《決定》ボタンで選び、[選局する]ことができます。

本機の持ち運びかた

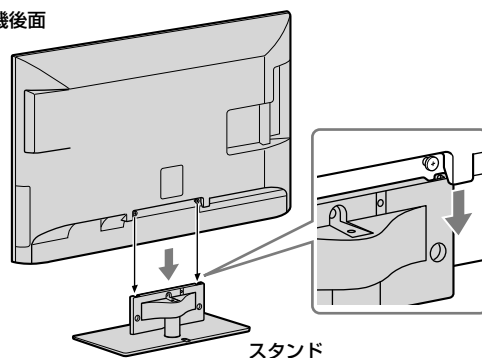
正しい方法で運搬／移動する

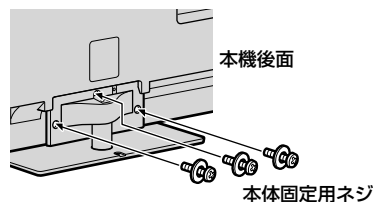
誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。
大型テレビは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。
テレビの底面を持つときは、イラストのようにしっかりと持ってください。
運ぶときには、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。
特に、液晶画面を押さえたり、強い力が加わるような持ちかたをしないでください。
本機を運ぶときは、本機に接続されているケーブルなどをすべてはずしてください。
修理や引越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。

スタンドの付けかた／はずしかた

スタンドの付けかた

取り付ける前に、付属のネジにあったドライバーをご用意ください。
別紙のスタンド取付手順書をご覧になり、あらかじめスタンドを組み立ててください。

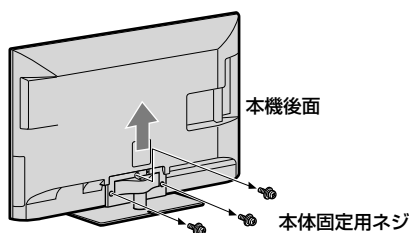
1 本体をスタンド（付属）に載せる。

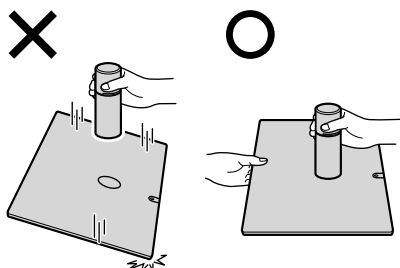
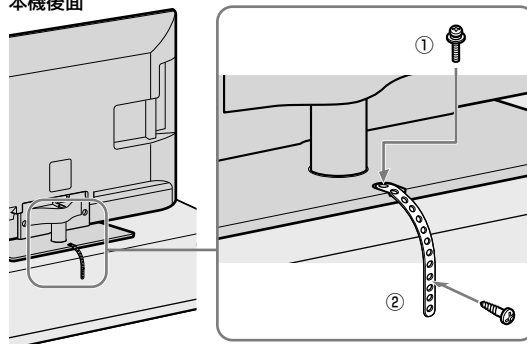
必ず２人以上で行ってください。
片方の手で底面を持ち、もう片方の手で本体上部を支えてください。

2 ⬆ の位置で本体固定用ネジ（付属）を締め、スタンドを固定する。

電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約1.5N·m {15kgf·cm} に設定してください。

転倒防止の処置をする

スタンドのはずしかた

別売りのフロアスタンドを使うときや本機を壁に掛けるときは、スタンドをはずしてください。

⬆ の位置の本体固定用ネジをはずす。

ご注意

- 液晶画面を下にして置かないでください。
- 取りはずしたスタンドのネジは、フロアスタンドや壁掛けユニットの取り付けに使用しないでください。
- 取りはずしたスタンドは、大切に保管してください。フロアスタンドや壁掛けから、付属のスタンドに戻す場合に、スタンドを個別に購入することはできません。
- スタンドを運ぶときは、ネック部分だけを持たないでください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。

① 転倒防止用ベルト（付属）をスタンドに取付用ネジ（付属）でしっかりと留める。
② テレビ台などに木ネジ（付属）などでしっかりと留める。

ご注意

- 転倒防止の処置をしないと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。
- テレビ台の種類により、付属の木ネジが使用できないときや、強度が充分とれないときには、お買い上げ店や工事店にご相談のうえ、市販のネジ（直径3 ～ 4mm）をご使用ください。

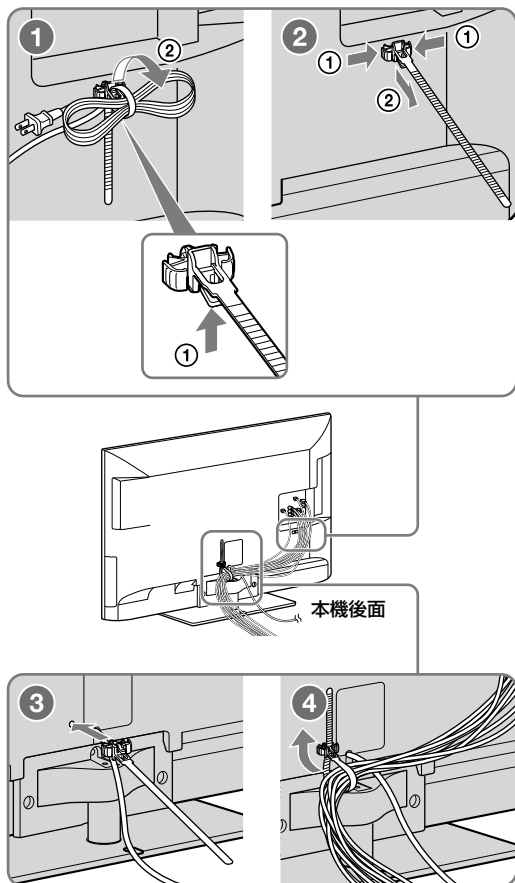
ケーブルをまとめる

本機後面に付いているワイヤークランパーを取りはずした後、ワイヤークランパーを付け替えてケーブルをまとめます。

❶ ワイヤークランパーから電源コードをほどく。

❷ ワイヤークランパーをはずす。

❸ ワイヤークランパーを取り付ける。

❹ ケーブルをまとめる。

ご注意

- 電源コードはまとめないでください。

テレビ番組を見る／つないだ機器の映像を見る

この印のある項目はらくらくスタートガイドでも紹介しています。

これらの情報はWebでもご覧いただけます

パソコン：
スマートフォン：

http://www.sony.jp/support/tv/

テレビ番組を見たい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- アンテナをつなぎ、かんたん初期設定でチャンネル設定まで行う（らくらくスタートガイドをご覧ください）。
- 付属のリモコンを準備する（らくらくスタートガイド「初期設定の準備をする」（7ページ））。

ホームメニューを使う

1 チャンネルを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

［地デジ］／［BS］／［CS］＞チャンネルを選び、《決定》ボタンを押します。

2 放送を選ぶ。

《地デジ》ボタン／《BS》ボタン／《CS》ボタンを押し、放送を選びます。

3 番組を選ぶ。

現在放送中の番組を選び、《決定》ボタンを押します。

［選局する］を選び、《決定》ボタンを押します。

番組表を使う

1 番組表を表示する。

《番組表》ボタンを押します。

ご注意

- 番組表の一部が表示されない場合は、表示されない放送局をしばらく視聴すると表示されます。これは、初めてご使用になるときや、数日間本機の電源コードを抜いていた場合に起こります。
- 番組表に何も表示されない場合は、アンテナケーブルの接続端子を確認してください（103ページ）。
  – 地上デジタルとBS/110度CSを間違えていませんか？

リモコンの数字ボタンを使う

1 放送を選ぶ。

《地デジ》ボタン／《BS》ボタン／《CS》ボタンを押し、放送を選びます。

2 チャンネルを選ぶ。

数字ボタンでチャンネルを選ぶ場合

番組視聴中に数字ボタンや《チャンネル＋／－》ボタンを押します。

[1 あ .@/] [2 か ABC] [3 さ DEF]
[4 た GHI] [5 な JKL] [6 は MNO]
[7 ま PQRS] [8 や TUV] [9 ら WXYZ]
[10 /0 小文字] [11 /枝番 わをん 記号] [12 /選局 確定]

または

チャンネル ＋ － CH

数字ボタンに登録されているチャンネルに切り換える。

チャンネルを順送りで切り換える。

チャンネル番号を入力する場合

チャンネル番号を入力して選ぶときは、次のように入力します。

例：011CH（地上デジタル放送）の場合

10キー → [10 /0 小文字] → [1 あ .@/] → [1 あ .@/] → [12 /選局 確定]

例：011$_2$CHの場合（「2」は枝番を表す）

10キー → [10 /0 小文字] → [1 あ .@/] → [1 あ .@/] → [11 /枝番 わをん 記号] → [2 か ABC] → [12 /選局 確定]

二か国語放送／字幕付きの番組を見たい

ラジオやデータ放送の番組を選ぶ

画像や連動したデータを楽しめます。ネットワークを使うサービスを利用するときは、あらかじめ接続と設定を済ませてください（108、124ページ）。

ラジオやデータ放送の場合
ホームメニューからチャンネルを選びます。
さまざまなニュースや情報を見たり、クイズやゲームなど双方向サービスを楽しめたりします。

連動データ放送の場合
番組視聴中に*d*《連動データ》ボタンを押します。
視聴中の番組に連動データ放送がない場合は、何も表示されません。

以下のことはできません

- ラジオ放送、データ放送や連動データ放送を録画すること。

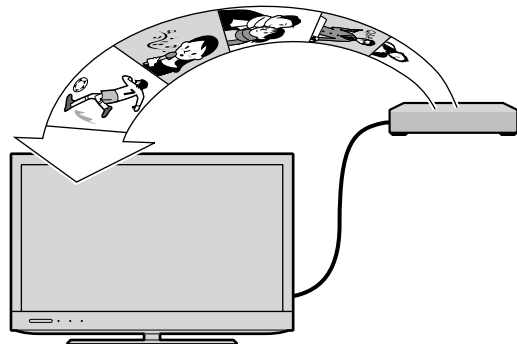
音声を切り換えるには

番組視聴中に《音声切換》ボタンを押します。
番組によっては押すたびに音声信号が切り換わります。
チャンネルを切り換えたときは、第1音声に切り換わります。

字幕を切り換えるには

番組視聴中に《字幕》ボタンを押します。
番組によっては押すたびに字幕放送の字幕言語が切り換わります。

ケーブルテレビや外部チューナーの番組を見たい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- CATVチューナーやスカパー！のチューナーをつなぐ（107ページ）。

1 外部チューナーの電源を入れる。

2 入力を切り換える。

本機のリモコンの《入力切換》ボタンをくり返し押して、つないでいる入力端子を選びます。

本機のビデオ入力につないだ機器の映像に切り換わります。

ちょっと一言
- ビデオ入力：ゲーム機の映像を表示する場合など、映像遅延が気になる場合にお使いください。ビデオ入力では録画できません。
- 外部録画入力：録画する場合に使用します。

3 チャンネルを選ぶ。

外部チューナーのリモコンで、チャンネルを切り換えることができます。

詳しくは、お使いのチューナーの取扱説明書をご覧ください。

つないだ機器の映像を見たい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- 機器をつなぐ（105、107ページ）。

1 入力の種類を選ぶ。

本機のリモコンの《入力切換》ボタンをくり返し押して、つないでいる入力端子を選びます。

ちょっと一言
- ホームメニューの[外部入力]から選ぶこともできます。
- HDMI機器制御に対応している機器をつないでいるとき、本機のリモコンでつないでいる機器を操作できます（122ページ）。

パソコンの画像をテレビに映す

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- パソコンをつなぐ（111ページ）。

1 パソコンの入力を選ぶ。

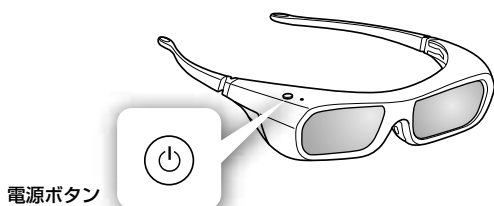
本機のリモコンの《入力切換》ボタンをくり返し押して、[PC]または[HDMI]の各入力を選びます。

ちょっと一言
- パソコン側で外部出力設定をしてください。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

3Dのテレビ番組を見たい

あらかじめ、次のことをしてください。
- 3Dメガネを人数分用意する（23ページ）。

放送局側で3D信号が付けられた番組は、視聴時に自動的に3D表示に切り換わり、画面上に3Dアイコンが表示されます。詳しくは、「録画した3D番組を再生したい」（49ページ）の手順1をご覧ください。
ディスクに録画した3D番組や3Dの映像の再生については、「3Dの映像やBlu-ray 3Dディスクを再生したい」（50ページ）をご覧ください。

1 3Dメガネの電源を入れ、3Dのテレビ番組を視聴する。

ちょっと一言
- 別売りの3Dメガネを使えば同時に複数の人数で3D映像を楽しめます。
- 本機が対応している3Dメガネは、TDG-BR250/BR100/BR50です。
- 3Dメガネの電源ボタンの位置は、3Dメガネに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ［モーションフロー］を［切］以外に設定しているときは、画面のちらつきを抑える映像処理を行っているため、映像がスムーズでなくなることがあります。その場合、［モーションフロー］を［切］にすると入力信号本来の映像になります。

自動的に3D表示に切り換わらないときは

1 《3D》ボタンを押す。
［3Dメニュー］が表示されます。

2 《3D》ボタンをくり返し押して、［3D表示］を切り換える。
［シミュレーテッド3D］：通常の2D映像を3D映像に変換して表示します。
［左右分割方式］：左右に分割された映像を3Dで表示します。
［上下分割方式］：上下に分割された映像を3Dで表示します。
［切］：3Dで表示しません。

3 《戻る》ボタンを押す。
［3Dメニュー］が消えます。

ちょっと一言
- 映像によっては［シミュレーテッド3D］の効果が出にくいことがあります。
- 3Dの見えかたには個人差があります。
- ［シミュレーテッド3D］は1時間後に自動的に2D表示に戻ります。

3D映像を2Dで見る

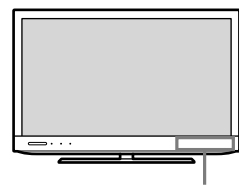
1 《3D》ボタンを押す。
［3Dメニュー］が表示されます。

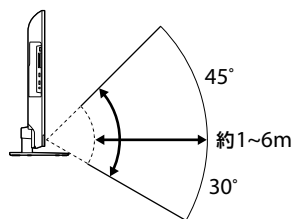
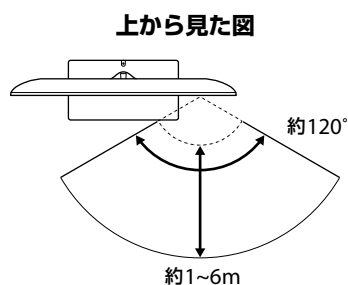
2 《3D》ボタンをくり返し押して、［3D表示］を［切］にする。

3 《戻る》ボタンを押す。
［3Dメニュー］が消えます。

ちょっと一言
- 3D信号を検出すると自動的に3Dに切り換わります。
- 自動で3Dに切り換えたくないときは、［自動3D表示］を［切］に設定してください。《ホーム》ボタンを押して、次のように選びます。
［映像設定］＞［自動3D表示］＞［切］

3Dシンクロトランスミッターと3Dメガネの通信範囲

3Dシンクロトランスミッターと3Dメガネの通信範囲は図のとおりです。より効果的な3D映像をご覧になるには、3Dシンクロトランスミッターの通信範囲内で視聴してください。

横から見た図

上から見た図

ご注意

- 角度と距離は、部屋の環境やテレビの設置状況によって異なります。
- 3Dシンクロトランスミッターの前に物を置くと、正しく機能しないことがあります。
- 赤外線機器が近くにあると、3Dシンクロトランスミッターからの信号を3Dメガネでうまく受信できないことがあります。

3Dメニューを使う

[3Dメニュー]で次の項目を設定できます。
《3D》ボタンを押して、設定項目を選び、設定する。

項目	できること
3D表示	**3D方式の映像が表示されているとき:** 3Dと2Dを切り換えます。 **3D方式ではない映像が表示されているとき:** [シミュレーテッド3D]:通常の2D映像を3D映像に変換して表示します。 [左右分割方式]:映像が左右に分割されて、同じような映像が左右に並んで表示されている映像を3D視聴できる設定です。 [上下分割方式]:映像が上下に分割されて、同じような映像が上下に並んで表示されている映像を3D視聴できる設定です。
3D奥行き調整	画面上の3D映像の奥行きを調整します。 **ちょっと一言** • 3D信号を含む3Dコンテンツでのみ調整できます。 • 通常は[0]がおすすめです。 • 設定によっては、3Dとして見えにくくなります。
シミュレーテッド3D効果	2Dコンテンツを3Dに変換しているときの3D効果を調整します。
3Dメガネ明るさ	3Dメガネで見る画面の明るさを調整します。 **ちょっと一言** • [オート]を選ぶと、[画質モード]の設定に連動して自動で調整します。

画質・音質を設定する

この印のある項目はらくらくスタートガイドでも紹介しています。

これらの情報はWebでもご覧いただけます

パソコン：
スマートフォン：

http://www.sony.jp/support/tv/

映像に合わせて自動的に画質／音質を調整したい

シーンセレクト

《シーンセレクト》ボタンを押して、各設定項目を選ぶと、最適な画質･音質になります。

ご注意

- [フォト]はHDMIまたはコンポーネント入力時は1080i/p(60Hz)フォーマットのときのみ有効です。ビデオまたはPC入力時は無効です。

項目	できること
オート	• 視聴している内容に連動して、[シーンセレクト]の設定を自動で切り換えます。デジタル放送視聴中は番組表のジャンル情報と連動して、[シネマ]、[スポーツ]、[ミュージック]、[アニメ]に切り換わります。HDMI入力のときは、つないだ機器からの情報によって、自動で切り換わることがあります。
シーンセレクト切	• [シーンセレクト]の設定を無効にします。
シネマ	• 映画館のような臨場感あふれる画質･音質になります。
スポーツ	• スポーツ観戦に適した画質･音質になります。
ミュージック	• ホールなどで音楽を聴くような臨場感あふれる音場で楽しむことができます。
アニメ	• アニメに適した画質になります。
フォト	• 写真鑑賞に適した画質になります。
ゲーム	• ゲームに適した画質･音質になります。
グラフィックス	• 文字や表などを見るのに適した画質になります。

画質を調整したい

1 画質設定画面を表示する。

《オプション》ボタンを押します。

[画質･映像設定]＞[画質]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 設定する。

設定したい項目を選び、《決定》ボタンを押します。

項目	できること
設定対象	• 共通：対応する画質モードがある入力映像に共通の設定をします。 • 現在の入力のみ：選んでいる入力映像に対して個別に設定します。
画質モード	• ダイナミック：映像の輪郭とコントラストを重視した鮮やかな映像にします。 • スタンダード：ご家庭でのご使用に合わせ、自然さを重視した標準的な映像にします。通常は[スタンダード]がおすすめです。 • カスタム：オリジナルの映像をお好みに合わせて細かく調整します。 • シネマ1：映画スタジオでの編集環境に準じた映像にします。 • シネマ2：ご家庭で映画を鑑賞するのに適した映像にします。 • スポーツ：スポーツ番組に適した画質にします。 • アニメ：アニメに適した画質になります。 • フォト-ダイナミック：フォト専用に映像の輪郭、コントラスト、色を重視した鮮やかな映像にします。 • フォト-スタンダード：フォト専用に自然さを重視した標準的な映像にします。 • フォト-オリジナル：フォト専用に温かみのある映像にします。 • フォト-カスタム：フォト専用にオリジナルの映像を好みに合わせて細かく調整します。 • ゲーム-スタンダード：ゲーム専用に自然さを重視した標準的な映像にします。 • ゲーム-オリジナル：ゲーム専用にオリジナルの映像を好みに合わせて細かく調整します。 • グラフィックス：文字や表などを見るのに適した画質にします。 **ご注意** • [画質モード]は選択した[シーンセレクト]の項目によって選択できる画質が異なります。
標準に戻す	[はい]を選ぶと、[画質]の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。

項目	できること
バックライト	調整バーを左に動かすとバックライトが暗くなり、右に動かすと明るくなります。
ピクチャー	調整バーを左に動かすと明暗の差が小さくなり、右に動かすと大きくなります。
明るさ	調整バーを左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。
色の濃さ	調整バーを左に動かすと色が薄くなり、右に動かすと濃くなります。
色あい	調整バーを左に動かすと色が赤みがかり、右に動かすと緑がかります。
色温度	画像の白の色あいを調整します（高／中／低1 ／低2）。 高い温度ほど青みがかった色調になり、低い温度ほど赤みがかった色調になります。 [低1]と[低2]は[画質モード]で[ダイナミック]、[フォト-ダイナミック]以外を選んだときのみ設定できます。
シャープネス	調整バーを左に動かすと映像の輪郭が柔らかくなり、右に動かすとはっきりとします。
ノイズリダクション	• 強／中／弱：ノイズの多さに応じて、強さを選び、映像のざらつきや色ノイズを軽減します。 • オート：画像のノイズを自動で軽減します。 • 切：ノイズ処理していないオリジナル映像信号にします。映像のざらつきや色ノイズが強調されたり、色にじみが出ることがあります。
MPEGノイズリダクション	デジタル特有のモスキートノイズやブロックノイズを低減します（強／中／弱／オート／切）。
ドットノイズリダクション	• オート：画面上で輪郭周辺に発生する点状のノイズを自動で軽減します。 • 切：[ドットノイズリダクション]をオフにします。

項目	できること
モーションフロー	スポーツなどの動きが速い映像の残像感を減らし、映画などの動きを滑らかにします。 • スムーズ：映画などの動きを滑らかにします。 • 標準：動きが滑らかな標準的な映像にします。 • クリア：明るさは保ちつつ、動きの速い映像のぼやけを軽減します。 • クリアプラス：動きの速い映像のぼやけを軽減します。 • 切：[スムーズ]や[標準]、[クリア]、[クリアプラス]に設定してもノイズが残る場合は、この設定を選んでください。 **ご注意** • 映像により、設定を変更しても効果が表れない場合があります。
シネマドライブ	• オート1：映画などのフィルム映像が、原画より滑らかな動きになります。通常は[オート1]のままお使いください。 • オート2：映画フィルム映像をより原画に忠実な映像に再現します。 • 切：[オート1]または[オート2]にしていて輪郭がギザギザして見えるときに選んでください。 **ご注意** • 映像に不正信号があったりノイズが多すぎる場合は、[オート1]や[オート2]が設定されていてもこの設定は自動的に[切]になります。

項目	できること
詳細設定	[画質モード]で[ダイナミック]、[フォト-ダイナミック]以外を選ぶと設定できます。 • 標準に戻す：[はい]を選ぶと、[詳細設定]の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。 • 黒補正：好みに合わせて、黒を強調してコントラストを強くします（強／中／弱／切）。 • アドバンスト C.E.：映像の明るさを判別し、コントラストを自動で調整します（強／中／弱／切）。特に、黒つぶれしやすい暗いシーンで効果があり、細部まで表現力豊かに再現します。 • ガンマ補正：調整バーを左右に動かして、映像の明暗のバランスを調整します。 • オートライトリミッター：明るいシーンで画面のまぶしさを抑えます（強／中／弱／切）。 • クリアホワイト：好みに合わせて、白の鮮明さを強調します（強／弱／切）。 • ライブカラー：好みに合わせて、色の鮮やかさを強調します（強／中／弱／切）。 • 色温度調整 －標準に戻す：[色温度調整]をお買い上げ時の設定に戻します。 －Rゲイン／ Gゲイン／ Bゲイン／ Rバイアス／ Gバイアス／ Bバイアス：色温度を色ごとに細かく調整します。 • ディテールエンハンサー：映像の細部を強調します（強／中／弱／切）。 • エッジエンハンサー：映像の輪郭を強調します（強／中／弱／切）。 • i/p変換モード：画質と表示速度のどちらを優先するか設定します。[速度優先]を選ぶとゲームコントローラーやマウスの動作と映像や音声がずれるのを低減します。 **ご注意** • プログレッシブ信号のときは[i/p変換モード]で[速度優先]を選んでも効果は得られません。

音質を調整したい

1 音質設定画面を表示する。

《オプション》ボタンを押します。

[音質・音声設定]＞[音質]を選び、《決定》ボタンを押します。

[音声設定]の[スピーカー出力]が[オーディオシステム]に設定されているときは、調整できません。

2 設定する。

設定したい項目を選び、《決定》ボタンを押します。

項目	できること
設定対象	• 共通：すべての入力音声に共通の設定をします。 • 現在の入力のみ：選んでいる入力音声に対して個別に設定します。
音質モード	• ダイナミック：低音と高音を強調して、メリハリのきいた明瞭感のある音にします。 • スタンダード：全音域がバランスよく自然に広がる音にします。 • クリアボイス：背景音を抑えて、話しことばを聞き取りやすくします。
標準に戻す	[はい]を選ぶと、[音質]の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。
高音	調整バーを左に動かすと高音部分が弱くなり、右に動かすと強くなります。
低音	調整バーを左に動かすと低音部分が弱くなり、右に動かすと強くなります。
バランス	調整バーを左に動かすと左側の音が大きくなり、右に動かすと右側の音が大きくなります。
サラウンド	• S-FORCE Front Surround：臨場感のある音を再現します。 • シネマ：映画館のような臨場感あふれる音場で楽しむことができます。 • スポーツ：スポーツをライブ観戦しているような臨場感あふれる音場で楽しむことができます。 • ミュージック：ホールなどで音楽を聞くような臨場感あふれる音場で楽しむことができます。 • ゲーム：ゲームに適した音声になります。 • 切：[サラウンド]をオフにします。 **ご注意** • サラウンド効果を得るためには、[サラウンド]を設定する前に、[シーンセレクト]の設定項目を目的の番組に合わせて選んでください。 ドルビーデジタルのマルチチャンネル音声を聞いている途中で[サラウンド]設定を変更した場合、音声は途切れます。

項目	できること
S-Force Front Surround 3D	3Dの立体感のある音声になります（オート／入／切）。 **ご注意** • ［サラウンド］が［切］の場合、効果は得られません。
サウンドエンハンサー	高音域を補正して明瞭感にあふれた聴き取りやすい音を再現します。
アドバンスト自動音量調整	［入］を選ぶと、放送･入力信号の音量変化に合わせて、音量を自動補正します。CM の音量が番組の音量より大きいときなどに有効です。
音量レベル	音の大きさが気になるときに調整します。 調整バーを左に動かすと他の入力より音が小さくなり、右に動かすと他の入力より音が大きくなります。 ［設定対象］で［共通］を選んだときは、調整できません。

録画する

これらの情報はWebでもご覧いただけます

パソコン:
スマートフォン:

http://www.sony.jp/support/tv/

録画できるディスク／ハードディスクの種類

録画できるディスク／ハードディスクの種類

本機のハードディスクとBD-RE、BD-R、外付けUSBハードディスクに録画できます。
BDに録画した場合は、他のBD機器でも再生できます。

BD-RE
Ver.2.1（1層／ DL 2層）、Ver.3.0（XL 3層）に対応した2倍速メディアまで。
BD-R
Ver.1.1/1.2/1.3（1層／ DL 2層）に対応した6倍速メディア、Ver.2.0（XL 3層／ XL 4層）に対応した4倍速メディアまで。

ご注意

- DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rに録画した場合、MPEG-4 AVC方式の映像再生に対応したレコーダーやプレーヤーでのみ再生できます。BD-RE XL（3層）／ BD-R XL（3層／ 4層）は、BD-RE XL（3層）／ BD-R XL（3層／ 4層）に対応したBD機器で再生できます。
- デジタル放送などコピー制限付きの番組をBDに直接録画した場合、タイトルには 1➡ が付き、本機のハードディスクに1回移動（ムーブバック）できます（77ページ）。

BDに直接録画したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- BDを用意する。「コピーできるディスク／映像の種類」（69ページ）もあわせてご覧ください。

☞次のページも参考にしてください。
- ディスクの空き容量を確認したい（37ページ）。

録画予約時のみ、BDに直接録画できます。

1 ディスクを入れ、録画先を設定する。
録画予約設定画面（34、41ページ）で[録画先]＞[BD]に設定してください。

以下のことはできません

- BDに次の録画をすること。
  – おまかせ録画。
  – LAN経由のCATV録画／「スカパー！ HD録画」。
  – 2番組同時録画。

DVDに直接録画したい

DVDには直接録画できません。ハードディスクに録画してからダビングしてください（34、72ページ）。

外付けUSBハードディスクに直接録画したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- 外付けUSBハードディスクを本機につなぐ（112ページ）。
- [USB HDD登録]で外付けUSBハードディスクを登録する（122ページ）。

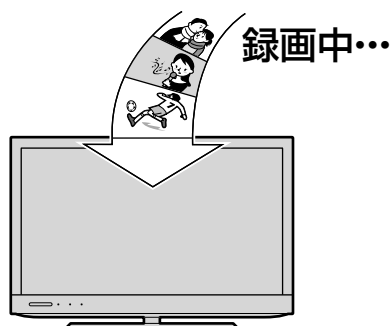
☞次のページも参考にしてください。
- 外付けUSBハードディスクの空き容量を確認したい（37ページ）。

あらかじめ[設定]＞[ビデオ設定]＞[予約録画「録画先」初期値]＞[USB HDD]に設定しておくと（119ページ）、録画予約のたびに選ばなくても録画できます。録画予約時に設定するには録画予約設定画面（34、41ページ）で[録画先]＞[USB]に設定してください。

以下のことはできません

- 外付けUSBハードディスクに次の録画をすること。
  – おまかせ録画。
  – LAN経由のCATV録画／「スカパー！ HD録画」。
  – 2番組同時録画。

録画の前にお読みください

録画中の操作制限

インターネットサービスの利用　おでかけ転送（高速以外）　ディスクダビング

録画中は次の操作はできません。

- 記録モードを変更してダビング。
- 録画中の番組の編集。
- おでかけ転送（高速以外）／転送用動画ファイルの作成。
- 思い出ディスクダビング。
- x-Pict Story HD。
- まるごとDVDコピー。
- インターネットサービスの利用。

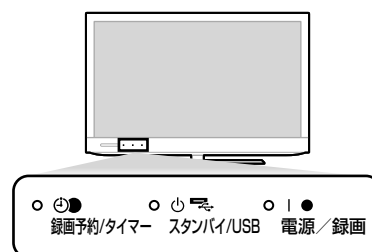
録画の種類	できないこと
2番組同時録画中	• 他のチャンネルを視聴すること。 • おでかけ転送／おかえり転送。 • VHSダビング。 • 外部録画入力を視聴すること。
BDに録画中	• BDやDVDの再生、編集、ダビング。 • ディスクのフォト再生／取り込み。
外付けUSBハードディスクに録画中	• HDD⇔USB HDDダビング。
LAN経由のCATV録画／「スカパー！ HD録画」中	• BD-ROMの再生。 • ホームサーバー機能での映像（タイトル）出力。
外部入力録画中	• VHSダビング。

録画を始めるとき、録画中のランプ、録画を途中で止めるとき

録画を始めるとき

電源「切」の状態でも、録画開始時刻になると録画を行います。

録画中のランプ

次のランプが点灯します。

ランプ（録画予約/タイマー）

録画予約した番組が1件以上あるとき、オンタイマー･スリープタイマーが設定されているときにオレンジ色に点灯します。

ランプ（スタンバイ/USB）

ワンタッチ転送やカメラ取り込みのためのUSB機器を認識したときにオレンジ色に点灯します。

I ● ランプ

本機で録画しているとき、ダビングしているとき、アクトビラなどのインターネットサービスからの映像をダウンロードしているとき（47ページ）に赤色に点灯します。

ちょっと一言

- ランプが点滅しているときは、143ページをご覧ください。
- 録画を優先するため、リモコン操作などが一時的に遅くなることがあります。

ご注意

- 「スタンバイ時ランプ表示」を「消灯」に設定していると電源「切」の状態では録画中のランプが点灯しません（121ページ）。

録画を途中で止めるとき

■《停止》ボタンを押します。

録画する番組などに合わせて録画モードを設定したい

☞次のページも参考にしてください。
- 録画モードと録画／ダビング可能時間（153ページ）。

「番組表から録画予約するときに、細かい設定もしたい（詳細設定）」（34ページ）の手順3の［モード］で設定します。

DRモード

ハイビジョンの番組や二か国語放送、字幕付きの番組をそのまま録画できます。
二か国語放送や字幕付きの番組も再生時に切り換えできるようになり、便利です。

項目	記録できる内容
デジタル放送の映像	映像1。
画質	ハイビジョン（HD）／スタンダード（SD）画質／混在。
横縦比（映像サイズ）	16:9 ／ 4:3 ／混在。
外部入力からの録画	録画不可。
デジタル放送の音声（第1 ／第2）	すべての音声。
字幕	字幕データ（再生時に入／切可）。
二か国語放送	二重音声データ（36ページ）。

DRモード以外

外部チューナーからの録画や、容量をおさえて録画したいときに選びます。
画質は劣りますが、より多くの番組を録画できて便利です。

項目	記録できる内容
デジタル放送の映像	［詳細設定］（35ページ）で選んだ映像。
画質	ハイビジョン（HD）／スタンダード（SD）画質。
横縦比（映像サイズ）	16:9 ／ 4:3。
外部入力からの録画	録画可。
デジタル放送の音声（第1 ／第2）	［詳細設定］（35ページ）で選んだ音声。
字幕	録画不可。
二か国語放送	［二重音声記録］で選んだ音声（36ページ）。

ご注意
- DRモードでの録画は、放送により転送レートが異なるため、録画した時間の長さが同じでも、放送局や番組によっては、録画後の容量が異なります。タイトルによっては、DR以外のモードで録画したタイトルよりも、容量が少なくなることがあります。

以下のことはできません
- データ放送や、BS/110度CSデジタル放送のラジオ放送を録画すること。

録画モードを変更したい

いま見ている番組を録画するには
番組視聴中に、オプションメニューから［録画モード］＞変更したい録画モードを選びます。

録画予約した番組の録画モードを変更するには
「録画予約状況を確認／修正／取り消したい」（37ページ）の手順2で、［モード］＞変更したい録画モードを選んでください。

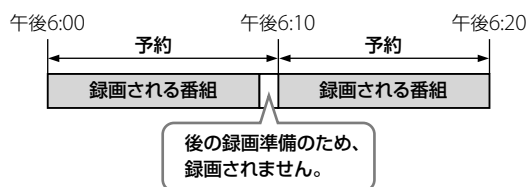
ご注意
- LAN経由のCATV録画 ／「スカパー！ HD録画」では、録画モードはDRのみとなり、変更できません。

録画が重なったときに優先順位を変更したい

予約リスト（37ページ）で ▭ が表示されている番組を選び、《オプション》ボタンを押します。［優先変更］＞［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。

優先順位を変更した後、《緑》ボタンを押して表示を優先順に変更すると、予約リストの上に表示されます。

連続した番組を録画するときの制限

前の録画予約の終了時刻と後の録画予約の開始時刻が同じ場合、後の録画予約番組を最初から録画するため、前の録画予約は終了予定時刻より早く録画停止します。

- 後の録画予約の開始時刻に他の番組が録画されている場合。

録画予約が連続しているかを確認するには

「録画予約状況を確認／修正／取り消したい」（37ページ）の手順で確認できます。

録画する

番組表から録画予約したい

番組表から録画予約したい（一発予約）

1 番組表（15ページ）を表示する。

《番組表》ボタンを押します。

《地デジ》ボタン／《BS》ボタン／《CS》ボタンのどれかを押します。

ご注意

- 番組表の一部が表示されない場合は、表示されない放送局をしばらく視聴すると表示されます。これは、初めてお使いになるときや、数日間本機の電源コードを抜いていた場合に起こります。

2 録画したい番組を選ぶ。

番組を選び、《決定》ボタンを押します。

一発予約するには

《決定》ボタンの代わりに●《録画》ボタンを押します。選んだ番組を録画予約でき、手順3、4の操作は不要です。

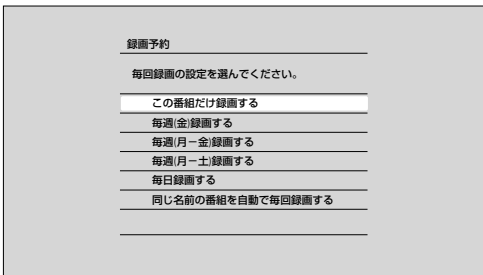
録画モードを変更したことがある場合は、前回設定したモードで録画されます（お買い上げ時の設定は「SRモード」です）。

3 録画予約方法を選ぶ。

［予約する］を選び、《決定》ボタンを押します。

4 毎回録画の条件を設定し、録画予約する。

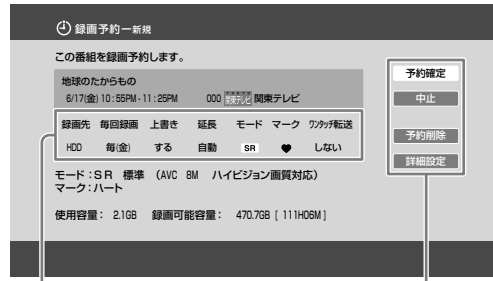
条件を選び、《決定》ボタンを押します。

番組表に ⏻ が表示されます。

番組表から録画予約するときに、細かい設定もしたい（詳細設定）

1 「番組表から録画予約したい（一発予約）」（34ページ）の手順1、2を行う。

2 録画予約方法を選ぶ。

［予約設定へ］を選び、《決定》ボタンを押します。

3 録画の条件を設定する。

設定エリア　　操作ボタンエリア

録画の条件を変更するには

設定エリアで各項目を選び、《決定》ボタンを押します。

項目	できること
録画先	［HDD］本機のハードディスク／［USB］外付けUSBハードディスク／［BD］ブルーレイディスクを選べます。［USB］や［BD］を選ぶと［ワンタッチ転送］は［しない］になります。
毎回録画	定期的に録画する条件を設定できます。
上書き（［録画先］を［HDD］に設定した場合のみ）	［毎回録画］を設定したとき、前回録画した番組（タイトル）を削除した上で新しい回を録画できます。
延長	録画予約の終了時間を最長60分まで延長できます。スポーツ延長対応（35ページ）の設定と組み合わせると最長180分まで延長できます。
モード	録画モードについては「録画モードと録画／ダビング可能時間について」（153ページ）をご覧ください。
マーク（［録画先］を［HDD］／［USB］に設定した場合のみ）	分類用のマークを設定できます。家族やジャンルなどでマーク別に設定しておくと、録画したタイトルをマークごとに分類できて便利です（53ページ）。
ワンタッチ転送（［録画先］を［HDD］に設定した場合のみ）	すばやくおでかけ転送できます（85ページ）。録画後に編集すると、ワンタッチ転送できなくなるのでご注意ください。

予約を取り消すには

操作ボタンエリアで［予約削除］を選び、《決定》ボタンを押します。

録画する映像／音声を変更するには

操作ボタンエリアで[詳細設定]を選び、《決定》ボタンを押します。録画モードが[DR]のときは設定できません。

4 録画予約する。

操作ボタンエリアで[予約確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

番組表に ⏻ が表示されます。

12時間以上の番組を録画したい

12時間を超える番組は連続して録画できません。

1 番組を12時間以内に区切って録画する。

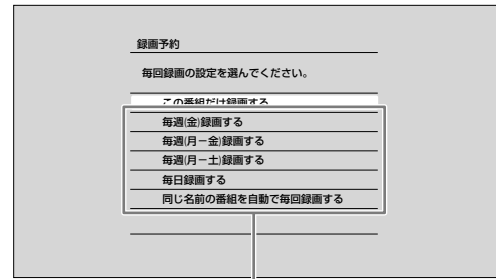
「日時を指定して録画予約したい(日時指定予約)」(41ページ)の手順1 ～ 3を行い、12時間以内になるように[開始時刻]と[終了時刻]を設定してください。

スポーツ中継などの影響で番組開始時間がずれても録画したい(スポーツ延長対応)

スポーツ中継の放送延長のため、予約した番組の放送時刻が変わる可能性がある場合、番組表からの延長時間の情報に基づいて録画します。自動録画された結果、他のチャンネルの予約と重なった場合は、録画予約の優先順位に従います(33ページ)。
番組表に延長時間の情報がないときは、[ビデオ設定]＞[スポーツ延長対応]＞延長する録画時間を設定してください(118ページ)。

毎週／毎日ある番組を全部録画したい

毎週／毎日ある番組を全部録画したい

「番組表から録画予約したい(一発予約)」(34ページ)の手順4で、毎回録画の条件を選びます。

毎回録画の条件

[毎週(月-金)録画する]などの毎回録画の条件を選ぶと

毎日／毎週同じ曜日に録画されます。

[同じ名前の番組を自動で毎回録画する]を選ぶと

同一チャンネル内の番組名を検索して自動で録画する設定です。

初回や最終回だけ放送延長されても最後まで録画したい(番組追跡録画)

連続ドラマの番組を毎回予約したときに最終回だけ放送時間が違っても、番組名を追跡して予約するため、逃さず録画できます。追跡できる範囲は、放送開始予定時刻1時間前から放送終了予定時刻1時間後までです。

1 [番組追跡録画]を設定する。

《ホーム》ボタンを押します。

[設定]＞[ビデオ設定]＞[番組追跡録画]＞[入]を選び、《決定》ボタンを押します。

イベントリレーに対応するには

録画予約設定画面(34ページ)で[延長]を[自動]に設定してください。
放送時間内に終わらなかったときや、延長部分の放送が他のチャンネルで継続されるとき(イベントリレー)でも、本機が自動的に録画して対応します。

ご注意

- 次の場合は、番組の追跡ができず録画されないことがあります。
  - 放送される番組の番組名が変更された場合。
  - 番組名が短い場合。
  - 放送時間が大幅に短くなった場合。

二か国語放送／字幕付きの番組を録画したい

二か国語放送の番組を再生時に音声切換できるように録画したい

番組を「DRモード」で録画してください。
「番組表から録画予約するときに、細かい設定もしたい（詳細設定）」（34ページ）の手順3で、［モード］＞［DR］に設定します。

切り換えできなくても片方の音声だけを記録するには

番組に記録されている音声により、操作が異なります。「番組表から録画予約するときに、細かい設定もしたい（詳細設定）」（34ページ）の手順1で番組を選んだ後、番組説明の音声情報を確認してください。

［二重音声］が表示されるときは
［二重音声記録］（119ページ）で［主音声］や［副音声］のどちらかを選び、DRモード以外で録画します（34ページ）。

［音声1］／［音声2］が表示されるときは
「番組表から録画予約するときに、細かい設定もしたい（詳細設定）」（34ページ）の手順3でDRモード以外の録画モードを選んでください。［詳細設定］で第1音声や第2音声のどちらかを選び、録画します。

字幕付きの番組を再生時に字幕切換できるように録画したい

番組を「DRモード」で録画してください。

複数の番組を同時に録画したい

2つの番組を同時に録画したい（2番組同時録画）

☞次のページも参考にしてください。
• 録画予約/タイマー（）ランプについて（32ページ）。

次の組み合わせで2番組同時録画できます。
- デジタル放送2番組。
- デジタル放送＆外部入力録画。
- デジタル放送＆CATV録画／「スカパー！ HD録画」*1。
- CATV録画／「スカパー！ HD録画」*1＆外部入力録画。
- ハードディスク*2 2番組。
- ハードディスク*2＆BDへの録画。

*1 LAN経由での録画。
*2 外付けUSBハードディスクを含む。

同時録画中は、録画中のチャンネルのみ視聴できます。

ご注意
- BDには1番組のみ録画できます。
- 外付けUSBハードディスクには1番組のみ録画できます。

録画先の空き容量を確認したい

本機のハードディスクの空き容量を確認したい

1 空き容量を確認する。

《ホーム》ボタンを押します。

[ビデオ]＞映像（タイトル）を選び、《オプション》ボタンを押します。

[HDD情報]を選び、《決定》ボタンを押します。

BDの空き容量を確認したい

1 ディスクを入れる。

2 ディスクアイコンを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

[ビデオ]＞ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。

3 空き容量を確認する。

[情報表示]を選び、《決定》ボタンを押します。

外付けUSBハードディスクの空き容量を確認したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。

- 外付けUSBハードディスクを本機につなぐ（112ページ）。
- [USB HDD登録]で外付けUSBハードディスクを登録する（122ページ）。

1 外付けUSBハードディスクを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

[ビデオ]＞外付けUSBハードディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 空き容量を確認する。

[情報表示]を選び、《決定》ボタンを押します。

録画予約状況を確認／修正／取り消したい

予約リストを使って予約の確認や修正、取り消し、重複の確認、優先順位の変更などができます。

1 予約リストを表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[ビデオ]＞[予約確認]＞[予約リスト]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 予約を修正する。

予約を取り消すには

予約リストから番組を選び、《決定》ボタンを押します。

[予約削除]を選び、《決定》ボタンを押します。

修正するには

予約リストから番組を選び、《決定》ボタンを押します。

修正したい項目を選んで修正し、[予約確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

録画中の番組の予約を取り消すには

《オプション》ボタンを押します。

[予約削除]＞[1件削除]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- ソニー製「スカパー！ HD」対応チューナーから録画予約した、視聴年齢制限のある番組は「＊＊＊＊」で表示されます。
- 「スカパー！ HD」対応チューナーで録画予約した番組は、手順2で番組名が表示されないことがあります。録画が完了すると、番組名が表示されるようになります。

ご注意

- 毎回録画の条件を設定している場合、予約リストには1件しか表示されませんが、番組表で実際の予約状況が確認できます。
- 前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合、重複確認画面が表示されることがあります（番組表では同じ時刻で表示されても、実際の放送が数秒重複している場合）。
- 他の予約と重なる場合、LAN経由のCATV録画／「スカパー！ HD録画」は、予約の優先順位を最優先にしないとまったく録画されないことがあります。

「スカパー!HD」の番組を録画したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- 地上デジタルアンテナや衛星アンテナをつなぐ(時計を合わせるため)(103ページ)。

☞次のページも参考にしてください。
- 本機への録画可能時間について(154ページ)。
- 録画が重なったときに優先順位を変更したい(33ページ)。

「スカパー! HD」対応チューナーの番組表から、本機にLAN経由で録画予約できます。

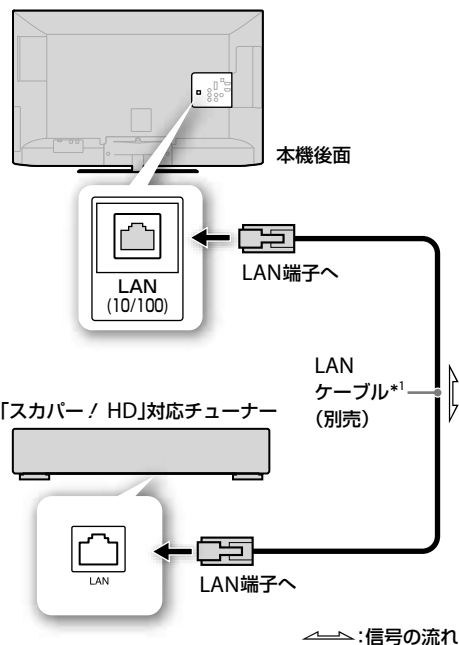
ご注意
- 「スカパー! HD」は、110度CSデジタルで視聴できるスカパー!e2とは別のデジタルCS放送です。「スカパー! HD」を視聴するには、対応しているアンテナとチューナーが必要です。

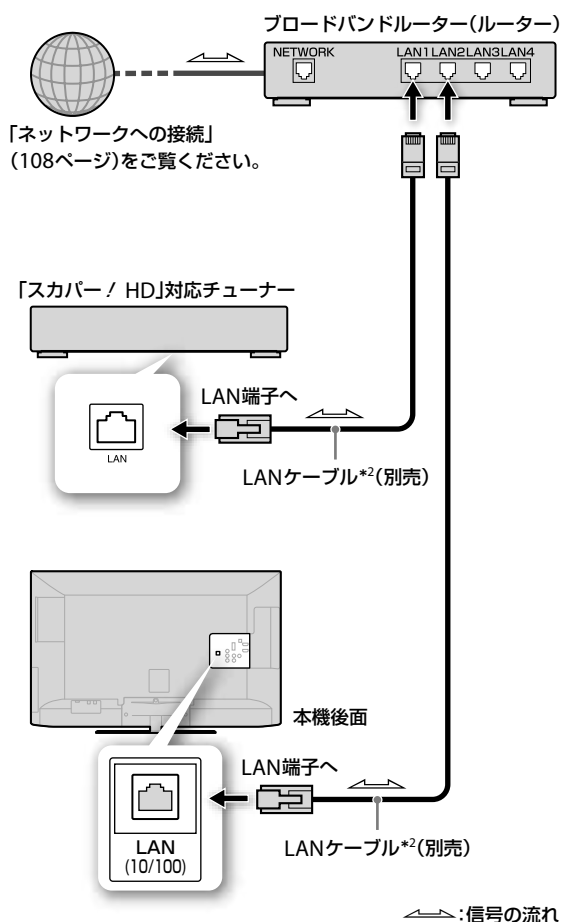
録画する

「スカパー! HD」対応チューナーの準備

1 本機と「スカパー! HD」対応チューナーをつなぐ。

直接LANケーブルでつなぐときは

ネットワーク機能(リモート録画予約/ソニールームリンク/<ブラビア>ネットチャンネル/アクトビラやTSUTAYA TVなどのインターネットサービス)を使わない場合直接つないでください。

*1 LANケーブルは、カテゴリー5の100BASE-TX対応以上をお使いください。
LANケーブルは、クロスケーブル/ストレートケーブルのどちらも使えます。

ネットワークにつなぐときは

*2 LANケーブルは、カテゴリー5の100BASE-TX対応以上をお使いください。

2 本機でホームサーバーの設定をする。

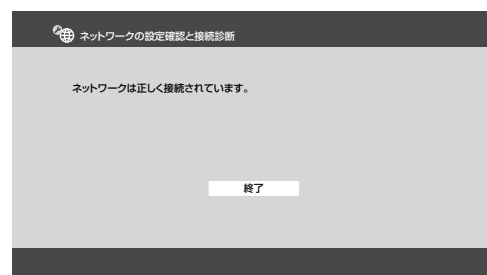
《ホーム》ボタンを押します。

[設定]>[通信設定](123ページ)でそれぞれ設定します。

手順1で「直接LANケーブルでつなぐときは」の接続をした場合は、「ホームサーバー設定をする」(39ページ)から行ってください。

ネットワークに正しくつながっているか確認する

[ネットワークの設定確認と接続診断]>[接続診断](124ページ)を選び、《決定》ボタンを押します。

「ネットワークは正しく接続されています。」と表示されない場合は、画面の指示に従ってください。

ホームサーバー設定をする

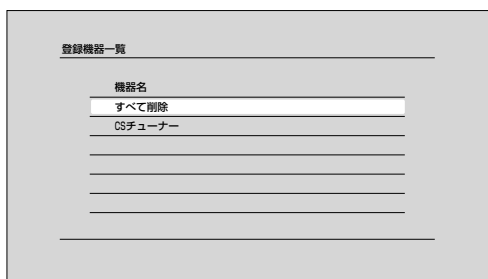
［ホームサーバー設定］を選び、《決定》ボタンを押します。

1 サーバー機能
［入］を選び、《決定》ボタンを押します。
警告文が表示されたら内容を読み、問題ない場合は「変更する」を選んでください。

2 クライアント機器登録方法
［自動］を選び、《決定》ボタンを押します。
警告文が表示されたら内容を読み、問題ない場合は「変更する」を選んでください。

3 登録機器一覧

ホームサーバーの登録を確認する

「ホームサーバー設定をする」の画面で［登録機器一覧］を選び、《決定》ボタンを押します。
「スカパー！ HD」対応チューナー（クライアント）機器名が表示されているか、確認してください。ただし、クライアント機器が登録されるまで数分かかることがあります。

3 「スカパー！ HD」対応チューナーの設定をする。

「スカパー！ HD」対応チューナーで本機が録画先になるようにネットワーク設定をします。詳しくは「スカパー！ HD」対応チューナーの取扱説明書や次のホームページをご覧ください。

http://www.sony.jp/support/cs-tuner

「スカパー！ HD」の番組をハードディスクに録画したい（「スカパー！ HD録画」）

チューナーおよび本機の電源を入れ、テレビの画面をチューナーをつないだ入力に切り換えて、チューナー側で録画予約します。
チューナー側で録画予約すると、本機に予約設定が転送され、録画予約が行われます。
録画が開始されると本機のタイトルリストに録画中の番組が表示されます。
「スカパー！ HD録画」に対応する「スカパー！ HD」対応チューナーについて詳しくは、次のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/tv/

ご注意

- 録画モードはDRモードになり、変更できません。
- おまかせチャプター機能は働きません。約6分間隔で自動的にチャプターを区切ります。
- ワンタッチ転送（85ページ）はできません。おでかけ転送する場合は、ホームメニューから操作してください。
- 12時間を超える録画予約は、時間指定で12時間ごとに分けて予約してください。

予約状況を確認するには

チューナーおよび本機の電源を入れ、本機側で予約状況を確認します（37ページ）。

予約を削除するには

チューナーおよび本機の電源を入れ、テレビの画面をチューナーをつないだ入力に切り換えて、チューナー側で予約を削除します。

録画中の「スカパー！ HD」の番組を見るには

《ホーム》ボタンを押します。
［ビデオ］＞録画中のサムネイル（●のアイコンが付いている）を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- LAN経由で「スカパー！ HD」の番組を録画しているときは、「スカパー！ HD」対応チューナーの電源を切らないでください。録画が中断されます（本機のみ電源を切っていても、録画は行います）。
- 視聴年齢制限のある番組は、必ず「スカパー！ HD」対応チューナーの番組表から録画予約してください。日時指定で録画予約した場合、録画中に視聴年齢制限の設定が異なる番組に切り換わると、録画が中断されることがあります。

以下のことはできません

- LAN経由で「スカパー！ HD録画」中に、BD-ROMや思い出ディスクダビングで作成したBD-Jメニュー付きディスクなどを再生すること。
- ラジオ番組を録画すること。
- 外付けUSBハードディスクやBDに直接録画すること。

ケーブルテレビや外部チューナーの番組を録画したい

外部入力から録画したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- 本機と外部チューナーをつなぐ（107ページ）。
- ［外部入力録画横縦比］で映像サイズを設定する（119ページ）。

☞次のページも参考にしてください。
- 「スカパー！ HD録画」をするには（38ページ）。

デジタルCS放送や、CATV局のBS/110度CSデジタル放送、有料チャンネルなどの番組を録画する場合、本機と外部チューナーをつなぎ、日時指定予約を使って録画予約します。

1 外部チューナーの映像を表示する。
本機のリモコンの《入力切換》ボタンをくり返し押して、［外部録画入力］を選び、外部チューナーの映像を表示します。

ご注意
- ビデオ入力では録画できません。

2 外部チューナーの録画予約を設定する。
外部チューナーの取扱説明書をご覧になり、録画したい日時、チャンネルで録画予約を設定してください。

3 本機で日時指定予約の条件を設定する。
「日時を指定して録画予約したい（日時指定予約）」（41ページ）の手順2で、［CH］を［入力］にしてください。

4 録画予約する。
［予約確定］を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意
- AVマウスでの録画には対応していません。

CATVの番組を高画質で録画したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- 地上デジタルアンテナや衛星アンテナをつなぐ（時計を合わせるため）（103ページ）。

☞次のページも参考にしてください。
- 録画が重なったときに優先順位を変更したい（33ページ）。

CATVチューナーの番組表から、本機にLAN経由で録画予約できます。

本機能はご加入のケーブルテレビ局でサービスを開始している場合にご利用いただけます。
対応機種や設定については、ご加入のケーブルテレビ局からのお知らせや下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/tv/

1 CATVチューナーと本機をLANケーブルでつなぎ、本機でホームサーバー設定をする。
詳しくは、「「スカパー！ HD」対応チューナーの準備」（38ページ）の手順1、2をご覧ください。

2 CATVチューナーの設定をする。
CATVチューナーで本機が録画先になるようにネットワーク設定をします。

3 CATVチューナーで録画予約する。
CATVチューナーおよび本機の電源を入れ、CATVチューナー側で録画予約します。CATVチューナーから本機に予約設定が転送され、録画予約が行われます。録画が開始されると本機のタイトルリストに録画中の番組が表示されます。

予約状況を確認するには
CATVチューナーおよび本機の電源を入れ、本機側で予約状況を確認します（37ページ）。

予約を削除するには
CATVチューナーおよび本機の電源を入れ、テレビの画面をCATVチューナーをつないだ入力に切り換えて、CATVチューナー側で予約を削除します。

録画中のCATVの番組を見るには

《ホーム》ボタンを押します。
［ビデオ］＞録画中のサムネイル（●のアイコンが付いている）を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意
- LAN経由でCATV録画中は、CATVチューナーの電源を切らないでください。録画が中断されます（本機のみ電源を切っていても、録画は行います）。
- 視聴年齢制限のある番組は、必ずCATVチューナーの番組表から録画予約してください。日時指定で録画予約した場合、録画中に視聴年齢制限の設定が異なる番組に切り換わると、録画が中断されることがあります。

以下のことはできません
- LAN経由でCATV録画中に、BD-ROMや思い出ディスクダビングで作成したBD-Jメニュー付きディスクなどを再生すること。
- ラジオ番組を録画すること。

いろいろな方法で録画予約したい

いま見ている番組を録画したい

放送中の番組や外部録画入力の映像などを見ながら録画できます。

1 録画する。

番組視聴中に●《録画》ボタンを1回押します。

デジタル放送の場合は番組終了まで録画します。

録画が開始されると、本機前面の録画ランプが点灯します。

録画を停止するには、■《停止》ボタンを押します。

録画時間を設定するには(クイックタイマー)

録画中に●《録画》ボタンをくり返し押して設定します。
録画を終了させたい時刻を30分単位で最長6時間まで設定できます。

ちょっと一言

- クイックタイマーで録画中は、電源を切っても、終了時間まで録画できます。
- [録画モード]を変更するときは、《オプション》ボタン>[録画モード]>変更したい録画モードを選びます。

日時を指定して録画予約したい(日時指定予約)

日時やチャンネルを指定して1か月先までの番組を録画予約できます。

1 録画予約設定画面を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[ビデオ]>[録画予約]>[日時指定予約]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 録画の条件を設定する。

録画の条件を変更するには

設定エリアで各項目を選び、《決定》ボタンを押します。

項目	できること
録画先	[HDD]本機のハードディスク/ [USB]外付けUSBハードディスク/ [BD]ブルーレイディスクを選べます。
上書き ([録画先]を[HDD]に設定した場合のみ)	[日付]で定期的に録画する設定にした場合に、前回録画した番組(タイトル)を削除した上で新しい回を録画します。
日付	録画の日付を選びます。
開始時刻	開始時刻を設定します。
終了時刻	終了時刻を設定します。
CH	チャンネルを選びます。 外部録画入力の録画をしたい場合には、[入力] を選びます。
モード	録画モードについては「録画モードと録画/ダビング可能時間について」をご覧ください(153ページ)。
マーク ([録画先]を[HDD]/[USB]に設定した場合のみ)	分類用のマークを設定します。家族やジャンルなどでマーク別に設定しておくと、録画したタイトルをマークごとに分類できて便利です。

予約を取り消すには

《ホーム》ボタンを押します。

[ビデオ]>[予約確認]>[予約リスト]>映像(タイトル)を選び、《オプション》ボタンを押します。[予約削除]を選び、《決定》ボタンを押します。

視聴年齢制限付きの番組を録画するには(BS/110度CSデジタル放送のみ)

操作ボタンエリアで[詳細設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

予約名を変更するには

操作ボタンエリアで[予約名変更]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 録画予約する。

操作ボタンエリアで[予約確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

好みの番組を自動で探して録画してほしい（x-おまかせ･まる録）

ジャンルやキーワードなどの条件を設定すると、番組表データの中から本機が自動でその条件に合った番組を探し、1日最大で20件まで録画します。

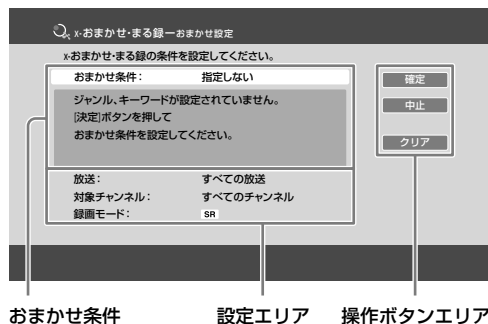
1 おまかせ設定の新規登録をする。

《ホーム》ボタンを押します。

［ビデオ］＞［x-おまかせ･まる録］＞［新規登録］を選び、《決定》ボタンを押します。

2 自動録画のための条件を設定する。

設定エリアで［おまかせ条件］と設定項目を設定します。

キーワードは複数登録できます。

3 条件を確定する。

操作ボタンエリアで［確定］を選び、《決定》ボタンを押します。

x-おまかせ･まる録で録画される番組や番組数は、本機が学習した情報によって変わります。

好みに合わない番組が録画されないようにしたい

おまかせ設定のキーワードやジャンルを変更してみてください。

取り消したいときは、操作ボタンエリアで［クリア］を選び、《決定》ボタンを押して［確定］してください。

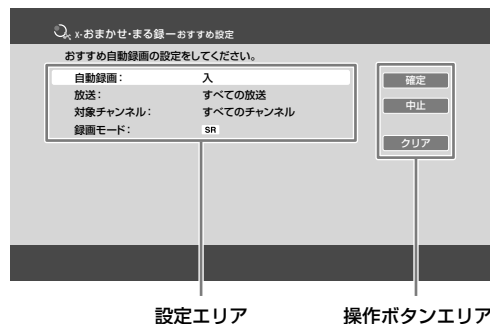
ジャンルやキーワードなどを設定しないで自動録画するには

キーワードなどの条件を設定しなくても、お客様の好みを学習し、本機がおすすめする番組を自動で1日最大4件まで録画します。

1 おすすめ設定の登録をする。

《ホーム》ボタンを押します。

［ビデオ］＞［x-おまかせ･まる録］＞［おすすめ］を選び、《決定》ボタンを押します。

2 自動録画のための条件を設定する。

3 条件を確定する。

操作ボタンエリアで［確定］を選び、《決定》ボタンを押します。

おすすめ番組の自動録画をやめるには

「ジャンルやキーワードなどを設定しないで自動録画するには」（42ページ）の手順2で［自動録画］＞［切］を選び、《決定》ボタンを押します。

自動で録画される番組を確認するには

自動録画の録画条件で抽出された番組や、本機が探し出したおすすめ度の高い番組など、自動で録画される予定の番組を60件まで確認できます（おまかせ予約リスト）。

1 おまかせ予約リストを表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

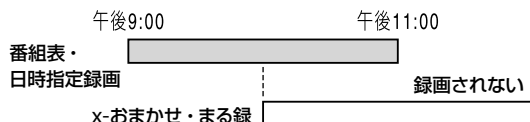
［ビデオ］＞［予約確認］＞［おまかせ予約リスト］を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 確実に録画したいときは、《オプション》ボタンを押して、［予約へ変更］を選び、録画予約をしてください。

x-おまかせ･まる録と他の録画予約が重なったら

x-おまかせ･まる録以外の録画予約が優先されるため、x-おまかせ･まる録による録画予約は行われません。

午後9:00　午後11:00
番組表・日時指定録画
x-おまかせ・まる録　録画されない

ちょっと一言

- 本機のハードディスクの残量が少なくなった場合、x-おまかせ･まる録で録画したタイトルが自動で削除されることがあります。削除したくないときはタイトルをプロテクト（保護）してください（60ページ）。
- 本機が学習した情報は、［お買い上げ時の状態に設定］で初期化できます（125ページ）。

ご注意

- x-おまかせ･まる録では、契約をしていないチャンネルの有料番組は録画されません。
- x-おまかせ･まる録設定の内容を変更／削除しても、変更直後は、変更前の設定で録画されることがあります。変更直後に確実に録画したい番組があるときは、番組表を使って録画予約してください。

自分好みの番組表を作って録画予約したい（My ！番組表）

My ！番組表を使うと、テレビ雑誌を見るように、さまざまな切り口から番組を探して録画予約できます。

1 My ！番組表から、利用したい番組表を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

［地デジ］／［BS］／［CS］＞［My !番組表］を選び、《決定》ボタンを押します。

利用したい番組表を選び、《決定》ボタンを押します。

項目	できること
みどころ特集	今“旬”と思われるテーマやキーワードを抽出し、日替わりでみどころ番組を表示します。
おすすめ番組	録画の履歴から本機が好みを学習し、おすすめ番組を表示します。
ジャンル／キーワード	［新規登録］で登録した条件に合った番組（お気に入り番組表）を最大200件まで表示します。
新規登録	ジャンルやキーワードを登録します。

2 録画したい番組を選ぶ。

番組を選び、《決定》ボタンを押します。

3 録画予約方法を選ぶ。

そのまま／毎回録画予約する場合

［予約する］を選んでください（34ページ）。

録画モードなども設定する場合

［予約設定へ］を選んでください（34ページ）。

ご注意

- みどころ特集は、お買い上げ後すぐには表示されません。表示されるまで1日程度お待ちください。
- みどころ特集の画面の背景色は、自動で変化します。

見ている番組の出演者や話題に関連する番組がほかにもないか検索したい（気になる検索）

1 検索する。

番組を視聴中に《オプション》ボタンを押します。

［気になる人名］や［気になるワード］＞キーワードを選び、《決定》ボタンを押します。

2 録画したい番組を選ぶ。

最大200件まで表示します。

番組を選び、《決定》ボタンを押します。

3 録画予約方法を選ぶ。

そのまま／毎回録画予約する場合

［予約する］を選んでください（34ページ）。

録画モードなども設定する場合

［予約設定へ］を選んでください（34ページ）。

ご注意

- 電源を入れてから数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。

日時やチャンネルなどから番組検索したい（日時指定検索）

1 放送の種類を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

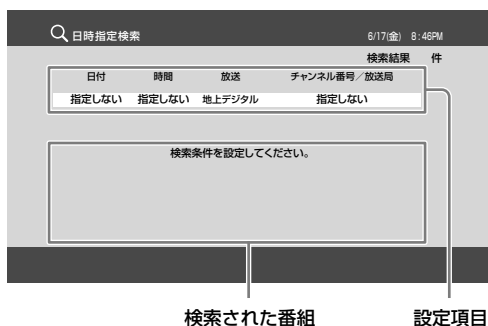
［地デジ］／［BS］／［CS］のどれかを選びます。

2 検索方法を選ぶ。

［番組検索］＞［日時指定検索］を選び、《決定》ボタンを押します。

3 検索するための条件を設定する。

《決定》ボタンを押してから、条件を設定します。日付、時間、チャンネルのどれかを設定すると、検索が行われます。

条件を組み合わせることで、候補の番組を絞り込めます。

4 録画したい番組を選ぶ。

《黄》ボタンを押します。

番組を選び、《決定》ボタンを押します。

5 録画予約設定画面を表示し、録画予約する。

そのまま／毎回録画予約する場合

［予約する］を選んでください（34ページ）。

録画モードなども設定する場合

［予約設定へ］を選んでください（34ページ）。

ご注意

- 電源を入れてから数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。

いろいろな条件を組み合わせて番組検索したい（ジャンル検索、キーワード検索、詳細条件検索）

1 放送の種類を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

［地デジ］／［BS］／［CS］のどれかを選びます。

2 検索方法を選ぶ。

［番組検索］を選び、《決定》ボタンを押します。

［ジャンル検索］／［キーワード検索］／［詳細条件検索］のどれかを選び、《決定》ボタンを押します。

3 検索するための条件を設定する。

4 検索する。

［検索開始］を選び、《決定》ボタンを押します。

5 録画したい番組を選ぶ。

最大200件まで表示します。

番組を選び、《決定》ボタンを押します。

6 録画予約方法を選ぶ。

そのまま／毎回録画予約する場合

［予約する］を選んでください（34ページ）。

録画モードなども設定する場合

［予約設定へ］を選んでください（34ページ）。

ちょっと一言

- 手順3で［ジャンル］、［キーワード］、［除外ワード］を設定して検索する条件を変更できます。

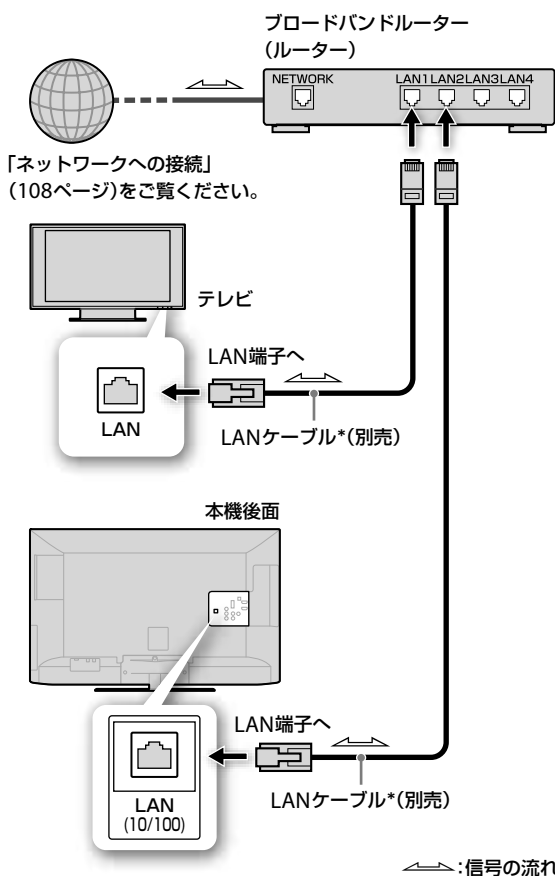
ご注意

- 電源を入れてから数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。

番組表から録画予約したい（ネットワーク録画予約／ソニールームリンク）

ホームサーバー機能を利用して、本機以外のテレビの番組表で設定した予約設定を、本機に転送して録画予約が出来ます。

1 本機をネットワークにつなぐ。

無線LANでつなぐ場合は、「無線でつなぐ（USB無線LANアダプターでの接続）」（109ページ）をご覧ください。

* LANケーブルは、カテゴリー 5の100BASE-TX対応以上をお使いください。

2 本機でホームサーバーの設定をする。

「別の部屋のテレビなどで再生したい（ホームサーバー機能）」（51ページ）の手順2をご覧ください。

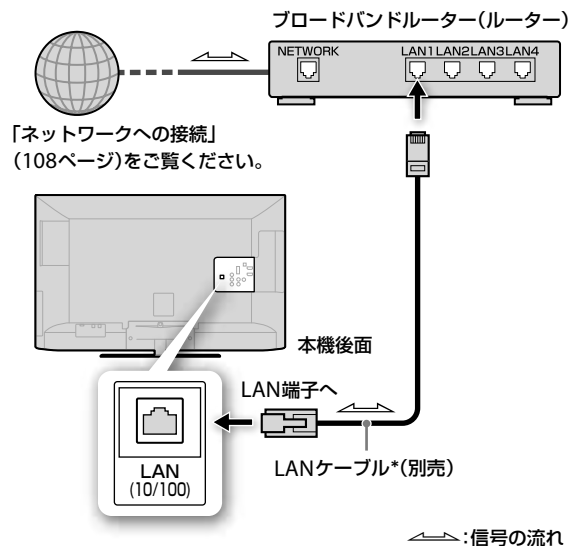
3 本機以外のテレビの番組表で録画予約する。

本機以外のテレビで設定した予約設定が本機に転送され、録画予約が行われます。

外出先から携帯電話やインターネットで録画予約したい（リモート録画予約）

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- リモート録画予約サービス事業者と契約する（携帯電話）。
- 対応機種を確認し、リモート録画予約するための初期登録をする（携帯電話）。
- 「Gガイド.テレビ王国」のメンバーサービスに登録する（パソコン）。

1 本機をネットワークにつなぐ。

無線LANでつなぐ場合は、「無線でつなぐ（USB無線LANアダプターでの接続）」（109ページ）をご覧ください。

* LANケーブルは、カテゴリー 5の100BASE-TX対応以上をお使いください。

2 本機でリモート録画予約の設定をする。

《ホーム》ボタンを押します。

［設定］＞［通信設定］（123ページ）でそれぞれ設定します。

ネットワークに正しくつながっているか確認する

［ネットワークの設定確認と接続診断］＞［接続診断］（124ページ）を選び、《決定》ボタンを押します。

「ネットワークは正しく接続されています。」と表示されない場合は、画面の指示に従ってください。

リモート機器登録をする

［リモート機器設定］＞［リモート機器登録］（124ページ）を選び、《決定》ボタンを押します。

［登録リモート機器一覧］で登録できたか確認します。

3 携帯電話·パソコンからリモート録画予約をする。

本機に予約設定が転送され、録画予約が行われます。

携帯電話から予約する場合

登録方法、携帯電話機種および機能に関して、下記より確認できます。

ホームページ

パソコン：http://ipg.jp/ra/

携帯電話：http://ipg.jp/k/

録画する

ちょっと一言

- 一部の携帯電話からは、本機の予約リストの取得や録画モードの変更、録画したタイトルの削除やプロテクト操作もできます。

パソコンから予約する場合

So-netが提供するインターネットサービス「Gガイド.テレビ王国」を使って、お使いのパソコンから録画予約できます。登録方法および機能に関して、下記より確認できます。

ホームページ

パソコン: http://www.so-net.ne.jp/tv/dvr/

Gガイド.テレビ王国サポートのホームページ

パソコン: http://www.so-net.ne.jp/tv/support/

Gガイド.テレビ王国は商標です。

リモート録画予約に関する免責事項

- ソニーは、理由の如何を問わず、以下について、一切の責任を負わないものとします。
  - リモート録画予約サービス事業者によるサービス内容が予告なく変更·中止されること。
  - 発生したリモート録画予約サービスの提供の遅延または中断等によりユーザーまたはその他の第三者に生じた損害。
  - リモート録画予約サービス事業者が使用している通信回線の障害、切断、停止等を原因とするリモート録画予約サービスの全部または一部の機能不能。
  - ユーザーの利用する通信回線の種別や回線交換機固有の事情を原因とするリモート録画予約サービスの全部または一部の機能不能。
- 本機の修理·交換等によりリモート録画予約サービスの再登録が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- リモート録画予約をしても、本機の状態や、ネットワーク回線が混雑しているときなどは、録画予約の情報が本機に届くまで時間がかかることがあります。
- 携帯電話やパソコンから録画予約をする場合、次の費用が発生します。
  - インターネット接続プロバイダーへの、接続料金など。
  - 携帯電話からリモート予約サービス側へのサーバーにアクセスするときの通信料。
- リモート録画予約を利用するときは、常時接続となるようルーターを設定してください。常時接続の設定方法はご利用のインターネットサービスプロバイダー（ISP）にお問い合わせください。

以下のことはできません

- リモート機器を6台以上本機に登録すること。
- 次の場合にリモート録画予約すること。
  - ディスクの容量が不足している場合。
  - 重複する予約を後から、本機や他の機器から行った場合。
  - 録画予約に影響する操作を本機で行った場合。
  - B-CASカードが挿入されてない場合（地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送の場合）。

ネットからレンタルなど、ビデオオンデマンドをしたい（アクトビラ／ TSUTAYA TV ／<ブラビア>ネットチャンネル）

本機をインターネットのブロードバンド回線につなぐと、インターネットサービスでアクトビラ、TSUTAYA TV、<ブラビア>ネットチャンネルを楽しめます。ビデオをストリーミングやダウンロードして視聴したり、生活に役立つさまざまな情報を好きなときに楽しめます。

<ブラビア>ネットチャンネルについては、「<ブラビア>ネットチャンネルを見る」（101ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

- ［インターネットサービス利用制限］で暗証番号による制限を設定できます（123ページ）。
- 回線事業者やプロバイダーが採用している接続方式·契約約款により、ご利用いただけないことがあります。
- サービスの内容や画面は、予告なく変更することがあります。
- ビデオオンデマンドやダウンロードによる3Dコンテンツは、本機でご利用いただけないことがあります。

1 本機をネットワークにつなぐ。

「外出先から携帯電話やインターネットで録画予約したい（リモート録画予約）」（45ページ）の手順1をご覧ください。

2 ネットワークに正しくつながっているか確認する。

《ホーム》ボタンを押します。

[設定]＞[通信設定]＞[ネットワークの設定確認と接続診断]＞[接続診断](124ページ)を選び、《決定》ボタンを押します。

「ネットワークは正しく接続されています。」と表示されない場合は、画面の指示に従ってください。

3 インターネットサービスを起動し、映像(タイトル)を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

[ネットワーク]＞インターネットサービスを選び、《決定》ボタンを押します。

ダウンロードできるタイトルについては、各インターネットサービスのヘルプページをご覧ください。

4 購入手続きをする。

購入手続きが完了すると、ダウンロードが開始されます。

ちょっと一言

- ダウンロード中に、本機の電源を切ってもダウンロードは継続されます。
- ホームサーバー機能の利用中やBD-LIVEの再生中などは、ダウンロードを一時停止することがあります。

ご注意

- ダウンロード登録数が50件を超えている場合、新規の登録(購入)ができなくなります。

以下のことはできません

- 本機のハードディスクの残量が足りない場合やタイトルがいっぱいの場合にダウンロードすること。

ダウンロード中の本体表示について

ダウンロードの状況により、ランプの状態が変わります。

I ● **ランプが赤色に点灯**:ダウンロード実行中。

◴● **ランプがオレンジ色に点滅**:ダウンロードエラー。

ダウンロードした映像について

録画したタイトルと同様に再生できます(49ページ)。
タイトルによっては、BDにダビング(71ページ)したり、おでかけ転送(80ページ)したりできます。

ダウンロード進捗などを確認するには

《ホーム》ボタンを押します。
[ネットワーク]＞[ダウンロード管理]＞確認したいタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

ビデオオンデマンドのさらに詳しい使いかたは、Webで紹介しています。
http://www.sony.jp/support/tv/

再生する

これらの情報はWebでもご覧いただけます

パソコン：
スマートフォン：

http://www.sony.jp/support/tv/

この印のある項目はらくらくスタートガイドでも紹介しています。

ハードディスクに録画した番組や映像を再生したい

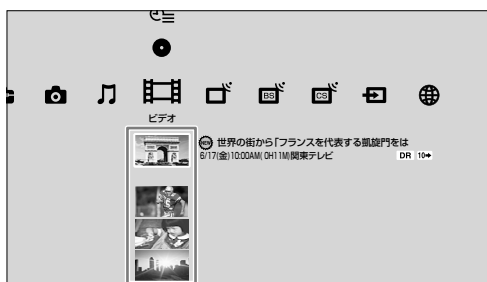
録画した番組や映像を再生したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- インターネットサービスからダウンロードした映像(タイトル)を再生するときは、ネットワークにつなぐ(108ページ)。

1 タイトルを再生する。

《ホーム》ボタンを押します。

[ビデオ]>サムネイルを選び、《決定》ボタンを押します。

タイトル一覧(タイトルリスト)画面

サムネイル

●(録画中)のアイコンが付いていても再生できます(追いかけ再生)。

再生したことがあるタイトルは、前回再生を止めた位置から再生が始まります(つづき再生)。

ご注意

- 視聴年齢制限のあるタイトルは、つづき再生するときにタイトルリストからタイトルを選び直したり、暗証番号の入力が必要になったりすることがあります。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルには、視聴期限や有効期限が指定されていることがあります。有効期限を確認するには、オプションメニューから[情報表示]を選び、タイトル情報画面を表示してください。また、再生中に有効期限が切れた場合は、再生を停止します。

再生を止めるには

■《停止》ボタンを押します。

視聴年齢制限で表示されない番組や映像を再生するには

18歳未満視聴禁止またはより厳しい視聴制限のあるタイトルは、視聴年齢制限されていると表示されません。オプションメニューの[視聴制限一時解除](179ページ)で制限を解除してください。

ちょっと一言

- 本機の電源を切ると、自動的に制限が再設定されます。設定の変更については、[HDDタイトル視聴年齢制限](123ページ)をご覧ください。

外付けUSBハードディスクから再生するには

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- 外付けUSBハードディスクを本機につなぐ(112ページ)。
- [USB HDD登録]で外付けUSBハードディスクを登録する(122ページ)。

1 タイトルを表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[ビデオ]>外付けUSBハードディスクアイコンを選び、《決定》ボタンを押します。

2 タイトルを再生する。

サムネイルを選び、《決定》ボタンを押します。

写真を見るには

《ホーム》ボタンを押し、[フォト]を選びます(92ページ)。

録画した3D番組を再生したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- 3Dメガネを人数分用意する(23ページ)。

放送局側で3D信号が付けられた番組(タイトル)は、再生時に自動的に3D表示に切り換わり、画面上に3Dアイコンが表示されます。

1 3Dメガネの電源を入れ、再生する。

《ホーム》ボタンを押します。

[ビデオ]>3Dアイコンの付いたタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

詳しくは、「3Dのテレビ番組を見たい」をご覧ください(23ページ)。

録画した番組をはじめから再生したい

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]＞サムネイルを選び、《オプション》ボタンを押します。
[はじめから再生]を選び、《決定》ボタンを押します。

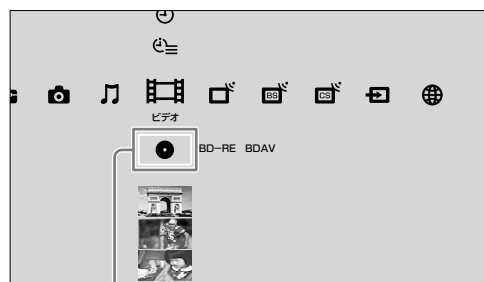
ディスクに録画した番組や映像を再生したい

BDやDVDを再生したい

1 ディスクを入れる。

ディスクの正しい入れ方については、「ディスクの入れかた・取り出し方について」をご覧ください（13ページ）。誤った方法で挿入しようとすると故障の原因となります。

2 再生する。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]＞ディスクアイコンを選び、《決定》ボタンを押します。
ディスクによってはディスクアイコンを選んだ後サムネイルが表示されます。

ディスクアイコン

市販のディスクを入れると自動で再生が始まります。操作方法はディスクによって異なります。ディスクの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 他機器で記録したDVDを本機で再生する場合、ファイナライズされていないDVDは再生できません。
- AVCREC方式やHD Rec規格で記録されたDVDは再生できません。

3Dの映像やBlu-ray 3Dディスクを再生したい

3Dの映像（タイトル）やBlu-ray 3Dロゴ*が記載されたBlu-ray 3Dディスクを再生できます。
* Blu-ray 3D™

1 ディスクを入れる。

2 3Dメガネの電源を入れ、再生する。

詳しくは、「3Dのテレビ番組を見たい」をご覧ください（23ページ）。

再生する

CDを再生したい

1 CD(CD-R/CD-RWを含む)を入れる。

ディスクの正しい入れ方については、「ディスクの入れかた・取り出し方について」をご覧ください(13ページ)。誤った方法で挿入しようとすると故障の原因となります。

2 再生する。

音楽CDを再生するには

ディスクを入れると、自動的に次の画面が表示されます。

►《再生》ボタンを押してください。

再生状態、トラック番号、経過時間など

音声(ステレオ／モノラル)

写真を再生するには

《ホーム》ボタンを押します。

[フォト]＞ディスクアイコン＞アルバムや写真を選び、《決定》ボタンを押します。

映像(タイトル)を再生するには

CDに保存したタイトルは本機では再生できません。

ちょっと一言

- 写真の横縦比とテレビの横縦比が異なる場合、上下や左右に黒帯が表示されることがあります。

ご注意

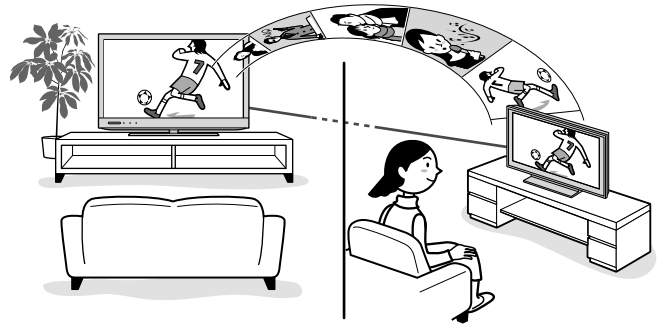
- 写真や写真の枚数によってはサムネイルの表示*やスライドショーの再生で時間がかかることがありますが、故障ではありません。

* 写真のサイズや保存されている場所により、表示に時間がかかることがあります。

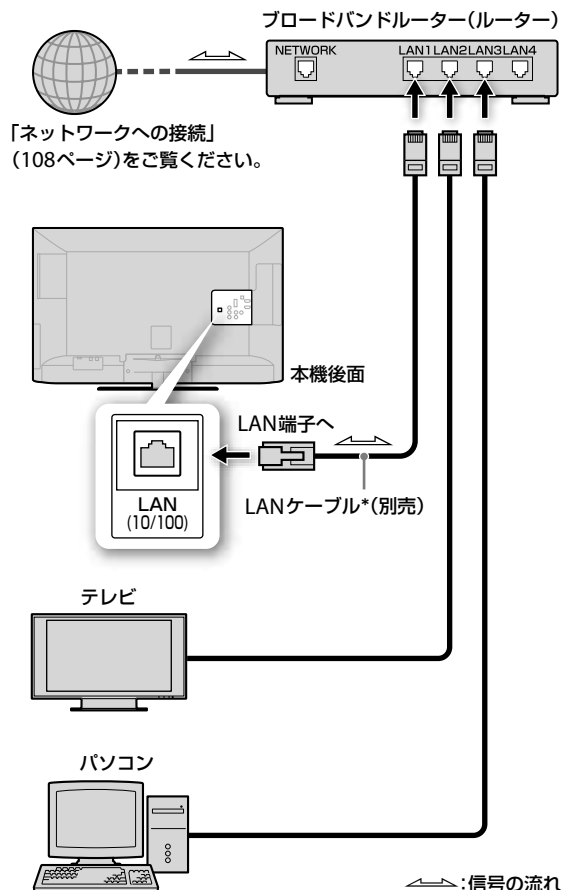
別の部屋のテレビなどで再生したい(ホームサーバー機能)

☞あらかじめ、次のことをしてください。

- テレビやパソコンなどの設定をする(お使いの機器の取扱説明書をご覧ください)。

本機とDLNAまたはソニールームリンクに対応したテレビやパソコンなどをネットワークにつなぐと、本機のハードディスクに保存した映像(タイトル)や写真を、別の部屋のテレビやパソコンで再生できます。

動作推奨機器や再生対応コンテンツについて詳しくは、ソニー製品情報のホームページ(http://www.sony.jp/event/DLNA/)をご覧ください。

1 ホームサーバー機能対応のテレビやパソコンをネットワークにつなぐ。

無線LANでつなぐ場合は、「無線でつなぐ(USB無線LANアダプターでの接続)」(109ページ)をご覧ください。

再生する

* LANケーブルは、カテゴリー 5の100BASE-TX対応以上をお使いください。

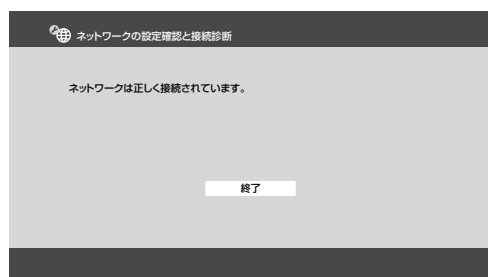
2 本機でホームサーバーの設定をする。

《ホーム》ボタンを押します。

[設定]＞[通信設定](123ページ)でそれぞれ設定します。

ネットワークに正しくつながっているか確認する

[ネットワークの設定確認と接続診断]＞[接続診断](124ページ)を選び、《決定》ボタンを押します。

「ネットワークは正しく接続されています。」と表示されない場合は、画面の指示に従ってください。

ホームサーバー設定をする

[ホームサーバー設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

1 サーバー機能
[入]を選び、《決定》ボタンを押します。
警告文が表示されたら内容を読み、問題ない場合は、[変更する]を選んでください。

2 クライアント機器登録方法
[自動]を選び、《決定》ボタンを押します。
警告文が表示されたら内容を読み、問題ない場合は、[変更する]を選んでください。

3 登録機器一覧

ホームサーバーの登録を確認する

「ホームサーバー設定をする」の画面で[登録機器一覧]を選び、《決定》ボタンを押します。

接続するクライアント機器名が表示されているか、確認してください。ただし、クライアント機器が登録されるまで数分かかることがあります。

3 他機器を操作して本機のタイトルや写真を再生する。

DRモードで録画したタイトルはより多くの機器で再生できます。

他機器での再生／停止方法については他機器の取扱説明書をご覧ください。本機や本機のリモコンでは操作できません。

他機器で再生できるか確認するには

[アイコン] が表示されているタイトルは他機器で再生できます。オプションメニューの[情報表示](179ページ)で確認できます。

ご注意

- 編集したタイトルを他機器で再生すると、映像が乱れたり再生できなかったりすることがあります。
- 他機器によっては、タイトルの名前が正しく表示されないことがあります。
- お使いのホームネットワーク環境によっては、再生中に映像や音声が途切れることがあります。
- 本機から出力される映像／写真を他機器で再生するときと、本機で再生するときでは、見えかたが若干異なることがあります。
- 録画回数制限のあるデジタル放送の番組をホームサーバー機能に対応した他機器で視聴するには、他機器側がDTCP-IP*規格に対応している必要があります。
- 他機器によっては、本機に録画した視聴年齢制限付きのタイトルが、再生できないことがあります。
- 本機にはDLNAクライアント機能はありません。つないだサーバー機器の映像や音声を本機で再生することはできません。

以下のことはできません

- 次の映像や写真を他機器で再生すること。
  – プレイリスト。
  – 録画モードなどの異なるタイトルを結合したタイトル。
  – インターネットサービスからダウンロードしたタイトル。
  – デジタルカメラなどで撮影した3D映像。
  – デジタルカメラなどで撮影した1080/60p映像。
  – BD(BD-R、BD-RE)より移動(ムーブバック)したタイトル。
  – 外付けUSBハードディスクに保存したタイトル。
- 次のような場合に、本機の映像や写真を他機器で再生すること。
  – 本機の設定を変更しているとき。
  – BD-ROMや思い出ディスクダビングで作成したBD-Jメニュー付きディスクを再生中。
  – タイトルの編集(サムネイル設定／チャプター編集／部分削除／タイトル分割／タイトル結合／プレイリスト作成)。
  – タイトルダビング中。
  – まるごとDVDコピー中。
  – x-ScrapBook作成中やx-ScrapBook書き出し中。
  – x-Pict Story HD作成中。
  – おでかけ／おかえり転送中。
  – 写真の取り込み中。
  – インターネットサービスのビデオタイトルを視聴中。
  – LAN経由でのCATV録画／「スカパー！ HD録画」中。

* DTCP-IP(Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol)とは、著作権保護を目的として開発されたネットワーク規格です。

録画した番組を分類／整理したい

録画した映像を並べ替えたい

ハードディスク、BD、DVDに保存した映像(タイトル)を並べ替えます。

1 タイトル一覧を表示する。
《ホーム》ボタンを押し、[ビデオ]を選びます。
ディスクの場合は、ディスクアイコンを選びます。

2 並べ替える。
《オプション》ボタンを押します。
[並べ替え]＞方法を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言
- 外付けUSBハードディスクのタイトルも並べ替えられます。

再生する

ハードディスクに録画した映像をグループ分けしたい(オートグルーピング)

☞次のページも参考にしてください。
- 録画した映像にマークを付けてグループ設定したい(66ページ)。

1 タイトル一覧を表示する。
《ホーム》ボタンを押し、[ビデオ]を選びます。

2 グループごとの表示にする。
《黄／フォルダ整理》ボタンを押します。
タイトル一覧に戻すには、もう一度《黄／フォルダ整理》ボタンを押します。
グループの種類については175ページをご覧ください。

ご注意
- ジャンル分けは放送局から送られてくる信号により分類しているため、変更できません。
- 外付けUSBハードディスクのタイトルもグループ分けできます。

BD/DVDに保存した映像をグループ分けしたい

グループ分けできるのはハードディスクに録画した映像(タイトル)だけです。

録画中の番組を追いかけ再生したい

ハードディスクに録画中の映像（タイトル）を再生できます。
詳しくは、「録画した番組や映像を再生したい」（49ページ）の手順1をご覧ください。

ちょっと一言

- 外付けUSBハードディスクのタイトルも追いかけ再生できます。

ご注意

- BDに録画中のタイトルは追いかけ再生できません。
- 3D番組は、タイトル名の横に3Dアイコンが表示されていることを確認してから、追いかけ再生してください。

早見再生したい（音声付き早見）

ハードディスクの映像（タイトル）を再生できます。

1 タイトルを再生（49ページ）し、音声付きで早見再生する。

《黄》ボタンを押します。

通常再生にするには、《黄》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 早見再生中に《青》ボタンを押すと、ダイジェスト早見再生します。
- 外付けUSBハードディスクのタイトルも早見再生できます。

ご注意

- 次のタイトルは早見再生できません。
  – BD/DVDのタイトル。
  – デジタルカメラなどで撮影した3D映像。
  – デジタルカメラなどで撮影した1080/60p映像。

音声／字幕／アングルを切り換えたい

音声を切り換えたい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- DRモードで録画する（36ページ）。

1 映像（タイトル）を再生し（49、50ページ）、音声を切り換える。

《音声切換》ボタンを押します。

視聴中のタイトルにセリフが複数の言語で記録されているときや、音声トラックに主音声／副音声が記録されている場合、押すたびに切り換わります。

字幕を切り換えたい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- DRモードで録画する（33ページ）。

1 映像（タイトル）を再生し（49、50ページ）、字幕を表示する。

《字幕》ボタンを押します。

視聴中のタイトルに字幕が複数の言語で記録されている場合、押すたびに字幕の言語が切り換わります。

アングルを切り換えたい

違うアングルなど、複数の映像があるときに切り換えることができます。

1 映像（タイトル）を再生し（49、50ページ）、アングルを切り換える。

《オプション》ボタンを押し、[映像切換]を選びます。

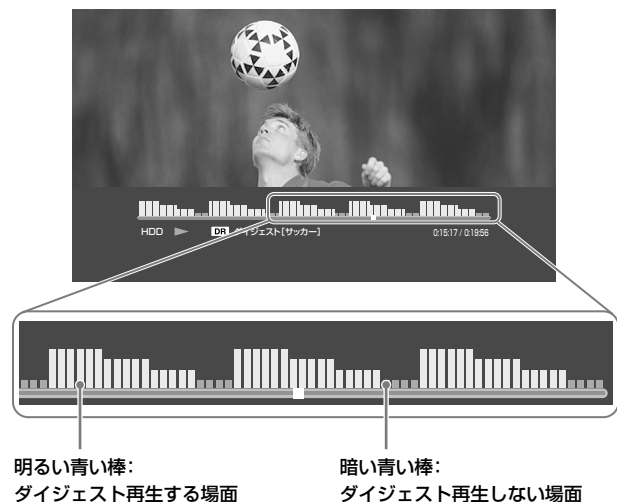
視聴中のタイトルに複数の映像が記録されている場合、[映像切換]が表示され、選ぶたびに映像が切り換わります。

見どころ場面をダイジェストで再生したい

ハードディスクの映像をダイジェストで再生したい

ハードディスクに10分以上録画した映像（タイトル）の音声の盛り上がりや映像の切り換わりなどを検出し、タイトルの中で見どころと思われる場面を中心に自動再生します。

明るい青い棒：
ダイジェスト再生する場面

暗い青い棒：
ダイジェスト再生しない場面

1 タイトルを再生し（49ページ）、ダイジェスト再生する。

《青》ボタンを押します。

ダイジェスト再生時間の画面を表示するには、《画面表示》ボタンを押します。

通常再生にするには、《青》ボタンを押します。

ちょっと一言

- ダイジェスト再生中に《黄》ボタンを押すと、ダイジェスト早見再生します。
- ダイジェスト再生時間を変更するには、［設定］＞［ビデオ設定］＞［ダイジェスト設定］（118ページ）を行ってください。
- 外付けUSBハードディスクのタイトルもダイジェスト再生できます。

見たい場面を再生するには

ダイジェスト再生中に⏮ ／ ⏭《前／次》ボタンを押すと、再生中の見どころ場面の先頭や、次の見どころ場面の先頭に移動します。1つ前の見どころ場面に移動するには、⏮《前》ボタンを続けて2回押してください。←● ／ ●→《10秒戻し／ 15秒送り》ボタンを押すと、少し前や先に移動します。

以下のことはできません

- 次のタイトルをダイジェスト再生すること。
  - プレイリスト。
  - 追いかけ再生中のタイトル。
  - 再生時間が約10分未満のタイトル。
  - AVCHDダビングしたタイトル。
  - x-Pict Story HDで作成したビデオ作品。
  - BDからハードディスクにダビングしたタイトル。
  - インターネットサービスからダウンロードしたタイトル。
  - LAN経由でCATV録画／「スカパー！ HD録画」したタイトル。

  受信状態が悪いときに記録されたタイトルや番組内容によっては、ダイジェスト再生できないことがあります。

BD/DVDの映像をダイジェストで再生したい

ダイジェスト再生できるのはハードディスクに録画した映像（タイトル）だけです。

映像の区切りで頭出ししたい（チャプターサーチ）

映像（タイトル）内にチャプターマークがある場合に頭出しできます。

1 タイトルを再生する（49ページ）。

2 再生したい場面を探す。
《オプション》ボタンを押します。
［チャプターサーチ］を選び、《決定》ボタンを押します。

3 再生する。
数字ボタンでチャプター番号を入力し、《決定》ボタンを押します。

チャプター番号（総チャプター数）

ちょっと一言

- 市販のディスクの場合は、タイトルを選んで頭出しします。
  手順2で［タイトルサーチ］を選び、タイトル番号を入力して《決定》ボタンを押します。
- 外付けUSBハードディスクのタイトルもチャプターサーチできます。

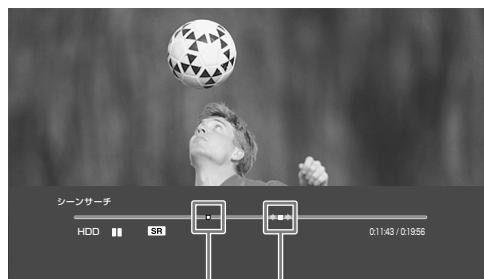
再生中にチャプターマークを付けるには

ハードディスクやBD-R/BD-REに録画したタイトルは、再生中や録画中にチャプターマークを付けることができます。
再生／再生一時停止中や録画中に、タイトルをチャプターとして分けたい場面で、《チャプター書込み》ボタンを押します。

見たい場面をすばやく探したい（シーンサーチ）

映像（タイトル）の見たい場面にすばやく移動できます。

1 タイトルを再生する（49ページ）。

2 見たい場面を探す。
《緑》ボタンを押します。
⇔で見たい場面の位置まで移動します。
見たい場面の位置まで移動したら、ボタン操作を停止します。

現在位置　シーンインジケーター

3 再生する。
《決定》ボタンを押します。
シーンサーチをやめるには、《緑》ボタンを押します。押した場面から再生が始まります。

ちょっと一言

- 外付けUSBハードディスクのタイトルもシーンサーチできます。

以下のことはできません

- 短いタイトル、長すぎるタイトルで、シーンサーチすること。
- 市販のBD-ROMや「BD-R/RE BDMV」と表示されるディスクをシーンサーチすること。

その他の方法で再生したい

BDの特典映像を楽しみたい

BD-LIVEロゴ*が記載されたBD-ROMには、スペシャルコンテンツ(BONUSVIEW)や、ネットワークから外部メモリー(ローカルストレージ"local storage")にダウンロードして楽しむコンテンツ(BD-LIVE)などが用意されているものがあります。

* BD LIVE

1 本機をネットワークにつなぐ。

「外出先から携帯電話やインターネットで録画予約したい(リモート録画予約)」(45ページ)の手順1をご覧ください。

2 ネットワークに正しくつながっているか確認する。

《ホーム》ボタンを押します。

[設定]>[通信設定]>[ネットワークの設定確認と接続診断]>[接続診断](124ページ)を選び、《決定》ボタンを押します。

「ネットワークは正しく接続されています。」と表示されない場合は、画面の指示に従ってください。

3 BDのインターネット接続を許可する。

[設定]>[BD/DVD視聴設定]>[BDインターネット接続]>[許可する](119ページ)を選び、《決定》ボタンを押します。

4 BONUSVIEW(ボーナスビュー)やBD-LIVE(BDライブ)対応のディスクを入れる。

操作方法はディスクによって異なります。ディスクの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- BD-ROM再生時に本機のローカルストレージが不足していることを知らせるメッセージが表示されたときは、ホームメニュー>[ビデオ]>[BDデータ]からデータを削除してください。

その他の方法で再生したい

再生中にリモコンでいろいろな操作ができます。

ボタン	できること
←→	◀◀／▶▶ボタンと同じ操作ができます(57ページ)。
《決定》	• 一時停止または再生を再開します。 • 早戻し／早送り、スロー、コマ戻し／コマ送り再生中に押すと通常の再生に戻ります。
⏮／⏭《前／次》	前または次のチャプター／トラック／ファイルの先頭に進みます。1つ前のチャプターの先頭に戻るには、⏮《前》ボタンを続けて2回押してください。
←●／●→《10秒戻し／15秒送り》	少し前に戻る、または先に進みます。
◀◀／▶▶《早戻し／早送り、スロー、コマ戻し／コマ送り》	• 再生中に押すと、早送り再生や早戻し再生します。 ビデオ再生中は押すたびに速さが切り換わります。 • 一時停止中に1秒以上押すと、スロー再生します。 • 一時停止中に押すと、コマ送り再生します。
❚❚《一時停止》	一時停止または再生を再開します。
ポップアップ／メニュー	BD-ROMのポップアップメニューやDVDのメニューを表示または閉じます。
字幕	視聴している映像(タイトル)に字幕が複数の言語で記録されている場合、言語を選べます。
音声切換	視聴している映像(タイトル)にセリフが複数の言語で記録されているときや、音声トラックに主音声／副音声が記録されているときに選べます。

ちょっと一言

- BD-ROM再生時にカラーボタン(《青》ボタン、《赤》ボタン、《緑》ボタン、《黄》ボタン)や数字ボタン、↑↓←→を使うことがあります。
- 再生するディスクやタイトルによって、利用できる機能が異なります。

再生する

削除／編集する

これらの情報はWebでもご覧いただけます

パソコン：
スマートフォン：

http://www.sony.jp/support/tv/

見終わった番組や映像を削除したい（タイトル削除）

ハードディスクの映像を削除したい

写真やアルバムは、本機のハードディスクに記録した場合のみ削除できます。

1 映像（タイトル）を選ぶ。
《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]／[フォト]＞タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 削除方法を選ぶ。
[削除]＞[選択削除]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言
- [すべて削除]を選ぶとタイトルを選ばなくても削除できます。手順4へ進んでください。

3 削除したいタイトルを選ぶ。
タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

4 削除する。
[確定]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言
- 視聴年齢制限でタイトルリストに表示されないタイトルは、表示されている他のタイトルを選び、オプションメニューの[視聴制限一時解除]（179ページ）で視聴年齢制限を解除してから削除してください。
- 外付けUSBハードディスクのタイトルも削除できます。

ひとつだけ削除するときは

削除したいタイトルを選び、《削除》ボタンを押します。
[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

グループごと削除するには

1 グループごとの表示にする（53ページ）。

2 グループごと削除する。
グループを選び、《削除》ボタンを押します。
[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

BDの映像を削除したい

番組／映像の場合

削除できます。「ハードディスクの映像を削除したい」（59ページ）をご覧ください。

ご注意
- BD-Rはタイトルを削除しても空き容量は増えません。
- BDからグループごと削除することはできません。

写真／アルバムの場合

削除できません。
BD-REを初期化すると、ディスクの内容をすべて削除できます（77ページ）。

DVDの映像を削除したい

映像（タイトル）を選んで削除できません。
DVD-RWを初期化すると、ディスクのタイトルをすべて削除できます。DVDの初期化はダビングの手順の中で行います（72ページ）。

プレイリストを作成したオリジナルタイトルを削除したい

オリジナルタイトルのみを削除することはできません。先にプレイリスト（64ページ）を削除してからオリジナルタイトルを削除してください。

削除できないように保護をかけたい（プロテクト）

ハードディスクやBD-R/BD-REの映像（タイトル）を削除できないようにプロテクト（保護）設定できます。

1 プロテクトしたいタイトルを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

［ビデオ］＞タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 プロテクトする。

［プロテクト］を選び、《決定》ボタンを押します。

解除するには、［プロテクト解除］を選びます。

ちょっと一言

- 外付けUSBハードディスクのタイトルもプロテクト設定できます。

映像が編集できるか確認したい

デジタル放送の映像

記録先が：

記録先		
本機のハードディスク／外付けUSBハードディスク	○	編集できます。
ブルーレイディスク	○	編集できます。
DVD	⊘	編集できません。

インターネットサービスからダウンロードした映像

記録先が：

記録先		
本機のハードディスク／外付けUSBハードディスク	⊘	編集できません。
ブルーレイディスク	⊘	編集できません。
DVD	⊘	編集できません。

デジタルカメラの映像

記録先が：

記録先		
本機のハードディスク／外付けUSBハードディスク	○	編集できます。
ブルーレイディスク	○	編集できます。
DVD	⊘	編集できません。

ご注意

- 編集中にディスクを取り出したり、録画予約で設定した録画が始まったりすると、編集内容が取り消されることがあります。
- チャプター編集の削除や、部分削除で削除した場所の映像や音声が途切れることがあります。
- 視聴年齢制限でタイトルリストに表示されないタイトルは、表示されている他のタイトルを選び、オプションメニューの[視聴制限一時解除](179ページ)で視聴年齢制限を解除してから編集してください。暗証番号(123ページ)を入力します。編集が終わったら、オプションメニューの[視聴制限再設定](179ページ)で制限を再設定してください。本機の電源を切っても、自動的に制限が再設定されます。

ハードディスクの映像を編集したい

ハードディスクの映像(タイトル)はいろいろな編集ができます。次のページをご覧ください。

- 「チャプターを分割/削除/結合したい」(62ページ)。
- 「映像の一部分をカットしたい(部分削除)」(63ページ)。
- 「映像のプレイリストを作成したい」(63ページ)。
- 「ひとつの映像を分割したい(タイトル分割)」(65ページ)。
- 「複数の映像をひとつにしたい(タイトル結合)」(65ページ)。
- 「録画した映像にマークを付けてグループ設定したい」(66ページ)。
- 「映像につけたタイトル名を変更したい」(66ページ)。
- 「サムネイル画像を変更したい」(66ページ)。
- 「映像を切り取って写真にしたい」(67ページ)。

ちょっと一言

- 外付けUSBハードディスクのタイトルも編集できます。

BDの映像を編集したい

1 編集したい映像(タイトル)が入っているBDを入れる。

2 編集する。

BDのタイトルはいろいろな編集ができます。次のページをご覧ください。

- 「チャプターを分割/削除/結合したい」(62ページ)。
- 「映像の一部分をカットしたい(部分削除)」(63ページ)。
- 「映像のプレイリストを作成したい」(63ページ)。
- 「ひとつの映像を分割したい(タイトル分割)」(65ページ)。
- 「複数の映像をひとつにしたい(タイトル結合)」(65ページ)。
- 「映像につけたタイトル名を変更したい」(66ページ)。
- 「サムネイル画像を変更したい」(66ページ)。

以下のことはできません

- 「BD-R/RE BDMV」と表示されるディスクを編集すること。

DVDの映像を編集したい

DVDの映像(タイトル)は編集できません。

チャプターを分割／削除／結合したい

映像にチャプターマークを付けたい

映像（タイトル）の再生中や録画中にチャプターマークを付けることができます。再生／再生一時停止中や録画中に、チャプターとして分けたい場面で《チャプター書込み》ボタンを押します。
チャプターマークを付けると、再生時の頭出しやチャプター編集の際に便利です。

チャプターを分割／削除／結合したい（チャプター編集）

チャプターを分けたり、削除したり、まとめたりして、映像（タイトル）のチャプターを好みに合わせて編集できます。
また、不要な場面をまとめて削除することもできます。
オリジナルタイトルのチャプターを削除すると、元に戻せないのでご注意ください。プレイリスト（63ページ）を利用すると便利です。

1 編集したいタイトルを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

［ビデオ］＞タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 編集画面を表示する。

［設定／編集］＞［チャプター編集］を選び、《決定》ボタンを押します。

3 チャプターを選ぶ。

チャプターエリアで編集したいチャプターを⇔で選ぶ。

チャプターエリア

4 編集する。

操作ボタンエリア

分割するときは

►《再生》ボタンを押して、チャプターを再生します。分割したい場面まで再生して❚❚《一時停止》ボタンを押します。

⬇で操作ボタンエリアに移動して［分割］を選び、《決定》ボタンを押します。

削除するときは

チャプターエリアで削除したいチャプターを⇔で選び、《決定》ボタンを押します。複数のチャプターを一度に削除するときは、削除対象をすべて選んでおきます。

⬇で操作ボタンエリアに移動して［削除実行］を選び、《決定》ボタンを押します。

前のチャプターと結合するときは

⬇で操作ボタンエリアに移動して［前と結合］を選び、《決定》ボタンを押します。

5 終了する。

［終了］を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- チャプターの時間が短いと、削除できないことがあります。

映像の一部分をカットしたい（部分削除）

オリジナルタイトルの場面を削除すると元に戻せないのでご注意ください。プレイリスト（63ページ）を利用すると便利です。

1 編集したい映像（タイトル）を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

［ビデオ］＞タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 削除方法を選ぶ。

［設定／編集］＞［部分削除］を選び、《決定》ボタンを押します。

3 削除する部分を選ぶ。

削除を開始する場面が表示されたら、［開始点設定］を選び、《決定》ボタンを押します。

削除を終了する場面が表示されたら、［終了点設定］を選び、《決定》ボタンを押します。

開始点設定　終了点設定　操作ボタンエリア

4 確定する。

操作ボタンエリアで［確定］＞［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。

続けて他の場面を削除するときは、手順3と4をくり返します。

5 画面を終了する。

操作ボタンエリアで［終了］を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- ［部分削除］で場面を削除した場所にはチャプターマークが入り、前後の場面はそれぞれ別のチャプターになります。
- 削除設定した場面が少しずれて削除されることがあります。

映像のプレイリストを作成したい

プレイリストを作成したい

何度でも作成できるため、編集に失敗してもやり直せます。

「プレイリストについて」（64ページ）もご覧ください。

1 映像（タイトル）を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

［ビデオ］＞タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 プレイリスト作成方法を選ぶ。

［設定／編集］＞［プレイリスト作成］を選び、《決定》ボタンを押します。

3 プレイリストを作成したいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

4 プレイリストに入れるシーンを選ぶ。

プレイリストに入れるシーンの開始場面が表示されたら、［開始点設定］を選び、《決定》ボタンを押します。

プレイリストに入れるシーンの終了場面が表示されたら、［終了点設定］を選び、《決定》ボタンを押します。

開始点設定　終了点設定　操作ボタンエリア

5 確定する。

操作ボタンエリアで［確定］を選び、《決定》ボタンを押します。

続けて同じタイトルからシーンを追加するときは、手順4、5をくり返します。

6 シーン選びを終了する。

操作ボタンエリアで［終了］を選び、《決定》ボタンを押します。

7 選んだシーンを確認する。

[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

シーンリストで選ばれたシーンでプレイリストを作成します。

確定

8 プレイリスト名を入力する。

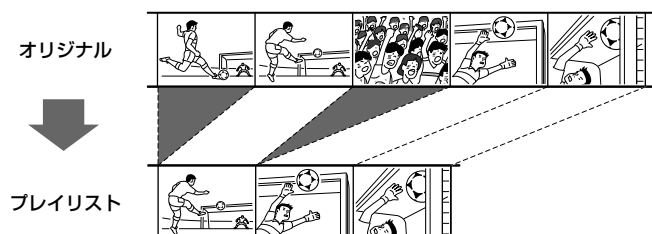
文字入力画面（147ページ）でプレイリスト名を入力します。

ご注意

- プレイリストを作成すると、編集した場面を再生するとき、映像が一時停止することがあります。

以下のことはできません。

- 次の組み合わせでプレイリストを作成すること。
  - 録画した3D映像を含むタイトルと2Dのタイトル。
  - デジタルカメラなどで撮影した3D映像と、それ以外の3Dタイトル。
  - デジタルカメラなどで撮影した3D映像同士で、解像度やフレームレートが異なる場合。
  - デジタルカメラなどで撮影した1080/60p映像と、それ以外のタイトル。
  - 異なる保存先（本機のハードディスク、BD、外付けUSBハードディスク）のタイトル同士。

プレイリストについて

プレイリストはオリジナルのタイトルを変更せずに、好みの場面のみを集めたタイトルです。何度でも編集でき、いくつでも作成できます。

プレイリストを作成したオリジナルタイトルを編集したい

プレイリストを作成したオリジナルタイトルは編集できません。プレイリストを削除すると、オリジナルタイトルを編集できるようになります。

ひとつの映像を分割したい（タイトル分割）

高画質で長時間の容量が大きい映像（タイトル）を、画質を落とさずにディスクへダビングしたいときに便利です。

1 分割したいタイトルを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

［ビデオ］＞タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 分割方法を選ぶ。

［設定／編集］＞［タイトル分割］を選び、《決定》ボタンを押します。

3 タイトルを分割する。

分割する場面が表示されたら［確定］を選び、《決定》ボタンを押します。

画面の指示に従って操作してください。

分割した後にタイトル名を変更するには、［はい］を選び、文字入力画面（147ページ）で入力します。

複数の映像をひとつにしたい（タイトル結合）

次の映像（タイトル）を結合できます。

- プレイリストタイトル同士。
- オリジナルタイトル同士。

1 結合したいタイトルを選ぶ。

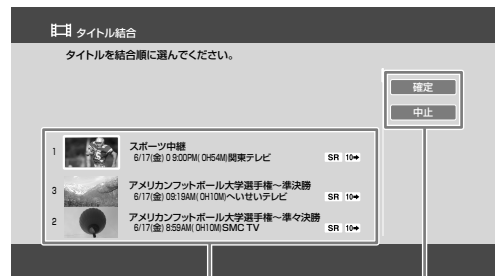
《ホーム》ボタンを押します。

［ビデオ］＞タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 結合方法を選ぶ。

［設定／編集］＞［タイトル結合］を選び、《決定》ボタンを押します。

3 結合するタイトルを選ぶ。

タイトルは複数選べます。

4 確定する。

操作ボタンエリアで［確定］を選び、《決定》ボタンを押します。

5 結合する。

タイトル名を選び、《決定》ボタンを押します。

［名前入力］を選ぶと新しくタイトル名を入力できます（147ページ）。

ご注意

- 結合するタイトル中のチャプター数の合計が上限を超えるときは、後方のチャプターが結合されて1つのチャプターになります。
- コピー制限のないタイトルを、ダビング10に対応したタイトルと結合すると、ダビング10対応タイトルに付いていた回数制限が付きます。

以下のことはできません。

- 次の組み合わせでタイトルを結合すること。
  - 録画した3D映像を含むタイトルと2Dのタイトル。
  - デジタルカメラなどで撮影した3D映像と、それ以外の3Dタイトル。
  - デジタルカメラなどで撮影した3D映像同士で、解像度やフレームレートが異なる場合。
  - デジタルカメラなどで撮影した1080/60p映像と、それ以外のタイトル。
  - 異なる保存先（本機のハードディスク、BD、外付けUSBハードディスク）のタイトル同士。

録画した映像にマークを付けてグループ設定したい

ハードディスクに録画した映像にマークを付けたい

☞次のページも参考にしてください。
- グループごとの表示にする（53ページ）。

ハードディスクの映像（タイトル）にマークを付けて、同じマークのグループに分類して表示できます。

1 マークを付けたいタイトルを選ぶ。
《ホーム》ボタンを押します。
［ビデオ］＞タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 マークを設定する。
［設定／編集］＞［マーク設定］を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言
- 外付けUSBハードディスクのタイトルにもマークを付けることができます。

マークの名前を変更したい

ハードディスクの映像（タイトル）のマーク名を変更できます。

1 グループごとの表示にする（53ページ）。

2 変更したいマークを選ぶ。
［マーク］＞グループを選び、《オプション》ボタンを押します。

3 変更方法を選ぶ。
［名前変更］を選び、《決定》ボタンを押します。

4 マーク名を入力する。
文字入力画面（147ページ）でマーク名を入力します。

ちょっと一言
- ［マーク名設定］（119ページ）でも、マーク名を変更できます。

BD/DVDの映像にマークを付けたり、名前を変更したりしたい

マークを付けることができるのはハードディスクの映像（タイトル）だけです。

映像につけたタイトル名を変更したい

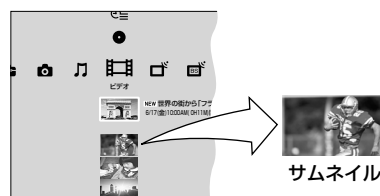
ハードディスクやBD-R/BD-REに記録した映像（タイトル）のタイトル名を変更できます。

1 名前を変更したいタイトルを選ぶ。
《ホーム》ボタンを押します。
［ビデオ］＞タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 名前を変更する。
［設定／編集］＞［名前変更］を選び、《決定》ボタンを押します。
新しくタイトル名を入力できます（147ページ）。

ちょっと一言
- 外付けUSBハードディスクのタイトルも名前を変更できます。

サムネイル画像を変更したい

ハードディスクやBD-R/BD-REに記録した映像（タイトル）のサムネイルを変更できます。

1 サムネイルを変更したいタイトルを選ぶ。
《ホーム》ボタンを押します。
［ビデオ］＞タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 設定画面を表示する。
［設定／編集］＞［サムネイル設定］を選び、《決定》ボタンを押します。

3 サムネイルを変更する。
サムネイルにしたい場面が表示されたら［確定］を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言
- 外付けUSBハードディスクのタイトルもサムネイルを変更できます。

映像を切り取って写真にしたい

次の映像(タイトル)でできます。
- AVCHDダビングしたタイトル。
- 8cm DVDから取り込んだタイトル。
- x-Pict Story HDで作成したビデオ作品。

1 タイトルを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

[フォト]>[フォト切り出し]>タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

画面の指示に従って操作してください。

再生が始まったら、切り取りたい場面で❚❚《一時停止》ボタンを押します。

⬇で[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

コピー／ダビングする

これらの情報はWebでもご覧いただけます

パソコン：
スマートフォン：

http://www.sony.jp/support/tv/

コピーできるディスク／映像の種類

コピーできるディスク

☞次のページも参考にしてください。
- 録画モードと録画／ダビング可能時間（153ページ）。

ダビングにかかる時間は、BDとDVDで異なります。
DVDへのダビングは再生時間とほぼ同じ時間がかかります。
BDには、DVDより短い時間でダビングできます。

BD-RE
ディスクはくり返し使えます。

BD-R
保存版にするときに使います。

DVD-RW（12cm）
ディスクはくり返し使えます。

DVD-R（12cm）
保存版にするときに使います。

8cmのDVD

DVD-R DL（2層）
パッケージに「DL」／「2層」と記載されたDVDは使えません。

DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL（2層）
DVDの後ろの文字が「+」と記載されたDVDは使えません。

DVD-RAM
DVDの後ろの文字が「RAM」と記載されたDVDは使えません。

外部入力につないだ他機器の映像をディスクにコピーするには

本機のハードディスクにダビングしてから（87ページ）、ディスクにダビングしてください（71、72ページ）。

外付けUSBハードディスクに保存した映像をディスクにコピーするには

ディスクにダビングできるのは本機のハードディスクからだけです。外付けUSBハードディスクから本機のハードディスクにダビングしてから（78ページ）、ディスクにダビングしてください（71、72ページ）。

3D映像をディスクにコピーするには

BD-REやBD-Rに高速ダビングしてください（71ページ）。高速以外のダビングモードでダビングした場合、2D映像に変換されます。

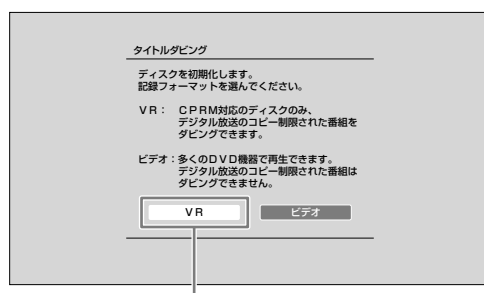
録画した番組をコピーできるディスク

- 用意するディスク。
  - BD：ダビングできます。
  - DVD：CPRMに対応したビデオ用や録画用のDVDにダビングできます。CPRMに対応していないDVDやデータ用DVDにはダビングできません。

BD-RE/BD-R

DVD-RW/DVD-R
CPRM対応
ビデオ用／録画用

DVD-RW/DVD-R
CPRM非対応
データ用

- DVDの記録フォーマット。

ダビング時にVRモードを選んでください（72ページ）。

- 他機器での再生互換（DVD-RW/DVD-R）。
  他機器で再生するためにはファイナライズが必要です。
  DVD-RWはダビング終了後、自動的にファイナライズされます。
  DVD-Rへのダビング時に「ファイナライズしない」を選んだときは、オプションメニューからファイナライズしてください（76ページ）。
  ダビングしたDVDはCPRMとVRモードに対応した機器でのみ再生できます（151ページ）。

CPRM対応
VRモード対応

ダウンロードしたインターネット映像をコピーできるディスク

- 用意するディスク。
  - BD：ダビングできます。
  - DVD：ダビングできません。

BD-RE/BD-R

DVD-RW/DVD-R

デジタルカメラなどの映像をコピーできるディスク

- 用意するディスク。
  BD/DVDのどちらにもダビングできます。

BD-RE/BD-R

DVD-RW/DVD-R
CPRM対応
ビデオ用／録画用

DVD-RW/DVD-R
CPRM非対応
データ用

- DVDの記録フォーマット。
  どの記録フォーマットでもダビングできます。

ちょっと一言
- DVDを他機器で再生するときは、ダビング時にビデオモードを選んでください(72ページ)。

コピー中の操作制限

高速ダビング中

ホームメニューからテレビ番組を見たり、ハードディスクに録画した映像(タイトル)を再生したりできます。ただし、次の操作はできません。
- BDやDVDの再生(本機のハードディスク→BDに高速ダビング中)。
- ホームサーバー機能でのタイトル出力。
- フォト切り出し／フォト取り込み。
- ダビング元とダビング先に記録されているタイトルの編集(サムネイル設定／チャプター編集／部分削除／タイトル分割／プレイリスト作成)。
- ダビング(タイトルダビング／思い出ディスクダビング／VHSダビング／ AVCHDダビング／まるごとDVDコピー)。
- おでかけ転送／おかえり転送。
- x-ScrapBook/x-Pict Story HD。
- インターネットサービスの利用。

高速以外のダビングモードでダビング中

他の操作はできません。

ダビング先の空き容量を確認したい

ディスクの空き容量を確認するには

ディスクを入れ、《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]＞ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。
[情報表示]を選び、《決定》ボタンを押します。

ハードディスクの空き容量を確認するには

詳しくは、「録画先の空き容量を確認したい」(37ページ)をご覧ください。

ディスクにコピーしたい（タイトルダビング）

BDにコピーしたい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- BDを用意する。

BD-RE/BD-R

☞次のページも参考にしてください。
- ディスクの空き容量を確認したい（70ページ）。

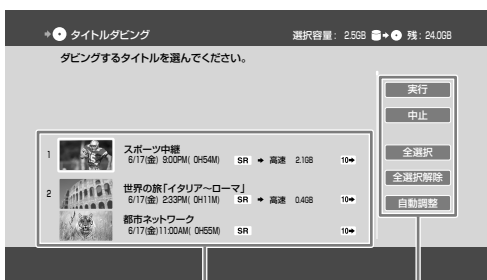
ディスクの正しい入れ方については、「ディスクの入れかた・取り出し方について」をご覧ください（13ページ）。誤った方法で挿入しようとすると故障の原因となります。

本機のハードディスクにたまった映像（タイトル）をBDにダビングして保存できます。

1 ディスクを入れ、ダビング方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]＞[ディスクダビング]＞[HDD→BD/DVDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 ダビングしたいタイトルを選ぶ。

タイトルエリアでタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。選んだ順に、サムネイルの左横に番号が付きます。タイトルは30個まで選べます。

タイトルエリア　操作ボタンエリア

ちょっと一言
- ダビングモードを変更できます（76ページ）。

操作ボタンエリアで[全選択]を選んだときは

リストの上から順に30個まで選ばれます。

操作ボタンエリアで[自動調整]を選んだときは

ディスクの残量に応じてダビングモードを自動で調整します。ディスクの空き容量が不足しているときに選べます。

3 ダビングを開始する。

操作ボタンエリアで[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言
- タイトルダビング中に本機の電源を切ってもダビングは継続されます。
- 編集回数が多いタイトルはダビングできないことがありますが、そのタイトルを分割すればダビングできることがあります。
- タイトルダビングする場合は、元タイトルのチャプターマークが書き込まれます。
- 本機のハードディスクに保存されているプレイリストは、ダビング時にオリジナルタイトルとしてダビングされます。
- デジタル放送の 1⇒ が付いたタイトルをダビングする場合は、タイトルを移動（ムーブ）してよいか確認する画面が表示されます。[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。タイトルはディスクにムーブされ、本機のハードディスクからは削除されます。

ご注意
- ダビング中は本機の電源コードを絶対に抜かないでください。
- 編集したタイトルを高速ダビングすると、削除した映像が残ることがあります。
- 高速ダビング中に他の操作を行うと、ダビング所要時間が通常より長くなるため、ダビング直後に開始する録画予約やBDへの録画予約が実行されないことがあります。
- ディスクに入りきらない容量のタイトルを選んだ場合は、ダビングを開始できません。ダビングモードを変えるとダビングができる場合は、自動調整の画面が表示され、ダビングできます。
- 他機器で再生した場合、ディスク名が表示されないことがあります。また、一部の文字はタイトルリストで表示されません。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルは、ダビングモードを変更できません。BD-RE/BD-Rにのみ高速ダビングできます。
- インターネットサービスからダウンロードしたり、LAN経由でCATV録画／「スカパー！ HD録画」したりしたタイトルで、視聴年齢制限されている場合は、画面の指示に従って[暗証番号設定]（123ページ）で設定した暗証番号を入力してください。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルには、ダビング期限や有効期限が指定されているものがあります。ダビング期限などを確認するには、オプションメニューから[情報表示]を選んでください。
- LAN経由でCATV録画／「スカパー！ HD録画」したタイトルはBDにダビングしても他機器で再生できないことがあります。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/tv/

DVDにコピーしたい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- DVDを用意する。

CPRM対応

☞次のページも参考にしてください。
- コピーできるディスクの種類（69ページ）。
- ディスクの空き容量を確認したい（70ページ）。

ディスクの正しい入れ方については、「ディスクの入れかた・取り出し方について」をご覧ください（13ページ）。誤った方法で挿入しようとすると故障の原因となります。

本機のハードディスクにたまった映像（タイトル）をDVDにダビングして保存できます。

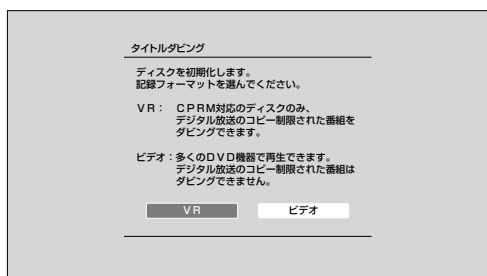
1 ディスクを入れ、ダビング方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]＞[ディスクダビング]＞[HDD→BD/DVDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

データを追記または初期化を選ぶ画面が表示されたときは

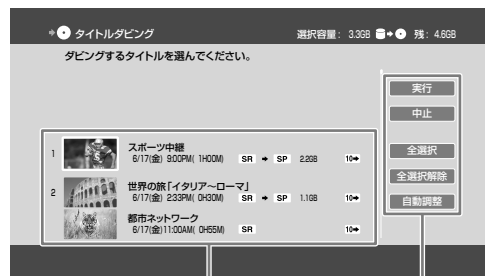
[追記]
DVDにタイトルを残し、タイトルを追加するときに選びます。

[初期化]
DVDからタイトルを削除し、新しく記録するときに選びます。すでにDVDに記録されているタイトル、写真、データなどはすべて削除されます。

記録フォーマットを選ぶ画面が表示されたときは

[VR]
デジタル放送をダビングするときに選びます。

[ビデオ]
ビデオカメラ映像などのコピー制御信号を含まないタイトルを、より多くのDVD機器で再生できるようにダビングします。デジタル放送はダビングできません。

2 ダビングしたいタイトルを選ぶ。

タイトルエリアでタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。選んだ順に、サムネイルの左横に番号が付きます。タイトルは30個まで選べます。

ちょっと一言
- 画質に合わせて、本機が自動的にダビングモードを設定します。詳しくは、「本機のハードディスクからDVDへのダビングモードと記録可能時間」（154ページ）をご覧ください。
- ダビングモードを変更できます（76ページ）。

操作ボタンエリアで[全選択]を選んだときは
リストの上から順に30個まで選ばれます。

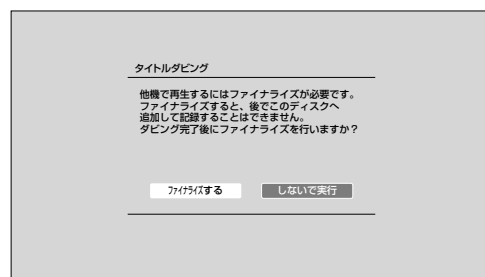
操作ボタンエリアで[自動調整]を選んだときは
ディスクの残量に応じてダビングモードを自動で調整します。ディスクの空き容量が不足しているときに選べます。

3 ダビングを開始する。

操作ボタンエリアで[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言
- タイトルダビング中に本機の電源を切ってもダビングは継続されます。

ご注意
- ディスクに入りきらない容量のタイトルを選んだ場合は、ダビングを開始できません。ダビングモードを変えるとダビングができる場合は、自動調整の画面が表示され、ダビングできます。

ファイナライズを選ぶ画面が表示されたときは

[ファイナライズする]

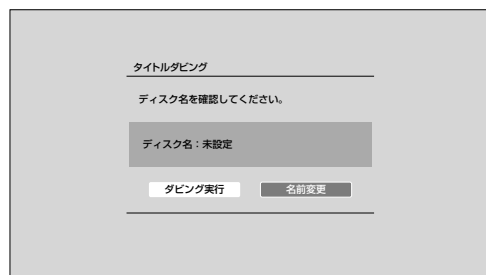
ダビング終了後、自動的にファイナライズします。タイトルの記録時間が短いと、ファイナライズにかかる時間が長くなることがあります。一度ファイナライズすると、DVD-Rには追記できなくなります。

[しないで実行]

ダビングが始まります。ダビング終了後、必要に応じてファイナライズしてください(76ページ)。

DVDメニューを選ぶ画面が表示されたときは

24種類のDVDメニューの中から選びます。
《黄》ボタンを押すと、背景画面が拡大表示されます。

名前変更を選ぶ画面が表示されたときは

[ダビング実行]

ダビングが始まります。ダビング終了後、自動的にファイナライズします。

[名前変更]

ディスクの名前を変更できます(147ページ)。

ちょっと一言

- 編集回数が多いタイトルはダビングできないことがありますが、そのタイトルを分割すればダビングできることがあります。
- DVDにダビングしたタイトルは、チャプター編集などの編集はできません。あらかじめ本機のハードディスクで編集してから、ダビングしてください。
- タイトルダビングする場合は、元タイトルのチャプターマークが書き込まれます。
- 本機のハードディスクに保存されているプレイリストは、ダビング時にオリジナルタイトルとしてダビングされます。
- デジタル放送の 1➡ が付いたタイトルをダビングする場合は、タイトルを移動(ムーブ)してよいか確認する画面が表示されます。[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。タイトルはディスクにムーブされ、本機のハードディスクからは削除されます。

ご注意

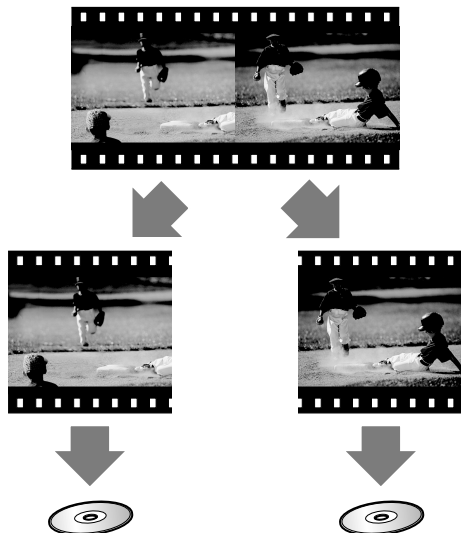
- ダビング中は本機の電源コードを絶対に抜かないでください。
- 次の文字を使ったタイトルをDVDにダビングすると、ダビング時にこれらの文字は削除されます。
  「①」「②」「③」「④」「⑤」「⑥」「⑦」「⑧」「⑨」「⑩」
  「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」「Ⅳ」「Ⅴ」「Ⅵ」「Ⅶ」「Ⅷ」「Ⅸ」「Ⅹ」
  その他特殊文字は削除されることがあります。
- LPモードでダビングすると、4:3でダビングされ、画面の上下に黒帯が付くことがあります。

以下のことはできません

- DVD-R/-RW(VRモード)でDVDメニューを作成すること。
- 全角32文字、半角64文字を超えた文字数を、DVDのディスク名として入力すること。
  他機器で再生した場合、ディスク名が表示されないことがあります。また、一部の文字はタイトルリストで表示されません。
- 5.1chの音声が含まれているデジタル放送のタイトルを、5.1chの音声のままDVDにダビングすること。
  DVDにダビングしたタイトルは2chの音声になります。

高画質のままディスクにコピーしたい

BDにコピーしたい

BDには、録画した画質のままダビングできます。
高画質で長時間の容量が大きい映像(タイトル)を、画質を落とさずにディスクへダビングしたいときは、ディスク容量に応じてタイトルを分割します。

分割したいタイトルを選び、オプションメニューから分割します(65ページ)。分割した数だけディスクを用意し、ダビングします(71ページ)。

ちょっと一言

- タイトルを分割せず、1枚のディスクにおさめたい場合は、ダビングモードを変更します(76ページ)。

DVDにコピーしたい

DVDには、録画した画質のままダビングできません。
必ず、ダビングモードの変更が必要となり、再生時間と同じ所要時間がかかりますのでご注意ください。

高速でディスクにコピーしたい

BDにコピーしたい(高速ダビング)

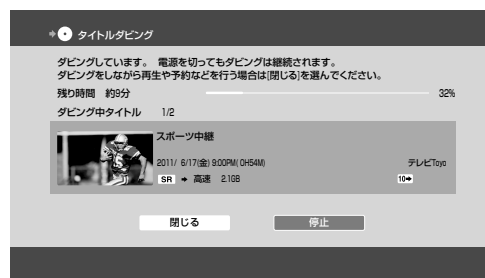
☞次のページも参考にしてください。
- コピー中の操作制限(70ページ)。

1 番組を録画する。

2 録画時のモードのままBDにダビングする(71ページ)。

ダビングモードを変更してダビングすると、再生時間と同じ所要時間がかかりますのでご注意ください。

高速ダビング中に他の操作をするには

ダビング進捗画面で[閉じる]>[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ダビング所要時間が長くなりますのでご注意ください。
ダビング進捗画面に戻るには、《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]>映像(タイトル)を選び、《オプション》ボタンを押します。
[ダビング進行状況]を選び、《決定》ボタンを押してください。

DVDにコピーしたい

DVDには高速ダビングできません。BDへダビングしてください。

コピー/ダビングする

ディスクにおさまるようにコピーしたい

長時間の番組をコピーしたい

1 ディスクにおさまる時間を調べる(153ページ)。

2 映像(タイトル)を分割する(65ページ)。

3 ダビングする(71、72ページ)。

BDには高速ダビングできますが、DVDへのダビングは再生時間と同じ所要時間がかかりますのでご注意ください。

画質を落としてダビングするには

タイトルダビング画面(71、72ページ)で[自動調整]を選ぶと、ディスクの残量に応じてダビングモードを自動で調整します。
この場合、BDへのダビングも高速ダビングされません。

グループ内の映像をまとめてコピーしたい(連ドラ一括ダビング)

1 ディスクを入れ、グループごとの表示にする(53ページ)。

2 ダビングしたいグループを選ぶ。

グループ>グループ(フォルダ)を選び、《オプション》ボタンを押します。
[ディスクへダビング]>[グループ内すべて]を選び、《決定》ボタンを押します。
タイトルダビング画面が表示され、グループ内で録画日などの古い順にタイトルが並びます。上から順に30個まで選ばれます。

ちょっと一言
- [グループ内選択]を選ぶと、タイトルを選んでダビングできます。

3 ダビングを開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

二か国語放送/字幕付きの番組をディスクにコピーしたい

二か国語放送の番組を再生時に音声切換できるようにコピーしたい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- DRモードで録画する(36ページ)。

BDにDRモードのままダビングしてください(71ページ)。

切り換えできなくても片方の音声だけをコピーするには

映像(タイトル)に記録されている音声により操作が異なります。
再生中に《音声切換》ボタンを押し、表示された音声を確認してください(54ページ)。
ダビング所要時間は、再生時間と同じくらいかかります。

[主]/[副]/[主/副]が表示されるときは
[二重音声記録]で[主音声]や[副音声]のどちらかを選び(119ページ)、BDやDVDにダビングモードを変更してダビングします(76ページ)。

[音声1]/[音声2]が表示されるときは
タイトルダビング画面(71、72ページ)でタイトルを選んだ後、次の操作をしてください。

1 高速以外のダビングモードを選ぶ。
《オプション》ボタンを押します。
[ダビングモード設定]>高速以外のダビングモード>[設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 音声を選び、ダビングを開始する。
《オプション》ボタンを押します。
[信号選択]>ダビングしたい音声>[確定]>[実行]を選び、《決定》ボタンを押し、ダビングを開始します。

字幕付きの映像を再生時に字幕切換できるようにコピーしたい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- DRモードで録画する(33ページ)。

BDにDRモードのままダビングしてください(71ページ)。

切り換えできなくても字幕表示できるようにコピーするには

[字幕焼きこみ]を[入]に設定し(119ページ)、BDやDVDにダビングモードを変更してダビングします(76ページ)。
ダビング所要時間は、再生時間と同じくらいかかります。
[字幕焼きこみ]で焼きこんだ字幕は削除できませんのでご注意ください。

ダビングモードを変更したい

☞次のページも参考にしてください。
• 録画モードと録画／ダビング可能時間（153ページ）。

本機はダビング時の録画モードを「ダビングモード」と表示します。ダビングモードを変更して画質を落とせば、少ない容量でたくさん保存できます。
ダビング所要時間は、再生時間と同じくらいかかります。

ダビングモードを変更するには、タイトルダビング画面（71、72、78ページ）で映像（タイトル）を選び、《オプション》ボタンを押します。
［ダビングモード設定］＞変更したいダビングモード＞［設定］＞［実行］を選び、《決定》ボタンを押し、ダビングを開始します。

ちょっと一言

- 編集したタイトルのダビングモードを変更すると、ダビング後のタイトル間での継ぎ目がなめらかになります。

ご注意

- 16:9と4:3の映像が混在しているタイトルを、ダビングモードを変えてダビングする場合、タイトルの情報がもつ固定の映像サイズでダビングされますので混在できません。BDや外付けUSBハードディスクに高速ダビングした場合、元の映像サイズのままダビングされます。
- ダビングモードを変えてダビングする場合、複数のタイトルを選んで合計12時間を超える場合はダビングできません。何回かに分けてダビングしてください。

コピーを途中で止めたい

1 ダビングを止める。
［停止］＞［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- DVDの場合、ファイナライズされずにダビングは中止します。必要に応じてファイナライズしてください（76ページ）。

ご注意

- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルのダビングを中断した場合は、必ず同じディスクで再開してください。

ディスクをファイナライズしたい

BDをファイナライズしたい

BDは、DVDとは異なる規格のため、ファイナライズが不要です。ダビング後のBDは、そのままの状態で他のBD機器で再生できます。

編集／追記できないようにするには（BDクローズ）

ディスクを入れ、《ホーム》ボタンを押します。
［ビデオ］＞ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。
［BDクローズ］＞［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- 一度BD-Rをクローズすると解除できません。
- BDクローズすると、本機のハードディスクにタイトルを移動（ムーブバック）できなくなります。

DVDをファイナライズしたい

本機でダビングしたDVDを他のDVD機器で再生できるようにします。ダビング時にファイナライズしなかったDVDは次の手順でファイナライズしてください。

ディスクを入れ、《ホーム》ボタンを押します。
［ビデオ］＞ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。
［ファイナライズ］を選び、《決定》ボタンを押します。

映像（タイトル）の記録時間が短いほど、DVDのファイナライズにかかる時間が長くなることがあります。

ご注意

- 一度ファイナライズすると、DVD-Rには追記できなくなります。

以下のことはできません

- 他のDVD機器で録画したDVDを本機でファイナライズすること。

ディスクに名前を付けたい

BD（BD-RE）に名前を付けるには

ディスクを入れ、《ホーム》ボタンを押します。
［ビデオ］＞ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。
［名前変更］を選び、《決定》ボタンを押します。

DVDに名前を付けるには

ダビングの手順の中で行います（73ページ）。

ディスクを買ってきた状態に戻したい（初期化）

BD（BD-RE）を初期化するには
ディスクを入れ、《ホーム》ボタンを押します。
［ビデオ］＞ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。
［初期化］＞［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。

DVDを初期化するには
ダビングの手順の中で行います（72ページ）。

ご注意

- BD-REの自動初期化以外の方法で初期化したディスクは、この手順で初期化できないことがあります。

BDにロックをかけて再生できないようにしたい

ディスクを入れ、《ホーム》ボタンを押します。
［ビデオ］＞ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。
［ロック］を選び、《決定》ボタンを押します。
解除するには、［ロック解除］を選びます。
数字ボタンで暗証番号を入力し、［確定］を選び、《決定》ボタンを押します。
ロックを解除するときにも暗証番号が必要になります。

本機で作成したDVDを他機器で再生したい

1 ファイナライズする。
ダビング時にファイナライズしなかった場合は、手動でファイナライズしてください（76ページ）。

2 再生機器がVRモードとCPRMの再生などに対応しているか確認する。
機器によっては、DVD-RWのVRモードに対応していても、DVD-RのVRモードに対応していないことがあります。詳しくは再生機器の取扱説明書をご覧ください。

ディスクに保存した映像を本機にコピーしたい

BDからコピーしたい（ムーブバック）

BD-RE/BD-Rに保存したデジタル放送の映像（タイトル）を、本機のハードディスクに移動できます。
ムーブバックしたデジタル放送のタイトルは、BDから削除されます。

1 BDを入れ、ダビング方法を選ぶ。
《ホーム》ボタンを押します。
［ビデオ］＞［ディスクダビング］＞［BD/DVD→HDDダビング］を選び、《決定》ボタンを押します。

2 1→ が付いているタイトルを選ぶ。
タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。選んだ順に、サムネイルの左横に番号が付きます。タイトルは30個まで選べます。

3 ムーブバックを開始する。
［実行］を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- BD-Rの場合、ムーブバックしても空き容量は増えません。
- ムーブバックしたタイトルは、1回だけ移動できるタイトル（1→）になります。
- ムーブバックはタイトルごとに行われます。途中で中止すると、ムーブバックが終了したタイトルは本機のハードディスクに移動し、途中で中止したタイトル以降はBDに残ります。
- ビデオカメラから取り込んだタイトルやアナログ放送を記録したタイトルなどダビング禁止の表示がないタイトルは、本機能に関係なくダビングでき、BDにも残ります。
- 読み込み中に表示される時間は目安であり、ディスクの状態によってはムーブバックに時間がかかることがあります。

以下のことはできません

- 次の場合にムーブバックすること。
  - 本機のハードディスクにムーブバックするタイトル以上の空き容量がない場合。
  - BDクローズされたディスクなど、追記できない状態の場合。

DVDからコピーしたい

DVDに保存したデジタル放送の映像（タイトル）は、ムーブバックできません。

本機と外付けUSBハードディスクの間でコピーしたい

☞あらかじめ、次のことをしてください。

- 外付けUSBハードディスクを本機につなぐ(112ページ)。
- [USB HDD登録]で外付けUSBハードディスクを登録する(122ページ)。

☞次のページも参考にしてください。

- ダビング先の空き容量を確認したい(37ページ)。

本機から外付けUSBハードディスクにコピーしたい(HDD→USB HDDダビング)

本機のハードディスクに保存した映像(タイトル)を外付けUSBハードディスクに移動(ムーブ)やダビングできます。

1 ダビング画面を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[ビデオ]＞[USB HDDダビング]＞[HDD→USB HDDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 ダビング方法を選ぶ。

[ダビング元を消してムーブ]や[ダビング元を残してコピー]を選び、《決定》ボタンを押します。

[ダビング元を消してムーブ]を選んだときは

タイトルは本機のハードディスクから削除され、外付けUSBハードディスクにムーブします。ダビング可能回数の数字は外付けUSBハードディスクのタイトルに引き継がれます。

[ダビング元を残してコピー]を選んだときは

本機のタイトルを外付けUSBハードディスクにダビングします。本機のタイトルからダビング可能回数の数字が減ります。外付けUSBハードディスクのタイトルには 1⇒ が付きます。

ちょっと一言

- 後からディスクにダビングするには、[ダビング元を残してコピー]を選び、本機のハードディスクにタイトルを残してください。外付けUSBハードディスクからディスクへのダビングはできません。
- おでかけ転送するには、[ダビング元を残してコピー]を選び、本機のハードディスクにタイトルを残してください。外付けUSBハードディスクからはおでかけ転送できません。

3 ダビングしたいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。選んだ順に、サムネイルの左横に番号が付きます。タイトルは30個まで選べます。

4 ダビングを開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

外付けUSBハードディスクから本機にコピーしたい(USB HDD→HDDダビング)

外付けUSBハードディスクに保存した映像(タイトル)を本機に移動(ムーブ)やダビングできます。

1 ダビング画面を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[ビデオ]＞[USB HDDダビング]＞[USB HDD→HDDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 ダビング方法を選ぶ。

[ダビング元を消してムーブ]や[ダビング元を残してコピー]を選び、《決定》ボタンを押します。

[ダビング元を消してムーブ]を選んだときは

タイトルは外付けUSBハードディスクから削除され、本機にムーブします。ダビング可能回数の数字は本機のタイトルに引き継がれます。

[ダビング元を残してコピー]を選んだときは

外付けUSBハードディスクのタイトルを本機にダビングします。外付けUSBハードディスクのタイトルからダビング可能回数の数字が減ります。本機のタイトルには 1⇒ が付き、ディスクへのダビング(ムーブ)やおでかけ転送は1回行えます。

3 ダビングしたいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。選んだ順に、サムネイルの左横に番号が付きます。タイトルは30個まで選べます。

4 ダビングを開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- タイトルダビングする場合は、元タイトルのチャプターマークが書き込まれます。
- プレイリストと、プレイリストを作成したオリジナルタイトルをダビングする場合は、[ダビング元を残してコピー]を選んでください。プレイリストは、ダビング時にオリジナルタイトルとしてダビングされます。
- タイトルダビング中に本機の電源を切ってもダビングは継続されます。

ご注意

- ダビング中は本機の電源コードを絶対に抜かないでください。
- ダビング中に次の状態になった場合は、本機と外付けUSBハードディスクの両方からタイトルが削除される可能性があります。
  - 外付けUSBハードディスクの電源を切ったとき。
  - USBケーブルを抜いたとき。
  - 停電になったとき。
- LAN経由でCATV録画／「スカパー！ HD録画」したタイトルが視聴年齢制限されている場合は、画面の指示に従って[暗証番号設定]（123ページ）で設定した暗証番号を入力してください。
- 高速ダビング中に他の操作を行うと、ダビング所要時間が通常より長くなるため、ダビング直後に開始する録画予約や外付けUSBハードディスクへの録画予約が実行されないことがあります。
- 3D映像は高速以外のダビングモードでダビングした場合、2D映像に変換されます。

以下のことはできません

- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルを外付けUSBハードディスクにダビングすること。
- 写真を外付けUSBハードディスクにダビングすること。

PSP®や"ウォークマン"・携帯電話などに持ち出す

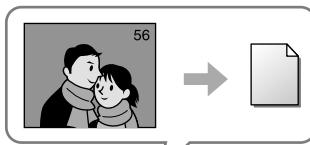
これらの情報はWebでもご覧いただけます

パソコン:
スマートフォン:

http://www.sony.jp/support/tv/

おでかけ転送できる機器や制限事項

おでかけ転送とは

本機のハードディスクに録画した映像(タイトル)をおでかけ転送機器に転送して再生できます(おでかけ転送)。機器によっては、持ち出したタイトルを本機に戻せます(おかえり転送*)。

* 携帯電話からのおかえり転送はできません。

おでかけ転送では、自動で録画モードを調整したおでかけ転送用動画ファイルを本機で作成し、対応機器に転送します。

ちょっと一言

- 画質や容量などお客様の好みや機器に応じて4種類の録画モードを設定できます(120、181ページ)。転送先機器が対応していない録画モードを設定して転送した場合は、画面の指示に従ってモードを変更してください。
- 本機と転送先機器に同じタイトルが存在する場合、[再生位置同期]を[入]にすると(120ページ)、お使いの転送先機器によっては再生位置を同期させることができます。
  同期は、おでかけ転送/おかえり転送時に行われます。つづき再生の再生位置は、最後に視聴した日時が新しい方の再生位置になります。

おでかけ転送できる機器

☞次のページも参考にしてください。

- [おでかけ転送機器]を登録する(119ページ)。

- "ウォークマン"。
- PSP®「プレイステーション・ポータブル」。
- 携帯電話。
- "nav-u"。

対応機種や機能、録画モード、記録可能時間について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/tv/

転送できる映像の種類

おでかけ転送用動画ファイルは、録画時に作成できる映像(タイトル)と、録画後に作成が必要なタイトルがあります。録画後の作成には、再生時間と同じ程度の時間がかかります。転送用動画ファイルを作成済みの場合、高速転送ができます。

録画時に転送用動画ファイルを作成できるタイトル

[高速転送録画]を[入]にして録画してください(119ページ)。

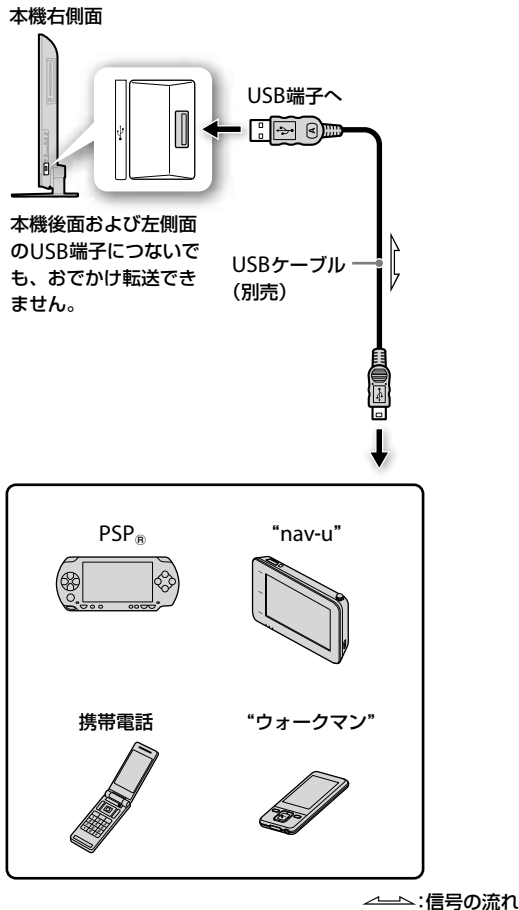
- 本機のハードディスクに録画したタイトル。
- コピー制御信号を含まない次のタイトル。
  – 外部入力録画、ダビングしたタイトル。
  – DVDから本機にダビングしたタイトル。
  – VHSダビングしたタイトル。
- x-Pict Story HDで作成したビデオ作品。

録画後に転送用動画ファイル作成が必要なタイトル

- [高速転送録画]を[切](119ページ)にして録画した上記タイトル。
- LAN経由でCATV録画/「スカパー! HD録画」したタイトル。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトル。
- 外部入力から録画したコピー制御信号を含むタイトル。
- デジタルハイビジョンビデオカメラやDVDからAVCHDダビングしたタイトル。
- BDから本機のハードディスクにダビング(ムーブバック)したタイトル。
- 外付けUSBハードディスクから本機にダビングしたタイトル*。

* ただし、[高速転送録画]>[入]に設定し(119ページ)、ダビングモードを変更して本機にダビングしたタイトルは高速転送できます。

おでかけ転送機器との接続

本機右側面のUSB端子におでかけ転送機器をつなぎます。お使いの機器によってはモードを切り換えるなどの操作が必要となります（USB接続モードなど）。詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- USBケーブルについて詳しくは、つなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。

おでかけ転送したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- ［おでかけ転送機器］を登録する（119ページ）。

［高速転送録画］が［切］に設定されているときにおでかけ転送を行うと、その間テレビの視聴を含め、それ以外のことができなくなります。その場合は、［高速転送録画］を［入］に設定してください。

1 おでかけ転送用動画ファイルを作成する。

録画と同時に自動で作成するには

［高速転送録画］を［入］にしてから（119ページ）、番組を録画します。おでかけ転送機器をつないで電源を入れ（82ページ）、手順2に進んでください。高速転送されますが、二か国語放送の音声選択、および字幕付きでの転送はできません。

録画後、転送前に作成するには

おでかけ転送機器をつながずに手順2以降を行うと、転送用動画ファイルを作成できます。ファイル作成時間は、再生時間と同じくらいかかりますが、あらかじめ登録したおでかけ転送機器に高速転送できます。

録画後、転送と同時に作成するには

おでかけ転送機器をつないで電源を入れ（82ページ）、手順2に進んでください。転送時間は、再生時間と同じくらいかかります。

2 転送方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
［ビデオ］＞［おでかけ·おかえり転送］＞［おでかけ転送］を選び、《決定》ボタンを押します。

3 転送したい映像（タイトル）を選ぶ。

タイトルエリアでタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。選んだ順に、サムネイルの左横に番号が付きます。タイトルは30個まで選べます。

ちょっと一言

- 高速転送できるタイトルは、タイトルエリアに「高速」と表示されます。

操作ボタンエリアで[全選択]を選んだときは

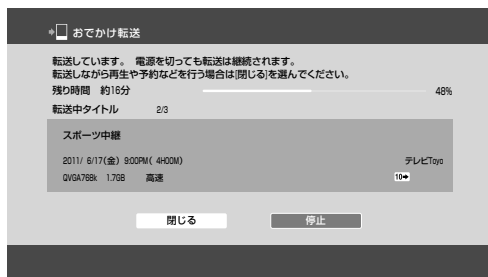
リストの上から順に30個まで選ばれます。

4 転送を開始する。

操作ボタンエリアで[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

転送している間は、転送先機器の電源を切らないでください。

高速転送中に他の操作をするには

おでかけ転送進捗画面で[閉じる]を選び、《決定》ボタンを押します。

ホームメニューからテレビ番組を見たり、ハードディスクに録画したタイトルを再生したりできます。
おでかけ転送進捗画面に戻るには、《ホーム》ボタンを押します。[ビデオ]＞タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。
[おでかけ進行状況]を選び、《決定》ボタンを押してください。

以下のことはできません

- 次の場合に高速転送すること。
  - 録画したタイトルを編集したとき。
  - 録画モード、映像や音声の信号を転送時に変更したとき。

転送中の操作制限

転送中は次の操作はできません。

- BDやDVDの再生。
- ホームサーバー機能でのタイトル出力。
- フォト切り出し／フォト取り込み。
- USB機器のフォト再生。
- 編集（サムネイル設定／チャプター編集／部分削除／タイトル分割／プレイリスト作成）*。
- ダビング（タイトルダビング／思い出ディスクダビング／VHSダビング／ AVCHDダビング／まるごとDVDコピー）。
- x-ScrapBook/x-Pict Story HD。
- インターネットサービスの利用。

* 外付けUSBハードディスクのタイトルは高速転送中に編集できます。

ちょっと一言

- おでかけ転送用動画ファイルの転送中や作成（変換）中に本機の電源を切っても転送や作成（変換）は継続されます。
- 1➡ ～ 10➡ の付いたタイトルをおでかけ転送した場合、ダビング可能回数の数字は減りますが、おかえり転送すると、もとの数字に戻ります。
- 1➡ の付いたタイトルをおでかけ転送した場合、タイトルとおでかけ転送用動画ファイルは本機のハードディスクに残りますが、おかえり転送するまで本機では再生できません。
- おかえり転送しないで、本機から削除したタイトルは転送先機器で削除してください。削除方法についてはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- ホームサーバー機能を使って本機のタイトルを他機器で再生しているときは、おでかけ転送すると他機器での再生は停止します。
- “ウォークマン”や“メモリースティック PRO デュオ”にパソコンなどを使って作成したファイルなどがあるときは、おでかけ転送用動画ファイルを“ウォークマン”や“メモリースティック PRO デュオ”に転送しても再生できないことがあります。
- タイトルの転送を途中でやめた場合は、おでかけ転送機器にはタイトルは残りません。
- 転送中に次の状態になった場合は、本機と転送先の両方からタイトルが削除される可能性があります。
  - 転送先機器の電源を切ったとき。
  - USBケーブルを抜いたとき。
  - 停電になったとき。

  転送中に転送先機器の電源が切れないよう、あらかじめバッテリーの残量を確認してください。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルのおでかけ転送を中止した場合は、必ず同じ機器やメディアで転送を再開してください。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルには、有効期限が指定されているものがあります。
- 3D映像は2D映像に変換して転送されます。

二か国語放送の番組を転送したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- [高速転送録画]を[切]に設定する(119ページ)。
- DRモードで録画する(36ページ)。

映像(タイトル)に記録されている音声により操作が異なります。
再生中に《音声切換》ボタンを押し、表示された音声を確認してください(54ページ)。
転送時間は、再生時間と同じくらいかかります。

[主]/[副]/[主/副]が表示されるときは
[二重音声記録]で[主音声]や[副音声]のどちらかを選び(119ページ)、おでかけ転送します(82ページ)。

[音声1]/[音声2]が表示されるときは
「おでかけ転送したい」(82ページ)の手順3でタイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。[信号選択]>転送したい音声>[確定]>[実行]を選び、《決定》ボタンを押し、おでかけ転送します。

字幕付きの映像を転送したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- [高速転送録画]を[切]に設定する(119ページ)。
- DRモードで録画する(33ページ)。

[字幕焼きこみ]を[入]に設定し(119ページ)、おでかけ転送します(82ページ)。
転送時間は、再生時間と同じくらいかかります。

インターネットサービスからダウンロードした映像(タイトル)の字幕を選ぶには
「おでかけ転送したい」(82ページ)の手順3でタイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。[信号選択]>転送したい字幕>[確定]>[実行]を選び、《決定》ボタンを押し、おでかけ転送します。
転送時間は、再生時間と同じくらいかかります。

途中まで再生/転送した映像をつづきの場面から転送したい

「おでかけ転送したい」(82ページ)の手順3でタイトル>[続きから]>[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

以下のことはできません
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルを続きから転送すること。

まとめて転送したい(グループ一括転送)

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- おでかけ転送機器をつなぎ、電源を入れる(82ページ)。

1 グループごとの表示にする(53ページ)。

2 転送したいグループを選ぶ。
グループ(フォルダ)を選び、《オプション》ボタンを押します。

3 転送方法を選ぶ。
[おでかけ転送]>[グループ内すべて]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言
- [グループ内選択]を選ぶと、タイトルを選んで転送できます。

4 転送を開始する。
[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

本体のおでかけボタンで転送したい（ワンタッチ転送）

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- おでかけ転送機器をつなぎ、電源を入れる（82ページ）。
- 録画予約時に［ワンタッチ転送］を［する］に設定する（34ページ）。

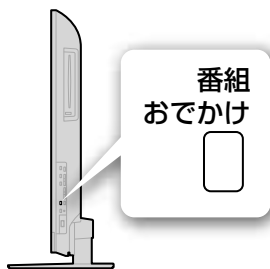
ワンタッチ転送リストにある映像（タイトル）を簡単に転送できます。

1 転送を開始する。

本機右側面の《番組おでかけ》ボタンを押します。

転送中に本機の電源を切っても、転送は継続されます。

状況により、I ● ランプの状態は変わります。

I ● ランプが赤く点灯して取り込みが始まります。

ご注意
- 転送終了後も電源は自動的に切れません。

転送が終了すると

本機の電源が「入」になっている場合、転送が終了すると、I ● ランプが緑に点灯します。
本機の電源が「切」になっている場合、転送が終了すると、I ● ランプが消灯します。

更新転送するには

［ワンタッチ転送 更新転送］（120ページ）設定すると、指定期間内の場合はワンタッチ転送リストにあるタイトルがおでかけ転送され、指定期間を過ぎるとおかえり転送されます。おでかけ転送したタイトルをワンタッチ転送リストから削除すると、次のワンタッチ転送時におでかけ転送先の機器からも削除されます。
また、ワンタッチ転送リストにあるタイトルを削除や移動（ムーブ）などで本機のハードディスクから削除すると、ワンタッチ転送リストからも削除されます。
指定期間内でも、おかえり転送（86ページ）で転送先の機器からタイトルを削除できます。

ワンタッチ転送する映像を確認／取り消したい（ワンタッチ転送リスト）

1 ワンタッチ転送リストを表示させる。

《ホーム》ボタンを押します。

［ビデオ］＞［おでかけ·おかえり転送］＞［ワンタッチ転送リスト］を選び、《決定》ボタンを押します。

2 ワンタッチ転送を取り消す。

映像（タイトル）を選び、《決定》ボタンを押します。

複数のタイトルを選んで取り消すには

《オプション》ボタンを押します。

［転送選択取消］＞タイトル＞［確定］を選び、《決定》ボタンを押します。

次の場合はワンタッチ転送できません

ワンタッチ転送リストにないタイトルはワンタッチ転送できません。メニュー画面を使っておでかけ転送してください（82ページ）。
- 編集（部分削除／タイトル分割／チャプター編集／タイトル結合）したタイトル。
- 外付けUSBハードディスクに録画したタイトル。
- x-おまかせ·まる録で録画されたタイトル。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトル。
- 日時指定予約で録画したタイトル。
- LAN経由でCATV録画／「スカパー！ HD録画」したタイトル。
- 更新転送が［切］で（120ページ）、
  - ワンタッチ転送で転送済みのとき。
  - メニュー画面を使っておでかけ転送したとき（82ページ）。
  - 以前に更新転送したことがあるタイトルで、録画の日から2週間以上経過したとき。
- 更新転送が［切］以外で（120ページ）、
  - メニュー画面からおかえり転送したとき（86ページ）。
  - 更新転送（120ページ）で設定した期間を過ぎたとき。
- 1➡ の付いたタイトルで、
  - プレイリストが作成されているとき。
  - タイトルがプロテクト（保護）されているとき。
- 転送先が携帯電話で 1➡ の付いたタイトルのとき。
- 録画時点の［おでかけ転送機器］の設定とは異なる機器をつないだとき（PSP®転送用動画ファイルを"ウォークマン"や携帯電話へワンタッチ転送するなど）。
- デジタル放送の録画タイトルに対してコピー制御信号に対応しない機器や"メモリースティック"が転送先に使われていたとき。

ちょっと一言
- 転送タイトルが31個以上あったときは、もう一度ワンタッチ転送すると、続きから転送できます。

見終わった映像をおかえり転送で戻したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- おでかけ転送機器をつなぎ、電源を入れる（82ページ）。

おでかけ転送（82ページ）で転送した映像（タイトル）を、本機に転送して戻します。おかえり転送したタイトルはおでかけ転送機器からは自動的に削除されます。携帯電話からのおかえり転送はできません。

1 転送方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

［ビデオ］＞［おでかけ･おかえり転送］＞［おかえり転送］を選び、《決定》ボタンを押します。

2 転送したいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

複数選べます。

3 転送を開始する。

［実行］を選び、《決定》ボタンを押します。

以下のことはできません

- 次の状況やタイトルの場合におかえり転送すること。
  - 転送先機器で削除したタイトル。
    本機のハードディスクに残っている、おかえり待ちのタイトルは再生できないため削除してください。
  - おでかけ転送したタイトルを本機のハードディスクで削除や部分削除、タイトル分割などの編集をしたとき。転送したタイトルが不要になったら、転送機器側で削除してください。
  - おでかけ転送後に移動（ムーブ）したタイトル。
  - インターネットサービスからダウンロードしたタイトル。

デジタルカメラや他機器などから取り込む

この印のある項目はらくらくスタートガイドでも紹介しています。

これらの情報はWebでもご覧いただけます

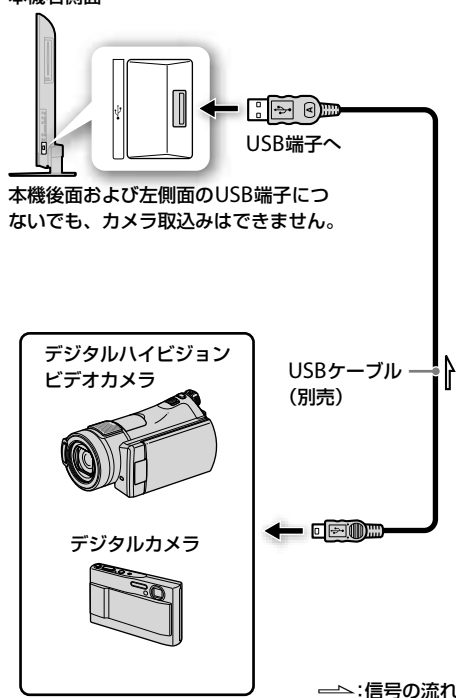
パソコン：
スマートフォン：

http://www.sony.jp/support/tv/

ビデオカメラから取り込みたい

USBケーブルを使って取り込みたい（AVCHDダビング）

AVCHD方式･3D･1080/60pの映像が記録されているビデオカメラをUSBケーブルで本機右側面のUSB端子につなぐと、AVCHD方式･3D･1080/60pの映像を本機のハードディスクに取り込めます。
本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/tv/

1 ビデオカメラをつなぎ、電源を入れる。

ちょっと一言

- USBケーブルについて詳しくは、ビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
- ビデオカメラによってはモードを切り換えるなどの操作が必要となります（USB接続モードなど）。詳しくはビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
- ［高速起動］を［入］に設定すると（121ページ）、本機の電源が切れている場合でも本機右側面のUSB端子から一部の機器の充電ができます。

2 取り込み方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

［ビデオ］＞［AVCHDダビング］を選び、《決定》ボタンを押します。

3 項目を設定する。

映像（タイトル）にマークを設定するには

設定エリアでマークを選びます。家族やジャンルなどでマーク別に設定しておくと、取り込んだタイトルをマークごとに分類できて便利です。

操作ボタンエリアで［自動選択］を選んだときは

一度に30個まで自動で取り込まれます。

操作ボタンエリアで［タイトル選択］を選んだときは

タイトルを30個まで選べます。

4 取り込みを開始する。

操作ボタンエリアで［実行］を選び、《決定》ボタンを押します。

取り込みを途中で止めるには

［停止］＞［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- ビデオカメラで記録した映像を本機に取り込んだ場合、表示される録画モードが元の録画モードと異なることがありますが、画質は劣化しません。
- 1つのタイトルに80個以上のチャプターがある場合、タイトルが分割されます。ビデオカメラで編集されたタイトルは分割されません。

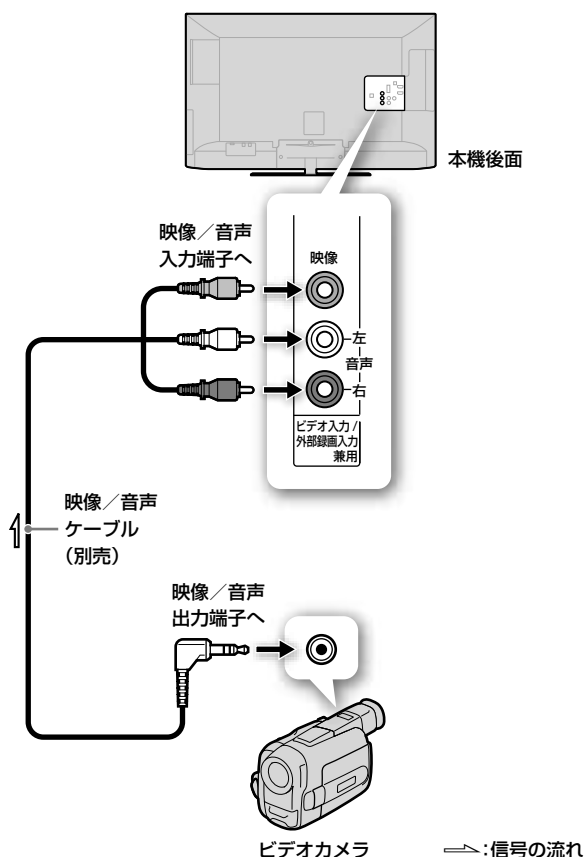
以下のことはできません

- ビデオカメラで記録された、撮影日時などの字幕を取り込むこと（取り込んだタイトルを再生するとき、画面に撮影日時を表示することはできません）。
- ビデオカメラに記録された、AVCHD方式（ハイビジョン画質）･3D･1080/60p以外の映像を取り込むこと。
- 本機右側面以外のUSB端子にビデオカメラをつないで取り込むこと。

映像／音声ケーブルを使って取り込みたい

☞次のページも参考にしてください。
- ［外部入力録画横縦比］で映像サイズを設定する（119ページ）。

ビデオカメラを映像／音声ケーブルで本機につなぐと、映像を本機のハードディスクに取り込めます。

1 ビデオカメラをつなぎ、電源を入れる。

2 ビデオカメラの映像を表示する。

本機のリモコンの《入力切換》ボタンをくり返し押して、［外部録画入力］を選び、ビデオカメラの映像を表示します。

ご注意

- ［外部録画入力］ではなく［ビデオ］を選ぶと取り込みできません。

3 録画モードを選ぶ。

《オプション》ボタンを押します。

［録画モード］＞録画モードを選び、《決定》ボタンを押します。

録画モードについて詳しくは、「録画モードと録画／ダビング可能時間について」（153ページ）をご覧ください。

4 ビデオカメラを再生一時停止状態にする。

5 本機の録画を開始する。

●《録画》ボタンを押して、本機に録画する時間を選び、録画を開始します。

6 取り込みを開始する。

ビデオカメラの一時停止や再生ボタンを押して再生を開始します。

ご注意

- ●《録画》ボタンを押して録画時間を選んだ後、本機の表示窓に録画経過時間が表示されるのを確認してからビデオカメラの再生を開始してください。

取り込みを途中で止めるには

■《停止》ボタンを押します。

ディスクから取り込みたい

ディスクの映像（タイトル）を本機のハードディスクに取り込めます。

1 ディスクを入れ、取り込み方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

［ビデオ］＞［ディスクダビング］＞［BD/DVD→HDDダビング］を選び、《決定》ボタンを押します。

2 取り込みたいタイトルを選ぶ。

タイトルエリアでタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。選んだ順に、サムネイルの左横に番号が付きます。タイトルは30個まで選べます。

操作ボタンエリアで［全選択］を選んだときは

リストの上から順に30個まで選ばれます。

3 取り込みを開始する。

操作ボタンエリアで［実行］を選び、《決定》ボタンを押します。

取り込みを途中で止めるには

［停止］＞［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- DVD（AVCHD方式）から本機のハードディスクへ取り込んだ場合は、日付単位でタイトル分割されて取り込まれます。
- BD-RE、BD-R、DVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）のプレイリストタイトルは、オリジナルタイトルとして取り込まれます。
- BDやDVDから本機のハードディスクへ取り込む場合は、BDやDVDの映像サイズはそのまま取り込まれます。DVDの音声で第1音声、第2音声があるときは、第1音声のみ取り込まれることがあります。

以下のことはできません

- 市販のBD-ROMやDVDビデオから取り込むこと。
- 他機器で作成したディスクで、本機に挿入したときに「BD-R/RE BDMV」と表示されるディスクから取り込むこと。
- DVD（AVCHD方式）から本機のハードディスクに録画モードを変更して取り込むこと。
- DVD（AVCHD方式以外）から本機のハードディスクに高速ダビングすること。

本体の取り込みボタンで取り込みたい（ワンタッチ取り込み）

本機につないだビデオカメラや8cm DVDから、映像や写真をボタンひとつで簡単に本機のハードディスクに取り込めます。
本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/tv/

1 ビデオカメラをつなぎ、電源を入れる。

USBケーブルを使ってつなぎます（88ページ）。

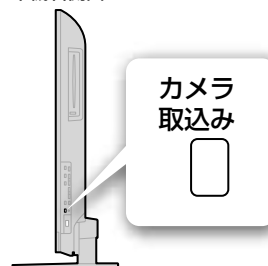
8cm DVDから取り込むときは

ディスクを本機に入れます。

2 取り込みを開始する。

本機右側面の《カメラ取込み》ボタンを押します。

●ランプが赤く点灯して取り込みが始まります。

本機右側面

取り込みを途中で止めるには

［停止］＞［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 写真を取り込む場合でも、USB機器内にAVCHD方式のビデオファイルが記録されているときには、ビデオファイルも同時に取り込まれます。

ご注意

- 取り込まれたタイトルは、日付単位で分割されて本機に保存されます。

映像や写真を取り込む優先順位について

- 次の優先順位で映像(タイトル)や写真を取り込みます。
  ① USB端子につないだUSB機器(ビデオカメラを含む)。
  ② ディスク。
- 8cm DVDで記録するビデオカメラからUSBケーブル経由で直接取り込むことはできません。ディスクを本機に挿入して取り込んでください。

写真を取り込みたい

ビデオカメラの写真を本機に取り込むことができます。詳しくは、「デジタルカメラから取り込みたい」(91ページ)をご覧ください。

デジタルカメラから取り込みたい

☞次のページも参考にしてください。
- 本機で取り込めるアルバムや写真について(155ページ)。

本機につないだデジタルカメラやディスクから写真(JPEG/MPO*のみ)を本機のハードディスクに取り込めます。
本機では、フォルダのことをアルバム、ファイルのことを写真と呼びます。
本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/tv/

* マルチピクチャーフォーマット(Extended MPファイル)です。3D再生できる写真は3Dアイコンが表示されます。

ご注意

- 本機に取り込んでいるときに、デジタルカメラやPSP®をつないでいるUSBケーブルを抜かないでください。

写真を取り込みたい

1 デジタルカメラをつなぎ、電源を入れる。

USBケーブルを使ってつなぎます(88ページ)。

ディスクから取り込むときは

ディスクを本機に入れます。

2 機器やディスクなどを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

[フォト]>機器やディスクなどを選び、《決定》ボタンを押します。

3 取り込みたいアルバムを選ぶ。

アルバムを選び、《オプション》ボタンを押します。

4 取り込みを開始する。

[コピー]>[1アルバムコピー]>[はい]>[このままコピー]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- [次へ]を選ぶと[続きからコピー]や[分類して実行]などを選べます。

必要な写真だけを選んで取り込むには

1 「写真を取り込みたい」(91ページ)の手順1、2を行う。

2 取り込みたい写真を選ぶ。
アルバムを選び、《決定》ボタンを押します。
写真を選び、《オプション》ボタンを押します。

3 コピー方法を選ぶ。
[コピー]>[1ファイルコピー]>[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

4 取り込み先のアルバムを選んで取り込みを開始する。
取り込み先のアルバムを選び、《決定》ボタンを押します。

デジタルカメラから写真をまるごと取り込むには

- 1つのフォルダに写真が500枚以下になるようデジタルカメラで撮影してください。
  本機では501個以上のファイル*やフォルダを1つの階層で表示できません。500個を超えた場合は、一部表示されません。
- 本機には、取り込もうとしているフォルダの中の写真のみ取り込まれます。取り込もうとしているフォルダの中にあるフォルダは、取り込まれません。

* JPEG/MPO以外のファイルも含む。

動画を取り込みたい

詳しくは、「ビデオカメラから取り込みたい」(88ページ)をご覧ください。

ご注意

- デジタルカメラで撮影した動画は、フォーマットによっては、本機に取り込めません。

いろいろな方法で写真を見たい

デジタルカメラや本機のハードディスクの写真を見たい

☞次のページも参考にしてください。
- 本機で再生できるアルバムや写真について(155ページ)。
- 「録画した3D番組を再生したい」(49ページ)をご覧ください。

本機につないだデジタルカメラやディスクから写真(JPEG/MPO*のみ)を表示できます。
本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/tv/

* マルチピクチャーフォーマット(Extended MPファイル)です。3D再生できる写真は3Dアイコンが表示されます。

1 デジタルカメラをつなぎ、電源を入れる。
USBケーブルを使ってつなぎます(88ページ)。

ディスクの写真を見るときは

ディスクを本機に入れます。

本機のハードディスクの写真を見るときは

この手順は不要です。

2 機器やディスクなどを選ぶ。
《ホーム》ボタンを押します。
[フォト]>機器やディスクなどを選び、《決定》ボタンを押します。

本機のハードディスクの写真を見るときは

[フォト]>アルバムを選び、《決定》ボタンを押します。

3 見たい写真を選ぶ。
写真を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 写真の横縦比とテレビの横縦比が異なる場合、上下や左右に黒帯が表示されることがあります。

ご注意

- 写真を表示しているときに、デジタルカメラやPSP®をつないでいるUSBケーブルを抜かないでください。
- 写真以外のファイルが複数記録されているUSB機器の場合、写真(JPEG/MPO)を表示できないことがあります。
- 写真や写真の枚数によってはサムネイルの表示*やスライドショーの再生で時間がかかることがありますが、故障ではありません。

* 写真のサイズや保存されている場所により、表示に時間がかかることがあります。

写真をスライドショーで見たい

☞次のページも参考にしてください。
- 3D再生できる写真を3D表示する方法については「録画した3D番組を再生したい」（49ページ）をご覧ください。

1 アルバムを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

［フォト］＞アルバムを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 スライドショーを開始する。

［スライドショー］を選び、《決定》ボタンを押します。

アルバム内のすべての写真の表示が終わると、アルバムの先頭からくり返し再生されます。

前／次の写真を表示するには

スライドショーを再生中に⏮《前》ボタン／ ⏭《次》ボタンを押します。

スライドショーを止めるには

■《停止》ボタンを押します。

スライドショーを一時停止するには

❚❚《一時停止》ボタンを押します。

❚❚《一時停止》ボタンか►《再生》ボタンを押すとスライドショーを再開します。

別の部屋のテレビなどで写真や動画を見たい（ホームサーバー機能）

本機とDLNAまたはソニールームリンクに対応したテレビやパソコンなどをネットワークにつなぐと、本機に取り込んだ写真や映像（タイトル）を、テレビやパソコンで再生できます（51ページ）。

写真をビデオクリップのようにしたい（x-Pict Story HD）

x-Pict Story HDを使うと、本機に取り込んだ写真（JPEGのみ）を使って、ビデオクリップのようなビデオ作品を作れます。BGMに好みの音楽を設定するだけで、本機が自動で演出、映像処理した作品に仕上げてくれます。

x-Pict Story HDの作品は、ホームメニュー＞［フォト］＞［x-Pict Story HD］＞［新規作成］から作成します。

x-Pict Story HDのさらに詳しい使いかたは、Webで紹介しています。
http://www.sony.jp/support/tv/

写真を自動で整理してアルバムにしたい（x-ScrapBook）

x-ScrapBookを使うと、本機が自動で写真（JPEG/MPO*のみ）を切り貼りし、スクラップブックのようなアルバムに仕上げてくれます。好みの壁紙や映像を追加して、アルバムを自由にアレンジできます。

* マルチピクチャーフォーマット（Extended MPファイル）です。3D再生できる写真は3Dアイコンが表示されます。

x-ScrapBookのアルバムは、ホームメニュー＞［フォト］＞［x-ScrapBook］から見たり、編集したりします。

x-ScrapBookのさらに詳しい使いかたは、Webで紹介しています。
http://www.sony.jp/support/tv/

ご注意

- MPOファイルの場合でも2Dで表示されます。

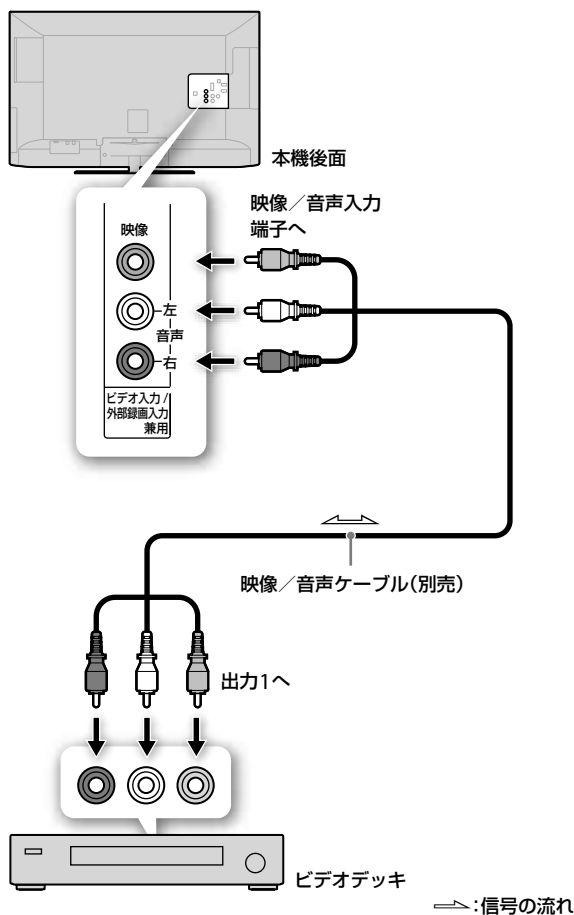
ビデオテープから取り込みたい（VHSダビング）

☞次のページも参考にしてください。
- ［外部入力録画横縦比］で映像サイズを設定する（119ページ）。

VHS、8ミリ、ベータなどのビデオテープに記録されている映像は、ビデオデッキを経由して本機のハードディスクに取り込めます。

ご注意
- VHSダビング中は停止以外の操作ができません。

ちょっと一言
- ［入力切換］>［外部録画入力］を選んで録画した場合は、他の操作ができます。「外部入力から録画したい」のページも参考にしてください（40ページ）。

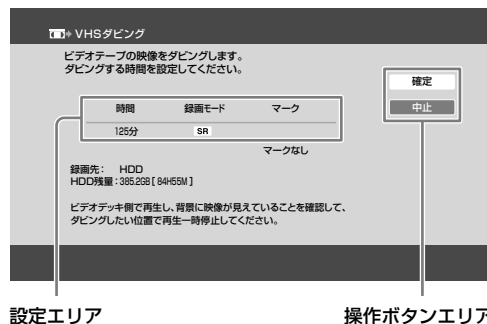
1 ビデオデッキなどをつなぎ、電源を入れる。

市販ビデオなどコピー制御信号が含まれている映像を再生する場合、ビデオデッキをテレビに直接つなぎます。

2 ビデオデッキなどを再生一時停止状態にする。

3 取り込み方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

［ビデオ］>［VHSダビング］を選び、《決定》ボタンを押します。

4 各項目を設定する。

時間や録画モードなどを変更するには

設定エリアで各項目を選び、《決定》ボタンを押します。

［時間］

録画する時間を選べます。

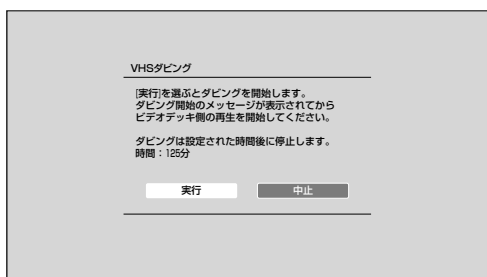
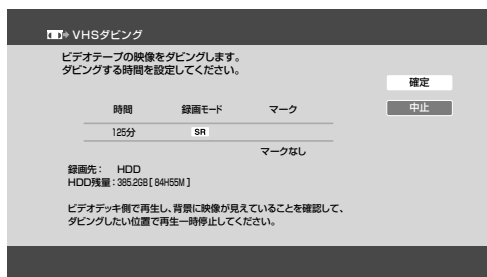
［録画モード］

録画モードについて詳しくは、「録画モードと録画／ダビング可能時間について」（153ページ）をご覧ください。

［マーク］

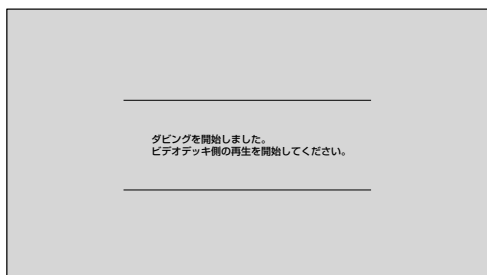
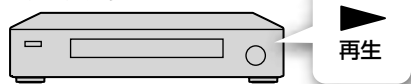
映像（タイトル）にマークを設定できます。家族やジャンルなどでマーク別に設定しておくと、取り込んだタイトルをマークごとに分類できて便利です。

5 実行する。

[確定]＞[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

6 ダビング開始のメッセージが表示されたら、ビデオデッキで再生を始める。

取り込みを途中で止めるには

■《停止》ボタンを押します。

いろいろな方法でディスクにしたい

DVDを複製したい（まるごとDVDコピー）

本機で記録したDVDやソニー製DVDデジタルビデオカメラで記録した8cm DVD、12cm DVDを、高速で簡単に12cm DVDにコピーできます。
他の機器で記録したDVDでまるごとDVDコピーできない場合は、本機のハードディスクに取り込んでから（90ページ）、DVDにダビングしてください（72ページ）。

1 コピーしたい映像が入っているDVDを本機に入れ、読み込みを開始する。

ファイナライズ済みのディスクを入れ、《ホーム》ボタンを押します。

[ビデオ]＞[ディスクダビング]＞[まるごとDVDコピー]＞[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 DVDを入れ替え、書き込みを開始する。

書き込み先のDVDに入れ替え、[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

DVD-Rの場合は必ず未フォーマットのディスクをお使いください。

2枚目以降のDVDにコピーするには、[継続]を選んでください。

コピーを途中で止めるには

[中止]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

本機でコピーできるDVDについて

コピー元のディスクのフォーマットにより、読み込み（コピー元）や書き出し（コピー先）できるディスクの種類が異なります。

ダビングした映像（タイトル）（ビデオモードやVRモードで記録）
- 読み込めるディスク：DVD-R、DVD-R DL（8cmのみ）、DVD-RW。
- 書き出せるディスク：DVD-R、DVD-RW（DVD-RWから読み込んだ場合のみ）。

デジタルカメラの映像（AVCHD方式や写真などのデータ）
- 読み込めるディスク：DVD-R、DVD-R DL（8cmのみ）、DVD-RW、DVD+R、DVD+R DL（8cmのみ）、DVD+RW。
- 書き出せるディスク：DVD-R、DVD-RW。

ご注意

- 市販のDVDビデオやコピー制御信号を含むタイトルを記録しているDVDはコピーできません。
- コピー先のDVDがDVD-Rの場合、書き出しを途中で中止すると、そのディスクは使えなくなります。
- DVD-R DL、DVD+R/+RW、DVD+R DL、DVD-RAMにはコピーできません。
- コピーするDVDのメディアの種類が異なる場合、容量が微妙に異なることがあるため、コピーできないことがあります。
- 読み込み中に表示される時間は目安であり、ディスクの状態によってはコピーに時間がかかることがあります。

映像や整理したアルバムをディスクにしたい(思い出ディスクダビング)

☞次のページも参考にしてください。
- タイトルダビングについて(71ページ)。

取り込んだ映像(タイトル)や写真、x-ScrapBook、x-Pict Story HDのビデオ作品をまとめて1枚のBDやDVDに書き出せます。

BDにBD-Jメニュー付きで書き出した場合の画面例

1 ディスクを入れ、ダビング方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

タイトルをダビングするときは

[ビデオ]>[ディスクダビング]>[思い出ディスクダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

写真をダビングするときは

[フォト]>[思い出ディスクダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

メニュー作成やディスク追記などを選ぶ画面が表示されたときは

画面の指示に従って操作してください。

2 ダビングしたいタイトルやアルバムを選ぶ。

タイトルエリアでタイトルやアルバムを選び、《決定》ボタンを押します。選んだ順に、サムネイルの左横に番号が付きます。タイトルは30個まで選べます。

操作ボタンエリアで[全選択]を選んだときは

リストの上から順に30個まで選ばれます。

操作ボタンエリアで[ビデオ]/[アルバム]/[x-ScrapBook]を選んだときは

タイトルエリアの一覧を切り換えることができます。

3 書き出しを開始する。

操作ボタンエリアで[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

BD-Jメニュー付きで書き出すときは

BD-Jメニューの背景を選び、《決定》ボタンを押します。x-Pict Story HDのビデオ作品を書き出す場合は、その映像を背景に指定できます。書き出したディスクはBDMVフォーマットになります。

BD-RE XL (3層)/ BD-R XL(3層/ 4層)をお使いの場合は、思い出ディスクダビングでは、BD-Jメニュー付きのディスクは作成できません。

名前を変更するには

[名前変更]を選び、《決定》ボタンを押します。ディスクの名前を変更できます(147ページ)。

DVDに書き出すときは

ファイナライズやDVDメニュー作成、ディスクの名前変更などの画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。詳しくは、「DVDにコピーしたい」(72ページ)をご覧ください。

ダビングを途中で止めるには

[停止]>[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 編集回数が多いタイトルはダビングできないことがありますが、そのタイトルを分割すればダビングできることがあります。

ご注意

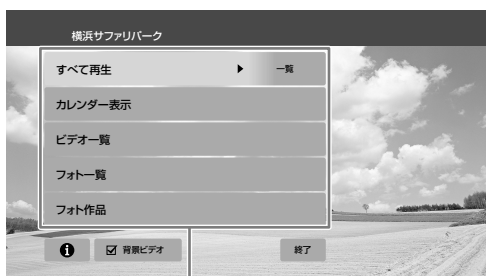
- 写真やx-ScrapBookをDVDに書き出すときは、新品で未初期化のDVDをお使いください。DVD-RWの場合は初期化により記録済みの内容は削除され、上書きされますのでご注意ください。
- メニュー付きBDに追記する場合は、本機で作成したディスクのみ利用できます。
- 次の場合、タイトルを書き出せません。
  – 1タイトルが12時間以上の場合。
  – 書き出し先がDVDで、選んだタイトルの合計が12時間以上になる場合。

  その他、タイトルの制限事項について詳しくは、71、73ページをご覧ください。
- BDへ書き出すときは、すでにBDに記録されている写真／x-ScrapBookと、新たに書き出す写真／x-ScrapBookの合計が、6,000個以下の場合に書き出せます。
- 書き出し先のディスクやアルバム内に同じ名前のファイルがある場合は、書き出したファイル名の末尾に(1)、(2)…などの数字が付きます。
- DVDへ写真／x-ScrapBookを含む書き出しが終わると、自動的にディスクがファイナライズされ、追記できなくなります。BD-RE、BD-Rの場合は追記できます。
- x-ScrapBookを書き出すと、x-ScrapBook再生画面をページごとに静止画像として保存します。x-ScrapBookに取り込んだ元の写真や映像は保存されません。その場合は、別途、写真や映像を書き出してください。
- 3D･1080/60pのタイトルはBD-Jメニュー付きで書き出せません。BD-Jメニューを付けずに書き出してください。
- 3DタイトルをDVDに書き出すと2Dタイトルに変換されます。

BD-Jメニュー付きディスクを再生するには

思い出ディスクダビング(96ページ)でBD-Jメニュー付きでBDを作ると、映像(タイトル)や写真、x-ScrapBookなどを便利に再生できます。

1 BD-Jメニュー付きディスクを入れ、再生する。

画面の指示に従って操作してください。

操作ボタンエリア

操作ボタンエリアで[カレンダー表示]を選んだときは

ディスク内のコンテンツを、撮影した年月日で分類して表示できます([フォト作品]のコンテンツを除く)。

操作ボタンエリアで[ビデオ一覧]を選んだときは

タイトルのみを表示できます(x-Pict Story HDのビデオ作品を除く)。

操作ボタンエリアで[フォト一覧]を選んだときは

写真のみを表示できます。

操作ボタンエリアで[フォト作品]を選んだときは

本機のハードディスクから書き出したx-ScrapBookの静止画像とx-Pict Story HDのビデオ作品のみを表示できます。

ちょっと一言

- 再生メニュー画面からx-ScrapBookを再生中に、《ポップアップ／メニュー》ボタンを押して[テーマ変更]を選ぶと、x-ScrapBookのテーマを変更できます。
- 本機で作成したBD-Jメニュー付きディスクの映像を取り込むには、ホームメニューの[ビデオ]からディスクアイコンを選び、オプションメニューから[HDDへダビング]を選びます(181ページ)。また、BD-Jメニュー付きディスクから写真を取り込むには、「写真を取り込みたい」(91ページ)をご覧ください。

ご注意

- 映像や写真に撮影日のデータがない場合は、カレンダー表示画面には表示されません。その場合は、トップメニュー画面から[カレンダー表示]以外を選んで再生してください。
- 本機で作成したBD-Jメニュー付きディスクに書き出した3D写真を3Dで表示する場合はホームメニューの[フォト]>アルバムから、3D写真を選んでください。

ビデオカメラのワンタッチ機能を使ってBDにコピーしたい(ワンタッチディスクダビング)

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- デジタルハイビジョンビデオカメラをつなぎ、電源を入れる(88ページ)。

ワンタッチディスクダビング機能のあるソニー製デジタルハイビジョンビデオカメラの映像を簡単にBDにダビングできます。ワンタッチディスクダビング機能がないときは、本機のハードディスクに取り込んでから(88ページ)、BDにダビングしてください(71ページ)。
本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/tv/

1 書き込みができるBD-RE/BD-Rを入れ、ダビングを開始する。

デジタルハイビジョンビデオカメラでワンタッチディスクダビングを始めます。

ちょっと一言

- ワンタッチディスクダビング中に本機の電源を切ってもダビングは継続されます。
- ワンタッチディスクダビング後にデジタルハイビジョンビデオカメラで撮影を追加した場合は、再度ワンタッチディスクダビングを行うと、追加した映像だけダビングされます。

ダビングを途中で止めるには

[停止]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。
ダビングが止まるまでに数十秒かかることがあります。
ダビングを途中でやめると、ダビングしていた映像（タイトル）はディスクに残りません。また、BD-Rの場合はディスクの空き容量が減ります。

ご注意

- ダビングすると、日付ごとに場面をまとめたタイトルとして記録されます。各撮影場面はチャプターとして引き継がれます。ただし、1日の撮影場面の数が多い場合や3D･1080/60pのタイトル結合となる場合、ダビング時に複数のタイトルに分割されることがあります。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで多数の編集点を追加した場合、ダビング時に編集点の一部が失われることがあります。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで記録した映像をダビングすると、表示される録画モードが元の録画モードと異なることがありますが、画質は劣化しません。
- ダビング直後に開始するBDへの録画予約が実行されないことがあります。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで記録した字幕はBDに記録できません。
- デジタルハイビジョンビデオカメラに記録されたAVCHD方式･3D･1080/60p以外の映像はダビングできません。

ネットワーク

いろいろな方法で録画したい

ネットワークにつなぐには

詳しくは、「ネットワークへの接続」(108ページ)をご覧ください。

「スカパー！ HD」の番組を録画するには

「スカパー！ HD」対応チューナーの番組表から、本機にLAN経由で録画予約できます(38ページ)。

CATVチューナーの番組を録画するには

CATVチューナーの番組表から、本機にLAN経由で録画予約できます(40ページ)。

本機以外のブラビアの番組表から録画予約するには(ネットワーク録画予約)

ホームサーバー機能を利用して番組表から本機に録画予約できます(45ページ)。

携帯電話やパソコンなどから録画予約するには(リモート録画予約)

外出先などから携帯電話やインターネットなどを使って録画予約できます(45ページ)。

ネットからレンタルなど、ビデオオンデマンドをするには(アクトビラ／ TSUTAYA TV)

本機をインターネットのブロードバンド回線につなぐと、インターネットサービスでアクトビラやTSUTAYA TVを楽しめます。ビデオをストリーミングやダウンロードして視聴したり、生活に役立つさまざまな情報を好きなときに楽しんだりできます(46ページ)。

本機をネットワークにつなぐと、ダウンロードした映像(タイトル)を再生／ BDにダビング／おでかけ転送できます。

いろいろな方法で再生したい

別の部屋のテレビなどで再生するには(ホームサーバー機能)

本機とDLNAまたはソニールームリンクに対応したテレビやパソコンなどをネットワークにつなぐと、本機のハードディスクに保存した映像(タイトル)や写真を、テレビやパソコンで再生できます(51ページ)。

BDの特典映像を楽しむには

BD-ROMのスペシャルコンテンツ(BONUSVIEW)や、ネットワークからダウンロードして楽しむコンテンツ(BD-LIVE)などを楽しめます(57ページ)。

ネットチャンネルについて

ブロードバンドのインターネット回線につなぐと、ネット上の様々なコンテンツを簡単に楽しめます。

＜ブラビア＞ネットチャンネルを見る

映画やアニメなど、インターネット上のさまざまなコンテンツをテレビの画面で簡単に楽しめます。

1 ブロードバンド回線でインターネットにつなぐ。

2 《ネットチャンネル》ボタンを押して、次のように選ぶ。

[ネットチャンネルカタログ]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 コンテンツを選ぶ。

ご注意

- この機能がうまく働かないときは、インターネットに正しく接続されているか確認してください。
- プロバイダーによってインターネットの接続方法が異なります。
- 本機の[年齢制限設定]や[インターネットサービス利用制限]の設定によっては、暗証番号を入力しなければコンテンツを視聴できないことがあります。またコンテンツを提供するプロバイダーによっては、本設定に対応していない場合があります。
- ＜ブラビア＞ネットチャンネルのご利用には実行速度12Mbps程度以上の回線速度を推奨いたします。
- ＜ブラビア＞ネットチャンネルのサービスを更新するには、《ホーム》ボタンを押して、次の様に選びます。
  [設定]＞[通信設定]＞[＜ブラビア＞ネットチャンネルの更新]
- ＜ブラビア＞ネットチャンネルのコンテンツは録画できません。

早送り／早戻し／一時停止などをする

情報パネルを見て、対応しているリモコンのボタンを押します。

情報パネル

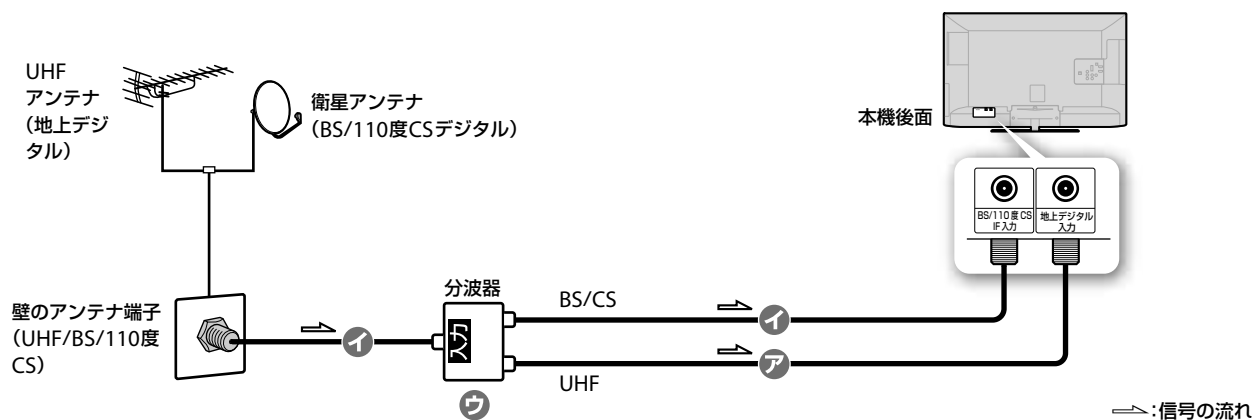
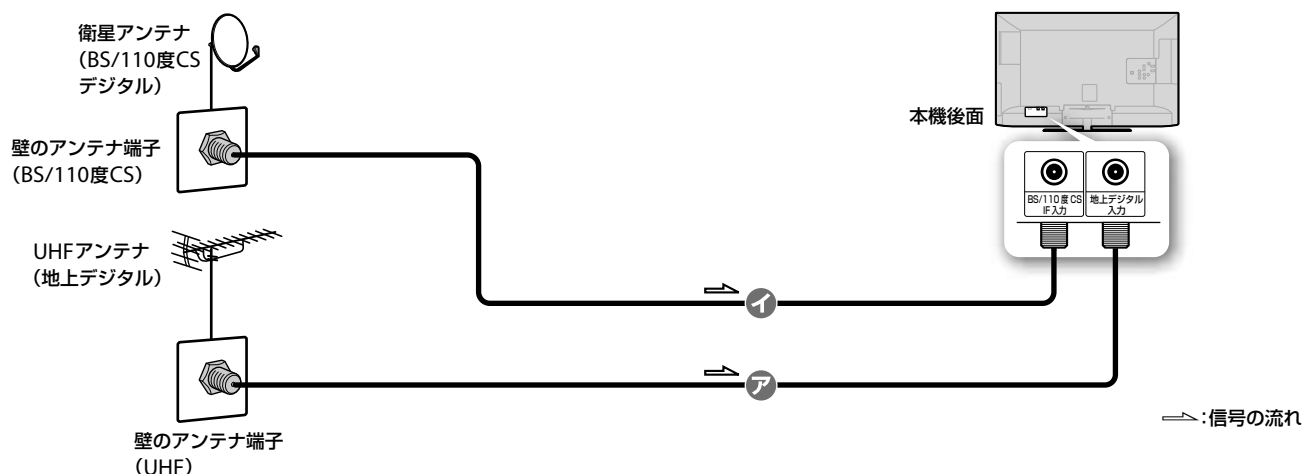
ご注意

- コンテンツによっては操作できない場合があります。

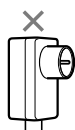
ネットワーク

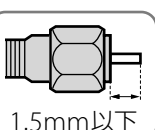
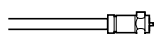
接続する

アンテナとの接続

地上放送と衛星放送の信号が混合の場合

地上放送と衛星放送の信号が個別の場合

必要なケーブル類

ア UHF用同軸アンテナケーブル(別売り、EAC-DS15LSなど)

プラスチック製　F接栓型

1.5mm以下

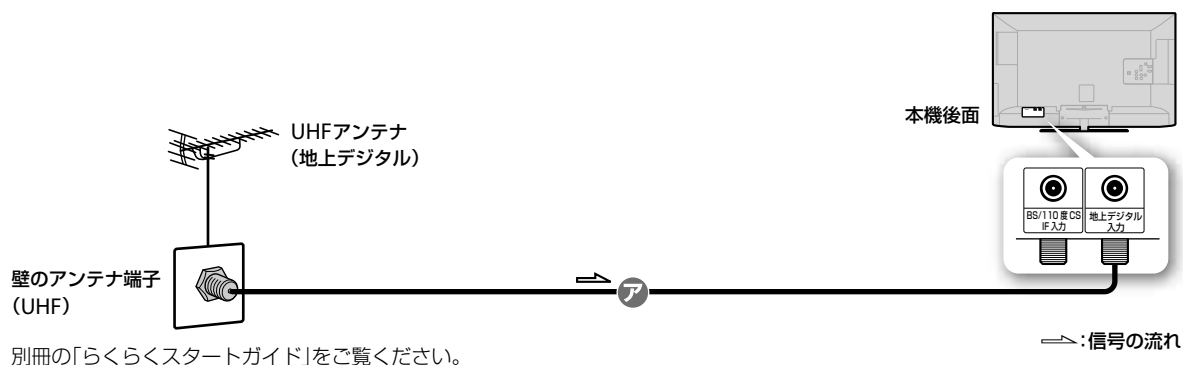
イ 衛星用同軸アンテナケーブル(別売り)

ウ 地上、BS/110度CSデジタル放送に対応したCS/BS/地上波放送対応分波器(別売り、EAC-DSSM2など)

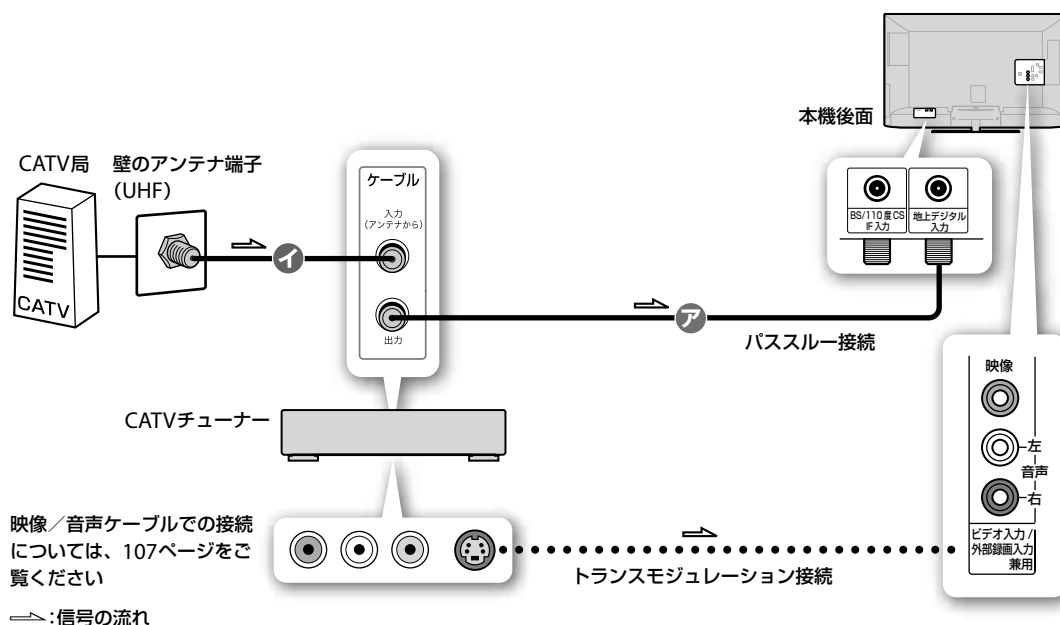
ご注意

- F接栓型のアンテナケーブルや、金属製コネクターのねじ込みタイプのケーブルをお使いください。

別冊の「らくらくスタートガイド」をご覧ください。

地上放送のみの場合

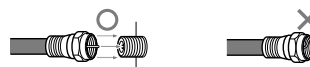
別冊の「らくらくスタートガイド」をご覧ください。

CATVを利用している場合

☞次のページも参考にしてください。
- CATVやスカパー！チューナーをつなぐ（107ページ）。

ちょっと一言

- 地上デジタル放送で画像や音声が乱れるときは、近隣チャンネルなどの電波が強くて干渉を受けていることがあります。その場合、アンテナレベルは低く表示されます。［地上デジタルアッテネーター］を［入］にしてください（117ページ）。
- 地上デジタル放送で［地上デジタルアッテネーター］を［入］にしてもノイズが出ているときや、BS/110度CSデジタル放送でノイズが出るときは、受信電波が弱いことが考えられます。別売のアンテナブースターを本機と壁のアンテナ端子の間につないでください。
- ［BS/CSデジタルアンテナ電源］を［自動］に設定した場合（118ページ）、CS ／ BS ／地上波放送対応分波器は「通電タイプ」をお使いください。

ご注意

- 混合アンテナ端子と分配器をつなぐと映像が乱れることがあります。その場合は分波器をお使いください。

- マンションなどの共同受信システムで110度CSデジタル放送やBSデジタル放送を視聴するには、対応した共同受信システムである必要があります。詳しくはマンション管理会社などの共同受信システム管理者へお問い合わせください。
- テレビからBSアンテナに電源を供給しているときは、［BS/CSデジタルアンテナ電源］を［自動］に設定してください（118ページ）。
- アンテナケーブルの芯線が曲がると、外周部の金属部分に触れてショートの原因となります。

- CATVから配信されるBS/110度CSデジタル放送や地上デジタル放送は、本機で直接受信できる信号方式と異なることがあります。詳しくは、ご利用のCATV局にお問い合わせください。
- ケーブルテレビ事業者がトランスモジュレーション方式の場合は「外部入力につなぐ」（107ページ）をご覧ください。
- CATV局と有料契約しているチャンネルなどを視聴や録画したいときは、CATVチューナーの音声／映像出力端子と本機の音声／映像入力端子をつないでください（107ページ）。

録画／再生機器との接続

ブルーレイディスクレコーダーやDVDプレーヤーなどの録画／再生機器をつなぎます。
お使いの機器の出力端子をご確認のうえ、つなぎかたを選んでください。

A

ARC▼ 1

▼ 3

HDMI 入力

HDMIケーブル（別売り）

HDMI OUT

B

D5映像

左 音声 右

コンポーネント入力

D映像ケーブル（別売り）

D映像出力

音声ケーブル（別売り）

（左）

（右）

音声出力

本機のD5映像入力端子はD1 ～ D5すべてに対応しています。

C

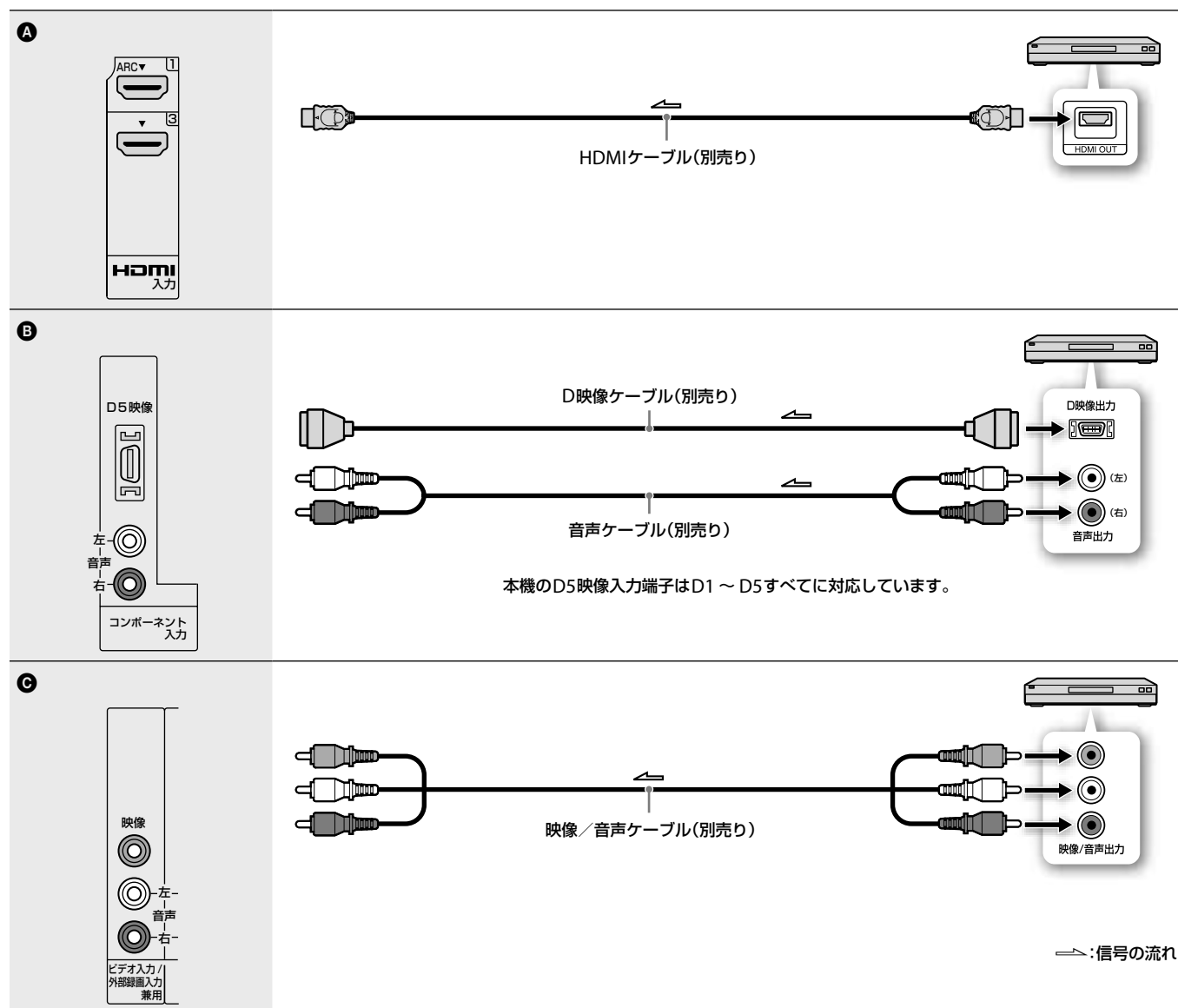
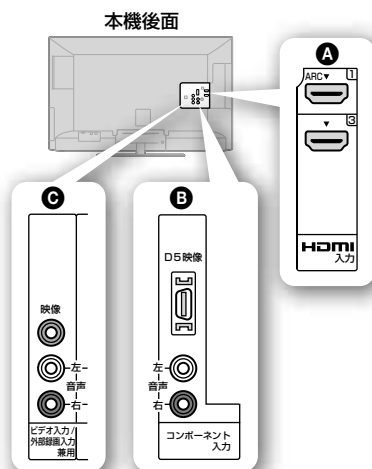
映像

左 音声 右

ビデオ入力／外部録画入力兼用

映像／音声ケーブル（別売り）

映像/音声出力

：信号の流れ

ちょっと一言

- HDMIケーブルはHDMIロゴの付いているものをお使いください。

AVアンプとの接続

お使いのAVアンプやホームシアターシステムの入力端子をご確認のうえ、つなぎかたを選んでください。お使いの環境に合わせて[音声設定]を正しく設定してください(116ページ)。
次の図は、AVアンプを例としています。

A

ARC▼ 1
3
HDMI 入力

AVアンプ
HDMI OUT
HDMIケーブル(別売)

ご注意

- HDMI機器制御とAudio Return Channel (ARC)に対応しているオーディオシステムは、HDMIケーブルを使って本機のHDMI1入力端子につないでください。HDMI機器制御やAudio Return Channel (ARC)に対応していないオーディオシステムの場合は、HDMIケーブルと光デジタル接続ケーブルの両方の接続が必要です。

B

光デジタル
音声出力

AVアンプ
光デジタル入力
光デジタルケーブル(別売)

C

音声出力

AVアンプ
音声入力端子
音声ケーブル(別売)

ご注意

- [設定]>[音声設定]>[ヘッドホン・音声外部出力設定]で[音声外部出力]を選んでください(116ページ)。

⟹:信号の流れ

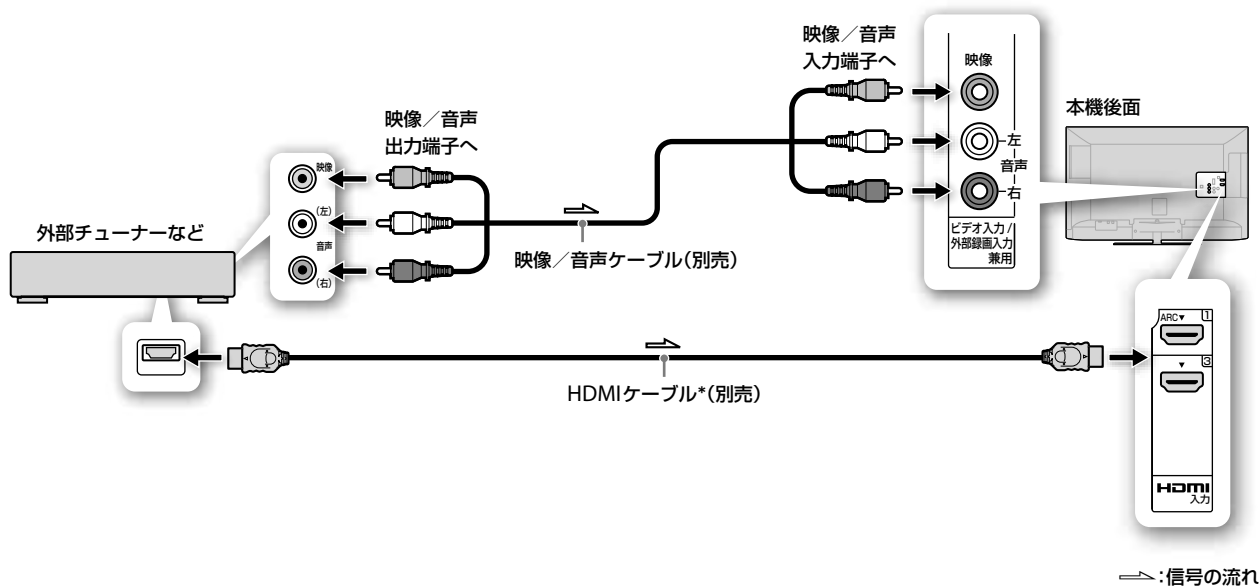
ちょっと一言

- HDMIケーブルはHDMIロゴの付いているものをお使いください。

CATVやスカパー!チューナーとの接続

ネットワークにつなぐ

ネットワークにつなぐと、「スカパー! HD」対応チューナーやCATVチューナーの番組表から、本機にLAN経由で録画予約できるようになります。詳しくは、「「スカパー! HD」の番組を録画したい」(38ページ)や「CATVの番組を高画質で録画したい」(40ページ)をご覧ください。

外部入力につなぐ

ご注意

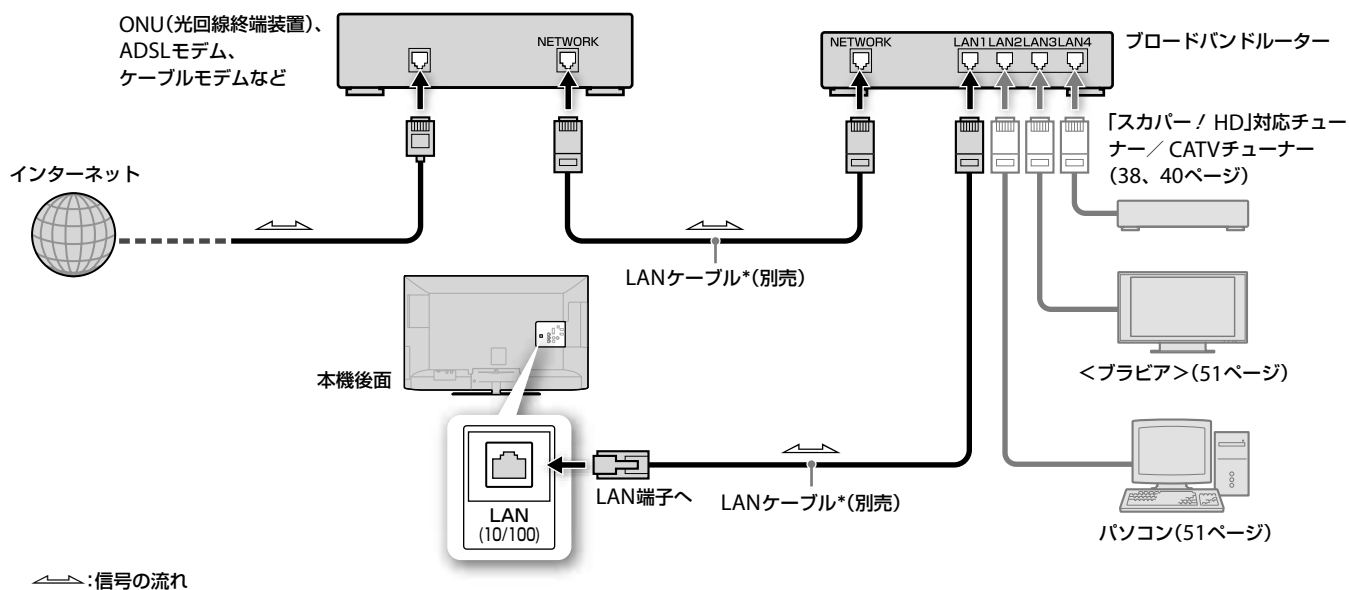
- 著作権者等によって複製を制限する旨の信号が含まれている番組は、録画できないことがあります。
- 本機には標準画質で映像が入力されるため、ハイビジョン放送でもハイビジョン画質で録画できません。
- ケーブルテレビ事業者がパススルー方式の場合は、アンテナケーブルでつないでください(104ページ)。
- AVマウスでの録画には対応していません。

* HDMIケーブルのみで接続している場合は、外部入力録画に対応していません。

接続する

ネットワークへの接続

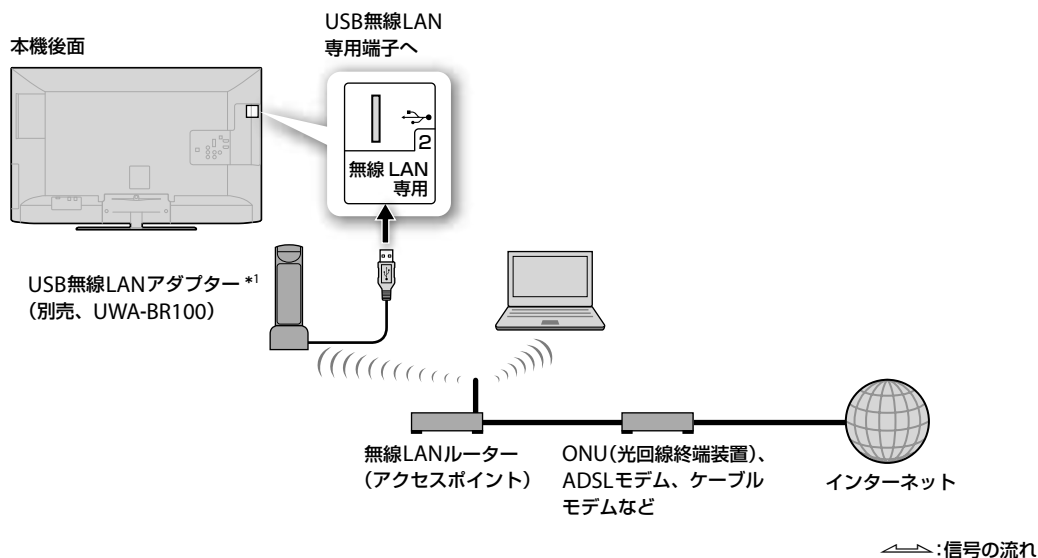
ネットワークにつないでネットワーク設定すると、以下の機能が使えるようになります。
- 「スカパー！ HD」対応チューナーの番組を録画予約（38ページ）。
- 別の部屋のテレビやパソコンなどで本機のタイトルや写真を再生（51ページ）。
- インターネットサービスの視聴やダウンロード（46ページ）。
- インターネット経由で、放送局から配信されるデータ放送のコンテンツの視聴。
- 携帯電話やパソコンでのリモート予約（45ページ）。
- BD-LIVE（BDライブ）（57ページ）。
- ＜ブラビア＞ネットチャンネル（101ページ）。

有線でつなぐ（LANケーブルでの接続）

* LANケーブルは、カテゴリー 5の100BASE-TX対応以上をお使いください。

ネットワークの設定をするには

［ネットワーク設定］＞［有線LAN］を選び、画面の指示に従って設定してください（124ページ）。

無線でつなぐ（USB無線LANアダプターでの接続）

無線LANは、すべてのご利用環境で動作を保証するものではありません。距離や障害物により充分な通信速度が出なかったり、接続できなかったりする場合があります。
設置、接続や使用環境について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/tv/

*1 使用環境により受信感度が変わります。必要に応じて、UWA-BR100に付属の延長ケーブルをお使いください。

ネットワークの設定をするには

[ネットワーク設定]＞[無線LAN]を選び、画面の指示に従って設定してください（124ページ）。

ちょっと一言

- モデムやルーターの設定は、お使いのモデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- インターネット経由でデータ放送のコンテンツやインターネットサービスなどを楽しむためには、別途プロバイダー *2との契約が必要です。
- プロバイダー *2によっては、ルーターの接続を許可していないことがあります。
  ご利用のプロバイダー *2にお問い合わせください。
- 無線LANを使うにはアクセスポイントが必要です。IEEE802.11n対応のアクセスポイント（無線LANルーター）を選んでください。
- USB無線LANアダプターが熱を持つ場合がありますが、故障ではありません。

*2 インターネットサービスプロバイダー（ISP）とも言います。

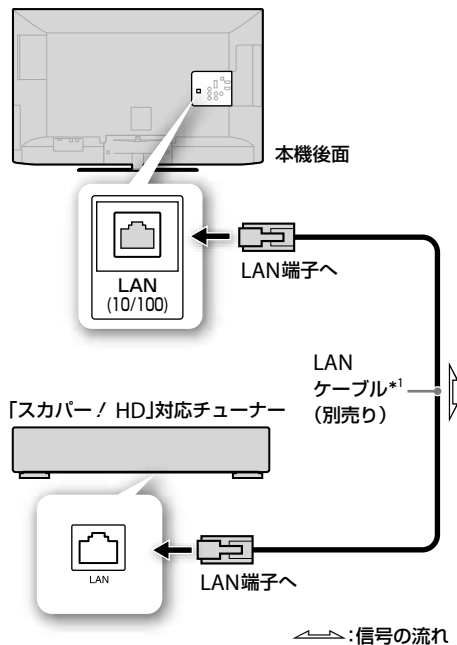
ご注意

- 無線LAN使用時に映像や音声が途切れる場合、延長ケーブルを使って、USB無線LANアダプターの位置や角度を変えて、通信状態が良くなるか確認してください。それでも改善できないときは、有線でつないでください。
- LAN経由でCATV録画／「スカパー！ HD録画」するときは、チューナーを有線でつないでください。無線でつなぐと、録画映像が乱れたり、失敗したりすることがあります。
- 無線LANの設定後にUSB無線LANアダプターを抜いて再度差した場合は、[ネットワーク設定]＞[無線LAN]を選んでください。

以下のことはできません

- USB無線LANアダプターを本機右側面のUSB端子や本機後面のUSB HDD専用端子に取り付けてネットワークにつなぐこと。
- 有線と無線を同時に使うこと。
- セキュリティで保護されていない無線LANに接続して、ホームサーバー機能でタイトル出力すること。

「スカパー！ HD」対応チューナーと直接LANケーブルでつなぐには

「スカパー！ HD」対応チューナーの番組を録画予約だけ行う場合、以下のようにつなぎます。

*1 LANケーブルは、カテゴリー 5の100BASE-TX対応以上をお使いください。

ちょっと一言

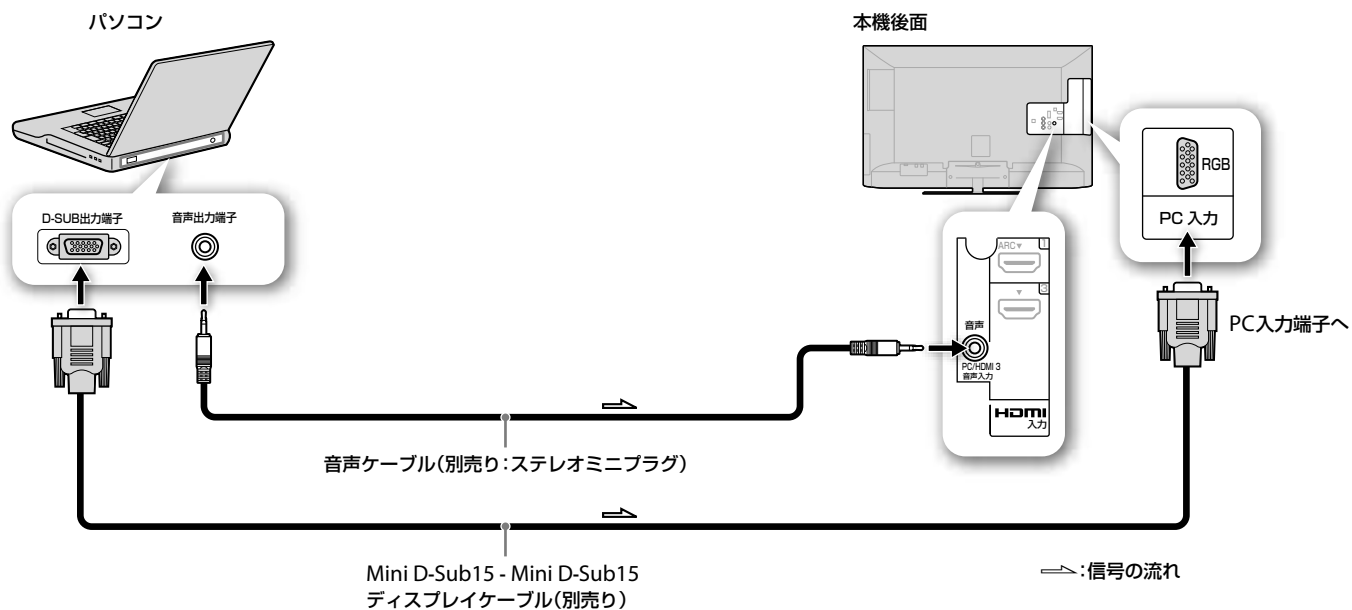
- 使用するケーブルの種類はモデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- ネットワークにつなぎ、放送局などのサーバーからインターネット経由でデータ放送のコンテンツやインターネットサービスを楽しむためには、別途プロバイダー *2との契約が必要です。
- CATV（ケーブルテレビ）会社によっては、ルーターの接続を許可していない場合があります。あらかじめCATV（ケーブルテレビ）会社にご確認ください。
- リモート録画予約を利用するときは、常時接続となるようルーターを設定してください。常時接続の設定方法はご利用のプロバイダー *2にお問い合わせください。

*2 インターネットサービスプロバイダー (ISP)とも言います。インターネットへの接続サービスなどを提供する事業者です。

ご注意

- モデムやルーターなどの設定にはパソコンなどが必要になります。
- ネットワーク設定をしているときは、ブルーレイディスクレコーダーなど他機器で録画したタイトルを本機で見ることはできません。見たい場合は他機器と本機を直接つないでください（105ページ）。

パソコンとの接続

本機の画面にパソコンの画面を映し出したり、音声を楽しんだりできます。

ちょっと一言

- HDMI接続に対応しているパソコンであれば、HDMIケーブルで接続できます。音声はPC/HDMI3音声入力端子につないでください。
- パソコン側で外部出力設定をしてください。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

外付けUSBハードディスクとの接続

☞次のページも参考にしてください。
- 外付けUSBハードディスクに録画する（31ページ）。
- 外付けUSBハードディスクにダビングする（78ページ）。
- 外付けUSBハードディスクから本機のハードディスクにダビングする（78ページ）。

外付けUSBハードディスク（容量32GB ～ 2TB）を本機につないで登録すると、デジタル放送の録画やダビングができるようになります。10台まで本機に登録できます。
動作推奨機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/tv/

ご注意

- 登録、または解除後に再登録をすると本機専用に初期化され、外付けUSBハードディスクの内容はすべて削除されます。
- 外付けUSBハードディスクは一時的な記録場所としてお使いいただき、大切なタイトルはBDなどにコピーすることをおすすめします。
- 外付けUSBハードディスクをはずすときは、本機の電源を切り、外付けUSBハードディスクのランプが消えてからUSBケーブルを抜いてください。

外付けUSBハードディスクを登録するには

［外付けUSB HDD設定］＞［USB HDD登録］を選び、登録してください（122ページ）。

ちょっと一言

- USBケーブルについて詳しくは、外付けUSBハードディスクの取扱説明書をご覧ください。
- 保存できるタイトル数は、最大999です。

以下のことはできません

- 本機に登録した外付けUSBハードディスクを、他機器につないで再生すること。
- ハブを使って外付けUSBハードディスクをつなぐこと。
  本機に直接つないでください。
- 外付けUSBハードディスクを本機右側面のUSB端子や本機左側面のUSB無線LAN専用端子につないで録画やダビングをすること。
- 外付けUSBハードディスクに録画／ダビングしたタイトルを、ホームサーバー機能対応のクライアント機器で再生すること。
- PSP®やデジタルカメラをUSB HDD専用端子につなぎ、外付けUSBハードディスクとして使うこと。
- セクタサイズが512B以外の外付けUSBハードディスクを使うこと。

おでかけ転送機器との接続

詳しくは82ページをご覧ください。

ビデオデッキとの接続

詳しくは、「ビデオテープから取り込みたい（VHSダビング）」（94ページ）の手順1をご覧ください。

デジタルカメラとの接続

USBケーブルでつなぐ

詳しくは、「USBケーブルを使って取り込みたい（AVCHDダビング）」（88ページ）の手順1をご覧ください。

映像ケーブルでつなぐ

詳しくは、「映像／音声ケーブルを使って取り込みたい」（89ページ）の手順1をご覧ください。

ちょっと一言

- デジタルカメラの種類や、映像／写真を保存しているメディアの種類によって、本機との接続方法が異なります。詳しくは、「ビデオカメラから取り込みたい」（88ページ）をご覧ください。

設定を変更する

本機の設定を変更したい

設定画面でチャンネルや画質·音質などのさまざまな設定ができます。

1 ホームメニューから[設定]を選ぶ。
《ホーム》ボタンを押し、[設定]を選びます。

2 項目を選ぶ。
設定したい項目を選び、《決定》ボタンを押します。

お問い合わせ

商品のお取り扱い方法などの問い合わせ先が表示されます。

使いかたを知りたい

本機で使える少し便利な機能を紹介します。

お知らせ

メールはお客様自身で削除できません。

放送からのメール(地上/ BS / CSデジタル)

放送局からお客様へのお知らせのメールを見ることができます。受信してから14日以上経つと、まだ読んでいなくても(177ページ)自動的に削除されます。

本機からのメール

予約や録画、ダビングの結果、ダウンロードのお知らせなど、本機が発行したメールを見ることができます。30通を超えると、まだ読んでいなくても(177ページ)古いメールから自動的に削除されます。

ボード(CSデジタル)

110度CSデジタル放送から利用者全員への共通のお知らせや番組案内などを見ることができます。

ルートCA証明書

見たいルートCA証明書を選び、《決定》ボタンを押すと、詳細が表示されます。
選んだルートCA証明書を削除するには、[削除]を選び、《決定》ボタンを押します。

映像設定

明るさセンサー *

入	周囲の明るさに合わせて自動で画面の明るさを調整します。
切	自動調整を行いません。

* 2D表示時のみ設定値が有効になります。

自動3D表示

入	3D信号を検出したときに自動的に映像を3Dで表示します。
切	3D映像を自動表示しません。

3D放送受信/再生

自動	通常はこの設定にします。3D放送の受信や3Dタイトルの再生時に自動で3D映像信号にします。
切	BD-ROMの3Dコンテンツを[自動3D表示]を[切]設定で2D映像として視聴しているときに字幕の揺れが気になる、またはフレームレートが低い画に感じられる場合、この設定をお試しください。 3Dをご視聴になる場合は設定を[自動]に戻してください。

BD-ROM 1080/24p再生

自動	1080/24pのBD-ROMを自動的に1080/24pで再生します。
切	1080/24pで再生しません。

DVDワイド再生

自動	通常はこの設定にしてください。
切	DVDを再生時に、字幕が見えにくい場合に選びます。 同時に《オプション》ボタン＞[画質・映像設定]＞[ワイド切換]で画面モードをノーマルに設定してください。

一時停止モード

自動	通常はこの設定にします。動きの大きい被写体の映像がぶれずに表示されます。
フレーム	動きの少ない被写体の映像が高い解像度で表示されます。

音声設定

スピーカー出力

テレビスピーカー	本機のスピーカーから音声が出ます。
オーディオシステム	本機のスピーカーから音声が出なくなります。HDMI 機器制御対応のオーディオシステムをHDMI入力と光デジタル音声出力につないでいるときは、オーディオシステムから本機の音声が出ます。[HDMI機器制御設定]をする必要があります。 HDMI機器制御対応のオーディオシステムをつないでいないときは、本機につないだオーディオシステムのスピーカーで音声を聞くときに選びます。

ちょっと一言

- ARC対応オーディオシステムをHDMIケーブルでつなげば、光デジタル音声出力につなぐ必要はありません。

ヘッドホン・音声外部出力設定

ヘッドホン	ヘッドホンから音が出ます。
音声外部出力	本機に接続した外部オーディオシステムから音が出ます。

ご注意

- [音声外部出力]を選ぶときは、ヘッドホンはつながないでください。

ヘッドホン使用時設定

[スピーカー出力]を[テレビスピーカー]、「ヘッドホン・音声外部出力設定」を「ヘッドホン」に設定しているときに設定できます。

ヘッドホンのみ使用	ヘッドホンをつないでいるときは、本機のスピーカーから音声が出ません。
スピーカー・ヘッドホン併用	ヘッドホンをつないでいるときは、本機のスピーカーとヘッドホンの両方から音声が出ます。

音声外部出力設定

「ヘッドホン・音声外部出力設定」を「音声外部出力」に設定しているときに設定できます。

固定	音声出力からは一定の音量で音声が出力されます。
可変	音声出力から出力される音量を、《音量＋／－》ボタンで調節できます。

HDMI/DVI音声入力設定

自動	映像に合わせてHDMI3入力の音声を自動で切り換えます。
HDMI音声	HDMI3入力の音声を再生します。
PC音声	PC/HDMI3音声入力からの音声信号を再生します。

デジタル音声出力設定

[スピーカー出力]を[オーディオシステム]に設定しているときに設定できます。
Audio Return Channel (ARC)に対応していないオーディオシステムの場合は、HDMIケーブルと光デジタル接続ケーブルの両方の接続が必要です。

自動	光デジタル音声出力に圧縮音声対応オーディオシステムなどをつないでいるときに選びます。 デジタルの圧縮音声は圧縮音声のまま出力されます。
PCM	光デジタル音声出力に圧縮音声に対応していないオーディオシステムやホームシアター機器などをつないでいるときに選びます。 デジタルの圧縮音声も、PCM音声のデジタル信号に変換して出力されます。

ご注意

- [スピーカー出力]を[テレビスピーカー]に設定しているときは、[PCM]に固定され変更はできません。

オーディオDRC（BD/DVDのみ）

自動	通常はこの設定にします。
スタンダード	［テレビ］と［ワイドレンジ］の中間の音になります。
テレビ	小さい音までよく聞こえるようにします。特に、テレビのスピーカーを使って音を聞いているときに効果があります。
ワイドレンジ	迫力のある音になります。Hi-Fiのスピーカーを使うとさらに効果があります。

ご注意

- オーディオDRC機能のないBDやDVDを再生しているときは効果がありません。

ダウンミックス

ドルビーサラウンド	ドルビーサラウンド（プロロジック）に対応しているオーディオ機器につないでいるときに選びます。ドルビーサラウンド（プロロジック）効果のかかった音声信号を2チャンネルに処理して出力します。
ノーマル	ドルビーサラウンド（プロロジック）に対応していないオーディオ機器につないでいるときに選びます。ドルビーサラウンド（プロロジック）効果のかかっていない音声信号を出力します。

ご注意

- ［デジタル音声出力設定］が［自動］に設定されている場合（116ページ）、デジタル音声出力端子から出力される音声には効果はありません。

BD音声出力

ダイレクト	セカンダリーオーディオ（映画の解説など）・インタラクティブオーディオ（効果音など）が含まれるBDを再生する場合、それらをミキシングせずにプライマリオーディオのみを出力します。
ミックス	セカンダリーオーディオ・インタラクティブオーディオが含まれるBDを再生する場合、それらをミキシングして出力します。

スピーカー特性

テーブルトップ	本機の設置方法に合わせて、スピーカーから最適な音声で聞けます。
壁掛け／壁寄せ	

放送受信設定

地上デジタルチャンネル登録

＋／－選局	**必ず選局**：《チャンネル＋／－》ボタンで選局できます。［プリセット選局］が選ばれているときに設定されます。 **選局する**：《チャンネル＋／－》ボタンで選局できます。番組を共有しているチャンネルを［選局する］に設定しても、番組表に表示されないことがあります。 **選局しない**：《チャンネル＋／－》ボタンや番組表で選局できません。 ［全選局］を選ぶとすべてのチャンネルが［選局する］または［必ず選局］になり、［プリセット選局］は初期スキャンのときの状態に戻ります。［全選局解除］を選ぶと、［プリセット選局］の設定もすべて解除されます。
プリセット選局	リモコンの数字ボタンに、好みのチャンネルを登録できます。

地上デジタル自動チャンネル設定

初期スキャン	全チャンネルを再設定します。県域が変わった場合は［県域］を設定してから行ってください。
再スキャン	新しく受信できたチャンネルが追加されます。県域を変更した場合は選べません。
中止	初期スキャンも再スキャンも行いません。

地上デジタル自動再スキャン

入	地上デジタル放送のチャンネル変更情報を受信時に、本機が自動的にチャンネルを再設定します。通常はこの設定にします。
切	チャンネルを自動で再設定しません。

地上デジタルアンテナレベル

チャンネルを選んで、地上デジタル放送の受信状態を確認できます。

地上デジタルアッテネーター

入	電波の送信元付近の地域などで、電波が強くて近隣チャンネルなどの干渉を受ける場合に選びます。
切	通常はこの設定にしてください。

BSデジタルチャンネル登録

受信しているBSデジタル放送の選局方法などが設定できます。
「地上デジタルチャンネル登録」をご覧ください(117ページ)。

CSデジタルチャンネル登録

受信している110度CSデジタル放送の選局方法などが設定できます。
「地上デジタルチャンネル登録」をご覧ください(117ページ)。

BS/CSデジタルアンテナレベル

BS/110度CSデジタル放送の映像がテレビに映った状態で、必要に応じて[最大値]の数字がより大きくなるようにBS/110度CSアンテナを動かして固定します。

ちょっと一言

- 《BS》ボタン、《CS》ボタンを押して、BS/CSデジタルアンテナレベルの表示を切り換えることができます。

BS/CSデジタルアンテナ電源

自動	本機の電源を入れたときに、本機がBS/110度CSアンテナに電源を供給します。本機の電源が切れているときは供給しません。
切	電源を供給しません。

ちょっと一言

- 電源スタンバイ時の録画中には、電源は供給されます。

デジタル放送地域設定

郵便番号	数字ボタンでお住まいの地域の郵便番号7桁を正しく入力します。間違った郵便番号を入れると、お住まいの地域に密着した情報が受信できなかったり、お住まいでない地域の番組情報を誤って受信したりしてしまいます。
県域	お住まいの地域を選びます。

文字スーパー表示

切	文字スーパーを表示しません。 放送局側で文字スーパーを消せない設定にしている番組では、[切]に設定しても文字スーパーを消せません。
第1言語	文字スーパー放送が行われているときに、第1言語や第2言語の文字スーパーを表示します。
第2言語	

ビデオ設定

自動チャプターマーク

入	録画時に、画面と音声の変化を捉えて自動的にチャプターを区切ります。
切	録画時に、自動でチャプターを区切りません。

ちょっと一言

- LAN経由でCATV番組/「スカパー! HD録画」したタイトルは、おまかせチャプター機能は働きません。[入]では約6分間隔でチャプターを区切ります。

スポーツ延長対応

30分	延長時間の情報が番組表にない場合、録画時間を指定した時間分延長します。
60分	
120分	
切	録画時間を延長しません。

番組追跡録画

入	番組放送の開始時刻や終了時刻が変更になったときに、録画時間を自動的に修正します。
切	録画時間を自動的に修正しません。

ダイジェスト設定

長め	ダイジェストをじっくり見たいときに設定します。
標準	標準的な長さのダイジェストで再生されます。
短め	短時間でダイジェストを再生したいときに設定します。

マーク名設定

マークを好みの名前に変更できます。

二重音声記録

主音声	DRモード以外で録画やダビングするときに主音声や副音声で録音します。
副音声	

ちょっと一言

- DRモードでは、主音声、副音声とも録音されます。

外部入力録画横縦比

16:9	外部入力(映像入力)から録画やダビングするとき、映像サイズを16:9や4:3の横縦比にします。
4:3	

字幕焼きこみ

入	次の場合に、DRモードで録画した字幕付きのタイトルに字幕を焼きこみます。焼きこんだ映像からは字幕を削除できません。 ● DR以外のモードでダビングするとき。 ● [高速転送録画](119ページ)を[切]にして、おでかけ転送時に転送用動画ファイルを作成したとき。
切	字幕を焼きこみません。

ご注意

- 録画中におでかけ転送用動画ファイルを同時作成する場合、転送用動画ファイルに字幕は焼きこまれません。

予約録画「録画先」初期値

本体HDD	録画先の初期値を、本機のハードディスクまたは外付けUSBハードディスクのどちらかに設定します。
USB HDD	

BD/DVD視聴設定

BD/DVDメニュー言語

言語コード指定	言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(156ページ)を参照して、言語コードを入力します。

音声言語

オリジナル	ディスクに記録されている優先言語が選ばれます。
言語コード指定	言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(156ページ)を参照して、言語コードを入力します。

字幕言語

言語コード指定	言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」(156ページ)を参照して、言語コードを入力します。

BDインターネット接続

許可する	BD-LIVE機能によるインターネット接続を許可します。
許可しない	BDからのインターネット接続を許可しません。

おでかけ転送設定

おでかけ転送機器

ウォークマン／nav-u	録画時に、“ウォークマン”や“nav-u”へ転送できるファイルを作成します。AVC Baseline Profile形式で作成されます。
PSP	録画時に、PSP®へ転送できるファイルを作成します。AVC Main Profile形式で作成されます。
携帯電話	録画時に、携帯電話へ転送できるファイルを作成します。AVC Baseline Profile形式で作成されます。

高速転送録画

入	録画時に、おでかけ転送用動画ファイルを自動的に作成します。
切	おでかけ転送用動画ファイルを自動的に作成しません。 録画予約設定画面の[ワンタッチ転送](34ページ)で[する]を選ぶと作成します。

録画モード

自動	録画時の録画モードに合った画質を自動で調整し、おでかけ転送用動画ファイルを作成します。 **[PSP]設定の場合は** DR/XR/XSRモード : VGA1.0M。 SR/LSRモード : QVGA768k。 LR/ERモード : QVGA384k。 **[ウォークマン／ nav-u]／[携帯電話]設定の場合は** DR/XR/XSR/SR/LSRモード : QVGA768k。 LR/ERモード : QVGA384k。
VGA2.0M	約30万画素の最高画質で作成します。対応機種が限られ、ファイルサイズは大きくなります。また、およそ4時間30分を超えるタイトルの作成はできません。
VGA1.0M	約30万画素の高画質で作成します。
QVGA768k	約7.5万画素の高画質で作成します。
QVGA384k	約7.5万画素の画質で作成します。データサイズを抑えた画質ですが、ほとんどの機種が対応します。

ちょっと一言
- お使いの機器によっては対応していない録画モードがあります。対応していない録画モードを設定して転送した場合は、画面の指示に従ってモードを変更してください。

再生位置同期

入	お使いの転送先機器によっては、再生したタイトルをおでかけ／おかえり転送すると、前回再生を停止した位置から再生を開始します。転送時に、本機と転送先機器に同じタイトルが存在するときは、最後に視聴した日時が新しい方の再生位置になります。
切	再生位置は同期されません。

ワンタッチ転送 更新転送

切	更新転送をしません。ワンタッチ転送をすると、対象タイトルを録画日の古いものから順番に転送します。
最新3日間分 最新1週間分 最新2週間分	ワンタッチ転送対象タイトル（ワンタッチ転送リストの内容）は指定した日にち分のみとなり、それに合わせて転送先を更新します。転送先にある古いタイトルは削除またはおかえり転送されます。

フォト設定

表示モード

ノーマル	写真全体を表示し、余白には黒帯を表示します。
ズーム	横長の写真を画面いっぱいに表示します。写真が縦方向にはみ出した場合は、はみ出した部分は表示されません。縦長の写真は［ノーマル］と同様に表示します。

スライドショーの速さ

速い	［標準］より速い再生速度です。
標準	基本の再生速度です。
遅い	［標準］より遅い再生速度です。

スライドショーの効果

入	効果を付けて次の写真に切り換わります。
切	効果を付けずに、スライドショーを再生します。

x-Pict Story HD日時情報表示

入	ビデオ作品の効果として日時情報を表示します。
切	日時情報を表示しません。

サンプル表示

入	ホームメニューの［フォト］の列にサンプルアルバムを表示します。
切	サンプルアルバムを表示しません。

本体設定

現在時刻／時刻設定

地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送を正しく受信している場合は、正しい時刻を自動的に設定し、表示します。時刻を自動で設定できなかった場合に、手動で設定します。

時計表示

入	テレビを視聴中に時計を表示します。
切	テレビを視聴中に時計を表示しないときに選びます。

3D信号入力通知

入	3D信号を検出したときにメッセージを表示します。
切	3D信号を検出したときのメッセージを表示しないときに選びます。

オンタイマー

最後に視聴していたチャンネルまたは外部録画入力で、指定した曜日／時刻にテレビの電源が自動的に入ります。

ちょっと一言

- [現在時刻／時刻設定]で正しい時刻を先に設定してください。

スリープタイマー

15分/30分/45分/60分/90分/120分	指定した時間が経過後、テレビの電源が自動的に切れます。
切	スリープタイマーを使用しないときに選びます。

ちょっと一言

- 放送や外部入力視聴中は、オプションからも設定できます。

消費電力*

標準	基本の消費電力です。
減(明)	[標準]より消費電力が抑えられます。
減(暗)	[減(明)]より消費電力が抑えられます。

* 2D表示時のみ設定値が有効になります。

高速起動

入	最大1日6時間の時間帯限定で、すぐに起動できる待機状態にします。起動後は、すばやくチャンネル切り換えや入力切り換えなどができます。 さらに、電源「切」のときでも本機右側面のUSB端子からUSB機器を充電できます。 **学習**:よく使う時間帯を本機が自動的に選びます。学習効果が反映されるのに1週間程度かかります。 **時間帯指定**:すぐに起動したい時間帯を2時間ごとに最大6時間まで手動で設定できます。
切	お買い上げ時に設定されているモードです。

ご注意

- [入]ですぐに起動できる待機状態のときは、本機内ハードディスクが動作することもありますので、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- [入]に設定した場合、[切]よりも待機中の消費電力が増加します。

スタンバイ時ランプ表示

点灯	電源スタンバイ中に本体前面のLEDランプを点灯させます。
消灯	電源スタンバイ中に本体前面のLEDランプを全て消灯します。

ご注意

- 「スタンバイ時ランプ表示」を「消灯」に設定していると、電源スタンバイ中は録画中でも録画中ランプが点灯されません。そのような場合、ハードディスクが動作していますので、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

ソフトウェアアップデート

自動	デジタル放送を受信できる場合、ソフトウェアのバージョンアップデータを受信し、自動的に本機のソフトウェアを更新します。
切	アップデートデータを自動で更新しません。

外付けUSB HDD設定

USB HDD登録	USB HDD専用端子につないだ外付けUSBハードディスクを登録します（112ページ）。
USB HDD登録確認／削除	外付けUSBハードディスクの登録を解除します。
USB HDD動作診断	本機につないだ外付けUSBハードディスクが正しく動作するか診断します。

カード情報

カードID番号などを表示します。カードを本機から取り出さなくても、カードID番号を確認できます。

本体情報

本機のソフトウェアのバージョンと、MACアドレス、機器IDを確認できます。

HDMI機器制御設定

HDMI機器制御

入	HDMI1 ～ 3入力にHDMI機器制御に対応した機器をつないでいるときに、HDMI機器制御を有効にします。[入]を選ぶと、[HDMI機器制御設定]の各項目が設定できるようになります。
切	HDMI機器制御を無効にします。

テレビ→HDMI機器電源連動（[HDMI機器制御]を[入]に設定しているときのみ）

入	本機の電源を切るときにHDMI機器の電源も連動して切ります。
切	本機の電源とHDMI機器の電源は連動しません。

ちょっと一言

- [HDMI機器制御]を[切]にすると[テレビ→HDMI機器電源連動]も自動的に[切]になります。

HDMI機器→テレビ電源連動（[HDMI機器制御]を[入]に設定しているときのみ）

入	HDMI機器で電源を入れたり、再生などの操作をしたりするときに、本機の電源も連動して入ります。
切	HDMI機器と本機の電源は連動しません。

ちょっと一言

- [HDMI機器制御]を[切]にすると[HDMI機器→テレビ電源連動]も自動的に[切]になります。

HDMI機器一覧

HDMI入力につないだHDMI機器制御に対応した機器を一覧表示します。[有効にする]を選ぶと、HDMI機器制御設定連動に対応しているソニー製機器のHDMI機器制御設定も有効になります。

リモコン操作ボタン設定（[HDMI機器制御]を[入]に設定しているときのみ）

全ボタン無効	[リモコン操作ボタン設定]の機能を無効にします。
標準	つないだHDMI機器を操作するときに、再生や停止などの操作ボタン、↑↓←→《決定》ボタン、カラーボタンなどが使えます。
チャンネルボタン追加	[標準]に加えて、数字ボタン、《チャンネル＋／－》ボタンが使えます。
ホームボタン追加	[標準]に加えて、《ホーム》ボタン、《オプション》ボタンが使えます。
チャンネルボタン･ホームボタン追加	[標準]に加えて、数字ボタン、《チャンネル＋／－》ボタン、《ホーム》ボタン、《オプション》ボタンが使えます。

ちょっと一言

- [ホームボタン追加]の場合、本機のホームメニューやオプションを利用するには《リンクメニュー》ボタンから[テレビの操作]を選んでください。

年齢制限設定

暗証番号設定

視聴制限のある番組やタイトルの場合に、視聴や再生を制限できます。

暗証番号を変更するには

[暗証番号設定]を選んだときに表示される画面で現在の暗証番号を入力し、その後で新しい暗証番号を入力します。

登録した暗証番号を忘れてしまったときは

[設定初期化]＞[お買い上げ時の状態に設定]＞[年齢制限設定]＞[はい]を選ぶと以前の暗証番号が削除されます(125ページ)。

放送/インターネットサービス視聴年齢制限

視聴年齢制限付き番組およびブラビアインターネットサービスの年齢制限を設定します。制限した放送は、[暗証番号設定](123ページ)で設定した暗証番号を入力しないと、視聴できません。年齢の数字が小さいほど制限が厳しくなります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。

HDDタイトル視聴年齢制限

インターネットサービスからダウンロードしたタイトルや、LAN経由でCATV録画／「スカパー！ HD録画」したタイトル、BS/110度CSデジタルで録画したタイトルを、見る人の年齢によって、再生などができないように制限できます。
タイトルの制限レベルによって、制限方法が異なります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。
視聴年齢制限を一時的に解除するには、タイトルリストに表示されているタイトルを選び、オプションメニューから[視聴制限一時解除](179ページ)を選びます。

- 20歳未満制限付きタイトルの場合
  本機で視聴年齢制限を設定すると、タイトルリストなどに表示されなくなります。
- 19歳未満制限付きタイトルの場合
  本機で[19歳]以外の視聴年齢制限を設定すると、タイトルリストなどに表示されなくなります。
- 18歳未満制限付きタイトルの場合
  本機で[19歳]や[18歳]以外の視聴年齢制限を設定すると、タイトルリストなどに表示されなくなります。
- 上記以外の制限付きタイトルの場合
  タイトルリストなどには表示されますが、本機の設定年齢以上の制限付きタイトルは、暗証番号を入力しないと再生、ダビング、おでかけ転送などができません。
- 制限のないタイトルの場合
  本機で視聴年齢制限を設定しても、制限できません。

BD視聴年齢制限

BD-ROMには、見る人の年齢によって、場面の視聴を制限できるものがあります。制限された場面をカットしたり、別の場面に差し換えたりして再生します。年齢の数字が小さいほど制限が厳しくなります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。[年齢指定]を選ぶと、0歳から255歳までの年齢を入力できます。

DVD視聴年齢制限

DVDビデオには、地域ごとに設けられたレベル(見る人の年齢など)によって、場面の視聴を制限できるものがあります。制限された場面をカットしたり、別の場面に差し換えたりして再生します。レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。

インターネットサービス利用制限

入	暗証番号(123ページ)を入力しないと、インターネットサービスのページが表示できなくなります。
切	暗証番号による制限を行いません。

通信設定

データ放送通信設定

セキュリティサイト自動接続	**入**:確認ダイアログを表示しないで、セキュリティサイト接続や、セキュリティサイトから移動します。 **切**:セキュリティサイト接続の確認ダイアログを表示します。
証明書のダウンロード確認	**入**:放送局から新しい証明書が発行されたとき、ダウンロードの確認ダイアログを表示します。 **切**:確認ダイアログを表示しません。
証明書の自動ダウンロード	**入**:[証明書のダウンロード確認]が[切]の場合に、放送局から発行された新しい証明書を自動的にダウンロードします。 **切**:自動ダウンロードしません。

ネットワーク設定

☞次のページも参考にしてください。
• 無線LANのセキュリティについて(155ページ)。

画面の指示に従って操作してください。

有線LAN 無線LAN	ネットワークにつなぐ方法を選びます(108ページ)。
アクセスポイント	**WPS(プッシュボタン方式)**:アクセスポイントがWPSに対応しているときに選びます。アクセスポイントのボタンを押すだけで自動でアクセスポイントが登録できます。AOSSボタンでWPSに対応しているものもあります。 **検索して登録**:検索結果一覧から、使いたいアクセスポイントを選び、暗号キーを入力するとアクセスポイントが登録できます。 **登録内容を直接入力**:アクセスポイントのSSID/セキュリティ方式/暗号キーを入力するとアクセスポイントが登録できます。 **WPS(PINコード方式)**:本機に表示されるPINコードをアクセスポイントへ入力することで登録できます。
IPアドレス/プロキシサーバー設定	**自動設定**:ルーターやプロバイダーのDHCP(Dynamic Host Configuration Protocol) サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。通常はこの設定にしてください。 **詳細設定**:IPアドレス設定/ DNS設定を自動や手動で設定するときに選びます。 • IPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ。 • プライマリDNS /セカンダリDNS*[1] *[2]。 • プロキシサーバー/アドレス/ポート。

*[1] 自動取得は、DHCP利用時のみ有効となります。IPアドレスの値を手動で入力したときはDNSの値も手動で入力する必要があります。
*[2] [DNS設定]を[手動]にすると、プライマリDNSとセカンダリDNSのアドレスを手動で設定できます。この場合、必ずプライマリDNSは入力してください。入力しない場合ネットワークが正しく設定されません。

ちょっと一言

• SSID、WEP/WPAキーは、アクセスポイント(無線LANルーター)に接続するときに必要なセキュリティ情報の一種です。一般的には、パソコンを使ってアクセスポイントに設定します。詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください。
• WEPキーを使って無線LANに接続する場合、アクセスポイントへの接続が成功しても、通信ができないことがあります。WEPキーが、アクセスポイントの設定と合っているか、確認してください。

ご注意

• ネットワーク設定を[無線LAN]と[有線LAN]で切り換えた場合、ネットワークにつながらなくなることがありますので、[ネットワークの設定確認と接続診断]を行ってください。
• セキュリティで保護されていない無線LANに接続しても、ホームサーバー機能でのタイトル出力はできません。

ネットワークの設定確認と接続診断

詳細確認	現在の設定を表示します。
接続診断	ネットワークが正しく接続されているか診断します。

＜ブラビア＞ネットチャンネルの更新

〈ブラビア〉ネットチャンネルで利用するインターネットサービスを最新の状態にします。

リモート機器設定

リモート機器登録	リモート録画予約で利用する携帯電話やパソコンを本機に登録します。登録パスワードの入力方法には、携帯電話の赤外線を利用した入力(携帯電話の赤外線発光部を本機のリモコン受光部に向けて発信する)と、本機の画面を見ながらリモコンのボタン操作により入力する方法とがあります。 登録パスワードは携帯電話やパソコンからアクセスしたサービス事業者の画面に表示されます。詳しくは、リモート録画予約サービス事業者にご確認ください(45、141ページ)。
登録リモート機器一覧	本機に登録されている携帯電話やパソコンを一覧で確認できます。登録した携帯電話やパソコンの削除なども行えます。

ホームサーバー設定

サーバー機能	**入**:本機のホームサーバー機能を有効にします。 **切**:本機のホームサーバー機能を無効にします。
サーバー名	本機の機器名称を設定します。ホームサーバー機能対応機器から本機にアクセスしたときに、ホームサーバー機能対応機器側でこの名前が表示されます。

クライアント機器登録方法	クライアント機器とは、本機のホームサーバー機能を利用して、LAN経由でタイトルを再生したり本機に録画や予約できる機器のことです。本機にクライアント機器が登録されていないと、ホームサーバー機能を利用できません。 **自動**:本機にアクセスしてきたクライアント機器を自動的に登録します。 **手動**:本機にアクセスできるクライアント機器を手動で登録します。[未登録機器一覧]から登録してください。
登録機器一覧	本機に登録されているクライアント機器を一覧で表示します。機器の詳細を確認したり機器を一覧から削除したりできます。
未登録機器一覧	本機に登録されていないホームネットワーク上のホームサーバー機能対応機器を一覧で表示し、本機のクライアント機器として登録できます。機器の詳細を確認したり機器を一覧から削除したりできます。

かんたん設定

かんたん初期設定

本機を使う上で必要な設定です。引越し時などに再設定します。

かんたん機能設定

My !番組表、おでかけ転送する機器、おでかけ転送 高速転送録画の設定を行います。

設定初期化

お買い上げ時の状態に設定

設定ごとに、お買い上げ時の設定に戻せます。選んだ設定のすべての項目がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。

ご注意

- 外付けUSB HDD設定は、お買い上げ時の設定には戻りません。[本体設定](121ページ)で、それぞれ設定してください。

学習情報の初期化

おまかせ・まる録などで本機が学習した情報を初期化します。

個人情報の初期化

本機を廃棄したり譲渡したりするときは、次の個人情報などのデータを本機から削除することを強くおすすめします。

- データ放送で登録した個人情報やポイントなど。
- 視聴年齢制限レベルと暗証番号。
- 語句登録した単語。
- キーワード履歴。
- 検索履歴。
- メール。
- すべてのルートCA証明書。
- インターネットサービスに機器を登録したときに発行される機器登録(識別)情報など。
- アカウント認証情報
- コンテンツ視聴情報

暗証番号を設定しているときは、暗証番号の入力画面が表示されます。

ご注意

- 個人情報などの登録・設定データは項目ごとに削除できません。一度初期化すると、すべての登録・設定データが削除されます。
- [通信設定](123ページ)で入力したIPアドレスを始めとする通信接続情報や、[放送受信設定](117ページ)で入力した県域、郵便番号などの情報は、削除されません。[お買い上げ時の状態に設定](125ページ)でそれぞれの設定を選んで削除してください。

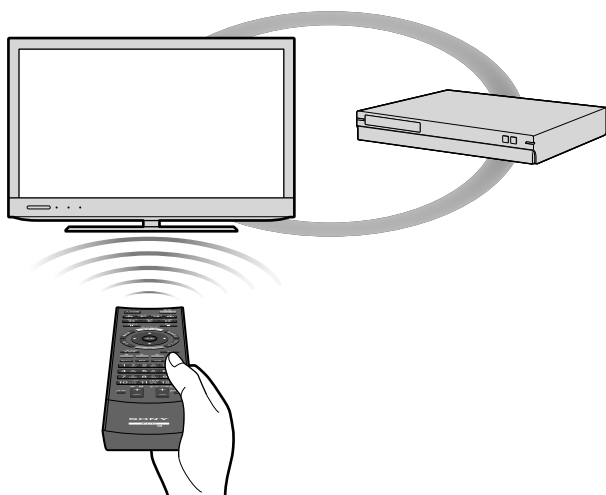
HDD初期化

本機のハードディスクを初期化します。初期化すると以下が削除され、元に戻すことができません。

- 録画したタイトル。
- 写真。
- x-Pict Story HDで作成したビデオ作品。
- x-ScrapBook作品。
- BONUSVIEWやBD-LIVEで使うBDデータ(ローカルストレージ)(57ページ)。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトル。

ブラビアリンクを設定したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- 本機と録画／再生機器や、AVアンプなどのHDMI機器をHDMIケーブルでつなぐ（105、106ページ）。
- HDMI機器制御を設定する（122ページ）。

「ブラビアリンク」は、HDMI ケーブルで様々な機器をつなぎ、本機のリモコンで連動操作が出来るソニー商品の機能名称です。

ブラビアリンクに対応している機器

リンクメニュー対応

左のロゴが表記されている機器で、ブラビアリンクを使えます。
詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/bravialink/

ちょっと一言
- ［HDMI機器一覧］で、つないだ機器を確認できます（122ページ）。つないだ機器が表示されていない場合は、つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意
- HDMIケーブルはHDMIロゴの付いているものをお使いください。
- ブラビアリンクに対応した他社製品については、その取扱説明書をご覧ください。

リモコンでできること

ボタン	できること
リンクメニュー	リンクメニュー画面を表示して、操作する機器を選んだり、選んだ機器の操作メニューを表示したりします。 対応機器：ビデオカメラ／ブルーレイディスクレコーダー／ VAIO
電源	本機の電源を切ると、つないだ機器も連動して電源が切れます。 対応機器：ブラビアリンク対応機器すべて

ちょっと一言
- HDMI機器の状態によっては、本機の電源を切っても連動して切れないことがあります。

設定で操作できるボタン

［HDMI機器制御設定］＞［リモコン操作ボタン設定］を選び、以下のボタンを使えるように設定できます（122ページ）。
- 《地デジ》ボタン／《BS》ボタン／《CS》ボタン
- 《10キー》ボタン
- ⬆⬇⬅➡
- 《決定》ボタン
- カラーボタン
- 《ホーム》ボタン
- 《オプション》ボタン
- 数字ボタン
- 《チャンネル＋／－》ボタン
- 再生や停止などの操作ボタン

リンクメニューを操作する

項目	できること
つないだ機器を選ぶ	ブラビアリンクで操作できる機器が表示されます。操作したい機器を選ぶと機器の電源が入り、本機の入力が切り換わります。
つないだ機器の操作	見ている機器の操作ができます。

項目	できること
スピーカーの切換	音声の出力先を切り換えます。本機のスピーカーとオーディオシステムのどちらかを選び、《決定》ボタンを押してください。
テレビの操作	本機のホームメニューやオプションメニューを操作できます。
テレビに戻る	テレビ放送に戻ります。

その他ブラビアリンクでできること

ブルーレイディスクレコーダー／ DVDプレーヤー／ハードディスクレコーダーなどのとき

- 機器で再生を始めると、本機の電源が入り、再生映像が表示されます。
- リンクメニューの[つないだ機器の操作]から[ホーム(メニュー)]選ぶと、機器のメニューが表示されて本機のリモコンで操作できます。

オーディオシステムのとき

- 本機の電源を入れると、オーディオシステムの電源が入り、音声がオーディオシステムから出力されます(前回本機の電源を切ったときに、音声をオーディオシステムから出力していた場合のみ)。
- 本機リモコンの《音量＋／－》ボタン、《消音》ボタンでオーディオシステムからの音量を調節できます。
- オーディオシステムの電源を切ると、音声出力がオーディオシステムから本機に切り換わります。
- テレビを見ているときや、オーディオシステムにつないだ録画機器などの映像を見ているときは、
  - オーディオシステムの電源を入れると、音声出力が本機からオーディオシステムに切り換わります。
  - リンクメニューの[スピーカーの切換]から[オーディオシステム]を選ぶと、オーディオシステムの電源が入り、音声出力が本機からオーディオシステムに切り換わります。
  - リンクメニューの[スピーカーの切換]から[テレビスピーカー]を選ぶと、音声出力がオーディオシステムから本機に切り換わります。

ちょっと一言

- Audio Return Channel (ARC)に対応しているオーディオシステムは、HDMIケーブルを使って本機のHDMI1入力端子につないでください。Audio Return Channel (ARC)に対応していないオーディオシステムの場合は、HDMIケーブルと光デジタル接続ケーブルの両方の接続が必要です。
- 本機の画面に表示される音量の数値とオーディオシステム本体の音量の数値とが異なる場合があります。

デジタルカメラのとき

- つないだデジタルカメラの電源を入れるか電源の入ったデジタルカメラをつなぐと、本機の電源が入ったあとで入力が切り換わり、操作メニューが表示されて本機のリモコンで操作できます。
- リンクメニューの[つないだ機器の操作]から[ホーム(メニュー)]を選ぶと、デジタルカメラの操作メニューが表示されて本機のリモコンで操作できます。

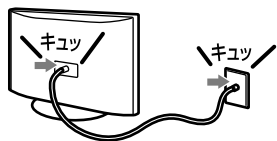
その他ブラビアリンクでできること

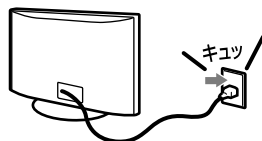
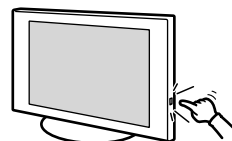
- 接続機器の電源を入れたり再生を始めると、本機の電源が入り、入力が切り換わります。
- オートジャンルセレクター機能に対応したAVアンプをつないでいる場合、最適なサウンドフィールドを自動的に選びます。詳しくはAVアンプの取扱説明書をご覧ください。
- シーンセレクト機能に連動して、最適な画質に自動的に切り換わります。

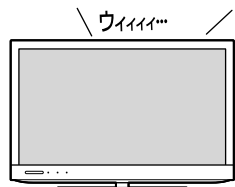
困ったときは

本機操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次の順番で解決方法を探してください。

1. まず、確認してください

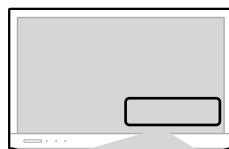
アンテナ線(同軸アンテナケーブル)をしっかりつなぐ。

- ゆるんだり、抜けたりしていないか。
- 芯線が曲がっていないか(104ページ)。

電源コードをしっかりつなぐ。

本体の《電源》ボタンを入れる。

こんな場合は故障ではありません

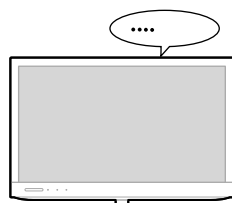
電源を切っているのにハードディスクの動作音などの音がする

電源が「切」でも、次のような場合、本機が動作をすることがあります。

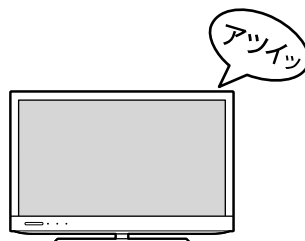
- 番組表データの取得時。
- 録画中(録画予約、x-おまかせ·まる録など)。
- ダビング中。
- リモート録画予約機能使用時。
- ホームサーバー機能使用時。
- 高速起動の待機時。
- ソフトウェアのアップデート時。
- スカパー！ｅ２の無料視聴期間サービスの利用時。

など

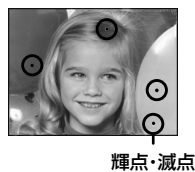
このような場合、内部で動作しているので音がすることがあります。

なかなか起動しない

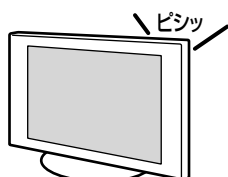
本機の電源を「入」にした直後、起動中に「テレビを起動中です。しばらくお待ちください。」と画面に表示されます。
そのままお待ちください。
起動時間を短くするには、[高速起動]を[入]に設定してください(121ページ)。
[高速起動]を[入]に設定すると、[切]よりも待機中の消費電力が増加します。

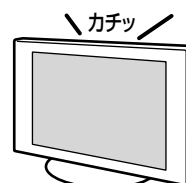
操作を受け付けない／動いていない

明らかに本機が操作を受け付けない状態になった場合は、本機右側面の《リセット》ボタンを押してください(145ページ)。

本機の周辺が熱い

長時間使用した後などに、本機の上部や背面が熱くなり、手で触れると熱く感じることもあります。

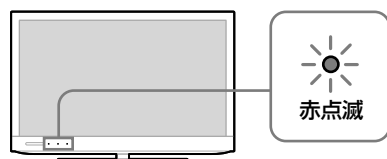
画面に光る点、または光らない点がある。

輝点・滅点

液晶テレビの映像は微細な画素の集合です。
画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。

「ピシッ」というきしみ音が出る。

電源を入れているかどうかに関わらず、周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがあります。

電源を入れたときや電源スタンバイ時に「カチッ」と音がする。

電源を入れたときは、内部の回路が働くため音がします。
また電源スタンバイ時は、データ受信やソフトウェアの書き換えのために本機の電源が自動的に入り、音がすることがあります。本機前面の⏲ ランプがオレンジ色に点滅しますが、故障ではありません。

自己診断表示機能が働いています

画面が消え、本機前面のランプが赤色に点滅する。

本機に何らかの異常が起きています。ランプの位置と点滅回数をご確認のうえ、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

2. よくあるトラブルと解決方法

本書では次の項目のよくあるトラブルと解決方法を記載しています。
解決方法がない場合は、「3. それでも困ったときは」(140ページ)をご覧ください。

電源

電源が入らない。

- 電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください(らくらくスタートガイドをご覧ください)。

本機の電源が勝手に入ってしまう。

- [HDMI機器→テレビ電源連動]を[切]に設定してください(122ページ)。

映像

映像が出ない、乱れる。

- 電源コードや接続ケーブルが正しく、しっかり差し込まれているか確認してください(らくらくスタートガイドをご覧ください)。
- 接続ケーブルが断線している可能性があります。ケーブルを交換してください。
- 放送受信状態やハードディスクの特性上、ごくまれに発生することがあります。複数の番組や1つの番組で複数回発生する場合は、ソニーの相談窓口へお問い合わせください(140ページ)。
- 次の場合には映像／音声が一瞬途切れたり、映像が乱れたりすることがあります。
  - 2層以上のBD/DVDを再生する場合、レイヤー(層)が切り換わるとき。
  - DVD再生時などでプログレッシブ映像に切り換わるとき。
  - 24p True Cinemaに対応したBD-ROMや、x-Pict Story HDやx-ScrapBookの再生をするとき。
- 本機右側面の《リセット》ボタンを押してください(145ページ)。
- 無線LANを使用のときは、有線LANに切り換えてみてください。

本機の入力端子につないだ機器の映像が映らない。

- 《入力切換》ボタンを押して、つないでいる入力端子に切り換えてください。
  例)音声／映像入力端子のときは「ビデオ」または「コンポーネント」

色がつかない。色がおかしい。画面が暗い。

- [画質･映像]をお好みに合わせて調整してください。
  例えば、画面が暗い場合には[画質･映像設定]＞[画質]＞[バックライト]を選び、調整してください(26ページ)。
- [消費電力]を確認してください。[減(明)]または[減(暗)]に設定されていると画面が暗くなります(121ページ)。

画像が乱れる。

- 本機の近くで携帯電話や電子レンジ、掃除機などを使用すると、映像や音声が一時的に乱れることがあります。
- 画像の輪郭が乱れる場合は[モーションフロー]を[標準]または[切]にするか、[シネマドライブ]を[切]にしてください。

画面サイズが勝手に切り換わる。映像が上下に動く。

- [オートワイド]が[入]に設定されていると映像に適した画面サイズを自動的に判断します。気になるときは[オートワイド]を[切]にしてください。
  オートワイドの変更は、外部入力視聴中のみ可能で、《オプション》ボタンを押し、[画質･映像設定] ＞ [画面モード]から選びます。

画面の横縦比がおかしい。

- 録画する映像に合った映像サイズを設定してから録画してください(119ページ)。
- 放送や映像によっては、設定にかかわらず画面の左右や画面の上下に黒帯が入ることがあります。

サムネイルが表示されない。

- 録画内容によってはサムネイルを作成できないことがあります。

テレビの受信

本機で受信しているテレビ放送が映らない。

- B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください(らくらくスタートガイドをご覧ください)。
- アンテナケーブルの接続端子を確認してください(103ページ)。
  - 地上デジタルとBS/110度CSを間違えていませんか？
- アンテナが地上デジタル放送を受信できるか確認してください。
- 地上デジタル放送が受信できなくなった場合は、[設定]＞[放送受信設定]＞[地上デジタル自動チャンネル設定]で[再スキャン](117ページ)を選んで受信設定してください。
- 本機の<チャンネル＋／－>ボタンで他のテレビ局を選んでください。

本機で受信しているテレビ放送の映像が汚い。

- 電波の送信元付近の地域にお住まいではありませんか？地上デジタル放送の電波が強くて近隣のチャンネルなどの干渉を受けているときはアンテナレベルが低くなります。[設定]＞[放送受信設定]＞[地上デジタルアッテネーター](117ページ)を「入」に設定してください。
  それでも汚い場合は、[地上デジタルアッテネーター]を[切]に戻し、別売のアンテナブースターを本機と壁のアンテナ端子の間につないでください。
- 電波が弱くありませんか？デジタル放送の映像が汚い場合、アンテナレベル(117ページ)を確認してください。アンテナレベルが低いときは、別売のアンテナブースターで電波信号を増幅してください。

テレビチャンネルが勝手に切り換わる。

- 録画中に、2番組目の録画が始まる時に準備のためチャンネルが切り換わります。

テレビチャンネルを切り換えることができない。

- 2番組同時録画中は、本機では録画中のチャンネルしか見ることができません。他のチャンネルを見たい場合は、録画を止めてもよいチャンネルを表示して、《停止》ボタンを押して、録画を停止してください。チャンネルを切り換えることができます。
- 本機の《地デジ》ボタン／《BS》ボタン／《CS》ボタンのどれかを押して、映像が映るように入力を地上デジタル放送またはBS/110度CSデジタル放送に合わせてください。

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の番組が映らない。

- BS/110度CS対応アンテナを本機に正しくつないでください（103ページ）。
- BS/CSデジタルアンテナレベルの表示を見ながら、BS/110度CS対応アンテナの向きを調整してください（118ページ）。
- BS/110度CS対応アンテナからゴミや雪を取り除いてください。
- ［設定］＞［放送受信設定］＞［BS/CSデジタルアンテナ電源］（118ページ）を［自動］に設定していても番組が映らない場合は、BS/110度CS対応アンテナがショートしている可能性があります。本機の電源を入れ直してください。
- マンションなどの共同受信システムで、BS/110度CSデジタル放送のアンテナレベルが低いときは、BS/CSブースターをつなぐなど、信号の流れを見直す必要があります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に確認してください。

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の番組が映らない。

- CATVから配信されるBS/110度CSデジタル放送や地上デジタル放送は、本機で直接受信できる方式と、CATVチューナーで受信し、本機に映像／音声ケーブルで入力する方式があります。
  地上／ BSデジタル放送が本機で直接受信できても、110度CSデジタル放送はチューナーを経由する場合などもあります。ご利用のCATV局に「直接受信できるかどうか」をお問い合わせください。

放送局のロゴが表示されない。

- 本機では各放送局のロゴデータを放送局から順次取得していきますが、お急ぎの場合は表示させたい放送局をしばらく視聴していると自動的にロゴデータが受信され、表示されるようになります。

番組表

番組表が表示されない。

- 地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送のアンテナケーブルを正しくつないでいるか確認してください（103ページ）。
- ［設定］＞［放送受信設定］＞［地上デジタル自動チャンネル設定］（117ページ）でチャンネル設定をやり直してください。

番組表に表示されない放送局がある。

- ［設定］＞［放送受信設定］＞［地上デジタルチャンネル登録］や［BSデジタルチャンネル登録］、［CSデジタルチャンネル登録］の［＋／－選局］（117ページ）を［選局する］に設定してください。
- 番組表データに含まれない放送局は表示されません。

番組表に表示されない番組がある。

- 本機にアンテナをつないで初期設定を終えた直後や、数日以上本機の電源コードを抜いていた場合は、地上デジタル放送の番組表の一部が表示されません。電源コードを抜かないで1日程度お待ちください。
- 地上デジタル放送の番組表データは放送局ごとに受信します。本機では各放送局の番組表データを自動的に順次取得していきますが、お急ぎの場合は表示させたい放送局をしばらく視聴してから番組表を表示してください。
- 受信状態が悪いと、一部の番組表データを受信できないことがあります。
- 1時間に複数の番組があると、番組名が表示されず、番組の開始時刻のみ表示されます。《黄》ボタンを押して番組表を拡大表示すると番組名が表示されることがあります。また、開始時刻のみ表示されている欄を選び、⬆⬇を押すと、番組名を見ることができます。

間違った放送局名が表示される。

- ［設定］＞［設定初期化］＞［お買い上げ時の状態に設定］（125ページ）の［放送受信設定］を選び、実行すると削除できます。削除後は［地上デジタル自動チャンネル設定］（117ページ）をしてください。

録画・予約・ダビング・おでかけ転送

録画中、テレビのチャンネルを変えられない。

- 2番組同時録画中は、本機では録画中のチャンネルしか見ることができません。他のチャンネルを見たい場合は、録画を止めてもよいチャンネルを表示して、《停止》ボタンを押して、録画を停止してください。チャンネルを切り換えることができます。

録画中に■《停止》ボタンを押してもすぐに録画が止まらない。

- 録画が止まる前にハードディスクやBDにデータを記録するため、止まるまでに十数秒かかります。録画の状態によって、かかる時間は異なります。

予約したのに録画されていない。

- 本機からのメールを確認してください。録画ができなかった状況などをお知らせしています（115ページ）。
- 番組表からネットワーク録画予約した録画予約は日時指定のため、時間変更に追従できません。番組の中止や変更となった可能性があります。本機の番組表からの録画予約をしてください（34、45ページ）。
- 地上デジタルやBS/110度CSデジタル放送からの時刻合わせができなかった可能性があります。
  アンテナケーブルの接続を確認してください。自動で時刻が設定されます。
  受信できないときは、［設定］＞［本体設定］＞［時刻設定］で設定してください（121ページ）。
- 番組が中止になったり、変更になったりした可能性があります。
- チャンネル設定を変更した場合、録画に失敗することがあります。録画予約をやり直してください。
- 番組名で毎回録画予約しても、番組名が大幅に変更された場合は、録画されないことがあります。［ビデオ］＞［予約確認］＞［予約リスト］で録画予約する番組を確認しても予約リストにない場合は、番組表からの録画予約をおすすめします（34ページ）。
- “ウォークマン”やPSP®、携帯電話などに高速転送中は、2番組同時録画で録画を行いますが、x-おまかせ･まる録は実行されません。
- x-Pict Story HD作成中は、録画されません。
- おでかけ転送中は、x-おまかせ･まる録は実行されません。また、複数の録画予約があっても、録画されるのは2番組です。
- おでかけ転送用動画ファイルの作成中は、録画予約があっても録画は開始されません。作成終了後に録画が開始されます。
- LAN経由でのCATV録画／「スカパー！ HD録画」予約が正しく設定されたか確認したいときは、チューナーを操作して確認します。詳しくはお使いのチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- B-CASカードが入っているか確認してください（らくらくスタートガイドをご覧ください）。
- x-おまかせ･まる録の2番組同時録画はできません（43ページ）。

予約した内容の先頭が切れている。

- LAN経由で、CATV録画／「スカパー！ HD録画」するには、［設定］＞［本体設定］＞［高速起動］（121ページ）を［入］に設定してください。

本機前面の ランプが点滅している。

- ハードディスクやBDの残量が足りない場合、本機前面の録画予約ランプが点滅し（143ページ）、録画できません。ハードディスクやBD内の不要なタイトルを削除し、残量を増やしてください（59ページ）。

以前録画した内容がなくなっている。

- 上書き録画されているときは、録画予約設定画面の［上書き］を［しない］にしてください（34ページ）。
- ハードディスクの容量がなくなると、x-おまかせ･まる録で録画されたタイトルが自動的に削除されます（43ページ）。

映像や写真の取り込みができない。

- AVCHDダビングする場合、デジタルハイビジョンカメラがUSBモードになっているか確認してください（ワンタッチディスクダビングの場合を除く）。
- デジタルハイビジョンビデオカメラからUSB接続で取り込む場合、AVCHD方式以外の映像は、本機のハードディスクに取り込めません（88、90ページ）。
- 市販のBDやDVDに入っているコピー制御信号が付いた場面は取り込めません。

勝手に録画されている。

- タイトル名の先頭に★が付いている場合は、x-おまかせ･まる録のおすすめで自動録画されたタイトルです。自動録画をやめるには、［自動録画］を［切］にしてください（42ページ）。
- タイトル名の先頭に が付いている場合は、あらかじめ設定したジャンルやキーワードから自動録画されたタイトルです。自動録画をやめるには、おまかせ条件を変更または取り消してください（42ページ）。

テレビを見ることができない。

- ワンタッチダビング中や映像／写真の取り込み中は、終了するまでテレビを見ることができません。テレビを見る場合はダビングなどを終了してください。

携帯電話やパソコンでリモート録画予約できない。

- x-Pict Story HD作成中は、リモート録画予約できません。
- ネットワークに接続されているか確認してください（45ページ）。

「スカパー！ HD」の番組を録画できない。

- 地上デジタルやBS/110度CSデジタル放送からの時刻合わせができなかった可能性があります。アンテナケーブルの接続を確認してください。自動で時刻が設定されます。
  受信できないときは、［設定］＞［本体設定］＞［時刻設定］で設定してください（121ページ）。

USB機器を認識しない。

- ソニー製デジタルスチルカメラをつなぐ場合、USB接続設定が標準（Mass Storageモード）になっているか確認してください。詳しくはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- デジタルカメラやPSP®、携帯電話をUSB接続モードなどに設定してください（ワンタッチディスクダビングの場合を除く）（82、88ページ）。
- USBケーブルがしっかり差し込まれていない可能性があります。USBケーブルを差し直してください（82、88ページ）。
- 利用する機能に対応したUSB端子に、USB機器をつないでいるか確認してください。
- 外付けUSBハードディスクの録画、コピー、再生については、「外付けUSBハードディスク」（138ページ）をご覧ください。

おでかけ転送ができない。

- USB ケーブルがしっかり差し込まれていない可能性があります。USB ケーブルを差し直してください。
- USB ケーブルが断線している可能性があります。ケーブルを交換してください。
- PSP®や携帯電話がUSBモードになっているか確認してください。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- PSP®や"nav-u"に"メモリースティック PRO デュオ"が正しく挿入されているか確認してください。
- 携帯電話にmicroSDカードが正しく挿入されているか確認してください。
- PSP®のシステムソフトウェアバージョンを4.00以降にしてください。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルをおでかけ転送する場合は、本機をネットワークにつないでください。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルによっては、書き出し先の機器やメディアが制限されたり、書き出しできる回数に制限があったりします。

ワンタッチ転送で一部のタイトルしか転送できない。

- 転送先機器の容量が不足していないか確認してください。
- ワンタッチ転送で転送先の容量が不足し、すべて転送できない場合、ワンタッチ転送リストの録画日時の古い順から転送先機器の容量に収まる分まで転送します。ただし、更新転送の場合は、未転送のタイトルを優先して転送します（85ページ）。
- 転送中に2番組同時録画の予約が重複したときは、2番組同時録画が終わってからもう一度ワンタッチ転送すると、続きから転送できます。

デジタル放送のタイトルをおでかけ転送できない。

- デジタル放送のタイトルは、コピー制御信号に対応していない機器には転送できません。おでかけ転送対応機器と転送できるタイトルの種類が正しいか確認してください（81ページ）。

おでかけ転送時に高速転送ができない。

- ［設定］＞［おでかけ転送設定］＞［おでかけ転送機器］の設定を、実際に転送する機器と合わせた状態で録画してください（119ページ）。
- ［設定］＞［おでかけ転送設定］＞［高速転送録画］が［切］になっている場合は、［入］に変更してから録画してください（119ページ）。
- 本機のハードディスクに録画されているタイトルを編集したり、録画モード、映像や音声の信号、おでかけ転送機器の設定を変更したりすると、高速転送できません（119ページ）。

おかえり転送ができない。

- USB ケーブルがしっかり差し仕込まれていない可能性があります。USB ケーブルを差し直してください。
- USB ケーブルが断線している可能性があります。ケーブルを交換してください。
- PSP®や携帯電話がUSBモードになっているか確認してください。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- デジタル放送の録画タイトルを携帯電話へおでかけ転送すると、おかえり転送できません（86ページ）。
- PSP®や"nav-u"に"メモリースティック PRO デュオ"が正しく挿入されているか確認してください。
- デジタル放送のタイトル以外はおかえり転送できません。つないでいる機器にデジタル放送のタイトルが保存されているか確認してください。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルはおかえり転送できません。

ダビングできない。

- 映画などの市販ソフトはコピーできません（95ページ）。
- 同一シーンを複数回参照するプレイリストはダビングできません。
- BDやDVDに汚れや傷が付いていないか確認してください。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルをダビングする場合は、本機をネットワークにつないでください。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルによっては、書き出し先の機器やメディアが制限されたり、書き出しできる回数に制限があったりします。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルは、DVDにダビングできません。
- DVD-R DL（2層）やDVD+R、DVD+RW、DVD+R DL（2層）、DVD-RAMにはダビングできません（69ページ）。

ダビングしたディスクを他機器で再生できない。

- DVD-R/-RWにダビングした場合、他機器で再生するためにはファイナライズが必要です（76ページ）。DVD-RWにダビングした場合には、自動でファイナライズされます。
- DVD-R/-RWにVRモードでダビングした場合、VRモードに対応した機器でのみ再生できます。ご利用の再生機器の取扱説明書などを確認してください。
- CPRM対応のDVDにダビングした場合、CPRMに対応した機器でのみ再生できます（69ページ）。

「管理情報がいっぱいです」と画面に表示された。

- 録画予約中や編集中、ダビング中、ダウンロード中にメッセージが表示されることがあります。次のことを行ってください。
  - 不要なタイトルを削除してください（59ページ）。
  - ダビング先のタイトルを削除してください。
  - ダビングするタイトルを減らしてください（71ページ）。
  - 編集回数が多いタイトルの場合、タイトルを分割してください（65ページ）。

再生

再生が始まらない。

- BDやDVD、CDが裏返しに入っていないか確認してください。
- CD-ROMなどの再生できないディスクが入っていないか確認してください(151ページ)。
- BDやDVDの地域番号(リージョンコード)が本機で再生できる番号になっているか確認してください(152ページ)。
- 他機器で記録したDVDやCDを本機で再生する場合、ファイナライズされていないDVDやCDは再生できません(151ページ)。

ハードディスクやBD、DVDの再生が最初から始まらない。

- オプションメニューから[はじめから再生]を選んでください(180ページ)。
- 自動的にタイトルメニュー、BDやDVDメニューの画面が表示されるBDやDVDの場合、画面に表示されるメニューに従って再生してください。

前回のつづきから再生できない。

- 次の場合は最初から再生されます。
  - ディスクを取りだしたとき。
  - 他のタイトルを再生したとき(DVDやCD)。
  - 再生の途中で停止し、停止した場面を編集で削除したとき。
  - タイトル結合したとき。
  - [画質･映像設定]や[BD/DVD視聴設定]、[年齢制限設定]を変更したり、[設定初期化]をしたりしたとき(ハードディスクを除く)。

再生が自動的に始まる/止まる。

- BDやDVDによってはオートポーズ信号が記録されているものがあります。このようなディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。再生を続ける場合は操作をしてください。

音声言語を変更できない。

- 再生しているBDやDVDに複数の言語が記録されているか確認してください。
- BDやDVDメニューからの操作を試してください。

字幕を変更できない。

- 再生しているBDやDVDに複数の字幕が記録されているか確認してください。
- BDやDVDメニューからの操作を試してください。
- DR以外のモードで録画すると字幕は記録されません。録画タイトル再生時や、ディスクダビング後に字幕を表示させたい場合は、DRモードで録画してください。

タイトルが表示されない。

- LAN経由でCATV録画/「スカパー! HD録画」したり、インターネットサービスからダウンロードしたりしたタイトルのうち、18歳未満視聴禁止またはより厳しい視聴制限のあるタイトルは、視聴年齢制限されていると、タイトルリストなどに表示されません。視聴年齢制限を解除してください(179ページ)。

タイトルのサムネイルが表示されない。

- 一度再生して停止してください。

追いかけ再生できない。

- アンテナの受信状態が悪かったり、アンテナ線が抜けていると、追いかけ再生できないことがあります。

市販の3Dソフト(BD-ROM)の3D再生ができない。

- メガネは視聴される人数分必要です(23ページ)。

ハードディスクの「残量が足りません」と画面に表示された。

- [ビデオ]>[BDデータ]>[共通キャッシュデータ]を選び、《決定》ボタンを押してダウンロードしたBD-LIVEなどのデータを削除してください。

音声

音が出ない。

- 接続ケーブルのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください(106ページ)。
- 接続ケーブルが断線している可能性があります。ケーブルを交換してください。
- AVアンプの入力切換で本機の音声が出るようになっているか確認してください。
- [スピーカー出力]を[テレビスピーカー]にしてください。[オーディオシステム]に設定されていると、本機からは音は出ません(116ページ)。
- ヘッドホンを抜いてください。ヘッドホンと本機のスピーカーの両方から音声を出したいときは、[ヘッドホン使用時設定]を[スピーカー･ヘッドホン併用]にしてください(116ページ)。

音が小さい。

- BD/DVDによっては、再生時の音量が小さいことがあります。[設定]>[音声設定]>[オーディオDRC]を[テレビ]に設定すると、改善されることがあります(117ページ)。

二か国語放送の音声が切り換えられない。

- 二か国語放送(主音声および副音声)の両方の音声は、DRモード(ハードディスク、BD)でのみ記録できます。
  DRモード以外で録画やダビングする場合は、録画やダビングの前に[設定]>[ビデオ設定]>[二重音声記録]>記録したい音声を選んでください(36、75ページ)。

光デジタル音声出力の音声を録音できない。

- HDMI入力端子につないだ機器を再生しているとき、光デジタル音声出力端子から音声は出力されますが、録音はできません。(著作権保護された)ブルーレイディスクやDVD、CDを再生した場合も録音できません。

オーディオシステムから音が出ない。

- [デジタル音声出力設定]を[PCM]に変更すると音声が出ることがあります(116ページ)。
- 接続を確認してください(Audio Return Channelに対応していないオーディオシステムの場合はHDMIケーブル以外に光デジタル接続ケーブルが接続されているか確認してください)(106ページ)。

インターネットサービス

インターネットサービスの映像が乱れる、映らない。

- 利用するネットワークの回線速度を確認してください。「アクトビラ ビデオ・フル」、「<ブラビア>ネットチャンネル」のご利用には、実効速度12Mbps程度の回線速度を想定しています。
- 他機器でインターネットを利用している場合は、他機器のインターネットの利用を停止してください。

〈ブラビア〉ネットチャンネルが表示されない。

- 本機をインターネットに接続してください。
- 最新のサービスに更新されていない可能性があります。[<ブラビア>ネットチャンネルの更新]をしてください。

画面上に、ダウンロードに失敗したというエラーが表示される。

- ダウンロード予定のタイトル数が50個を超えている場合は、いくつかダウンロードが完了してから再度行ってください(46ページ)。

ダウンロードが遅い。

- 他機器でインターネットを利用している場合や、次の機能は利用を停止してください。
  - BD-LIVEの再生(57ページ)。
  - ホームサーバー機能。(51ページ)。
  - インターネットサービスでページを表示、またはインターネットサービスで映像を再生(46ページ)。
  - x-Pict Story HDの作成(93ページ)。
  - ダビング(68ページ)。
  - おでかけ転送(80ページ)。
  - 録画(30ページ)。

ダウンロードしたタイトルが見つからない。

- 視聴年齢制限の設定を確認してください(123ページ)。
- 視聴期限が過ぎているため、自動削除された可能性があります。本機からのメールを確認してください(115ページ)。

ホームメニューで、突然画面の右下に情報が表示される。

- 本機をネットワークに接続している場合、ホームメニューに追加情報が表示されることがあります(14ページ)。

表示

本機前面の ランプがオレンジ色に点滅している。

- 本機が自動的にソフトウェアの書き換えをしています。異常ではありません。ソフトウェアの書き換えは40分前後かかります。書き換え中は本機を操作できないことがあります(143ページ)。
- 次のことを確認してください。
  - ハードディスクやBDの残量を確認してください。ハードディスクやBDの残量が足りない場合、不要なタイトルを削除し、残量を増やしてください(37、59ページ)。
  - 録画できるBDが本機に入っているか確認してください(151ページ)。
  - BDがプロテクト(保護)されていないか確認してください(60ページ)。
  - ダウンロード予定のタイトル数を確認してください。タイトル数が50個を超えている場合は、いくつかダウンロードが完了してから再度行ってください(46ページ)。

録画モードが正しく表示されない。

- 10分未満の録画／ダビングをしたときや、10分以上でも静止画などの動きの少ない映像では、録画モードを正しく表示できないことがあります。設定した録画モードで録画やダビングはされますが、表示が変わることがあります。

本機前面の ランプが緑色に点滅する。

- 衛星アンテナがショートしています(143ページ)。
  (1) [BS/CSデジタルアンテナ電源]を[切]に設定してください。
  この設定でBSデジタルまたは110度CSデジタルが受信できるときは、この設定でお使いください。受信できない場合は、再度[BS/CSデジタルアンテナ電源]を[自動]に設定してください。
  (2) 再度ランプが点滅するときには、本機を電源「切」の状態にして、衛星用同軸ケーブルの芯線がBS/110度CS IF入力端子やまわりの金属部分に触れていないかを確認してください。
  (3) リモコンまたは本体の《電源》ボタンを押して電源を入れてください。
  (4) 再度(1)の手順を行い、それでもランプが点滅するときには、本機を電源「切」の状態にして、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

本機前面の ランプまたは ランプが赤色に点滅する。

- 本機に何らかの異常が起きています。点滅しているランプの位置と点滅回数をご確認のうえ、ソニーの相談窓口にお問い合わせください(143ページ)。

《画面表示》ボタンを押しても番組情報を出し続けておくことができない。

- 《画面表示》ボタンを押してから、しばらくすると表示が消える仕様となっています。

エラーメッセージ『B-CASカードを入れてください。』が表示されている。

- B-CASカードが挿入されていません。B-CASカードを正しく入れてください(らくらくスタートガイドをご覧ください)。

エラーメッセージ『B-CASカードとのアクセスが成立しません。カードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターへお問い合わせください。』が表示されている。

- B-CASカード以外は使えません。付属のB-CASカードをお使いください。
- B-CASカードの入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう一度しっかり入れ直してください。
- B-CASカードが破損している場合や、入れ直してもメッセージが表示されるときは、B-CASカスタマーセンター(電話番号0570-000-250)へお問い合わせください。

エラーメッセージ『このB-CASカードは使用できません。』が表示されている。

- 付属のB-CASカードを入れてください。

エラーメッセージ『B-CASカードを交換してください。』が表示されている。

- 正しくないカードが挿入されている可能性があります。付属のB-CASカードを入れてください。

エラーメッセージ『受信できません。アンテナケーブルの接続を確認してください。大雨･大雪やアンテナの調整ズレなどの場合もあります。』が表示されている。

- 悪天候による受信障害やアンテナの設定、調整が正しくできていない場合があります。また放送されていないチャンネルを選局している場合もあります。

エラーメッセージ『受信できません。アンテナケーブルの接続を確認してください。アンテナの調整ズレなどの場合もあります。』が表示されている。

- [地上デジタル自動チャンネル設定]で[初期スキャン]または[再スキャン]をすると、改善する場合があります(117ページ)。

エラーメッセージ『このチャンネルは現在休止中です。』が表示されている。

- 放送を休止しているチャンネルを選局しています。別のチャンネルを選局してください。

エラーメッセージ『該当するチャンネルはありません。』が表示されている。

- チャンネルが割り当てられていない数字ボタンを押しています。
- 《ホーム》ボタンを押して、次のように選びます(117、118ページ)。
  地上デジタル:
  [設定]>[放送受信設定]>[地上デジタルチャンネル登録]>[プリセット選局]
  BSデジタル:
  [設定]>[放送受信設定]>[BSデジタルチャンネル登録]>[プリセット選局]
  110度CSデジタル:
  [設定]>[放送受信設定]>[CSデジタルチャンネル登録]>[プリセット選局]

エラーメッセージ『このUSB機器は操作できません。』が表示されている。

- つないだUSB機器によっては設定が必要な場合がありますので、USB機器側の設定を行ってください。

エラーメッセージ『この信号には対応していません。入力する信号を変更してください。』もしくは、『この信号は推奨していません。入力する信号を変更してください。』が表示されている。

- パソコンまたはHDMIの入力信号が未対応の信号です。
  PC入力対応信号表
- VGA
  - 水平解像度[pixel]/垂直解像度[line]:640/480
  - 水平周波数[kHz]/垂直周波数[Hz]:31.5/60
- SVGA
  - 水平解像度[pixel]/垂直解像度[line]:800/600
  - 水平周波数[kHz]/垂直周波数[Hz]:37.9/60
- XGA
  - 水平解像度[pixel]/垂直解像度[line]:1024/768
  - 水平周波数[kHz]/垂直周波数[Hz]:48.4/60
- WXGA
  - 水平解像度[pixel]/垂直解像度[line]:1280/768、1280/768、1360/768
  - 水平周波数[kHz]/垂直周波数[Hz]:47.4/60、47.8/60、47.7/60
- SXGA
  - 水平解像度[pixel]/垂直解像度[line]:1280/1024
  - 水平周波数[kHz]/垂直周波数[Hz]:64.0/60
- HDTV
  - 水平解像度[pixel]/垂直解像度[line]:1920/1080
  - 水平周波数[kHz]/垂直周波数[Hz]:67.5/60

ご注意

- Sync on Green/Composite Sync/Interlace信号には対応していません。
- PC入力対応信号表以外の信号を入力した場合、正しく表示されなかったり、各種設定ができなかったりすることがあります。
- 本機は垂直周波数が60Hzの入力信号を推奨しています。
- 接続状況によっては、映像がにじんだりぼやけたりして、正しく表示されないことがあります。その場合、パソコンの設定を変更してPC入力対応信号表にある他の入力信号を選んでください。
- ご使用のパソコンによっては、1920 pixel×1080 line/60Hz出力が選べないものがあります。また、1920 pixel×1080 line/60Hz出力が選べる場合でも、本機で動作確認されている1920 pixel×1080 line/60Hzとは異なる信号が出力されるものがあります。これらの場合、パソコンの設定を変更してPC入力対応信号表にある他の入力信号を選んでください。

リモコン

リモコンが働かない。

- 乾電池を交換してください（らくらくスタートガイドをご覧ください。）。
- リモコンを本体に向けたり、本体に近づけたりして操作してください。

リモコンの数字ボタンでチャンネルを選ぶことができない。

- 外部録画入力以外の入力端子の映像を見ているときは、テレビのチャンネルを選ぶことはできません。［リモコン操作ボタン設定］で［標準］か［ホームボタン追加］を設定し、《地デジ》／《BS》／《CS》ボタンのどれかを押してテレビ放送に切り換えてから、数字ボタンでチャンネルを選んでください（122ページ）。

本機のリモコンで、つないだ機器を操作できない。

- 本機のリモコンで操作できるのはブラビアリンク対応機器のみです。

テレビのホームメニューを開けない。

- 《リンクメニュー》ボタンから［テレビの操作］を選んでください。
- ［リモコン操作ボタン設定］で［全ボタン無効］か［標準］か［チャンネルボタン追加］を選んでください。

外付けUSBハードディスク

録画、コピー、再生ができない。

- 本機に外付けUSBハードディスクを登録してください。本機に登録すると、他機器で録画、コピー、再生はできません（122ページ）。
- お使いの外付けUSBハードディスクによっては、本機後面のUSB HDD専用端子から電源供給ができないことがあります。お使いの外付けUSBハードディスクの取扱説明書をご覧ください。

その他

電源が「切」のときに本機の動作音がする。

- 電源「切」時に番組表の番組データを取得する際、本機の動作音がすることがあります。
- ［設定］＞［本体設定］＞［高速起動］が［入］に設定されている場合、電源が「切」のときでも本機の動作音がすることがあります（121ページ）。
- 録画中やダビング中、ホームサーバー機能、LAN経由でのCATV録画／「スカパー！ HD録画」、リモート録画予約機能を利用しているときは、電源が「切」でも本機の動作音がすることがあります。
- 本機に挿入したB-CASカードが契約切れや無料視聴期間中、スカパー！ｅ２の無料視聴期間サービスを利用している場合、本機が確認のための通信動作を行うため、本機の動作音がすることがあります。
- ソフトウェアアップデート中は本機が待機状態になるため、本機の動作音がすることがあります（141ページ）。

HDMI機器制御機能が働かない。

- ［設定］＞［HDMI機器制御設定］＞［HDMI機器制御］が［入］になっているか確認してください（122ページ）。
- つないだ機器がHDMI機器制御機能に対応しているか、つないだ機器のHDMI機器制御機能の設定を確認してください（つないだ機器の取扱説明書をご覧ください）。
- 1台のテレビでHDMI機器制御できる録画機器は3台までです。

本機がネットワークにつながらない、とぎれる。

- ネットワークの接続／設定を確認してください（108ページ）。
- 本機と無線LANルーターの設置場所を確認してください（109ページ）。次のような環境では、電波干渉を受けている可能性があります。
  - 本機が他の無線機器や電子レンジ、蛍光灯の近くに設置されている。
  - 本機と無線LANルーターの間に床や壁がある。

ホームサーバー対応の他機器から本機のタイトルを再生できない。または、他機器から本機が見つからない。

- 本機がホームネットワークに接続されているか確認してください。（51ページ）
- 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送の番組をDRモード以外で録画した場合や、LAN経由でCATV録画／「スカパー！ HD録画」した場合は、他機器で再生できないことがあります。お使いの他機器の取扱説明書で再生できるファイル形式を確認してください。対応機器についてはソニー製品情報のホームページ（http://www.sony.jp/event/DLNA/）をご覧ください。

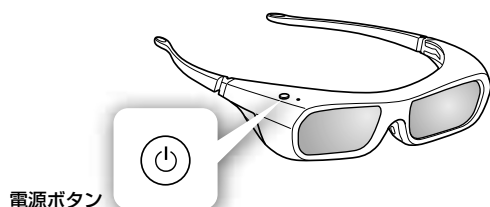
操作を受け付けない。

- 本機右側面の《リセット》ボタンを押してください（145ページ）。
- 電源を切って本体前面の ⏻ ランプが赤く点灯していることを確認してから電源コードを抜いてください。しばらく経ってから再び電源コードをつなぎ、電源を入れてください。

《取出し》ボタンを押してもディスクが取り出せない。

- BDやDVDに録画やダビング、編集をしたとき、ディスクが出てくるのに時間がかかることがあります。これは、本機がBDやDVDにディスク情報を追加しているためです。
- どうしてもディスクが取り出せないときは、電源を切って電源コードを抜きます。本機右側面の《ディスク取出し》ボタンを押しながら電源コードをつなぎ直し、ディスクが出たら《ディスク取出し》ボタンをはなしてください。ディスクを取り出した後、本機右側面の《リセット》ボタンを押してください（145ページ）。

3Dの映像にならない。3Dの映像に見えない。

- 3Dシンクロトランスミッターと3Dメガネの間に障害物がないか確認してください。
- リモコンの《3D》ボタンを押してください。
- 3Dメガネの電源が入っているか確認してください。3Dメガネの電源ボタンの位置は、3Dメガネに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 3Dメガネの電池を交換してください。
- 充電式の電池の場合は充電してください。
- 同じような映像が左右に並んで表示されるときは、《3D》ボタンを押して[3Dメニュー]を表示し、さらに[左右分割方式]が表示されるまで《3D》ボタンをくり返し押してください。同じような映像が上下に並んで表示されるときは、《3D》ボタンを押して[3Dメニュー]を表示し、さらに[上下分割方式]が表示されるまで《3D》ボタンをくり返し押してください。
- 3D映像の見えかたには個人差があります。
- 使用環境の温度が低いときは、3D効果が出にくいことがあります。
- [3Dメニュー]が表示されるのに映像が3Dにならない場合は、3Dコンテンツの入っている接続機器の電源を切り、再度、接続機器の電源を入れ直してください（23ページ）。
- 横になったり顔を傾けたりすると、3D効果を感じにくくなったり映像の色が変わったりすることがあります。
- 3Dシンクロトランスミッターの近くに光や熱を発するもの、赤外線機器がないか確認してください。

3D視聴中、画面の両端に黒が表示される。

- シミュレーテッド3D使用時、または[3D奥行き調整]で奥行きを調整したときは、本機内部で信号の処理を行うため画面両端に黒が表示されます。

3D信号が入力されると、勝手に3Dになる。

- [自動3D表示]を[切]に設定してください。《ホーム》ボタンを押して、次のように選びます。
  [設定]＞[映像設定]＞[自動3D表示]＞[切]

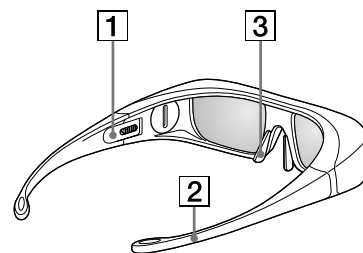
3D信号が入力されると、「3D信号に切り換わりました」と表示される。

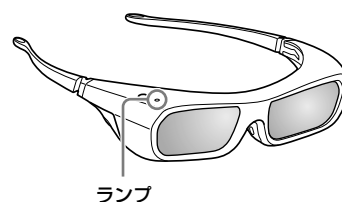
- [3D信号入力通知]を[切]に設定してください。《ホーム》ボタンを押して、次のように選びます。
  [設定]＞[本体設定]＞[3D信号入力通知]＞[切]

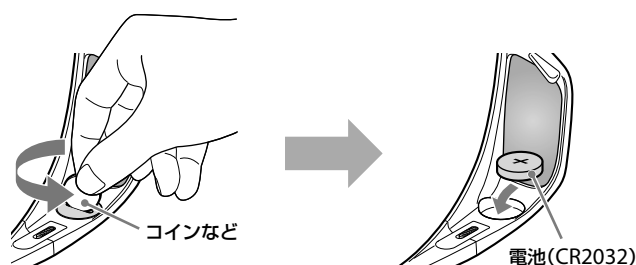
3Dメガネ（別売り、TDG-BR250）の電池が充電できない。

- 本機の電源が入っているか確認してください。電源スタンバイ時は充電できません。
- 3Dメガネの電源が切れているか確認してください。電源が入っていると充電できません。
- USBケーブルがしっかり差し込まれているか確認してください。

3Dメガネ（別売り、TDG-BR100など）をうまく装着できない。

- つるの内側にあるスライドスイッチで幅を調整してください（1）。
- つるを曲げて頭に合わせてください（2）。
- ノーズパッドを鼻の位置に合わせてください（3）。

3Dメガネのランプが点滅する。（図はTDG-BR250）

- 3秒または2秒おきに点滅する：電源が入っている状態です。
- 3回点滅する：電源が切れたことを示します。電源スイッチを2秒間押すか、3D信号が5分以上検出されないと電源が切れます。
- 3秒ごとに3回点滅する：電池残量が少なくなっています。電池を充電するか、交換してください。

3Dメガネの電源スイッチを押しても電源が入らない。（別売り、TDG-BR100など）

次の説明と図をご覧になって、電池を交換してください（TDG-BR100/BR50のみ交換できます。説明と図はTDG-BR100）。
（1）コインなどで電池カバーをはずす。
（2）電池の端を押して取り出す。
（3）＋面を上にして電池（CR2032）を入れる。
（4）電池カバーを取り付け、コインなどで閉める。
（5）電池カバーがしっかり閉まっているか確認する。

ご注意

- 電池カバーを開け閉めするときは、コインなどを電池カバーの溝にしっかり入れてください。

3. それでも困ったときは

サポートホームページで調べる

＜ブラビア＞サポートお問い合わせ

パソコンなどでインターネットに接続できるときは、
＜ブラビア＞サポート･お問い合わせ

http://www.sony.jp/support/tv/

をご覧ください。

「＜ブラビア＞サポート･お問い合わせ」では、＜ブラビア＞に関するトラブル解決方法や活用方法、＜ブラビア＞を安心してご使用いただくための最新情報などをご提供しています。定期的にご覧ください。

電話で問い合わせる

電話でお問い合わせの前に

ソニーの相談窓口へご相談になるときは、以下の内容をご用意ください。

- 型名：
- ディスクの種類：
- 接続しているアンテナ：
- つないでいるアンプのメーカーと型名：
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル …………0120-333-020	フリーダイヤル …………0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話 …………0466-31-2511	携帯電話･PHS･一部のIP電話 …………0466-31-2531 ※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「200」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

放送･サービスに関するお問い合わせ

有料BS/110度CSデジタル放送局

	問い合わせ先
WOWOW	電話番号：0120-580807 受付時間：9:00 ～ 20:00（年中無休） ホームページ：http://www.wowow.co.jp/
スター･チャンネル	電話番号：0570-013-111または 045-339-0399 受付時間：10:00 ～ 18:00（年中無休） ホームページ：http://www.star-ch.jp/

110度CSデジタル衛星サービス会社

	問い合わせ先
スカパー！ｅ２ （CS1･CS2）	電話番号：0570-08-1212 045-276-7777（PHS、IP電話） 受付時間：10:00 ～ 20:00（年中無休） ホームページ：http://www.e2sptv.jp/

受信地域（エリア）や受信方法などのデジタル放送全般について

	問い合わせ先
（社）デジタル放送推進協会（Dpa）	ホームページ：http://www.dpa.or.jp/

地上デジタル放送の受信相談について

	問い合わせ先
総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター	電話番号：0570-07-0101 受付時間：平日9:00 ～ 21:00 土･日･祝日9:00 ～ 18:00

B-CASカードについて

	問い合わせ先
B-CASカスタマーセンター	電話番号：0570-000-250 受付時間：10:00 ～ 20:00（年中無休）

アクトビラについて

	問い合わせ先
アクトビラ･カスタマーセンター	電話番号：0570-091017 受付時間：平日10:00 ～ 18:00 メールアドレス：info@desk.actvila.jp ホームページ：http://actvila.jp/（パソコン、携帯電話）

TSUTAYA TVについて

	問い合わせ先
TSUTAYA TVカスタマーサービス	電話番号:0570-002822 044-862-1902(PHS、IP電話) 受付時間:10:00 ～ 19:00 ホームページ:http://tsutaya-tv.jp/

携帯電話でのリモート録画予約について

	問い合わせ先
NTTドコモ携帯電話むけGガイド番組表リモコン事務局	メールアドレス:help@ggmobile.jp
au携帯電話むけGガイド番組表事務局	メールアドレス:help-au@ggmobile.jp
ソフトバンク携帯電話むけGガイドモバイル事務局	メールアドレス: help_ggm_sbm@ggmobile.jp

ソフトウェアアップデートについて

本機には、内部ソフトウェアを自動的にアップデートして更新する機能が搭載されています。ソフトウェアはデジタル放送電波の中に含まれて送信されます。
お買い上げ時は、本機がアップデートを自動で行う設定になっているため、お客様が操作や設定をすることなく、常に最新版に書き換えられたソフトウェアで、本機をお使いいただけます。

アップデート(ソフトウェア更新)の条件について

次の2つの条件を満たしていれば、アップデートが行われます。
条件1:地上デジタル放送またはBSデジタル放送を安定して受信できている。
条件2:[ソフトウェアアップデート]が[自動](お買い上げ時の設定)になっている(121ページ)。

データのダウンロードの実行について

データのダウンロードは自動で行われます。

アップデートの実行について

本機がソフトウェア更新用のデータを正常に取得すると、電源が入っていないときソフトウェアの更新を自動的に開始します。電源が入っているときは電源を切った後で開始します。
ソフトウェア更新中は本機前面の ◷◗ ランプが点滅します。完了して ◷◗ ランプの点滅が止まるまで電源コードを抜かないでください。

ちょっと一言

- お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。

アップデートが正常に終了すると

「アップデート終了のお知らせ」のメールが届きます。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、液晶パネルは2年間です。
- 記録内容（コンテンツ）については、保証の対象外です。
- 当社にて記録内容（コンテンツ）の修復、復元、複製などは行いません。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではカラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

各部のなまえ

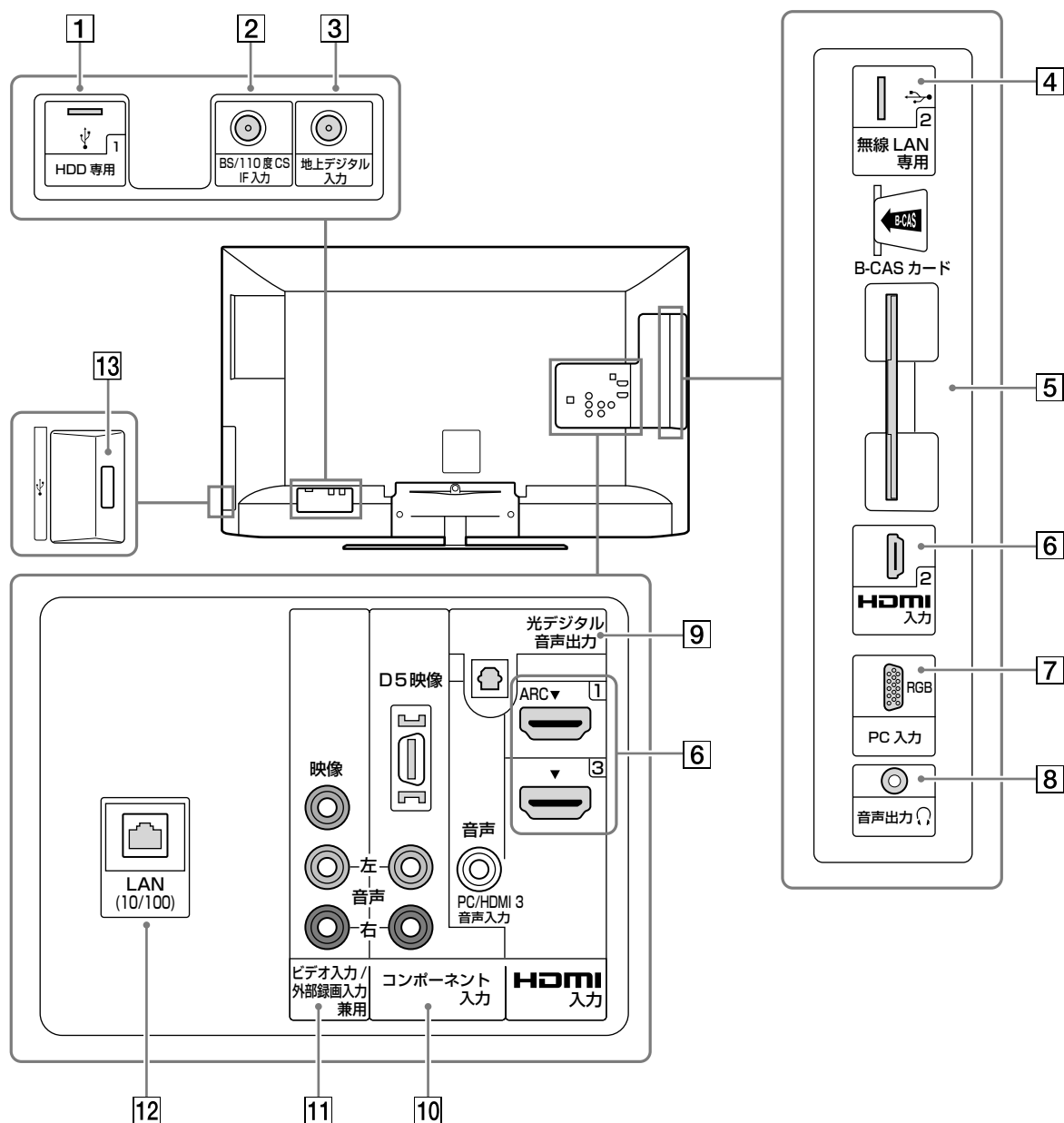
本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。
各部の説明は(　)内のページをご覧ください。

本体前面のランプ

ランプの点灯・点滅について

状態	ランプの状態
自己診断中	赤点滅 または 赤点滅
電源「切」のとき	赤点灯*[1]
電源「入」のとき	緑点灯
衛星アンテナのショート検出時	緑点滅*[2]
録画実行中／ダビング中／ ディスク初期化中／ファイナライズ中／ワンタッチダビング中／インターネットサービスからのダウンロード中	赤点灯
インターネットサービスからのダウンロードエラー／録画予約エラー	オレンジ点滅
ワンタッチおでかけ転送実行準備中／ワンタッチダビング実行準備中	オレンジ点滅
おでかけ、おかえり転送中	オレンジ点灯　赤点灯
USB機器認識中	オレンジ点灯
録画予約／オンタイマー／スリープタイマー	オレンジ点灯
ソフトウェアアップデート中	オレンジ点滅

*[1] 「スタンバイ時ランプ表示」を[消灯]に設定しているときは、スタンバイ時のランプは点灯しません。
*[2] 本機の電源が「入」の場合に数秒間のみ点滅します。

本体端子

1 (USB)HDD専用端子(112ページ)

2 BS/110度CS IF入力端子(103、104ページ)

3 地上デジタル入力端子(103ページ)

4 無線LAN専用端子(109ページ)

5 B-CASカード挿入口

6 HDMI入力端子(105、106ページ)

7 PC入力端子
RGB入力端子(111ページ)

8 ヘッドホン／音声出力端子

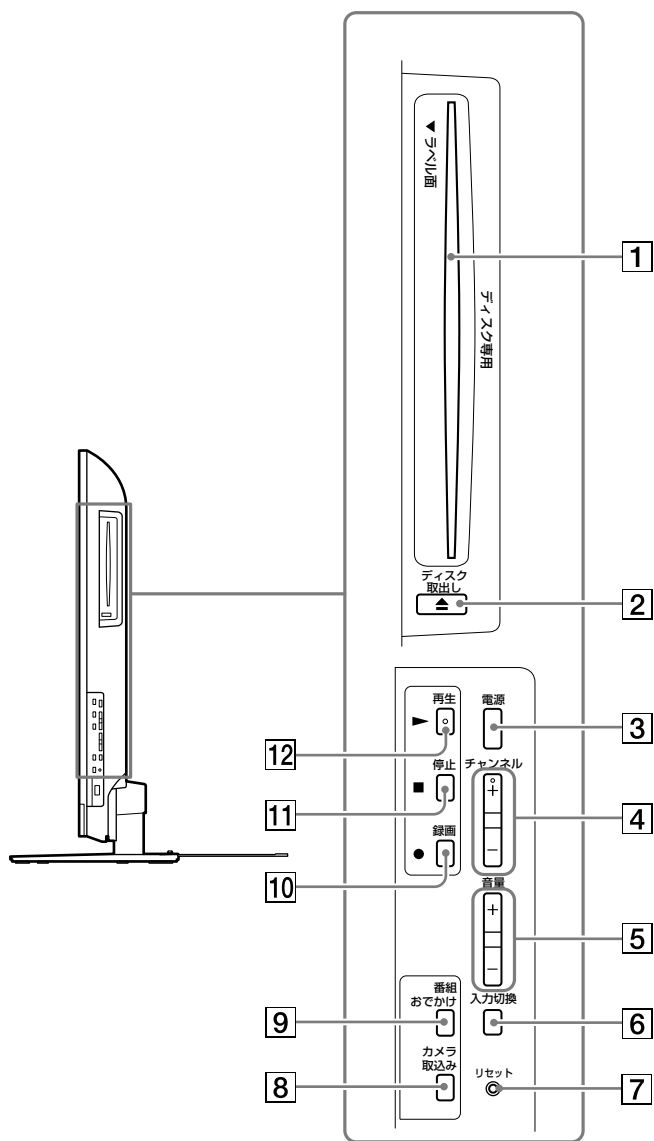
9 光デジタル音声出力端子(106ページ)
PC/HDMI3音声入力端子

10 コンポーネント入力端子(105ページ)
D5映像入力端子
音声入力端子

11 ビデオ入力／外部録画入力兼用端子(映像／音声)(105ページ)

12 LAN(10/100)端子(108ページ)

13 USB端子(82、88ページ)

本体右側面

1 ディスク専用スロット

2 ⏏ディスク取出しボタン

3 電源ボタン

4 チャンネル＋* ／－ボタン

5 音量＋／－ボタン

6 入力切換ボタン

7 リセットボタン(129ページ)

8 カメラ取込みボタン(90ページ)

9 番組おでかけボタン(85ページ)

10 ●録画ボタン

11 ■停止ボタン

12 ►再生ボタン*

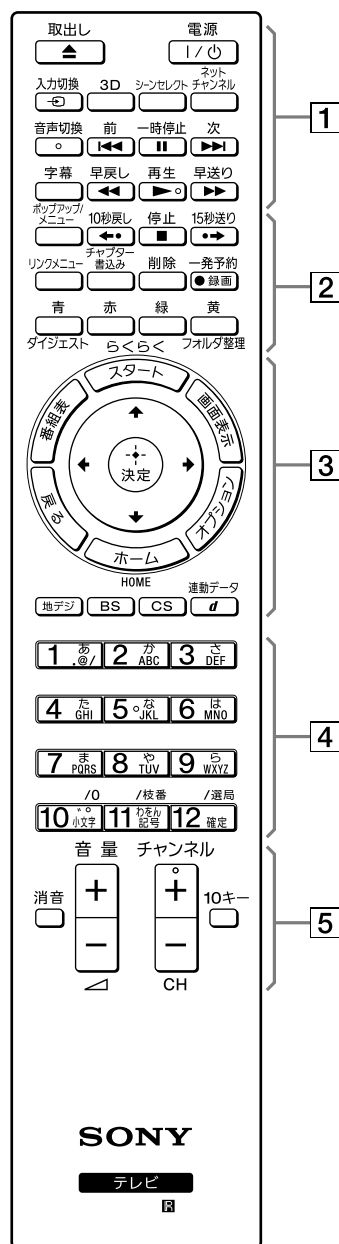
* 凸(突起)が付いています(チャンネル＋／－ボタンは「＋」のみ)。操作の目印としてお使いください。

その他

リモコン

1

取出し

電源
本機の電源を入／切します。

入力切換
本機の入力を切り換えます。

3D(23ページ)
3Dの表示に切り換えます。

シーンセレクト(26ページ)
番組に合った映像･音声に切り換えます。

ネットチャンネル(101ページ)
ネット上のコンテンツを楽しめます。

音声切換*(21ページ)

前(57ページ)

一時停止(57ページ)

次(57ページ)

字幕(21ページ)

早戻し(57ページ)

再生*(48ページ)

早送り

2

ポップアップ／メニュー(57ページ)

10秒戻し(57ページ)

停止
録画、再生などを停止します。

15秒送り(57ページ)

リンクメニュー(126ページ)

チャプター書込み(56ページ)

削除(59ページ)

一発予約／録画(34ページ)

カラーボタン(青／ダイジェスト、赤、緑、黄／フォルダ管理)(15、55、147ページ)

3

番組表(15、34ページ)

らくらくスタート
「らくらくスタートガイド」をご覧ください。

画面表示(55ページ)
しばらくすると、番組情報の表示が消えます。

↑↓←→ ／決定(14ページ)

戻る(14ページ)

ホーム/HOME(14ページ)

オプション(14、26、28、177ページ)

地デジ／BS／CS(20ページ)

***d*連動データ(21ページ)**

4

数字ボタン*(20、77、147ページ)

5

消音
音声を消します。

音量＋／－
音量を調節します。

チャンネル＋*／－(20ページ)

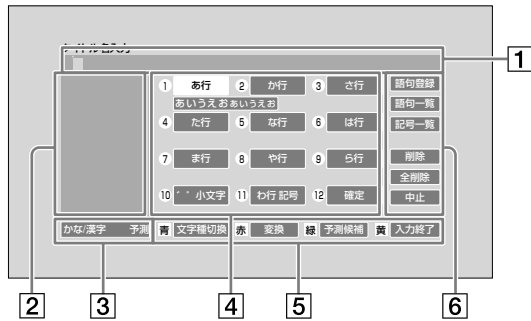
10キー (20ページ)

* 凸(突起)が付いています(数字ボタンは「5」のみ、≪チャンネル＋／－≫ボタンは「＋」のみ)。操作の目印としてお使いください。

ちょっと一言

- 本機の電源が「切」のときに以下のボタンを押すと、本機の電源が入ります。
  《らくらくスタート》ボタン／《取出し》ボタン／《ホーム》ボタン／《番組表》ボタン／ ►《再生》ボタン

文字入力のしかた

文字入力画面は、文字を入力する項目を選ぶと表示されます。文字入力はキーワードで番組を検索したり、録画したタイトルの名前を変えたりするときに使います。

1 入力文字表示エリア
主な入力項目と最大文字数は次のとおりです。

	全角文字数	半角文字数
ハードディスク、BDに録画したタイトル名	40文字	80文字
BDディスク名	69文字	138文字
DVDディスク名	32文字	64文字
キーワード入力	10文字	20文字
タイトルマーク名	20文字	40文字
写真のアルバム名	16文字	32文字
外付けUSBハードディスク名	16文字	32文字

2 候補パネルエリア
予測変換候補などを表示します。

3 入力文字／変換モードエリア
選んでいる入力文字の種類と、候補パネルの表示が予測候補文字か変換文字かを表示します。

4 文字選択／変換／確定ボタンエリア
リモコンの数字ボタン(《1》～《12》)を押して入力する方法と、↑↓←→で入力する方法があります(147ページ)。

5 機能ボタンエリア

項目	できること
文字種切換	《青》ボタンを押して文字の種類を切り換えます。
変換	《赤》ボタンを押して漢字／カタカナに変換したり、英字や数字入力中は全角／半角を切り換えたりします。
予測候補	《緑》ボタンを押して予測変換候補を表示します。英字入力中は大文字／小文字を切り換えます。
入力終了	《黄》ボタンを押して入力した文字を確定し、文字入力画面を終了します。

6 操作ボタンエリア

項目	できること
語句登録	入力文字表示エリアの語句を20件まで登録できます。
語句一覧	登録した語句の一覧を表示できます。登録解除もできます。
記号一覧	記号の一覧を表示できます。
削除	カーソルの後の1文字を削除できます。後に文字がないときは、前の1文字を削除できます。
全削除	入力した文字をすべて削除できます。
中止	文字入力を中止して元の画面に戻ります。入力文字表示エリアの文字は記録されません。

ちょっと一言

- 文字入力画面の[記号一覧]から選べる 🈔(二か国語放送)や 🈑(字幕放送)は、キーワード検索で使えます。
- <ブラビア>ネットチャンネル使用時は、表示される文字入力画面が異なります。

ご注意

- 電源コードを抜き差ししたり、再起動(リセット)したりすると、変換に関する学習データが削除されます。

文字を入力するには

1 文字を入力する。

数字ボタンで入力するには

対応する数字ボタンをくり返し押します。

↑↓←→で入力するには

[あ行]などを選び、《決定》ボタンを押します。

→で[お]など入力したい文字を選び、《決定》ボタンを押します。

2 変換する。

《赤》ボタンを押します。

3 候補パネルエリアから変換候補を選ぶ。

変換候補を選び、《決定》ボタンを押します。

4 入力を終了する。

《黄》ボタンを押します。

その他

文字を挿入するには

入力文字表示エリアにカーソルを動かした後、挿入したい箇所の右側の文字にカーソルを動かします。数字ボタンや↑↓←→を使って文字を入力します。入力時に文字が挿入されます。

主な仕様

主な仕様

システム

形式:テレビ／ BD ／ DVD ／ハードディスクレコーダー
受信チャンネル:地上デジタル·BSデジタル·110度CSデジタル(テレビ·ラジオ·独立データ)の各チャンネル
アンテナ入力:地上デジタル:75Ω F型コネクター
BS/110度CS IF:75Ω F型コネクター
(コンバーター用電源出力DC15V/11V 最大4W、
芯線側+、メニューにて自動／切を切り換え)
タイマー:
時計方式:クォーツクロック
映像記録方式:
MPEG-4 AVC(ハードディスク／ BD)(DRモード以外とスカパー！ HD録画時*[1])／(おでかけ転送)
MPEG-2 (ハードディスク／ BD)(スカパー！ HD録画*[1]以外のDRモード時)／(DVD)
音声記録方式／ビットレート:
Dolby Digital (2ch 256kbps/5.1ch 448kbps)(ハードディスク／ BD ／ DVD)(DRモード以外)
MPEG-4 AAC(おでかけ転送)
MPEG-2 AAC(ハードディスク/BD)(DRモード時)

*[1] LAN経由での録画時。

入力／出力端子

ビデオ入力:
映像:ピンジャック
音声:ピンジャック、2チャンネル
コンポーネント入力:
D5映像:D端子
音声:ピンジャック、2チャンネル
HDMI1 ～ 3入力:
映像(2D): 480i、480p、720/24p/30p、720p、1080i、1080/24p/30p、1080p
映像(3D): フレームパッキング 720/24p/30p、720p、1080i、1080/24p/30p
サイドバイサイド 720p、1080i、1080/24p、1080p
トップアンドボトム 720p、1080i、1080/24p/30p、1080p
音声: 2チャンネル リニアPCM(32/44.1/48 kHz、16/20/24 ビット)、ドルビーデジタル、MPEG AAC(デジタル放送)
アナログ音声:PC音声入力端子(ミニジャック)と兼用(HDMI 3 入力のみ)
Audio Return Channel(ARC)対応(HDMI1入力のみ)
音声出力(ヘッドフォン端子兼用):
ステレオミニジャック
光デジタル音声出力:
角型端子、PCM(32kHz、44.1kHz、48kHz)、ドルビーデジタル、DTS、MPEG-2 AAC(デジタル放送)
USB端子:
Hi-Speed USB(USB 2.0準拠)1系統
(デジタルカメラ、デジタルハイビジョンビデオカメラ、"メモリースティック"USBリーダー／ライター、"ウォークマン"、PSP®、携帯電話、"nav-u"接続用)
USB HDD専用端子:
Hi-Speed USB(USB 2.0準拠)1系統
(外付けUSBハードディスク接続用)
無線LAN専用端子:
Hi-Speed USB(USB 2.0準拠)1系統
(USB無線LANアダプター接続用)
LAN端子:
10BASE-T/100BASE-TX
(ネットワークの使用環境により、通信速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。)
PC入力端子:
RGB映像:Mini D-Sub15ピン
音声:ステレオミニジャック

電源·その他

電源:AC100 V、50/60 Hz
消費電力:
KDL-46HX65R : 175W
KDL-40HX65R : 164W
KDL-32HX65R : 135W
消費電力(待機時):
0.5W(リモコン待機時　ただし、データ取得時を除く)
30W(高速起動[入]時)
年間消費電力量*[2](スタンダード時):
KDL-46HX65R : 145kWh ／年
KDL-40HX65R : 144kWh ／年
KDL-32HX65R : 113kWh ／年

*[2] 省エネ法に基づいて、一般家庭での1日の平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

区分名*[3]:
DG3(FHD、液晶倍速、付加機能3)

*[3] 「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される画素数、表示素子、動画表示及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっています。その区分名称を言います。

最長録画時間:12時間
最大チャプターマーク数:98個
最大録画番組数:
ハードディスク:999、BD-R/RE:200
最大予約数:130件
写真の最大取り込み枚数:10,000枚
アルバムの最大数:200個
アルバム内の最大写真数:500枚
1フォルダから取り込める最大写真数:500枚
一度に取り込める最大写真数:4,000枚
受信機型サイズ*[4]:
KDL-46HX65R : 46V
KDL-40HX65R : 40V
KDL-32HX65R : 32V

*[4] 受信機型サイズ(40Vなど)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

パネル解像度：
1920×1080×3(RGB)（ドット：水平×垂直）
有効画面サイズ（幅・高さ・対角）：
KDL-46HX65R : 101.8 ·57.3·116.8 cm
KDL-40HX65R : 88.6·49.8·101.6 cm
KDL-32HX65R : 69.8·39.3·80.1 cm
視野角（左右／上下）：
178/178度（JEITA規格準拠コントラスト比10:1）
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）（最大突起部分を除く）：
KDL-46HX65R : 107.8 × 66.0 × 7.0 cm、
107.8 × 69.0 × 27.6 cm（スタンド含む）
KDL-40HX65R : 94.3 × 58.6 × 7.0 cm、
94.3 × 61.6 × 25.1 cm（スタンド含む）
KDL-32HX65R : 75.5 × 48.0 × 7.0 cm、
75.5 × 51.0 × 23.1 cm（スタンド含む）
ハードディスク容量：
500ギガバイト
質量：
KDL-46HX65R : 19.0 kg、22.6 kg（スタンド含む）
KDL-40HX65R : 16.2 kg、19.6 kg（スタンド含む）
KDL-32HX65R : 11.3 kg、14.0 kg（スタンド含む）
許容動作温度／許容動作湿度：
5 ℃～ 35 ℃／ 25 %～ 80 %

- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 「JIS C61000-3-2 適合品」です。
  JIS C61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

付属品

- B-CASカード使用許諾契約約款（1部）。
- B-CASカード（1）（B-CASカードは台紙に貼り付けてあります）。
- リモコン（1個）。
- 単4形乾電池（2本）。
- スタンド（1個）*。
- 六角レンチ（1個）。
- スタンド組み立て用ネジ（六角穴付き）*。
  KDL-46HX65R: 4本
  KDL-40HX65R/KDL-32HX65R: 3本
- 本体固定用ネジ（M5×16mm）（3本）。
- 転倒防止用ベルト（1本）。
- 取付用ネジ（+PSW M4×10mm）（1本）。
- 木ネジ（M3.8×20mm）（1本）。
- ワイヤークランパー（1本）（本機背面についています）。
- 取扱説明書（本書）。
- 保証書など。

* スタンドを組み立てる必要があります。詳しくは、別紙のスタンド取付手順書をご覧ください。

PC入力対応信号表

解像度	水平[pixel]／垂直[line]	水平周波数[kHz]／垂直周波数[Hz]
VGA	640/480	31.5/60
SVGA	800/600	37.9/60
XGA	1024/768	48.4/60
WXGA	1280/768	47.4/60
	1280/768	47.8/60
	1360/768	47.7/60
SXGA	1280/1024	64.0/60
HDTV	1920/1080	67.5/60

- Sync on Green/Composite Sync/Interlace信号には対応していません。
- PC入力対応信号表以外の信号を入力した場合、正しく表示されなかったり、各種設定ができなかったりすることがあります。
- 本機は垂直周波数が60Hzの入力信号を推奨しています。
- 接続状況によっては、映像がにじんだりぼやけたりして、正しく表示されないことがあります。その場合、パソコンの設定を変更してPC入力対応信号表にある他の入力信号を選んでください。
- ご使用のパソコンによっては、1920 pixel×1080 line/60Hz出力が選べないものがあります。また、1920 pixel×1080line/60Hz出力が選べる場合でも、本機で動作確認されている1920 pixel×1080 line/60Hzとは異なる信号が出力されるものがあります。これらの場合、パソコンの設定を変更してPC入力対応信号表にある他の入力信号を選んでください。

利用できるディスク一覧

本機で録画／ダビングできるディスク（12cmのみ）

	BD-RE	BD-R	DVD-RW（VR）	DVD-RW（ビデオ）	DVD-R（VR）	DVD-R（ビデオ）
対応バージョン／倍速	Ver.2.1（1層／2層）、Ver.3.0（3層）に対応した2倍速メディアまで	Ver.1.1/1.2/1.3（1層／2層）に対応した6倍速メディア、Ver.2.0（3層／4層）に対応した4倍速メディアまで	Ver.1.1/1.2　CPRMに対応した6倍速メディアまで		Ver.2.0/2.1　CPRMに対応した16倍速メディアまで	
本機で行いたいこと						
デジタル放送番組の録画*1	○	○	×	×	×	×
デジタル放送、ビデオカメラ映像をハイビジョン画質のままダビング	○	○	×	×	×	×
デジタル放送番組などの録画映像を標準画質でダビング	○	○	○（CPRM）	×	○（CPRM）	×
ビデオカメラなどから取り込んだ映像を標準画質でダビング	○	○	○	○	○	○
二か国語放送の両音声を記録	○*2	○*2	×	×	×	×
文字放送の字幕を記録	○*2	○*2	×	×	×	×
文字放送の字幕をダビング*3	○	○	○	○	○	○
1つのタイトルに16:9/4:3の映像を混在して記録	○*2	○*2	×	×	×	×
ディスク上のタイトルを編集	○	○	×	×	×	×
静止画のHDD→ディ スク書き出し	○	○	×	○*4	×	○*5
ディスクの互換性	多くのBD機器で再生可能*6	多くのBD機器で再生可能*6	VRモード対応の機器で再生可能	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）	-R VRモード対応の機器で再生可能（要ファイナライズ）	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）

*1 次の映像・番組は直接録画できません。
– インターネットサービス（アクトビラ、TSUTAYA TV）。
– LAN経由のCATV ／「スカパー！ HD」対応チューナーの番組。
*2 録画モードがDRモードのときのみ。
*3 DRモードで録画した字幕付きデジタル放送の番組を、録画モードがDRモード以外で字幕をダビングするときは、［字幕焼きこみ］の設定が必要です（119ページ）。
*4 書き出しの操作手順にてディスクを初期化する確認画面が表示され、初期化が必要となります。
*5 新品ディスクにのみ書き出しが可能です。
*6 DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rに録画した場合、MPEG-4 AVC方式の映像再生に対応したレコーダーやプレーヤーでのみ再生できます。BD-RE XL（3層）／ BD-R XL（3層／ 4層）は、BD-RE XL（3層）／ BD-R XL（3層／ 4層）に対応したBD機器で再生可能です。

本機への取り込み／再生できる他機器録画ディスク

本機は12cmと8cmの両方のディスクに対応しています。

BD	BD-RE（1層／ 2層／ 3層）／ BD-R（1層／ 2層／ 3層／ 4層）
DVD	DVD-RW（VR ／ビデオ）*1 *2
	DVD-R/DVD-R DL（2層）（VR ／ビデオ）*1 *2
	DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL（2層）*1 *2
	DVD-RAM*3
CD	CD-R/CD-RW（CD-DA）*2 *4

*1 AVCHD方式で録画したディスクも可能。
*2 他機器で記録したディスクは、記録した機器でファイナライズ処理が必要です。
*3 DVD-RAMは、Ver.2.0、Ver.2.1、Ver.2.2に対応。カートリッジ方式（Type1を除く）のDVD-RAMディスクはカートリッジから取り出して使用してください。
*4 CD-R/CD-RWは、静止画とx-Pict Story HDで使う音楽が取り込めます。

再生のみできるディスク

BD	BD-ROM
DVD	DVDビデオ
CD	CD（CD-DA）
	Super Audio CD*

* CDレイヤーのみ。

ご注意

- 表に記載のないディスクは、本機で対応していません。
- 大切な録画やダビングを行う場合には、BD-REなどのくり返し録画できるディスクやハードディスクで必ず事前にためし録りをして、正常に録画・録音されるか確認してください。
- 本機でダビングしたDVD-RW（VRモード）やDVD-R（VRモード）は、DVD-RW（VRモード）やDVD-R（VRモード）対応プレーヤーでのみ再生できます。通常のDVDプレーヤーでは再生できませんのでご注意ください。

- 2層など複数レイヤー（層）のBD/DVDを再生する場合、レイヤー（層）が切り換わるときに映像･音声が一瞬途切れることがあります。
- 他機器で録画したBD-REやBD-Rは、録画や再生、編集ができないことがあります。
- 記録済みのBD-RE/BD-R、DVD+RW/DVD+R、DVD-RW/DVD-R、DVD-RAM、またはCD-RW/CD-Rは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、BD/DVD/CD記録ソフトの特性などにより再生できないことがあります。また、BD-RE/BD-R、DVD-RAM以外で、すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ処理を正しくしていないDVD、CDは再生できません。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をご覧ください。
- 他機器で録画したディスクは、ディスク情報画面で正しく表示されないことがあります。
- 本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。DualDisc及び著作権保護技術を採用する一部の音楽ディスクはCD規格に準拠していないことから、本製品ではご使用いただけない場合があります。
- DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rに録画した場合、MPEG-4 AVC方式の映像再生に対応したレコーダーやプレーヤーでのみ再生できます。
- パソコンで記録したデータのうち、本機で読み込めないデータは、削除されることがあります。

以下のことはできません

- 地域番号（リージョンコード）が「A」を含まないBD-ROMを再生すること。
- 地域番号（リージョンコード）が「2」や「ALL」以外のDVDを再生すること。
- NTSC以外のカラーテレビ方式で記録されたディスクを再生すること。
- AVCREC方式やHD Rec規格で記録されたDVDを再生すること。
- 1枚のDVD-RWやDVD-RにVRモードとビデオモードを同時に設定すること。
  記録フォーマットを変更するときは、もう一度ダビング時に初期化してください（72ページ）。ただし、それまでにダビングした内容は削除されます。またDVD-R（VRモード／ビデオモード）は再度初期化できません。
- DVD-RW/DVD-Rを単独で初期化すること。
  ダビング時にのみ初期化ができます。BD-REは、オプションメニューから単独で初期化ができます。
- デジタルカメラで作成したフォトムービーなどを本機に取り込むこと。
- BDMVのディスクを編集すること。
- 本機で記録していないBDMVのディスクにダビングすること。

録画モードと録画／ダビング可能時間について

表の数値は目安です。記録する内容によって変化することがあります。

本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります（長時間録画のモードでは、特にその差が著しくなります）。残量に余裕がある状態で記録してください。

- DRモードでの録画は、放送により転送レートが異なるため、本機の表示が実際と異なることがあります。本機では、残量表示は24Mbps、録画時の使用容量は、地上デジタル放送は17Mbps、BS/110度CSデジタル（HD）放送は24Mbpsをもとに計算しています。

本機のハードディスク／ BDの録画モードと録画可能時間

録画モード		HDDへの録画可能時間*[1]（目安）	BDへの録画可能時間*[1]（目安）			
			1層（25GB）	2層（50GB）	3層（100GB）	4層（128GB）
DR（デジタル放送画質*[2]）						
	地上デジタル（HD）放送録画時	約58時間	約3時間	約6時間5分	約12時間20分	約15時間45分
	BS/110度CSデジタル（HD）放送録画時	約41時間	約2時間10分	約4時間20分	約8時間45分	約11時間10分
	BS/110度CSデジタル（SD）放送録画時	約90時間	約4時間40分	約9時間30分	約19時間5分	約24時間25分
XR（AVC16M）	（高画質）	約61時間	約3時間10分	約6時間25分	約12時間50分	約16時間25分
XSR（AVC11M）	↑	約88時間	約4時間35分	約9時間10分	約18時間25分	約23時間35分
SR（AVC8M）	（標準）	約117時間	約6時間5分	約12時間15分	約24時間35分	約31時間30分
LSR（AVC4M）		約234時間	約12時間10分	約24時間35分	約49時間15分	約63時間
LR（AVC3M）	↓	約333時間	約17時間20分	約34時間55分	約70時間	約89時間30分
ER（AVC2M）	（長時間録画）	約469時間	約24時間25分	約49時間10分	約98時間35分	約126時間5分

*[1] 次のようなときに録画時間が異なることがあります。
- 受信状態が悪いテレビ放送など画質が悪い番組を録画する場合。
- 編集されたBDに追加して録画する場合。
- 静止画像や音声のみを録画し続けた場合。
- 動きの激しい動画を録画した場合。
- ［高速転送録画］を［入］に設定した場合（119ページ）、HDDの録画時間が短くなります。

*[2] デジタル放送をそのままの画質で録画できます（標準テレビ放送（SD）の番組は、そのままのSD画質で録画されます）。LAN経由のCATV録画でも、放送によって画質は異なります。

本機のハードディスクからBDへの高速ダビング所要時間一覧（60分番組の場合）*

録画モード		2倍速メディア使用時	4倍速メディア使用時	6倍速メディア使用時
DR	地上デジタル（HD）放送	約14分30秒	約7分25秒	約5分5秒
	BS/110度CSデジタル（HD）放送	約20分30秒	約10分30秒	約7分10秒
	BS/110度CSデジタル（SD）放送	約9分25秒	約4分50秒	約3分15秒
XR	（高画質）	約14分10秒	約7分15秒	約5分0秒
XSR	↑	約9分55秒	約5分5秒	約3分30秒
SR	（標準）	約7分25秒	約3分50秒	約2分35秒
LSR		約3分45秒	約1分55秒	約1分20秒
LR	↓	約2分40秒	約1分20秒	約0分55秒
ER	（長時間録画）	約1分55秒	約1分0秒	約0分40秒

* 表中の所要時間は目安です。ディスク管理情報の作成時間も加わります。
ディスクの書き込み位置や特性などの条件により時間が変わります。

本機のハードディスクからDVDへのダビングモードと記録可能時間

ダビングモード		DVDへの記録可能時間*（目安）
XP	（高画質）	約1時間
XSP	↑	約1時間30分
SP	（標準）	約2時間
LSP	↓	約2時間30分
LP	（長時間録画）	約4時間

* 次のようなときに記録時間が異なることがあります（XSP ～ LPのみ対象）。
- 受信状態が悪いテレビ放送など画質が悪い番組をダビングする場合。
- 編集されたDVDに追加してダビングする場合。
- 静止画像や音声のみのタイトルをダビングした場合。

「スカパー！ HD」対応チューナーが受信する番組と本機の録画可能時間

「スカパー！ HD」対応チューナーと本機では、録画時間の残量表示が異なる場合があります。
録画可能時間について詳しくは、下記のホームページをご覧いただくか、下記のご相談窓口までお問い合わせください。
ホームページ：http://sptvhd.jp/rokuga
スカパー！チューナーご相談窓口：0570-080-060

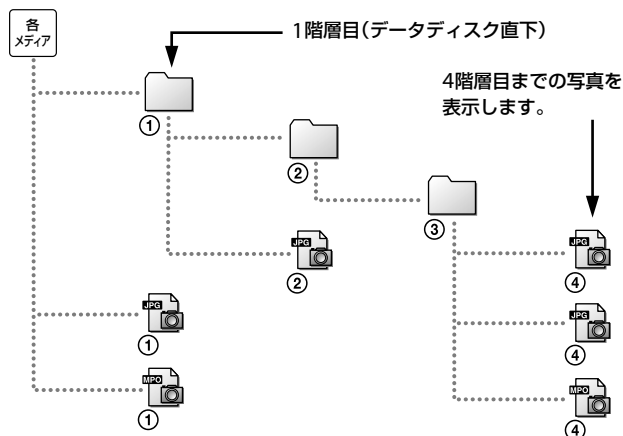
「スカパー！ HD」対応チューナーが受信する番組	本機の録画可能時間
スカパー！ハイビジョンチャンネル	約120時間 （約65 ～ 150時間）*
スカパー！ 3Dチャンネル	約75時間
スカパー！標準画質チャンネル	約205時間 （約130 ～ 395時間）*

* 録画可能時間は録画する番組により異なります。（　）の時間は変動する録画可能時間の目安です。

本機で取り込み／再生できるアルバムや写真について

本機で取り込み／再生できる写真は、圧縮方式がJPEG方式やMPO方式で、ファイル名形式がDCF形式*[1]のものです。

*[1] (社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"のことです。

各メディア直下(ルート)を第1階層とした場合、本機は4階層目までに保存した写真を認識します。

ご注意

- ファイル名、フォルダ名がISO9660のレベル1、レベル2、拡張フォーマット(Joliet)に準拠していない場合、正しく表示されないことがあります。
- 501個以上のファイル*[2]やフォルダを1つの階層で表示できません。500個を超えた場合は、一部表示されません。

*[2] JPEG/MPO以外のファイルも含む。

- 次のファイルを再生すること、ハードディスクに取り込むことはできません。画面上の写真の一覧には表示されますが、再生すると が表示され再生できません。
  - 縦や横のいずれかが、16,384ドット以上の写真。
  - 縦や横のいずれかが、15ドット以下の写真。
  - ファイルサイズが64MBを超える写真。
  - 横縦のサイズ比が50：1より横長、または1：50より縦長の写真。
  - プログレッシブJPEG形式の写真。
  - BD-RにUDF2.6以外で記録された写真。
  - BD-REにUDF2.5以外で記録された写真。
- 3D以外のMPOファイルは、代表画像または先頭画像のみ表示されます。
- MPOファイルを表示するには、接続先機器のUSB接続設定を標準(Mass Storageモード)にしてつないでください。

無線LANのセキュリティについて

無線LANによる通信は、電波を利用して行われるため、通信内容を傍受されるおそれがあります。無線通信を保護するために、本機はさまざまなセキュリティ機能に対応しています。接続環境に応じて正しくセキュリティ対策をしてください。

◆セキュリティなし(おすすめしません)

簡単に設定できますが、特別なツールなどを使わずに誰でも無線電波を受信し、ネットワークに侵入できてしまいます。不正アクセスや通信内容を傍受されるおそれがあります。

◆WEP(おすすめしません)

WEPは、通信を暗号化することで、第三者に通信を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりするのを防止します。解読法の知られている古いセキュリティ技術のため、TKIP/AESに対応していない機器をつなぐときのみ、お使いください。本機はOpen認証方式のみ対応しています。

◆WPA-PSK(TKIP)、WPA2-PSK(TKIP)

TKIPはWEPの脆弱性対策を施したセキュリティ技術です。WEPより高度なセキュリティが実現されます。

◆WPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(AES)

AESは、WEPやTKIPとは異なる高度な暗号化方式を使ったセキュリティ技術です。WEPやTKIPより高度なセキュリティが実現されます。

言語コード一覧

詳しくは、119ページをご覧ください。

コード	言語	コード	言語
1027	Afar	1345	Malagasy
1028	Abkhazian	1347	Maori
1032	Afrikaans	1349	Macedonian
1039	Amharic	1350	Malayalam
1044	Arabic	1352	Mongolian
1045	Assamese	1353	Moldavian
1051	Aymara	1356	Marathi
1052	Azerbaijani	1357	Malay
1053	Bashkir	1358	Maltese
1057	Belarusian	1363	Burmese
1059	Bulgarian	1365	Nauru
1060	Bihari	1369	Nepali
1061	Bislama	1376	Dutch
1066	Bengali; Bangla	1379	Norwegian
1067	Tibetan	1393	Occitan
1070	Breton	1403	(Afan)Oromo
1079	Catalan	1408	Oriya
1093	Corsican	1417	Punjabi
1097	Czech	1428	Polish
1103	Welsh	1435	Pashto; Pushto
1105	Danish	1436	Portuguese
1109	German	1463	Quechua
1130	Bhutani	1481	Rhaeto-Romance
1142	Greek	1482	Kirundi
1144	English	1483	Romanian
1145	Esperanto	1489	Russian
1149	Spanish	1491	Kinyarwanda
1150	Estonian	1495	Sanskrit
1151	Basque	1498	Sindhi
1157	Persian	1501	Sangho
1165	Finnish	1503	Singhalese
1166	Fiji	1505	Slovak
1171	Faroese	1506	Slovenian
1174	French	1507	Samoan
1181	Frisian	1508	Shona
1183	Irish	1509	Somali
1186	Scots Gaelic	1511	Albanian
1194	Galician	1512	Serbian
1196	Guarani	1513	Siswati
1203	Gujarati	1514	Sesotho
1209	Hausa	1515	Sundanese
1217	Hindi	1516	Swedish
1226	Croatian	1517	Swahili
1229	Hungarian	1521	Tamil
1233	Armenian	1525	Telugu
1235	Interlingua	1527	Tajik
1239	Interlingue	1528	Thai
1245	Inupiak	1529	Tigrinya
1248	Indonesian	1531	Turkmen
1253	Icelandic	1532	Tagalog
1254	Italian	1534	Setswana
1257	Hebrew	1535	Tonga
1261	Japanese	1538	Turkish
1269	Yiddish	1539	Tsonga
1283	Javanese	1540	Tatar
1287	Georgian	1543	Twi
1297	Kazakh	1557	Ukrainian
1298	Greenlandic	1564	Urdu
1299	Cambodian	1572	Uzbek
1300	Kannada	1581	Vietnamese
1301	Korean	1587	Volapük
1305	Kashmiri	1613	Wolof
1307	Kurdish	1632	Xhosa
1311	Kirghiz	1665	Yoruba
1313	Latin	1684	Chinese
1326	Lingala	1697	Zulu
1327	Laothian	1703	無指定
1332	Lithuanian		
1334	Latvian; Lettish		

言語名表記はISO639：1988（E/F）に準拠

商標について

- “ブラビアリンク”および“BRAVIA Link™”は、ソニー株式会社の商標です。
- “ブラビア プレミアムフォト”は、ソニー株式会社の商標です。
- Blu-ray Disc™、Blu-ray 3D™、BDXL™、BD-LIVE™、及びそれらのロゴはBlu-ray Disc Associationの商標です。
- BONUSVIEW™、ブルーレイ™は、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- DVDビデオ、DVD-RW、DVD-Rのロゴは商標です。
- HDMI®、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー 及び ダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSはDTS, Inc.の登録商標です。そして、DTS-HD Master Audio | EssentialはDTS, Inc.の商標です。
  Manufactured under license under U.S. Patent Nos: 5,956,674; 5,974,380; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS-HD, the Symbol, & DTS-HD and the Symbol together are registered trademarks & DTS-HD Master Audio | Essential is a trademark of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
- “XMB”は、ソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。
- “PSP”および“PlayStation”は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- “AVCHD”はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DLNA and DLNA CERTIFIED are trademarks and/or service marks of Digital Living Network Alliance.
- 『「スカパー！ HD 録画」ロゴ』は、スカパーJSAT株式会社の商標です。
- “Embedded Memory with Playback and Recording Function System”（以下 “EMPR”）は、ソニー株式会社が開発した著作権保護に対応したシステムの規格名です。
- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN” ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- “nav-u”および nav-u はソニー株式会社の商標です。
- 本製品に搭載されているフォントの内、新ゴR、新丸ゴR、新丸ゴBの各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。
- JavaおよびすべてのJava関連のマークは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
  文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は、㈱アクトビラの商標または登録商標です。
- 「TSUTAYA TV」 は、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社の登録商標です。
- DCS－人名辞書データ（著作権者・提供者：日外アソシエーツ株式会社）
- DCS－ニュース・シソーラス 第四版
  - 新聞・放送ニュース検索のための主題14000語：著編者・廣木守雄,服部信司〔編〕／提供：日外アソシエーツ株式会社

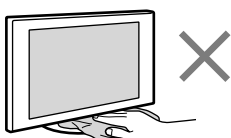
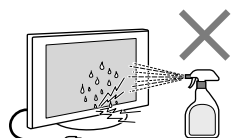
お手入れについてのご注意

誤ったお手入れをした場合、テレビを傷つけたり、故障の原因にもなりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、次のことを必ずお守りください。

液晶画面、外装のお手入れ

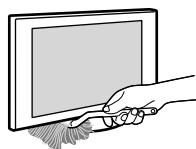
以下のことは行なわない

- 本機に直接水や洗剤を絶対にかけないでください。吹きかけた水や洗剤が画面下部や外装部にたれて本機の内部に入り込み、故障する場合があります。
- 殺虫剤やシンナーやベンジンのような揮発性のもの、クレンザーのような研磨剤は使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- テレビとスタンド（テーブルトップスタンド）部の間に手を入れて掃除しないでください。狭いので、手を挟むこともあります。

- 画面の汚れをふき取るときは、画面に圧力をかけないでください。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 市販の液晶パネル用保護フィルターなどは使わないでください。

お手入れの方法

- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤などに布を浸して固く絞ってふき取り、最後に乾いた布で軽くふいてください。

- テレビとスタンド（テーブルトップスタンド）部の間は柄つきのモップなどを使用してください。
- 軽い汚れをふき取るときは、めがね拭きなどの乾いた柔らかい布でそっとふき取ってください。

- 市販の化学ぞうきんやクリーニングクロスなどは、販売元に確認してから使用してください。
- 印刷面は乾いた柔らかい布で丁寧にふいてください。

別売りアクセサリーを取り付ける

無線LANを使用するかたへ

本機は下記の無線LANが使えます。接続と設定については「無線でつなぐ（USB無線LANアダプターでの接続）」（109ページ）をご覧ください。

- UWA-BR100

フロアスタンドを使用するかたへ（KDL-46HX65R、KDL-40HX65Rのみ）

本機は下記のフロアスタンドが使えます。取り付けかたは、フロアスタンドの取扱説明書をご覧ください。

- SU-FL71L
- SU-FL75

壁掛けユニットを使用するかたへ

本機は下記の壁掛けユニットを使用して、壁に取り付けることができます。必ず壁掛けユニットの取扱説明書をご覧になり、確実に行ってください。

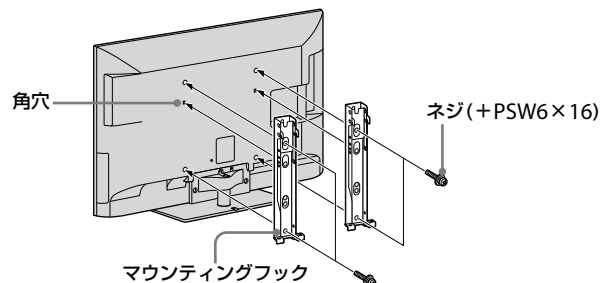
- SU-WL500

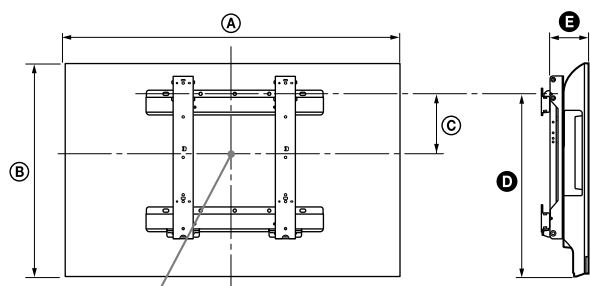
壁に取り付ける場合は、必ず指定の壁掛けユニットを使用し、専門業者に取り付けを依頼してください。また、取り付け時には設置関係者以外近づかないでください。
専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、テレビが落下したりして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

下記もご覧ください。

- 壁掛けユニットの取扱説明書
- 「スタンドの付けかた」（16ページ）
- 「スタンドのはずしかた」（17ページ）

テレビ本体を付属のスタンドの上に設置し、マウンティングフックを取り付けてください。

SU-WL500

テレビ取り付け寸法表

SU-WL500

テレビを取り付けたときの画面の中心位置

単位：mm

テレビ型名	テレビ寸法		画面中心寸法	取り付け角度0°による長さ	
	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ
KDL-46HX65R	1,078	660	161	506	130
KDL-40HX65R	943	586	199	506	130
KDL-32HX65R	755	480	151	406	130

ご注意

- 取り付け寸法は取り付け状態により若干異なることがあります。
- 取り付け角度は0°にして、テレビを傾けないでください。

⚠警告

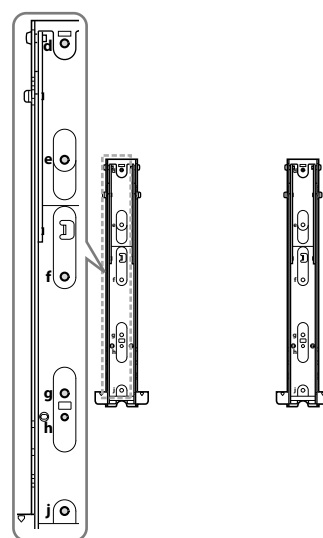
- 取り付ける壁にはテレビ質量の4倍に耐えられる強度を要します。テレビの質量は「主な仕様」の「質量」（150ページ）をご覧ください。

ネジ・フック位置一覧表

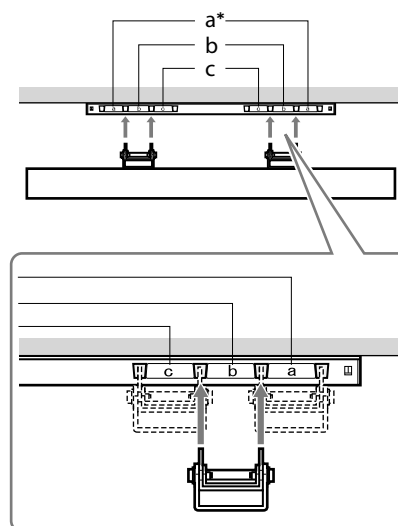
テレビ型名	ネジ位置	フック位置
KDL-46HX65R	e、j	b
KDL-40HX65R	e、j	b
KDL-32HX65R	e、g	c

ネジ位置

マウンティングフックをテレビに取り付ける場合

SU-WL500

フック位置

テレビをベースブラケットに取り付ける場合

SU-WL500

* SU-WL500の取り付け時、上記のテレビ型名表に記載されている機種では、aのフック位置は使用しません。

その他

ソフトウェア等に関する重要なお知らせ

この度は弊社製品(以下「本製品」)をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれるソフトウェア等に関するこのお知らせをお読みください。
お客様による本製品の使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。

ソフトウェア使用許諾契約書

本製品に含まれるソフトウェア(以下「許諾ソフトウェア」とします)につきまして、下記のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。
なお、本製品にはGNU General Public LicenseまたはGNU Lesser General Public Licenseの適用を受けるソフトウェアが含まれていますが、かかるソフトウェアは「許諾ソフトウェア」には含まれず、下記ソフトウェア使用許諾契約書の対象とはなりませんのでご注意ください。GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアの使用許諾条件については、「GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ」をご覧ください。
また、同様に、本製品には「OpenSSL(「Original SSLeay」ライブラリを含む)」および「NetBSD」、「JPEG」、「fdlibm」、「Root Certificate」が含まれていますが、下記ソフトウェア使用許諾契約書と、各ソフトウェアに関する「お知らせ」に記載されておりますソフトウェアの使用許諾条件に矛盾又は齟齬がある場合には、各「お知らせ」にかかるソフトウェアの範囲において、各「お知らせ」に記載されております使用許諾条件が優先いたします。

本製品は、弊社以外のコンテンツプロバイダー(以下「第三者プロバイダー」とします)により提供される一定のコンテンツサービスへのアクセスを可能にするBRAVIA® Internet Video機能を搭載しています。また、BRAVIA® Internet Video機能は、弊社が提供する一定のコンテンツサービス(以下「弊社コンテンツサービス」とします)にアクセスする機能を有しています。かかる弊社コンテンツサービスとそのサービスを通じて提供されるコンテンツ(以下「弊社コンテンツ」とします)は、いずれも許諾ソフトウェアの一部とみなし、本契約の適用を受けるものとします。なお、BRAVIA® Internet Video機能を利用するためには、インターネットへの接続環境が必要です。また、BRAVIA® Internet Video機能を通じてのコンテンツサービスへのアクセスやそのサービスの質は、使用者が利用しているインターネットサービスプロバイダーから提供される接続環境(接続速度を含みます)に依存します。さらに、画質および利用できる画像のサイズ等も、使用者のインターネット接続環境および第三者プロバイダーによるコンテンツサービスの配信環境により変わります。第三者プロバイダーにより提供される音声、画像、文書、動画、メッセージ、タグその他のデータを含むコンテンツ(以下「コンテンツ」とします)および第三者が提供するコンテンツサービス(以下「コンテンツサービス」とします)は、当該第三者プロバイダーの判断により提供されるものです。また、これらのコンテンツおよびコンテンツサービスについては、第三者プロバイダーが使用者に提示する条件に基づいて提供されます。なお、高品質なコンテンツについては、追加の費用や使用者の登録が必要になるケースもありますので予めご了承ください。これらのコンテンツサービスおよびコンテンツは、使用者の個人的な目的において私的利用の範囲内でのみ利用されるものであり、レンタル、入場料・視聴料を伴う場所における上映その他公共の場所での放映を目的に使用されることは禁止されています。コンテンツサービスの内容は適宜変更される可能性があり、また、コンテンツサービスそのものが終了される可能性もありますので予めご了承ください。

許諾ソフトウェアおよびコンテンツサービスを通じて、弊社および第三者プロバイダーを含む第三者が本製品もしくは許諾ソフトウェアに付随して動作するその他の機器から情報を収集し、または、本製品もしくはこれらの機器の動作を制御もしくは監視することがありますので、その旨ご了承ください。また、弊社のプライバシーポリシー(http://www.sony.co.jp/privacy/)およびコンテンツサービスに関する第三者のプライバシーポリシーも合わせてご確認の上、ご了承ください。使用者による本製品の使用開始をもって、本契約と弊社のプライバシーポリシーにご同意いただけたものとさせていただきます。なお、本契約および弊社のプライバシーポリシーの条件は弊社の判断により適宜変更されることがあります。万一、本契約および弊社のプライバシーポリシーの条件にご同意いただけない場合、許諾ソフトウェアの使用およびコンテンツサービスにアクセスすることはできません。その場合には、直ちに、許諾ソフトウェアおよび本製品の返品および代金の返金の手続について弊社にご連絡ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様(以下「使用者」とします)と弊社(以下「ソニー」とします)との間での許諾ソフトウェアの使用許諾に関する条件を規定しております。

第1条(総則)
許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権法並びに著作者の権利およびこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法律によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従いソニーから使用者に対しての使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権は使用者に移転いたしません。

第2条(使用権)
1. ソニーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的な使用権を使用者に許諾します。
2. 本契約によって生ずる許諾ソフトウェアの使用権とは、本製品上においてのみ、使用者が許諾ソフトウェアを使用する権利をいいます。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアを営利目的を含むいかなる目的でも貸与または頒布する事はできません。

第3条(許諾条件)
1. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書に記載の使用方法に沿って使用するものとします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等の一部または全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をしてはならないものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を日本国外に輸出、移送をしてはならないものとします。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアに関しリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
5. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部を許諾ソフトウェアから切り離して単独のソフトウェアとして使用してはならないものとします。
6. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を再使用許諾、貸与またはリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
7. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を使用して、ソニーを含む第三者の著作権、特許権その他の知的財産権を侵害するような行為を行ってはならないものとします。
8. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類の著作権もしくは商標にかかる表示等の一部または全部を除去、変更、追加してはならないものとします。
9. 使用者は、本製品と共に許諾ソフトウェアの一切(全ての構成部分、マニュアルなどの関連書類、電子文書および本契約書を含みます)を譲受人に譲渡し、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意することを条件とし、許諾ソフトウェアおよび前条に規定するその使用権を第三者に譲渡することが出来るものとします。なお、許諾ソフトウェアの一切が譲受人に譲渡され、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意した時点をもって、当該譲受人とソニーとの間で本契約の内容を条件とする契約が成立し、かつ、元の使用者とソニーとの間での本契約は解除されるものとします。

第4条(許諾ソフトウェアの権利)
許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ソニーまたはソニーが許諾ソフトウェアの再許諾権を許諾された原権利者(以下原権利者とします)に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条(ソニーおよび原権利者の免責)
ソニーおよび原権利者は、許諾ソフトウェアについて何等の保証を行うものではなく、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。

第6条(第三者に対する責任)
使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争を生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ソニーおよび原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条(自動アップデート)
1. 許諾ソフトウェアにはソニーまたはソニーの指定する第三者のサーバーに本製品を接続した際に許諾ソフトウェアが自動的にアップデートされる機能を有するものがあります。使用者が、この自動アップデートの機能を用いない旨設定した場合、または、アップデートをするか否かを問わせる設定にした場合で且つ使用者がアップデートの実行を拒否した場合、使用者による許諾ソフトウェアの使用に関してソニーは何等の責任を負わないものとします。
2. 使用者は、前項に従い自動アップデートの機能を有効にした場合、(A)許諾ソフトウェアのセキュリティ機能の向上、エラーの修正、アップデート機能の向上等の目的で許諾ソフトウェアが適宜自動的にアップデートされること、および(B)当該許諾ソフトウェアのアップデートに伴い、許諾ソフトウェアの機能が追加、変更または削除されることがあることに同意するものとします。

第8条(秘密保持)
使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報および本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ソニーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第9条(契約の解除)
ソニーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。
(1) 本契約に定める条項に違反したとき
(2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第10条(許諾ソフトウェアの廃棄)
前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類およびその複製物を廃棄するものとします。ソニーが要求した場合、使用者は許諾ソフトウェア、関連書類およびその複製物を廃棄した旨を証明する文書をソニーに差し入れするものとします。

第11条(許諾ソフトウェアの更新)
1. 使用者が、ネットワークからのダウンロード(第7条に定める自動アップデートを含む)あるいはソニーが提供または販売する更新用CDにより許諾ソフトウェアの更新を行う場合、更新後のソフトウェアについても本契約が適用されるものとします。ただし、ソニーより別の契約条件が提示される場合はこの限りではありません。なお、使用者は、更新用CDを許諾ソフトウェアの更新以

外の目的で使用しないものとします。
2. 前項に定める更新を行った結果、本製品に何らかの不都合が生じた場合には、ソニーの相談窓口へお問い合わせください(140ページ)。

第12条(その他)
1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき事項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ソニー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。

ユーザーアカウント

コンテンツサービスおよびコンテンツへのアクセスならびにそれらの閲覧および使用にあたり、第三者プロバイダーその他第三者が使用者に対して、使用者の情報に基づくユーザーアカウント(以下「アカウント」とします)の作成を求める場合があり、また、その情報を正確にかつ完全に適時、更新することを求める場合があります。使用者は、アカウントに関するパスワードの機密性の維持について自ら責任を負うものとします。

使用者が提供した情報の利用

使用者が弊社に対して提供するあらゆる情報(あらゆるコメント、データ、質問、回答、提案その他これに準ずるものを含みますがこれらに限りません。また、提供の方法を問いません。以下「提供情報」とします)は、全て秘密情報や使用者に帰属する情報ではないものとして弊社は取り扱います。よって、弊社による提供情報の利用は、使用者のいかなる権利(著作権、著作者人格権、プライバシー、所有権、公表権その他の権利を含みますがこれらに限りません)に対する弊社による侵害とみなされないものとします。あらゆる提供情報は、弊社により地域の限定なく使用される可能性があります(翻案・放映・修正・複製・開示・第三者への許諾・上演・公表・出版・販売・送信などを含みますがこれらに限りません)。さらに、使用者は、提供情報についてのあらゆる権利および便益を弊社に譲渡し、弊社は使用者に一切の対価を支払うことなく、提供情報および提供情報に含まれるアイデア、ノウハウ、コンセプト、技術その他の知的財産権を自由に使用することができるものとします。なお、これらの権利は、弊社がそれらの提供情報およびそれらに含まれる知的財産権を使用する義務を負うものではありません。

情報の送信

インターネット上の送信に関する機密性および安全性は、完全に保証されたものではありません。使用者が送信するあらゆる情報については、暗号化などの技術を使っている旨の特定の表示がない限り、第三者により読み取られているまたは傍受されている可能性があります。弊社に対する情報の送信は、弊社が使用者に対して特別な責任を負わなければならなくなることを意味するものではありません。

デジタル著作権管理

コンテンツの所有者は、Windows Media デジタル著作権管理技術(以下「WMDRM」とします)を用いて、自らの知的財産権(著作権を含む)を保護しています。本製品は、WMDRMを用いて、WMDRMにより保護されているコンテンツを利用しています。万一、WMDRMがコンテンツの保護に失敗した場合、コンテンツの所有者は、マイクロソフト株式会社(以下「マイクロソフト」とします)に対して、保護されるべきコンテンツがこれ以上再生または複製されないよう、コンテンツサービスにおけるコンテンツの使用を取り消す可能性があります。保護されているコンテンツに対するライセンスをダウンロードした場合、使用者は、かかるライセンスがマイクロソフトにより取り消される可能性があることに同意したものとみなします。また、コンテンツの所有者は、コンテンツを使用するために使用者に対してWMDRMの更新を求める場合があり、かかる更新が行なわれない場合、使用者はかかるコンテンツの使用ができなくなります。なお、もともと保護されていないコンテンツはかかる取消または更新による影響を受けません。

広告・宣伝活動

本製品を通じたコンテンツサービスの提供は、弊社が当該コンテンツサービスを承認または推奨することを意味するものではありません。コンテンツサービスおよびコンテンツは、広告・宣伝物を含むことがありますが、これらの広告・宣伝物は、これらのコンテンツサービスを受けるために必要なものであることをご理解ください。また、BRAVIA® Internet Video機能は、弊社または第三者サービスプロバイダーからの情報提供(コンテンツサービスに関するご連絡、お知らせその他これらに準ずるものを指しますがこれらに限られません。以下「情報提供」とします)を含むものであり、使用者は、これらの情報提供につき選択的に受領または受領拒否することはできません。
弊社および第三者プロバイダーは、使用者に対して、これらの広告・宣伝物、情報提供およびコンテンツが正確であること、適法であること、信頼できるものであることおよび有効なものであることについて、明示・黙示を問わず何らの保証を行わないものとし、また、これらの広告・宣伝物、情報提供およびコンテンツについて、法律で許容される範囲において一切の責任を負わないものとします。

年少者にとって不適切なコンテンツおよび年少者に対する配慮

一定のコンテンツは、年少者またはその他一定の使用者による使用に適さないものを含みます。これらのコンテンツは、年齢指定がされているものもありますが、されていないものもあります。弊社は、内容に拘らずコンテンツについて一切の責任を負いませんので、コンテンツの使用は使用者自らの責任で行ってください。また、年少者による本製品、許諾ソフトウェア、除外ソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツの使用についても、使用者自らの責任で監視、監督を行ってください。もし、使用者が15歳未満であれば、次の行動を行う前に使用者の両親または保護者の承認を得てください。
① コンテンツサービスを通じて弊社に電子メールを送信する行為。
② その他あらゆる情報を提供する行為。
③ 使用者の個人情報の提供を求めるコンテスト、ゲームに参加するまたは懸賞に応募する行為。
④ あらゆる同好会、グループなどに参加する、⑤掲示板などに投稿する、またはチャットルームなどに参加する行為。
⑥ オンライン上で物品・サービスを購入する行為。

無保証

あらゆるコンテンツおよびコンテンツサービスは第三者プロバイダーにより、またはそのソフトウェアを通じて提供されており、弊社がコントロールすることはできません。かかるコンテンツまたはソフトウェアの選定、提供、品質、画像のサイズおよび利用可能性は、全て第三者プロバイダーまたはその他の第三者の責任により決定されています。第三者プロバイダーが提供するコンテンツサービス、コンテンツまたはソフトウェアの使用について第三者プロバイダーが定める条件がある場合、使用者はその条件に従って使用することとします。さらに、コンテンツサービスへのアクセスならびにその閲覧および使用(ならびにコンテンツサービスの使用に伴う広告・宣伝物の表示など)は、インターネット接続環境を必要とし、当該インターネット接続環境のために必要な第三者への支払い(インターネットサービス事業者への支払いを含みますが、これらに限られません)については使用者が自ら責任を負うものとします。BRAVIA® Internet Video機能およびコンテンツサービスの利用は、使用者が用いるインターネットサービスの性能、回線容量その他の技術的な制限により限定されます。弊社および第三者プロバイダーは、法律により許容される範囲において、あらゆる使用者の送受信に関する事項(送受信の非適時性、送受信データの消失、データの送受信エラーまたは送受信データもしくは個人用設定の不保存)についての責任を一切負わないものとする。

許諾ソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツは、現状有姿で何らの保証なく提供されるものとします。弊社、原権利者および第三者プロバイダーは、明示・黙示を問わず、許諾ソフトウェアに関して何らの保証(非侵害、有用性、合目的性などを含みますが、これらに限られません)を行わないものとします。弊社、原権利者および第三者プロバイダーは、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスまたはコンテンツが使用者の要求を満たすこと、または、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスまたはコンテンツが中断なく稼動し、不具合のないものであることを一切保証いたしません。さらに、弊社、原権利者および第三者プロバイダーは、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスまたはコンテンツの正確性、信頼性その他一切の保証を行いません。弊社または弊社の代表者からのあらゆる情報の提供や助言は、新たに弊社による保証を生じせしめるものではなく、本契約上の保証に関する条件を変更するものではありません。万一、ソフトウェア、当該ソフトウェアを含む媒体、書面、コンテンツサービスまたはコンテンツに不具合があることが証明された場合は、法律で許容される範囲において、弊社または弊社の代表者ではなく使用者が当該不具合の解消に要する全ての費用を負担することとします。

責任の限定

弊社、原権利者または第三者プロバイダーは、法律で許容される範囲において、使用者に対して、あらゆる特別損害、間接損害、懲罰的賠償、派生的損害その他これらに準ずるもの(本契約に起因するまたは本契約に関するもの、本製品、コンテンツサービス、コンテンツの使用、不使用、不稼動に伴うまたはそれに起因するもの、逸失利益に関するもの、データ・情報の喪失に関するもの、営業上の利益・損害に関するものなどに関連する一切の補償、返金および損害賠償を含みますが、これらに限られません)について、万一、弊社、原権利者または第三者プロバイダーがそれらの損害等について認識を持っていたとしても、一切責任を負わないものとします。許諾ソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツは使用者の責任において使用されるために提供されます。弊社、原権利者および第三者プロバイダーは、法律で許容される範囲において、許諾ソフトウェア、コンテンツサービス、コンテンツおよび本契約に関するいかなる明示・黙示の保証に関する違反、契約違反、過失による責任、無過失責任その他一切の法的責任を負わないものとします。

媒体に関する責任の限定

許諾ソフトウェアまたはその一部が媒体により提供された場合、弊社は、使用者に対する提供から90日間、当該媒体に材料または製造上の不具合がないことを保証します。かかる保証は、弊社から原始的に本件許諾ソフトウェアの許諾を受けた使用者にのみ適用されます。かかる保証の違反についての弊社の責任および使用者が受けられる対応は、媒体の交換のみに限定されます。上記保証のほか、媒体についての黙示の保証(有用性、非侵害、合目的性を含みますが、これらに限られません)は、提供から90日間に限定されます。

対価

弊社および第三者プロバイダーは、新規または既存のコンテンツまたはコンテンツサービスへのアクセスについて、課金することとなるような変更を加える権利を留保します。さらに、第三者プロバイダーは、当該第三者プロバイダーが保有するコンテンツへのアクセスに課金する可能性があります。ただし、いかなる場合においても、課金されることに対する使用者の同意なく、コンテンツまたはコンテンツサービスへのアクセスに課金されることはありません。なお、使用者がかかる課金についての同意を行なわない場合、使用者は課金対象のコンテンツまたはコンテンツサービスに対するアクセスは認められません。

知的財産および知的財産権侵害に関するクレームの通知
弊社は、第三者の知的財産権を尊重し、使用者に対しても当該知的財産権を尊重することを求めます。弊社の著作権その他の知的財産権を侵害しているまたはそのおそれのあるコンテンツにつき、弊社は、弊社の判断により適宜、許諾ソフトウェアを通じての使用を停止し、当該コンテンツを保有する第三者プロバイダーその他の第三者に対して、当該第三者の定める知的財産権の保護に関する規定に基づく検討および対応がとられるよう当該知的財産権侵害についての通知を行います。許諾ソフトウェアおよびコンテンツは著作権法その他知的財産権に関する法律、条約により保護されています。許諾ソフトウェアおよびコンテンツの使用を認めることは、使用者に対して弊社および第三者プロバイダーからそれらが保有するロゴ、サービスマーク、商標、商号その他それらに準ずるものを許諾することを意味しないものとします。許諾ソフトウェアおよびコンテンツに関する全ての権利および便益ならびにそれらの複製または構成要素は、弊社、原権利者、提供者または第三者プロバイダーに帰属するものとし、本契約にて明示的に許諾されていないあらゆる権利については、これらにより留保されます。

使用者は、使用者の全ての活動（アクセス、閲覧その他本製品またはアカウントを通じて行われるコンテンツサービスの使用を含みますが、これらに限られません）について自ら責任を負います。使用者は、合法的な目的においてのみ、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツを使用することができます。使用者は、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツ（音声、画像、文書、動画、メッセージ、タグその他のデータを含みますがこれらに限られません）およびそれらの複製を商用、営利または公共のために、配布、交換、修正、販売または送信を行うことはできません。本契約に定める条件を遵守する限りにおいて、弊社は、使用者に対して、コンテンツサービスやコンテンツにアクセスするためにBRAVIA® Internet Video機能を使用する非独占的かつ譲渡不能な限定的ライセンスを付与します。また、使用者は、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツの動作を中断、停止させたり、そのような試みをすることはできません。

万一、使用者の作品が著作権侵害を構成するようなかたちで複製されていると思われる場合、または使用者の知的財産権が何らかの形で侵害されていると思われる場合は、まず、第三者プロバイダーに対して対応をご相談ください。万一、使用者が第三者プロバイダーと連絡が取れない場合、もしくは、侵害のおそれがあるコンテンツが弊社のものである場合、ソニーご相談窓口までご連絡ください。

第三者に対する責任
以下のいずれかに関連してまたは起因して、使用者または弊社、弊社役員･従業員その他関係者（以下「補償対象者」とします）と第三者との間で紛争が生じた場合、使用者は、使用者自身の費用でそれらの紛争を解決するものとし、補償対象者に対して一切の迷惑をかけないものとします。
① 使用者による本契約違反または違反のおそれ、
② 使用者から弊社に対して本契約に基づいて提供された情報、
③ 使用者による第三者の権利侵害またはそのおそれ、
④ 使用者による許諾ソフトウェア、コンテンツサービスまたはコンテンツの損傷、毀損。
使用者は、解決のために代理人を選定し、使用者、弊社または補償対象者を代理せしめる場合は、弊社、その他の関連する補償対象者の同意を得るものとします。使用者およびその代理人は、補償対象者と協議の上、当該紛争を解決するものとします。弊社および補償対象者は、上記の補償を受けることを前提に、自らの費用で、当該紛争を解決する権利を留保します。使用者は、弊社および補償対象者の書面による事前の同意なく、弊社および補償対象者の不利益になるような判断、和解その他一切の活動を行うことはできません。

自動アップデート機能ならびに本契約の改定
許諾ソフトウェアは、適宜、例えばバグの修正、機能の改善、セキュリティ機能の許可などを目的に、弊社または第三者によりアップデートまたは修正されます。これらのアップデートまたは修正により、使用者が使用している許諾ソフトウェアの機能が変更されたり、一部が削除されたりする可能性もあります。また、これらのアップデートまたは修正は弊社の判断により行われ、当該アップデートまたは修正の適用を許諾ソフトウェアの継続的な使用の条件にすることもあります。なお、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスまたはコンテンツに適用される本契約の条件についても弊社により一部変更、修正または削除される可能性がありますが、いずれの場合においても事前に使用者に通知されます。当該通知以降の使用者によるコンテンツサービスまたはコンテンツへのアクセスをもって、使用者による当該変更、修正または削除された本契約に同意いただけたものとさせていただきます。**弊社は、一切の通知なくコンテンツサービスの全てまたは一部を一時的にまたは恒久的に変更、中止、削除または停止することがあります。弊社は、法律の許容する範囲内において、かかる変更、中止、削除または停止につき、使用者に対して一切の責任を負いません。また、使用者が本契約の条件に違反した場合、その他の権利を一切放棄することなく、弊社は、コンテンツサービスまたはコンテンツに関する本契約の条項を中止または終了させることができます。**使用者が本契約の条項に違反していると弊社が判断した場合、弊社は、本契約の履行を強制するまたは不履行を是正するためのあらゆる法的または技術的な対策（使用者によるコンテンツサービスへのアクセスの即時停止）をとることができます。

高リスク活動
許諾ソフトウェアは、耐障害性を持ち合わせておらず、また、許諾ソフトウェアの欠陥や誤動作が、身体、生命、個人の財産その他物理的または環境的な損害をもたらすような環境での使用を想定しておらず、そのように設計、製造されていません。弊社、原権利者ならびにそれらの関係者は、特にこれらの環境における許諾ソフトウェアの有効性について明示･黙示を問わず一切保証いたしません。

暗号化技術の輸出に関する規制
許諾ソフトウェアおよびコンテンツは、暗号化技術を含んでいる可能性があります。暗号化技術を含む許諾ソフトウェアおよびコンテンツは、輸出入に関する法令、規制または政府による許可･認可の対象となる可能性があり、使用者は、本製品、許諾ソフトウェアおよびコンテンツに適用のある法令、規制その他の規則及び国際条約を遵守する責任を負います。なお、暗号化技術を含む許諾ソフトウェアおよびコンテンツは、外国政府または政府関係機関による使用を意図していません。

完全合意条項、通知、放棄その他
本契約、本製品に関する限定的な保証、弊社のプライバシーポリシーおよびコンテンツサービスに関して提供された追加の利用条件は、本製品、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツに関する使用者と弊社間の完全なる合意であるものとします。弊社からの本契約に基づくあらゆる通知は、書簡、電子メールまたは弊社のコンテンツサービスを通じて行われます。弊社による本契約上の権利の不行使は、それらの権利を放棄したものとみなされないものとします。万一、本契約の一部が法律により無効となった場合でも、当該条項は本契約の本旨に鑑みて法律により許容される範囲内で強制されるものとし、当該条項以外は有効に存続するものとします。本契約に定めのない事項または本契約の解釈に疑義を生じた場合には、弊社および使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。

第三受益者
原権利者および第三者プロバイダーは、本契約における第三受益者として取り扱われるものとし、本契約のソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツに関する条項は適宜、適切に当該第三者および第三者プロバイダーにより強制されるものとします。

期間
本契約は、次に従い解除されるまで有効なものとします。弊社は、使用者が本契約に違反した場合、使用者に対する通知をもって、直ちに本契約を解除することができるものとします。その場合、使用者は、速やかに許諾ソフトウェアをそれらの複製を含めて廃棄するものとします。また、解除にあたって、使用者は、弊社、原権利者、第三者プロバイダーに対して、許諾ソフトウェア、コンテンツサービスおよびコンテンツの使用ができなくなることを理由に費用の償還などを求めることはできないものとします。

準拠法、裁判管轄
本契約の準拠法は、日本国の法律とします。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。
お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

パッケージリスト

linux-kernel.tar.gz
pump
lrzsz
busybox
gcc
glibc
dosfstools
lzo
mkcramfs
hostname
scfs
libptp
libusb
procps
e2fsprogs
coreutils
NOE_driver
RestrictThread
ltt-control
libjs
directfb
iptables
cairo
glib
pango
exceptionmonitor
linux-kernel
gcc-for-dev
alsa-lib
fuse
glibc-for-dev
libmicrohttpd
pump-autoip
crypto
WebCore
JavaScriptCore
Linux UVC
Video for Linux Two (V4L2)
iconv
xz
iwconfig

これらのソースコードは、Webでご提供しております。ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。
http://www.sony.net/Products/Linux
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。
以下、GNU GENERAL PUBLIC LICENSE の原文を記載します。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The Licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License,

you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and an idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place - Suite 330, Boston, MA 02111-1307, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details
type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright
interest in the program `Gnomovision'
(which makes passes at compilers) written
by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999
Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

    a) The modified work must itself be a software library.
    b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
    c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
    d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

    (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

    These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and assessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

    a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
    b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library

at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and an idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

BSDに関するお知らせ

Copyright (c) 1994-2004 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE..

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
This product includes software developed by John Polstra.
This product includes software developed for the NetBSD Project. See http://www.NetBSD.org/ for information about NetBSD.
This product includes software developed by Winning Strategies, Inc.
This product includes software developed by Michael Graff.
This product includes software developed by Christos Zoulas.
This product includes software developed by Jonathan Stone for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Niels Provos.
This product includes software developed by TooLs GmbH.
This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory.
This product includes software developed by WIDE Project and its contributors.

以上

OpenSSLソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「OpenSSL（「Original SSLeay」と称するライブラリーを含む）」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社は、以下の内容をお客様に通知する義務があります。

下記内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
パッケージ名 sony-target-dev-openssl-0.9.8g-05000405.src.rpm

<OpenSSL>
Copyright (c) 1998-2007 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called

"OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Original SSLeay

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
   The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
   "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

FREETYPE SOFTWARE

Copyright 1996-2002, 2006 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction
============
The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

- We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. (`as is' distribution)
- You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. (`royalty-free' usage)
- You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. (`credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products.
We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:
"""
Portions of this software are copyright c <year> The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
"""

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms
===========
0. Definitions

Throughout this license, the terms `package', `FreeType Project', and `FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the `FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

`You' refers to the licensee, or person using the project, where `using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a `program' or `executable'. This program is referred to as `a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive. If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED `AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

- Redistribution of source code must retain this license file (`FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.
- Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: `FreeType Project', `FreeType Engine', `FreeType library', or `FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

- freetype@nongnu.org
  Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.
- freetype-devel@nongnu.org
  Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at

  http://www.freetype.org

FreeType2に関するお知らせ

This software is based in part of the work of the FreeType Team.

以上

NetBSDソフトウェアに関するお知らせ

BSD License

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

This product includes software developed by Adam Glass.
This product includes software developed by Bill Paul.
This product includes software developed by Charles M. Hannum.
This product includes software developed by Christian E. Hopps.
This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.
This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Christos Zoulas.
This product includes software developed by Gardner Buchanan.
This product includes software developed by Gordon W. Ross
This product includes software developed by Jonathan Stone for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Manuel Bouyer.
This product includes software developed by Rolf Grossmann.
This product includes software developed by TooLs GmbH.
This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Wasabi Systems, Inc.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Matthias Drochner..
This product includes software developed by John Polstra.
This product includes software developed for the NetBSD Project. See http://www.NetBSD.org/ for information about NetBSD.
This product includes software developed by Winning Strategies, Inc.
This product includes software developed by Michael Graff.
This product includes software developed by Niels Provos.
This product includes software developed by WIDE Project and its contributors.

JPEGに関するお知らせ

本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
パッケージファイル名 sony-target-dev-libjpeg-6b-05000401.src.rpm

以上

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:
The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user assume the entire risk as to its quality and accuracy.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:
(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

PuTTYソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、PuTTYソフトウェアの一部のコードが搭載されております。
ソースパッケージ：putty-0.58.tar.gz
ライセンス条文：http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/licence.html

PuTTY is copyright 1997-2006 Simon Tatham.

Portions copyright Robert de Bath, Joris van Rantwijk, Delian Delchev, Andreas Schultz, Jeroen Massar, Wez Furlong, Nicolas Barry, Justin Bradford, Ben Harris, Malcolm Smith, Ahmad Khalifa, Markus Kuhn, and CORE SDI S.A.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SIMON TATHAM BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

fdlibmソフトウェアに関するお知らせ

@(#)fdlibm.h 1.5 95/01/18

Developed at SunSoft, a Sun Microsystems, Inc. business.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted,provided that this notice is preserved.

Root Certificatesに関するお知らせ

In addition, the Runtimes and Runtime Components may contain one or more root certificates (herein referred to as "Root Certificates"). You may not modify the Root Certificates.

Nano-XMLに関するお知らせ

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

MPEG-2 Videoに関するお知らせ

ANY USE OF THIS PRODUCT OTHER THAN CONSUMER PERSONAL USE IN ANY MANNER THAT COMPLIES WITH THE MPEG-2 STANDARD FOR ENCODING VIDEO INFORMATION FOR PACKAGED MEDIA IS EXPRESSLY PROHIBITED WITHOUT A LICENSE UNDER APPLICABLE PATENTS IN THE MPEG-2 PATENT PORTFOLIO, WHICH LICENSE IS AVAILABLE FROM MPEG LA, L.L.C., 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206.

MPEG-4 AVCおよびVC-1に関するお知らせ

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE AND THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO

(i)ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD

("AVC VIDEO")
AND/OR
(ii)DECODE AVC VIDEO AND VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD THAT WERE ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND

NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://MPEGLA.COM <HTTP://MPEGLA.COM>

SEEに関するお知らせ

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Mr Leonard nor the names of the contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY DAVID LEONARD AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL DAVID LEONARD OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The author of this software is David M. Gay.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR LUCENT MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

Anti-Grain Geometryに関するお知らせ

The Anti-Grain Geometry Project
A high quality rendering engine for C++
http://antigrain.com

Anti-Grain Geometry - Version 2.3

Permission to copy, use, modify, sell and distribute this software is granted provided this copyright notice appears in all copies.

This software is provided "as is" without express or implied warranty, and with no claim as to its suitability for any purpose.

libpixmanに関するお知らせ

libpixregion

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation.

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE OPEN GROUP BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of The Open Group shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from The Open Group.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Digital not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

DIGITAL DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL DIGITAL BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

----

libic

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Keith Packard not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Keith Packard makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

KEITH PACKARD DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL KEITH PACKARD BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

----

slim

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Richard Henderson not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Richard Henderson makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

RICHARD HENDERSON DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL RICHARD HENDERSON BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

expatに関するお知らせ

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

CURLに関するお知らせ

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

lighttpdに関するお知らせ

lighttpd

Copyright (c) 2004, Jan Kneschke, incremental
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the 'incremental' nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

pcreに関するお知らせ

pcre

THE "BSD" LICENCE

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of the University of Cambridge nor the name of Google Inc. nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

モリサワフォントに関するお知らせ

本製品に搭載されているフォントの内、新ゴR、新丸ゴR、新丸ゴBの各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。

以上

giflibに関するお知らせ

The GIFLIB distribution is Copyright (c) 1997 Eric S. Raymond

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

以上

802.11 WLAN driverに関するお知らせ

802.11 WLAN driver

Copyright held by
Sam Leffler, Errno Consulting,
Atsushi Onoe,
Atheros Communications, Inc.
Video54 Technologies, Inc.
The Regents of the University of California.
Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>
Jonathan Stone and Jason R. Thorpe
Gunter Burchardt, Local-Web AG

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY copyright holder "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL copyright holder BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

WPA Supplicantに関するお知らせ

WPA Supplicant

Copyright (c) 2003-2007, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors
All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions aremet:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

以上

libxml2に関するお知らせ

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FIT-NESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

libmngに関するお知らせ

Copyright (c) 2000-2007 Gerard Juyn
[You may insert additional notices after this sentence if you modify this source]
For the purposes of this copyright and license, "Contributing

Authors" is defined as the following set of individuals:
Gerard Juyn- gjuyn :at: users.sourceforge.net
Glenn Randers-Pehrson-glennrp :at: users.sourceforge.net
Raphael Assenat- raph :at: raphnet.net
ohn Stiles
The MNG Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the MNG Library, even if advised of the possibility of such damage.
Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the MNG and JNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment would be highly appreciated.

Parts of this software have been adapted from the libpng package.
Although this library supports all features from the PNG specification (as MNG descends from it) it does not require the libpng package.
It does require the zlib library and optionally the IJG jpeg library, and/or the "little-cms" library by Marti Maria (depending on the inclusion of support for JNG and Full-Color-Management respectively.
This library's function is primarily to read and display MNG animations. It is not meant as a full-featured image-editing component! It does however offer creation and editing functionality at the chunk level.
(future modifications may include some more support for creation and or editing)

fontconfigに関するお知らせ

fontconfig/fontconfig/fontconfig.h

Copyright (c) 2001 Keith Packard

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Keith Packard not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Keith Packard makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

THE AUTHOR(S) DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR(S) BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

c-aresに関するお知らせ

Copyright 1998 by the Massachusetts Institute of Technology.
Copyright (C) 2007-2008 by Daniel Stenberg

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of M.I.T. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.
M.I.T. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

MPEG-4 Visualに関するお知らせ

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR

(i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO")
AND/OR
(ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO.

NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE
HTTP://WWW.MPEGLA.COM

VC-1に関するお知らせ

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO

(i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO")
AND/OR
(ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO.

NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE
HTTP://WWW.MPEGLA.COM

dtoa and strtodに関するお知らせ

David Gay's binary/decimal conversion code (dtoa and strtod)

The author of this software is David M. Gay.

Copyright (c) 1991, 2000, 2001 by Lucent Technologies.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR LUCENT MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE..

用語集

五十音順

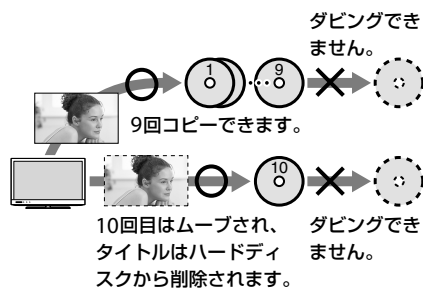
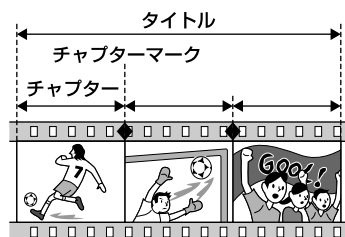
アクセスポイント(124ページ)
無線LANの中継機器です。無線LANルーターは、無線LANアクセスポイントとブロードバンドルーター機能を内蔵し、無線LANと有線LANの橋渡しをします。

解像度(150ページ)
ディスプレイの表示能力として、出力される映像の情報量の細かさを表現する単位。この値が高いほどより自然に近い画質が得られます。

サムネイル(66ページ)
複数の映像や画像を一覧表示するために縮小された画像。本機のタイトルリストなどに表示されます。

字幕放送(21ページ)
画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送。本機では、字幕を入/切したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

タイトル(49ページ)
ハードディスクやBD、DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚(または1曲)にあたります。本機で録画された番組などの映像のこともタイトルと呼んでいます。

ダビング10(176ページ)
著作権保護のため、10回までダビングすることが許可されています。ダビング可能回数の数字はアイコンで表示されます。

チャプター(56ページ)
ハードディスクやBD、DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されています。チャプターが記録されていないタイトルもあります。

データディスク
パソコンでのみ読み取れるファイルを格納するフォーマット。本機の場合、写真ファイルが格納されたディスクを指します。

ブロードバンドルーター(108ページ)
家庭内にある複数のパソコンやデジタル家電を相互に接続できるネットワーク機器です。LAN経由のCATV録画/「スカパー! HD録画」、ソニールームリンク、リモート録画予約などのネットワーク利用機能利用時に使います。

分配器
入力された信号を、同じ周波数で複数に分けるための機器です。ただし、信号を分けることにより信号のレベルが小さくなります。

分波器(103ページ)
VHF/UHF、BSなどが合成された信号を入力すると、それぞれの異なる信号に分けて出力する機器。

ムーブ(移動)
タイトルリストで 1⇒ が表示されているタイトルは、ハードディスクからディスクなどに、1回だけムーブ(移動)できます。BDに保存したタイトルは、本機のハードディスクに移動できます。ハードディスクから外付けUSBハードディスクには、ダビング可能回数の1回分を含めて、タイトルを移動できます。

ルートCA証明書(115ページ)
ルートCA証明書はルートCA(認証機関)が発行するデジタル証明書で、放送局が運営するセキュリティサイトとの通信の安全性を示すものです。

アルファベット順

BD-J(96ページ)
双方向操作を可能にするため、BD-ROMフォーマットではJavaをサポートしています。"BD-J"と呼ばれるJavaアプリケーションを使って、思い出ディスクダビングからBD-Jメニュー付きのディスクを作成してカレンダー表示などのメニューから映像や写真などを再生できます。

BD-R(Blu-ray Disc Recordable)
ハイビジョン映像の記録・再生に対応した一度だけ書き込めるBD。記録したコンテンツは上書きできないため、大切な映像の保管・配布に使えます。

BD-RE(Blu-ray Disc Rewritable)
ハイビジョン映像の記録・再生に対応した書き換えができるBD。上書きができるため、さまざまな編集や、テレビ番組の録画などに適しています。

BD-ROM(Blu-ray Disc Read-Only Memory)
映画などの映像を記録して市販される読み込み専用のBD。映画などの映像素材をハイビジョン画質で収録できることに加え、双方向性コンテンツ、ポップアップメニューによるメニュー操作、字幕のさまざまな表示方法や、スライドショーなどの拡張機能があります。

BDAV(Blu-ray Disc Audio/Visual)
デジタル放送の番組などを記録したディスクの規格です。BD-R、BD-REにデジタル放送の番組を録画したりコピーしたりできます。

BDMV(Blu-ray Disc Movie)
映像･音声･字幕･メニュー表示に関する情報を記録できる、ディスクの規格です。「BD-ROM」で利用されているアプリケーションフォーマットの一種です。
市販のBD-ROMや思い出ディスクダビングで書き出したBD-R、BD-REがBDMVになります。

CPRM(Content Protection for Recordable Media)
著作権を保護するために映像素材を暗号化･復号化する技術です。CPRM対応のDVD-RWおよびDVD-Rに録画したタイトルは、CPRMに対応した機器でのみ再生できます。

DVD-R
映像の記録･再生に対応した一度だけ書き込めるDVD。デジタル放送はCPRM対応のみコピーできます。
映像の保管･配布に使えます。

DVD-RW
映像の記録･再生に対応した書き換えができるDVD。デジタル放送はCPRM対応のみコピーできます。
映像の保管にくり返し使えます。

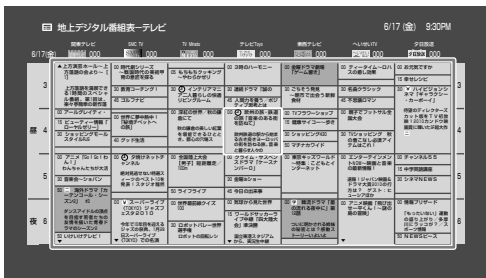
GB
ギガバイトと読みます。ハードディスクやBD、DVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量になります。

HDMI(High-Definition Multimedia Interface)
デジタル機器間で映像/音声信号をデジタルのまま1本のケーブルで送れるインターフェースです。
ハイビジョン映像を高画質、高音質で楽しめます。

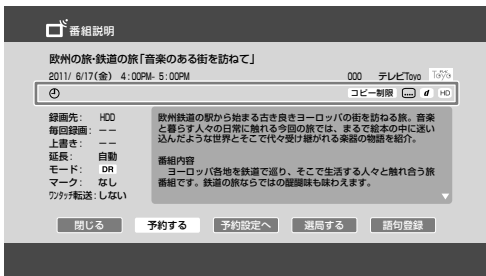
STB(CATVチューナー)
セットトップボックス。ケーブルテレビ放送の放送信号を受信して、テレビで視聴できる信号に変換する機器です。
本書では、ケーブルテレビ(CATV)チューナーと呼びます。

TB
テラバイトと読みます。ハードディスクなどの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量になります。
1テラバイトは1ギガバイトの1,024倍です。

画面別アイコン一覧

番組表（15ページ）

アイコン	説明
●（赤）	録画中の番組
⏲（赤）	録画予約されている番組
⏲（灰）	予約の一部が録画できない番組
⏲≡（赤）	日時指定予約されている番組
⏲≡（灰）	日時指定予約のうち、一部が録画できない番組
¥	有料番組

番組説明

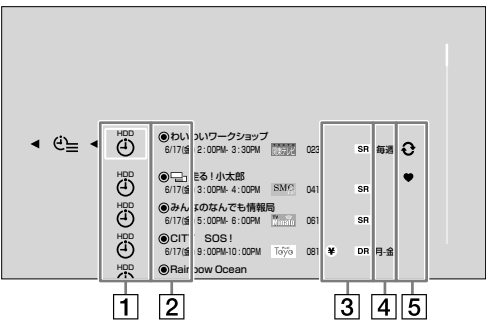
番組説明は、番組視聴中などにオプションメニューから［番組説明］を選ぶと表示できます。

アイコン	説明
●（赤）	録画中の番組
⏲（赤）	録画予約されている番組
⏲（灰）	予約の一部が録画できない番組
¥	有料番組
契約済	契約済みの番組
未契約	未契約の番組
コピー制限	コピー制御信号により、録画後のコピー回数が制限される番組
録画不可	コピー制御信号により、録画できない番組
🔒	視聴年齢制限付き番組
💬	字幕放送

アイコン	説明
d	テレビやラジオと連動しているデータ放送や、独立データ放送
HD	デジタルハイビジョン信号の番組
SD	標準テレビ信号の番組
ラジオ	ラジオ放送

x-おまかせ・まる録設定一覧（42ページ）

アイコン	説明
★（緑）	自動録画する場合のデジタル放送おすすめ設定
★（灰）	自動録画しない場合のデジタル放送おすすめ設定
◔（白）	自分で設定したおまかせ設定
◔（青）	プリセットキーワードのおまかせ設定

予約リスト（37ページ）

1

アイコン	説明
HDD ⏲	本機のハードディスクへの録画予約
BD ⏲	BDへの録画予約
USB ⏲	外付けUSBハードディスクへの録画予約
HDD ⇢⏲	本機のハードディスクへのリモート／ネットワーク録画予約

その他

2

アイコン	説明
	複数の予約が重なっている場合、優先順が下位の番組
●(赤)	録画予約した番組を録画しているときに表示
●(青)	同じ時刻に他の予約と重なっている部分以外はすべて録画可能
●(灰)	録画不可 録画先に設定されたディスクが残量不足、または他の予約と重なっているため、予約された時間すべてを録画できない可能性があることを示します。録画するには、タイトルを削除するなどして容量を空けてください。 録画に対応したディスクが挿入されていない場合にも表示されます。また、番組名予約で該当する番組が見つからなかった場合にも表示されます。
	対象番組なし 予約に該当する番組を追跡できない可能性がある場合に表示

3

アイコン	説明
	有料番組
DR など	録画時の録画モード

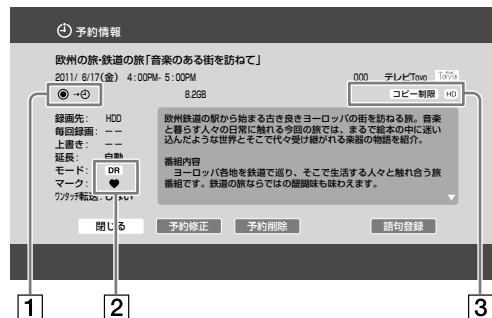
4

アイコン	説明
毎週など	毎回録画で予約した場合に表示

5

アイコン	説明
 など	録画予約時に設定したマーク
	毎回録画で前回のタイトルを上書きする場合に表示

予約情報

予約情報は、予約リスト(37ページ)を表示中にオプションメニューから[情報表示]を選ぶと表示できます。

1

アイコン	説明
	リモート/ネットワーク録画予約を利用して番組を録画している場合に表示
スポーツ	スポーツ延長自動対応機能によって、延長対象になった場合に表示

2

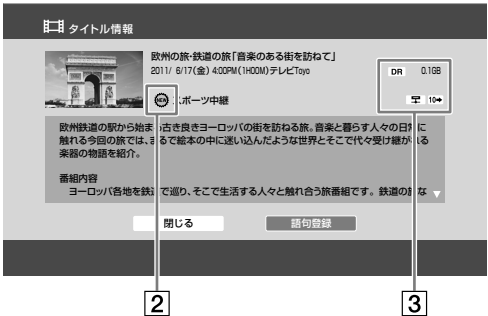
アイコン	説明
DR など	録画時の録画モード
など	録画予約時に設定したマーク

3

アイコン	説明
	有料番組
コピー制限	コピー制御信号により、録画後のコピー回数が制限される番組
	視聴年齢制限付きの番組で、設定されている制限レベルに該当するため年齢制限を解除して予約したとき表示
	字幕がある番組のとき表示
d	連動データがある番組のとき表示
HD	デジタルハイビジョン信号の番組
SD	標準テレビ信号の番組

タイトルリスト、タイトル情報、タイトルダビング、おでかけ転送(49、71、82ページ)

タイトル情報は、タイトルリストを表示中にオプションメニューから[情報表示]を選ぶと表示できます。

1

アイコン	説明
(年月)	録画日時で分類されたタイトルグループ
(ジャンル)	番組データのジャンルで分類されたタイトルグループ
(予約)	予約の種類ごとに分類されたタイトルグループ
(おまかせ･まる録)	x-おまかせ･まる録の録画条件で分類されたタイトルグループ
(マーク)	マークごとに分類されたタイトルグループ
(プレイリスト)	プレイリストグループ。x-Pict Story HDやデジタルカメラのタイトルから作成したプレイリストは含まれません
(ダウンロード)	インターネットサービスからダウンロードしたタイトルグループ。タイトルはシリーズごとに集約されます(シリーズ集約)
(レンタル)	インターネットサービスからダウンロードしたタイトルのうち、視聴期限のあるタイトルグループ。タイトルはパックごとに集約されます(パック集約)
(x-Pict Story)	x-Pict Story HDのビデオ作品(または、そのプレイリスト)のグループ
(ビデオカメラ映像)	デジタルカメラのタイトルグループ。8cm DVDから本機のハードディスクへダビングしたタイトルやAVCHDダビングで取り込まれたタイトル(カメラ取込みで作成したタイトルや、そのプレイリスト)を表示します

2

アイコン	説明
NEW	再生されていないタイトル
	プレイリスト
★	x-おまかせ･まる録のおすすめ設定により録画されたタイトル
NEW★(金)	x-おまかせ･まる録のおすすめ設定により録画され、再生されていないタイトルの中でおすすめ度が高いもの
NEW★(青)	x-おまかせ･まる録のおすすめ設定により録画され、再生されていないタイトル
	x-おまかせ･まる録のおまかせ設定により録画されたタイトル。 の付いたタイトルで が付いているタイトルは、本機のハードディスクがいっぱいになったときに自動的に削除されます
NEW(金)	x-おまかせ･まる録のおまかせ設定により録画され、再生されていないタイトルの中でおすすめ度が高いもの
NEW(青)	x-おまかせ･まる録のおまかせ設定により録画され、再生されていないタイトル
●(赤)	録画中

アイコン	説明
	再生中
	追いかけ再生中
(ピンク)	本機のハードディスクにダビング中のタイトル
(灰)	本機のハードディスクにダビング予定のタイトル
(ピンク)	ディスクにダビング中のタイトル
(灰)	ディスクにダビング予定のタイトル
(ピンク)	外付けUSBハードディスクにダビング中のタイトル
(灰)	外付けUSBハードディスクにダビング予定のタイトル
(ピンク)	おでかけ転送中のタイトル
(灰)	おでかけ転送予定のタイトル
	インターネットサービスからダウンロードしたタイトル
(ピンク)	インターネットサービスからダウンロード中のタイトル
(灰)	インターネットサービスからのダウンロード一時停止、または中断エラーのタイトル
	インターネットサービスからダウンロード中に追いかけ再生をしているタイトル
NEW	インターネットサービスからダウンロードされ、再生されていないタイトル
3D	放送局側で3D信号が付けられたタイトルや、デジタルカメラなどで撮影した3D映像

3

アイコン	説明
など	録画予約時や録画したタイトルに設定したマーク
1	コピー制御信号により、1回だけ移動(ムーブ)できるタイトル(本機のハードディスクからBDおよびDVDのCPRM対応ディスクへのダビング、BDから本機のハードディスクへのダビング、本機と外付けUSBハードディスク間のダビング、おでかけ転送)。 ダビングや携帯電話におでかけ転送すると元のタイトルは削除されます

アイコン	説明
1 10 各種	ダビング可能回数2 ～ 10回のタイトルや、ダビング可能回数1 ～ 9回のプレイリスト、インターネットサービスからダウンロードしたタイトル。数字の回数だけ、BDおよびDVDのCPRM対応ディスクや、本機と外付けUSBハードディスク間でダビングできます。ダビングすると数字が減り、ダビング可能回数に達すると、コピー制御信号によりダビング元のタイトルは削除されます。 なお、インターネットサービスからダウンロードしたタイトルは、ダビング可能回数1回の場合にダビング(BDにのみ)やおでかけ転送をしても本機のハードディスクにタイトルが残ります。ただし、おかえり転送はできません
	ダビングできないタイトル
DR など	録画モード(DR/XR/XSR/SR/LSR/LR/ER)
	毎回録画で前回分を上書きしたタイトル
	プロテクト(保護)されたタイトル
	x-おまかせ･まる録で録画され、自動削除対象となっているタイトル。プロテクト(保護)や編集をすると、自動削除対象からはずれます
パック	インターネットサービスからパック購入したタイトル
x-Pict Story	x-Pict Story HDのビデオ作品
	視聴年齢制限付きタイトル
	他機器で再生できるタイトル
	“ウォークマン”などに高速でおでかけ転送できるタイトル
	PSP®などに高速でおでかけ転送できるタイトル
	携帯電話に高速でおでかけ転送できるタイトル

写真の一覧(92ページ)

アイコン	説明
3D	3Dの写真データ
JPG	JPEGの写真データ

その他

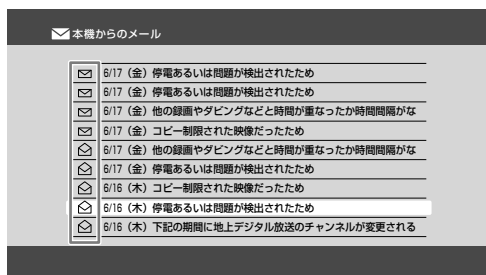
アイコン	説明
MPO	MPOの写真データ

ダウンロード管理画面（46ページ）

アイコン	説明
（ピンク）	インターネットサービスからダウンロード中のタイトル
	ダウンロードを一時停止しているタイトル
	ダウンロードエラーのタイトル 本機のハードディスクの容量が不足している、または保存できるタイトル数が上限に達している場合、ダウンロードできません。またネットワークの中断や、ダウンロード期限が過ぎている場合にもエラーとなります
パック	インターネットサービスからパック購入したタイトル

メール（115ページ）

本機からのメール

6/17（金）停電あるいは問題が検出されたため
6/17（金）停電あるいは問題が検出されたため
6/17（金）他の録画やダビングなどと時間が重なったか時間間隔がな
6/17（金）コピー制限された映像だったため
6/17（金）他の録画やダビングなどと時間が重なったか時間間隔がな
6/17（金）停電あるいは問題が検出されたため
6/16（木）コピー制限された映像だったため
6/16（木）停電あるいは問題が検出されたため
6/16（木）下記の期間に地上デジタル放送のチャンネルが変更される

アイコン	説明
	すでに読んだメール
	まだ読んでいないメール メールはお客様自身で削除できません

オプション項目一覧

《オプション》ボタンを押すと、さまざまな設定や操作ができます。表示されるオプションは、使用状況によって異なります。

五十音順

あ行

オプション機能		できること
映像切換		違うアングルなど、複数の映像があるときに切り換えます。
追いかけ再生		録画中の番組を再生します（49ページ）。
おでかけ進行状況		おでかけ転送実行中に、おでかけ転送進捗画面を表示します（83ページ）。
おでかけ転送		
	選択転送	選んだタイトルを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します（82ページ）。
	すべて転送	表示中のリストのうち、上から順に30個までを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します（82ページ）。
	グループ内選択	グループ内の選んだタイトルを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します（84ページ）。
	グループ内すべて	グループ内のタイトルのうち、上から順に30個までを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します（84ページ）。
おまかせへ登録		お気に入り設定や検索の条件設定を、x-おまかせ･まる録に登録すると、自動で録画します（42ページ）。
思い出ディスクダビング		本機に取り込んだ映像や写真、x-ScrapBookなどをディスクに書き出します（96ページ）。
音質･音声設定		
	音質	• 音質を調整します（28ページ）。
	ヘッドホン	• ヘッドホンの音量を調整します。

か行

オプション機能		できること
改行		改行します。
回転（左／右）		左または右回りに写真を90度回転させます。
画質･映像設定		
	画質	画質を調整します（26ページ）。
	ワイド切換	「フル」と「ノーマル」に画面を切り換えます。

オプション機能	できること
画面モード（外部入力時）	• ワイド切換：お好みの画面モードに切り換えます（ワイドズーム／ノーマル／フル／ズーム／字幕入）。 • 表示領域：表示領域を切り換えます。 • 画面位置調整 • 縦サイズ • 設定対象：設定を現在の入力にのみ適用するか、他入力と共有されている共通メモリーに適用するか、設定できます。 • オートワイド：[入]を選ぶと、入力信号に適した[画面モード]に自動で切り換えます。 • 4：3映像：4：3映像の画面フォーマットを設定します。 • 自動表示領域切換：[入]を選ぶと、自動で映像を最適な表示領域に調整します。
画面モード（PC入力／HDMI入力時）	• 自動画調整：[はい]を選ぶと、入力信号に合わせて画面の位置やフェーズを自動的に調整します。 • 標準に戻す：[はい]を選ぶと、パソコン画像の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。 • フェーズ：画像にチラツキがある場合に調整します。 • ピッチ：画像に縦じまのノイズがある場合に調整します。 • 水平位置：画像の左右位置を調整します。 • 垂直位置：画像の上下位置を調整します。 • ワイド切換： [ノーマル]：オリジナルのサイズで表示します。 [フル1]：オリジナル映像の横縦比率を保ったまま、画面いっぱいに表示します。 [フル2]：オリジナルの映像をワイド画面いっぱいに表示します。 **ご注意** • 入力信号によっては、[自動画調整]により最適にならない場合があります。その場合は手動で[フェーズ]、[ピッチ]、[水平位置]、[垂直位置]を調整してください。
表示領域	• フルピクセル：下記の信号を受信していて、[ワイド切換]が[フル]に設定されているときに、オリジナルの画サイズで表示されます。 – デジタル放送 – ディスク再生中 – コンポーネント入力（1080i/p） – HDMI入力（1080i/p） • ＋1：最大の表示領域になります。 • 標準：推奨の表示領域になります。 • －1：オリジナルの映像の画欠けを見えなくします。画面の周辺が欠けたり周辺のノイズが気になる場合に設定してください。

オプション機能	できること
3Dメニュー	3Dメニューを表示します（24ページ）。
スムージング	なめらかな階調表現を実現します。
シーンセレクト	番組にあった画質・音質に切り換えます（26ページ）。
気になる人名	視聴中の番組や、タイトルの情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組を検索します（43ページ）。
気になるワード	視聴中の番組や、タイトルの情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組を検索します（43ページ）。
グループ表示	グループごとに分類します（53ページ）。
降雨対応切換	降雨などで通常放送が正常に受信できないときに降雨対応放送に切り換えます。
語句登録	表示されている番組名と番組の情報から、キーワードを選んで登録します。
コピー	アルバムや写真をコピーします。
1アルバムコピー	1つのアルバムをコピーします（91ページ）。
1ファイルコピー	1ファイルの写真をコピーします（92ページ）。
選択コピー	選択した複数のアルバムや写真をコピーします。

さ行

オプション機能	できること
サービス切換	
テレビ／ラジオ／データ	テレビ番組／ラジオ番組／データ放送のチャンネルをそれぞれ表示します。
再検索	番組を再検索します。
再生／再生停止	• インターネットサービスのページから再生している場合は、停止してインターネットサービスのページを表示します。 • ダウンロードしたタイトルを再生している場合は、停止してタイトルの一覧（タイトルリスト）を表示します。
再読込み	表示中のページを更新します。
削除	タイトルや写真、ブックマークなどを削除します。
1タイトル削除	1つのタイトルを削除します（59ページ）。
1ファイル削除	1枚の写真を削除します。
1件削除	x-おまかせ・まる録の予約を1件取り消します。
選択削除	タイトルまたは写真、x-おまかせ・まる録の予約を複数選んで削除します。（59ページ）。

オプション機能	できること
すべて削除	表示中のリストのすべてのタイトルを削除します(59ページ)。
グループ削除	グループのタイトルを一括して削除します(59ページ)。
グループ内選択	グループ内の複数のタイトルを選んで削除します。
シーンサーチ	見たい場面をすばやく探します(56ページ)。
次回予約	録画したタイトルの次回の予約をします。
視聴制限一時解除／視聴制限再設定	視聴年齢制限を一時的に解除／再設定します。
ジャンル色設定	地上デジタルやBS、CSデジタル番組表で表示される色に好みのジャンルを割り当てます。
終了	インターネットサービスを終了します。
条件設定へ	日時指定検索の条件を変更します。
情報表示	タイトルや予約、インターネットサービスのページ、写真などの詳細情報を表示します。表示される情報が多い場合は、↑↓で画面をスクロールしてください。
初期化	BD-REを初期化します(77ページ)。
新規作成	x-Pict Story HDのビデオ作品を作成します(93ページ)。
新規登録	お気に入り番組表やおまかせ設定を新規登録します。
進行状況	インターネットサービスからダウンロード中に、ダウンロード管理画面を表示します(177ページ)。
信号選択	• ダビングモードをDRモードから変更するときは、ダビングする映像／音声信号を設定します。 • 複数の映像や音声が記録されている映像をおでかけ転送するときは、転送する映像／音声信号を設定します。インターネットサービスからダウンロードしたタイトルをおでかけ転送するときは字幕も設定できます。
進む	次のページを表示します。
スピーカー出力	
テレビスピーカー	本機のスピーカーから音声を出します(116ページ)。
オーディオシステム	本機につないでいるオーディオシステムから音声を出します(116ページ)。
すべて一時停止／すべて再開	ダウンロードを一時的に停止／再開します。
スライドショー	スライドショーで表示します(93ページ)。
スライドショーの速さ	スライドショー表示の速さ(速い／標準／遅い)を設定します。

オプション機能	できること
スリープタイマー	自動で電源を切る(電源スタンバイ)までの時間を選びます(121ページ)。
設定／編集	
名前変更	名前を変更します(66ページ)。
マーク設定	タイトルにマークを設定します(66ページ)。
サムネイル設定	タイトルのサムネイル画像を変更します(66ページ)。
チャプター編集	チャプターを分割／削除／結合します(62ページ)。
部分削除	タイトル内の一部分を選んで削除します(63ページ)。
タイトル分割	タイトルを2つに分割します(65ページ)。
タイトル結合	複数のタイトルを結合します(65ページ)。
プレイリスト作成	タイトルから映像の範囲を選び、新しいプレイリストを作成します(63ページ)。
設定削除	登録しているお気に入り番組表やおまかせ設定を削除します。
設定取消	設定した条件を取り消します。
設定変更	お気に入り番組表やx-おまかせ･まる録の設定を変更します。
前回終了のページ	前回インターネットサービスを終了するときに表示していたページを表示します。
選局	番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
全タイトル表示	すべてのタイトルを表示します。
選択／選択解除	タイトルを選択／選択を解除します。
選択モード	x-ScrapBookを選択モードに切り換えます。
全チャンネル表示／設定チャンネル表示	全チャンネル表示⇔設定チャンネル表示を切り換えます。

た行

オプション機能	できること
ダイジェスト／ダイジェスト解除	タイトルの見どころ場面(盛り上がり場面)のみを再生／ダイジェスト再生を解除します(55ページ)。
ダイジェスト時間	ダイジェスト再生の時間を変更します(55ページ)。
タイトルサーチ	タイトルを選んで頭出しします(56ページ)。
ダウンロード管理	インターネットサービスを終了して、ダウンロード管理画面を表示します。
ダウンロード実行	選んだ映像のダウンロードを最優先にします。

オプション機能	できること
ダビング進行状況	タイトルダビング実行中に、ダビング進捗画面を表示します（74ページ）。
ダビング停止	ダビング実行中にダビングを停止します。
ダビングモード設定	ダビングモードを設定します（76ページ）。
チャプターサーチ	チャプターを選んで頭出しします（56ページ）。
チャンネル指定	週間番組表の表示チャンネルを切り換えます。
チャンネル別表示	番組表をチャンネル別に週間表示します。
中止	選んだタイトルのダウンロードを中止します。ダウンロード管理画面やタイトルの一覧（タイトルリスト）からは削除されます。
重複確認	時間が重なっている録画予約を確認します（37ページ）。
停止	スライドショーやx-ScrapBookの再生を停止します。
ディスクへダビング	
選択ダビング	選んだタイトルをディスクにダビングします（71ページ）。
すべてダビング	表示中のリストのうち、録画日が古い順に30個までをディスクにダビングします（71ページ）。
グループ内選択	グループ内の選んだタイトルをディスクにダビングします（75ページ）。
グループ内すべて	グループ内のタイトルのうち、録画日が古い順に30個までをディスクにダビングします（75ページ）。
テーマ変更	x-ScrapBookの壁紙のテーマを変更します。
転送選択取消	複数のタイトルを選んでワンタッチ転送を取り消します。
転送取消	1件のタイトルのワンタッチ転送を取り消します。
トップページ	インターネットサービスのトップページを表示します。
トップメニュー	ディスクのメニュー画面を表示します。

な行

オプション機能	できること
名前変更	BDやグループ、アルバム、ブックマークなどの名前を変更します。文字入力については147ページをご覧ください。
並べ替え	タイトルを並べ替えます。
入力	文字入力画面を表示します。
入力切換	外部入力の映像を切り換えます。

は行

オプション機能	できること
はじめから再生	タイトルをはじめから再生します。
早見／早見解除	タイトルを早見再生／早見再生を解除します。
番組検索	
日時指定検索	日付、時間、放送、チャンネルを指定して番組を検索します。
ジャンル検索	ジャンルを設定して番組を検索します。
キーワード検索	キーワードを設定して番組を検索します。
詳細条件検索	詳細条件を設定して番組を検索します。
番組説明	見ている番組の詳しい情報を表示します。
番組追跡情報	次の場合に、番組追跡情報を表示します。 • 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で毎回録画に設定した番組。 • 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で延長を設定した番組。
番組表	デジタル放送の番組表を表示します。
番組表を表示	選んだお気に入り番組表を表示します。
番組名検索情報	番組名で毎回録画するときに、番組名の確認や変更ができます。
番組録画	見ている番組を録画します。
左削除	カーソルの左1文字を削除します。
日付指定	日付を選び、選んだ日の番組表を表示します。
今日／明日	今日／明日の番組表を表示します。
日付順表示	予約を日付順に表示します。
ビデオ解除	x-ScrapBookのビデオの参照を解除します。
表紙へ	x-ScrapBookの表紙ページを表示します。
表示	x-ScrapBookを表示します（93ページ）。
表示モード	
ノーマル	写真全体を表示し、余白には黒帯を表示します。
ズーム	横長の写真を画面いっぱいに表示します。写真が縦方向にはみ出した場合は、はみ出した部分は表示されません。縦長の写真は［ノーマル］と同様に表示します。
標準表示に戻す	番組表を標準表示に戻します。
開く	選んだブックマークのページを表示します。
ファイナライズ	DVDをファイナライズします（76ページ）。
ファイルサーチ	指定した写真を表示します。
ブックマーク	
ブックマーク一覧	ブックマーク一覧画面を表示します。

オプション機能	できること
ブックマーク追加	表示中のページをブックマークに登録します。ブックマークは10個まで登録できます。
プロテクト／プロテクト解除	ハードディスクやディスクのタイトルが削除、編集されないよう保護／保護を解除します(60ページ)。
ページサーチ	入力した番号のページをx-ScrapBookで表示します。
ページモード	x-ScrapBookをページモードに切り換えます。
編集	
タイトル結合	複数のタイトルを結合します。
プレイリスト作成	タイトルから映像の範囲を選び、新しいプレイリストを作成します。
テーマ変更	x-ScrapBookで壁紙のテーマを変更します。
ビデオ選択解除	x-ScrapBookでビデオの参照を複数選択して解除します。
ビデオ選択追加	x-ScrapBookにビデオを追加します。
放送切換	
地上デジタル／BSデジタル／CSデジタル	それぞれの番組表を表示します。
ポップアップ	DVDビデオのメニューやBD-ROMのポップアップメニューなどを表示します。

ま行

オプション機能	できること
みどころ特集設定	みどころ特集で対象とする特集テーマを設定します(43ページ)。
メニュー	DVDビデオのメニューやBD-ROMのポップアップメニューなどを表示します。
モード	おでかけ転送する映像の録画モードを設定します。
VGA2.0M	VGA2.0Mbpsの映像を転送します。
VGA1.0M	VGA1.0Mbpsの映像を転送します。
QVGA768k	QVGA 768kbpsの映像を転送します。
QVGA384k	QVGA 384kbpsの映像を転送します。
戻る	前のページを表示します。

や行

オプション機能	できること
優先順表示	予約を優先順に表示します。
優先変更	予約の優先順位を変更します。
読込み中止	ページの読み込みを中止します。
予約削除	録画予約を取り消します(37ページ)。
1件削除	1件の予約を取り消します。
選択削除	複数の予約をまとめて取り消します。
予約修正	録画予約情報を修正します(37ページ)。
予約へ変更	おまかせ･まる録で予約されている番組を、自動録画から、番組表からの予約と同じように、優先順位を上げて録画します。
予約名変更	予約名を変更します。

ら行

オプション機能	できること
録画延長	録画中の番組の録画時間を延長します。「おまかせ予約リスト」の番組を延長した場合、その番組は「予約リスト」に移動します。
録画時間設定	視聴しながら録画中(クイックタイマー)に録画時間を変更します。
録画停止	録画を停止します。
録画モード	録画先や録画する時間、画質に合わせて設定します。
録画予約	番組表で選んでいる番組の録画予約をします(34ページ)。また、確実に録画したい番組を録画予約します。
ロック／ロック解除	ディスクをロック／ロックを解除します(77ページ)。

アルファベット順

オプション機能	できること
BDクローズ	BD-Rを録画できないようにします(76ページ)。
BD情報	BDの情報を表示します。
BD録画	BDに録画します。
Cookie削除	Cookieを削除します。
DVD情報	DVDの情報を表示します。
HDD情報	本機のハードディスクの情報を表示します(37ページ)。
HDDへダビング	本機のハードディスクにダビングします(78、90ページ)。
選択ダビング	選んだタイトルを本機のハードディスクにダビングします(78、90ページ)。
すべてダビング	表示中のリストのうち、録画日が古い順に30個までを本機のハードディスクにダビングします。

オプション機能	できること
グループ内選択	グループ内の選んだタイトルを本機のハードディスクにダビングします。
グループ内すべて	グループ内のタイトルのうち、録画日が古い順に30個までを本機のハードディスクにダビングします。
HDD録画	本機のハードディスクに録画します。
My！番組表	My！番組表を表示します（43ページ）。
My！番組表へ登録	My！番組表に検索の条件を登録します（43ページ）。
USB HDD情報	外付けUSBハードディスクの情報を表示します。
USB HDDへダビング	
選択ダビング	選んだタイトルを外付けUSBハードディスクにダビングします（78ページ）。
すべてダビング	表示中のリストのうち、録画日が古い順に30個までを外付けUSBハードディスクにダビングします。
グループ内選択	グループ内の選んだタイトルを外付けUSBハードディスクにダビングします。
グループ内すべて	グループ内のタイトルのうち、録画日が古い順に30個までを外付けUSBハードディスクにダビングします。
USB HDD録画	外付けUSBハードディスクに録画します。
x-Pict Story作成	x-Pict Story HDのビデオ作品を作成します（93ページ）。
x-ScrapBook再生	x-ScrapBookを再生します（93ページ）。

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

その他

ま行

や行

ら行

わ行

数字順／アルファベット順

数字

アルファベット

「他製品との接続/関連情報」ホームページ
本機の接続などに関する情報を、以下のホームページでも確認できます。
http://www.sony.jp/support/connect/

「Q&A」ホームページ
お客様からよくあるお問い合わせと解決法に関する情報を、以下のホームページで確認できます。
http://www.sony.co.jp/faq/bravia/

本機を壁にかけて使用する場合の設置方法はこの取扱説明書に記載されています。別冊の取扱説明書「本機を壁にかけて使う」は付属していません。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ··········0120-333-020	フリーダイヤル ···········0120-222-330
携帯電話·PHS·一部のIP電話 ··········0466-31-2511	携帯電話·PHS·一部のIP電話 ···········0466-31-2531
	※取扱説明書·リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「200」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

この説明書は、古紙70％以上の再生紙を使用しています。